

目 次

フォー・ビギナーズ・シリーズ	3
フォー・ビギナーズ・サイエンス	11
シリーズ 藩物語	13
シリーズ いま読む！ 名著	17
季刊 福祉労働	19
教育・子ども・保育	24
障害・福祉・臨床心理	35
女性・ジェンダー	52
社 会	57
原発・原子力関係	77
ジャーナリズム	80
歴史・民俗・民族	82
政治・国際関係	100
海外事情	104
紀 行	111
思想・評論	113
言語・語学・外国語	119
宗 教	124
自然科学・環境	128
生 活	132
映像・写真	136

芸能・音楽・サブカルチャー	143
文芸・エッセイ・文芸評論	147
スポーツ	154
三角 寛の世界	157
沖浦和光著作集	160
寄せ場	161
オルガン	163
マージナル	165
反教育シリーズ	167
知る知るシリーズ	169
シリーズ プロの台所	170
書名索引	171
著者・編者・訳者索引	186
全国常備店一覧	199

フォー・ビギナーズ・シリーズ

FOR BEGINNERS シリーズ

歴史上の人物、事件等をイラスト・写真を豊富に使って表現した、「見る思想書」。英・米・仏・独等の若者に好評を博しているものを、日本では小社が版權を獲得し翻訳版として出版しています。
日本オリジナル版は小社が独自に日本向けに製作したものです。

A 5判変型 176 頁 各 1200 円＋税、CD / DVD 付 各 1400 円＋税



①フロイト (翻訳版)

文●R. アップグナネッセイ
絵●O. サラティ
訳●加瀬亮志

4-7684-0001-9



②アインシュタイン (翻訳版)

文●J. シュワルツ
絵●M. マクギネス
訳●田中三彦

4-7684-0002-7



③マルクス (翻訳版)

文／絵●E. リウス
訳●小阪修平

4-7684-0003-5



④反原発 (翻訳版)

[品切れ]

文●S. クロール
絵●K. センプラー
訳●田窪雅文＋真下俊樹

4-7684-0004-3



⑤レーニン (翻訳版)

[品切れ]

文●R. アップグナネッセイ
絵●O. サラティ
訳●井上憲一

4-7684-0005-1



⑥毛沢東 (翻訳版)

[品切れ]

文／絵●E. リウス
訳●戸田 徹

4-7684-0006-X



⑦トロツキー (翻訳版)

[品切れ]

文●T. アリ
絵●S. エヴァンズ
訳●村木幸一

4-7684-0007-8



⑧戸籍 (日本オリジナル版)

文●佐藤文明
絵●貝原 浩

4-7684-0008-6



⑨資本主義 (翻訳版)

[品切れ]

文●R. レカッチマン
絵●B. バンルーン
訳●戸田徹＋長谷川健三郎

4-7684-0009-4



⑩吉田松陰 (日本オリジナル版)

[品切れ]

※ 100 吉田松陰 [増補新装版] あり
文●三浦 実
絵●貝原 浩

4-7684-0010-8



⑪日本の仏教
(日本オリジナル版)

文●梅原正紀
絵●貝原 浩 4-7684-0011-6



⑫全学連
(日本オリジナル版)

文●菅 孝行
絵●貝原 浩 4-7684-0012-4



⑬ダーウィン
(翻訳版) [品切れ]

文●J. ミラー
絵●B. バンルーン
訳●田中茂彦 4-7684-0013-2



⑭エコロジー
(翻訳版) [品切れ]

文●S. クロール
絵●W. ランキン
訳●玉村和子 4-7684-0014-0



⑮憲 法
(日本オリジナル版) [品切れ] ♣

文●西垣内堅佑
絵●小林敏也 4-7684-0015-9



⑯マイコン
(日本オリジナル版) [品切れ]

文●トマス・キュウティ
絵●長谷川京平 4-7684-0016-7



⑰資本論
(翻訳版) ♣

文●D. スミス
絵●P. エバンス
訳●小阪修平 4-7684-0017-5



⑱七大経済学
(翻訳版)

文／絵●B. カナヴァン
訳●ナトリ・ハワード
+ 瀬下敦子 4-7684-0018-3



⑲食 糧
(翻訳版) [品切れ]

文●S. ジョージ
絵●N. ページ
訳●田中茂彦 4-7684-0019-1



⑳天皇制
(日本オリジナル版) ♣

文●菅 孝行
絵●貝原 浩 4-7684-0020-5



㉑生命操作
(日本オリジナル版)

文●福本英子
絵●福島豊彦 4-7684-0021-3



㉒般若心経
(日本オリジナル版)

文●遠藤 誠
絵●小林敏也 4-7684-0022-1



㉓自然食
(日本オリジナル版) [品切れ]

文●太田 竜+栗原佳子
絵●秋山 孝 4-7684-0023-X



㉔教科書
(日本オリジナル版) [品切れ]

文●上野清士
絵●橋本 勝 4-7684-0024-8



②⑤ 近代女性史
(日本オリジナル版)

[品切れ]

文●宮城道子
絵●一の門ヨーコ 4-7684-0025-6



②⑥ 冤罪・狭山事件
(日本オリジナル版)

[品切れ]

文●難元昌弘
絵●平口広美 4-7684-0026-4



②⑦ 民法 親族・相続編
(日本オリジナル版)

文●筒井信隆
絵●長谷川京平 4-7684-0027-2



②⑧ 日本の警察
(日本オリジナル版)

[品切れ]

文●西尾 漢
絵●橋本 勝 4-7684-0028-0



②⑨ エントロピー
(日本オリジナル版)

文●藤田祐幸+槌田 敦
絵●村上寛人+小林賢司 4-7684-0029-9



③⑩ インスタントアート
(日本オリジナル版)

[品切れ]

文 / 絵●フクシマトヨヒコ
4-7684-0030-2



③⑪ 大杉栄
(日本オリジナル版)

[品切れ] ♣

文●竹中 労
絵●貝原 浩 4-7684-0031-0



③⑫ 吉本隆明
(日本オリジナル版)

文●吉田和明
絵●秋山 孝 4-7684-0032-9



③⑬ 家族
(日本オリジナル版)

[品切れ]

文●ますのきよし
絵●小林敏也 4-7684-0033-7



③⑭ フランス革命
(翻訳版)

[品切れ]

文●R. モウルダー
絵●M. マクロイ
訳●田中茂彦 4-7684-0034-5



③⑮ 三島由紀夫
(日本オリジナル版)

文●吉田和明
絵●わかきゆっけ
+若木 亮 4-7684-0035-3



③⑯ イスラム教
(日本オリジナル版)

♣

文●安倍治夫
絵●小関俊一
+武田三省 4-7684-0036-1



③⑰ チャップリン
(日本オリジナル版)

文 / 絵●橋本 勝 4-7684-0037-X



③⑱ 差別
(日本オリジナル版)

文●菅 孝行
絵●貝原 浩 4-7684-0038-8



③⑨ アナキズム
(日本オリジナル版) [品切れ]

文 ● 玉川信明
絵 ● ウノ・カマキリ 4-7684-0039-6



④⑩ 柳田国男
(日本オリジナル版)

文 / 絵 ● 吉田和明 4-7684-0040-X



④⑪ 非暴力
(日本オリジナル版) [品切れ]

文 ● 阿木幸男
絵 ● 橋本 勝 4-7684-0041-8



④⑫ 右翼
(日本オリジナル版)

文 ● 猪野健治
絵 ● 宮谷一彦 4-7684-0042-6



④⑬ 性
(日本オリジナル版)

文 ● 鈴木みち子
絵 ● 田井亮子 4-7684-0043-4



④⑭ 地方自治 [品切れ] ♣

文 ● 新藤宗幸
絵 ● 貝原 浩 4-7684-0044-2



④⑮ 大正 治
(日本オリジナル版)

文 ● 吉田和明
絵 ● 小林敏也 4-7684-0045-0



④⑯ エイス 性・愛・病気
(日本オリジナル版)

文 ● 池上千寿子 + M. ダイヤモンド
絵 ● D. ソーン 4-7684-0046-9



④⑰ ニーチェ
(日本オリジナル版)

文 ● 竹田青嗣
絵 ● 田島董美 4-7684-0047-7



④⑱ 新宗教
(日本オリジナル版)

文 ● 梅原正紀
絵 ● 貝原 浩 4-7684-0048-5



④⑲ 観音経
(日本オリジナル版) [品切れ]

文 ● 遠藤 誠
絵 ● 小林敏也 4-7684-0049-3



⑤① 日本の権力 [品切れ] ♣

文 ● 菅孝行 + 高野孟
絵 ● 貝原 浩 4-7684-0050-7



⑤② 芥川龍之介
(日本オリジナル版)

文 ● 吉田和明
絵 ● 田島董美 4-7684-0051-5



⑤② ライレ
(翻訳版)
文 ● D. Z. マイロヴィツ
絵 ● G. ゴンザレス
訳 ● 国永史子 4-7684-0052-3



⑤③ ヤクザ
(日本オリジナル版)

文●朝倉喬司
絵●貝原 浩 4-7684-0053-1



⑤④ 精神医療
(日本オリジナル版)

文●長野英子
絵●一ノ門ヨロコ 4-7684-0054-X



⑤⑤ 部落差別と人権
(日本オリジナル版)

文●川内俊彦
絵●貝原 浩 4-7684-0055-8



⑤⑥ 死 刑 [品切れ] ♣

文●前坂俊之
絵●橋本 勝 4-7684-0056-6



⑤⑦ ガイア [品切れ]

文●おおえまさのり
絵●内海 朗 4-7684-0057-4



⑤⑧ 刑 法 総論 ♠

文●佐藤直樹
絵●長谷川京平 4-7684-0058-2



⑤⑨ コロンブス
(日本オリジナル版)

文●上野清士
絵●田島董美 4-7684-0059-0



⑥① 総覧・地球環境 [品切れ] ♣

文●市川定夫
絵●橋本眞美 4-7684-0060-4



⑥① 宮沢賢治 ♣

文●吉田和明
絵●小林賢司
+小林まさみ 4-7684-0061-2



⑥② 地図 ♠♣

文●堀 淳一
絵●あべ ゆっけ 4-7684-0062-0



⑥③ 歎異抄 ♣

文●遠藤 誠
絵●小林敏也 4-7684-0063-9



⑥④ マルコム X ♠♣

文／絵●B. アクィウィナ・ドクター
訳●阿木幸男 4-7684-0064-7



⑥⑤ ユング
(日本オリジナル版)

文●大住 誠
絵●田島董美 4-7684-0065-5



⑥⑥ 日本の軍隊 上巻・皇軍編
(日本オリジナル版)

文●前田哲男
絵●貝原 浩 4-7684-0066-3



⑥7 日本の軍隊 下巻・自衛隊編
(日本オリジナル版)

文●前田哲男
絵●貝原 浩 4-7684-0067-1



⑥8 マフィア
(日本オリジナル版)

文●安田雅企
絵●入倉ひろし 4-7684-0068-X



⑥9 宝塚
(日本オリジナル版)

文●梅原理子
絵●乙原 愛 4-7684-0069-8



⑦0 ドラッグ
(日本オリジナル版)

文●松本広樹
絵●田島董美 4-7684-0070-1



⑦1 にっぽん
(日本オリジナル版)

文／絵●橋本 勝
英訳●B. ダスウェル 4-7684-0071-X



⑦2 占星術
(日本オリジナル版) [品切れ]

文●西山華耶
絵●田島董美 4-7684-0072-8



⑦3 障害者
(日本オリジナル版)

文●後藤安彦
絵●貝原 浩 4-7684-0073-6



⑦4 花岡事件
(日本オリジナル版)

文●石飛 仁
絵●西川 塾 4-7684-0074-4



⑦5 本居宣長
(日本オリジナル版)

文●中島 誠
絵●清重伸之 4-7684-0075-2



⑦6 黒澤 明
(日本オリジナル版)

文／絵●橋本 勝 4-7684-0076-0



⑦7 ヘーゲル
(翻訳版)

文●R. スペンサー
絵●A. クラウゼ
訳●椋田直子 4-7684-0077-9



⑦8 東洋思想
(翻訳版)

文●R. オズボーン
絵●B. バン・ルーン
訳●小幡照雄 4-7684-0078-7



⑦9 現代資本主義
(日本オリジナル版)

文●降旗節雄
絵●貝原 浩 4-7684-0079-5



⑧0 経済学入門
(日本オリジナル版)

文●金指 基
絵●川田あきひこ 4-7684-0080-9



⑧1 ラカン
(翻訳版)

文●D. リーダー
絵●J. グローブス
訳●朝倉輝一

4-7684-0081-7



⑧2 部落差別と人権Ⅱ
(日本オリジナル版)

文●川内俊彦
絵●貝原 浩

4-7684-0082-5



⑧3 ブレヒト
(翻訳版)

文●M. トス
絵●D. ブシニャック
訳●柴田耕太郎

4-7684-0083-3



⑧4 レヴィー・ストロース
(翻訳版)

文●B. ワイズマン
絵●J. グローブス

4-7684-0084-1



⑧5 フーコー
(翻訳版)

文●C. ホロックス
絵●Z. ジェヴティック
訳●白仁高志

4-7684-0085-X



⑧6 カント
(翻訳版)

文●C. ウォント
絵●A. クリモウスキ

4-7684-0086-8



⑧7 ハイデガー
(翻訳版)

文●J. コリンズ
絵●H. シリナ
訳●椋田直子

4-7684-0087-6



⑧8 スピルバーク
(日本オリジナル版)

文／絵●橋本 勝 4-7684-0088-4



⑧9 記号論
(翻訳版)

文●P. コブリー
絵●L. ジャンス
訳●吉田成行

4-7684-0089-2



⑨0 数 学
(翻訳版)

文●Z. サーダー+J. ラヴェッツ
絵●B. V. ルーン

4-7684-0090-6



⑨1 西田幾多郎
(日本オリジナル版)

文●大澤正人
絵●田島董美

4-7684-0091-4



⑨2 部落差別と宗教
(日本オリジナル版)

文●川内俊彦
絵●貝原 浩

4-7684-0092-2



⑨3 司馬遼太郎と「坂の上の雲」
(日本オリジナル版)

文●中島 誠
絵●清重伸之

4-7684-0093-0



⑨4 六大学野球
(日本オリジナル版)

文●佐藤文明
絵●竹内久普

4-7684-0094-9



⑨⑤神道 (Shintoism)
(日本オリジナル版)

文●菅田正昭
絵●森本清彦 4-7684-0095-7



⑨⑥新選組
(日本オリジナル版)

文●佐藤文明
絵●ふなびきかずこ 4-7684-0096-5



⑨⑦チョムスキー
(日本オリジナル版)

文●D. コグズウェル
絵●P. ゴードン
訳●佐藤雅彦 4-7684-0097-3



⑨⑧ヤマトタケル
(日本オリジナル版)

文●鈴木邦男
絵●清重伸之 4-7684-0098-1



⑨⑨住基ネットと人権
(日本オリジナル版)

文●藤田 悟
絵●ふなびきかずこ 4-7684-0099-X



⑩⑩ユダヤ教
(翻訳版)

文／絵●C. スズラックマン
訳●中道久純 4-7684-0100-7



⑩①ハンナ・アーレント
(日本オリジナル版)

文●杉浦敏子
絵●ふなびきかずこ 4-7684-0101-5



⑩②誤解だらけの個人情報保護法
(日本オリジナル版) ♠

文●藤田 悟
絵●ふなびきかずこ 978-4-7684-0102-6



⑩③北一輝の革命
(日本オリジナル版)
(オリジナルCD付) (59分)

文●松本健一
絵●ふなびきかずこ 978-4-7684-0103-3



⑩④民俗学の愉楽
(日本オリジナル版)
(オリジナルCD付) (53分)

文●谷川健一
絵●清重伸之 978-4-7684-0104-0



⑩⑤世界を変える非暴力
(日本オリジナル版)
(オリジナルDVD付) (69分)

文●阿木幸男
絵●橋本 勝 978-4-7684-0105-7



⑩⑥満洲国 (Manchuria Studies)
(日本オリジナル版)

文●川村 湊
絵●辻下浩二 978-4-7684-0106-4



⑩⑦労働者の味方マルクス
(日本オリジナル版)

文●橋爪大三郎
絵●ふなびきかずこ 978-4-7684-0107-1



⑩⑧吉田松陰
[増補新装版]

文●三浦 実
絵●貝原 浩
解説●鈴木邦男 978-4-7684-0108-8

フォー・ビギナーズ・サイエンス

FOR BEGINNERS SCIENCE

科学の時代と言われた 20 世紀。21 世紀に向けて先端科学の成果が必ずしも人類の未来を見定めたものではないのでは？ という反省がある。本シリーズは健康を中心に、私たちが日常的に享受している科学の成果を根本から問い直し、安全な生活を提案しようとして企画された。

A 5 判変型 176 頁 各 1500 円＋税



①電磁波

文●天笠啓祐
絵●勝又 進

4-7684-1201-7



②遺伝子組み換え (食物編)

文●天笠啓祐
絵●あべゆきえ

4-7684-1202-5



③新築病

文●郡司和夫
絵●日高眞澄

4-7684-1203-3



④誰もがかかる化学物質過敏症

文●渡辺雄二
絵●熊谷さとし

4-7684-1204-1



⑤遺伝子組み換え動物

文●天笠啓祐
絵●あべゆきえ

4-7684-1205-X



⑥最新 危ない化粧品

文●日本消費者連盟
絵●武内理央

4-7684-1206-8



⑦遺伝子組み換え イネ編

文●天笠啓祐
絵●あべゆきえ

4-7684-1207-6



⑧プラスチック

文●三島佳子／日本消費者連盟監修
絵●あべゆきえ

4-7684-1208-4



⑨資源化する人体

文●粥川準二
絵●あべゆきえ

4-7684-1209-2



⑩最新 危ない水

文●上野英雄
絵●竹内久普

4-7684-1210-6



⑪最新 危ないコンビニ食

文●山田博士
絵●熊谷さとし 4-7684-1211-4



⑫アレルギーと楽しく生きる

文●赤城智美
絵●清重伸之 4-7684-1212-2



⑬歯で守る健康家族
歯育・食育・治療の決め手

文●丸橋 賢
絵●ふなびきかずこ 4-7684-1213-0

シリーズ 藩物語

日本的思考の原点ともいえる江戸時代の再評価が近年盛んになっていきます。そのころは「藩」と呼ばれる半独立公国が各地にあり、それぞれの文化と人材を育成していました。その「藩」独自の家風や文化を探り、そこに住む人々の暮らしを中心に、「藩」の成立から瓦解までの物語とその藩の特色、その後の人材を追うシリーズです。

A 5 判変型 208 頁 各 1600 円＋税

長岡藩

稲川明雄 著

4-7684-7101-3

独自の文化・歴史と生活が「ひと」を育てた「藩」の源流を探り日本人の心に宿る「藩風」を感じるシリーズ第1弾。長岡藩の歴史・人・事件・戦い・風物も入れ、長岡藩の「匂い」を探る。江戸時代全国で72、3位の中藩ながら「武装中立」を旗印に維新を戦い破れ・再興した藩の物語。

会津藩

野口信一 著

4-7684-7102-1

「独自の文化・歴史と生活が『ひと』を育てた『藩風』を感じる」シリーズ第2弾。「ならぬことはならぬ」、愚直なまでに「至誠」を貫く。山国の厳しい風土の中で、純粹培養された会津精神。不屈の魂と人材論の藩風は現在も息づく。

高遠藩

長谷川正次 著

4-7684-7103-X

家康の鷹狩りに同行し新宿を拝領した内藤氏。本領は南信州の伊那谷3万3000石。大奥の女中絵島が流されたこともあるし、内藤氏の前の保科氏の時は、二代将軍秀忠の隠し子が藩主だったこともある。コヒガンザクラの郷は、高雅を今に残す。

米沢藩

小野 榮 著

4-7684-7104-8

米沢は200年以上にわたり伊達氏の本拠地だった。伊達政宗の代、奥羽六群のほぼ半ばに版図を拡大したが秀吉の奥羽仕置により、蒲生へ、そして上杉へと移る。120万石から15万石に減封されても家臣を残し、耐えた上杉家の物語。

新庄藩

大友義助 著

4-7684-7105-6

羽州・新庄藩6万8200石。中藩ではあるが、戸沢家は改易もなく維新まで247年間、藩を守り通した。ご多分に漏れず大きな飢饉に見舞われながらも文化の香を重んじ、連句大会や新庄祭りを残し、動植物と共生した自然への畏敬が活きる。

一関藩

大島晃一 著

4-7684-7106-4

仙台藩62万石の内から3万石を分領した。初代藩主建顕は幕府奏者番の要職につき、赤穂事件のとき浅野内匠頭が預けられ切腹したのは田村邸であった。小藩ながら自らの拠り所を学問に求めた、北緯39度外縁支藩の物語。

盛岡藩

佐藤竜一 著

4-7684-7107-2

鎌倉御家人の系譜をひく南部氏。陸奥国盛岡に城を構え（10万石から20万石に格上げ）、現在の岩手中西部と青森・秋田の一部を領した。度重なる飢饉・百姓一揆が続発し領民は貧困に苦しんだが、それをバネに自立の気風が生まれた。

松本藩

田中 薫 著

978-4-7684-7108-1

本州中央高地の中央に開けた松本盆地。南北はもとより、東国・西国の間に立つ戦略上重要な位置にある。国宝松本城を築城したのは石川氏。その後、次々と大名家がかわり、版籍奉還時は戸田氏6万石。郷土芸能など、雅の文化は今に続く。

小諸藩

塩川友衛 著

978-4-7684-7109-8

山本勘助の縄張りにより要害堅固な穴城に改築された小諸城。18世紀初頭より牧野氏1万5千石。北国街道の宿場町として栄え、梅花に表徴される誠実な生き方は、小諸人の人生哲学として今日まで継承されており、懐古園として城趾も残る。

山形藩

横山昭男 著

978-4-7684-7110-4

羽州の雄、最上義光が大規模な山形城を築城。幕閣譜代大名家が幾度も交替。次第に石高は減少。反面、紅花商人を中心に商都として発展。多くの文化人が輩出。鋳物などの地場産業は今も栄え、新しい祭りや郷土料理は全国に聞こえ高い。

村上藩 大場喜代司 著 978-4-7684-7111-1

北越の中心・村上。出羽街道・米沢往還道の起点でもある。要害の地は豊かな自然に恵まれ、多くの特産品で賑わう。「堅忍不拔」の言葉の通り、今も質実剛健にして自立心豊かであり、文武奨励した気風は三面川に跳ねる鮭の銀鱗の如く輝く。 ♠

高田藩 村山和夫 著 978-4-7684-7112-8

越後南部の要害。何度も大名家が替わったが、18世紀半ばからは、徳川四天王の一人を先祖に持つ榊原氏。芭蕉・十返舎一九などの文人が来高、多くの作品も残している。石油・天然ガス・温泉も滲出。漁業・港の往来でも栄えた。 ♠

弘前藩 本田 伸 著 978-4-7684-7113-5

「北狄の押え」弘前藩。海が運んだ人・物・文化「じょっぱり」津軽人。「あずまし」津軽の地の過酷な風土を生きてきた津軽人の心中には強情と優しさが同居する。4万7千石から10万石へ、北の守りの誇りは、踊りに歌に言葉に残り、輝く。 ♠

新発田藩 鈴木 康 著 978-4-7684-7114-2

下越の中心新発田。立藩から明治維新まで溝口氏の支配下にあった。5万石から10万石と家格が上がり、加役で財政窮迫を招くが、領主と領民との関係が程良く、一揆もなく穏やかな藩だった。戊辰戦争では、新政府に参加、町は戦火から免れた。 ♠

足利藩 菊地 卓 著 978-4-7684-7115-9

徳川綱吉の生母・桂昌院の実父弟本庄宗資が元禄元年に立藩。本庄家が一代限りで常陸笠間藩へ移封、のち戸田家が8代にわたって治めた。大坂定番や奏者番を努めた藩主もいる。維新戦争では新政府側につき、織物業を振興した藩の物語。 ♠

庄内藩 本間勝喜 著 978-4-7684-7116-6

譜代の名門酒井家が十一代247年に渡って藩主を勤めた庄内藩。十三万八千石から十六万七千石に。天保十一年に発令された三方領地替えを、主として庄内の領民が中止させたことも知られる様に領内は善政がしかけていたという藩の物語。 ♠

桑名藩 郡 義武 著 978-4-7684-7117-3

徳川四天王のひとり本多平八郎忠勝が関ヶ原の戦いで10万石立藩。その後松平家で何度か転封が繰り返された。幕末、会津藩主・松平容保の実弟・松平定敬が藩主で、時流に巻き込まれる。定敬は会津・箱館と転戦、最後まで義を通した。 ♠

久留米藩 林 洋海 著 978-4-7684-7118-0

田中・小早川に続いて有馬豊氏が21万石で封入。久留米城や町の整備、筑後川の治水に尽くす。飢饉等で財政難もあるが、高雅な文化を培う。戊辰戦争では新政府側に立ったが、明治政府の開国近代化に反対し、廃藩置県をまともに終焉した。 ♠

佐伯藩 宮明邦夫 著 978-4-7684-7119-7

秀吉「中国大返し」の時、森重政・高政兄弟が毛利方への人質となったにもかかわらず、毛利輝元から毛利の姓を賜った。城郭造りに長け、村上水軍とも昵懇の高政、家康によって佐伯の領主に。日本三大文庫「佐伯文庫」など学問に輝く藩。 ♠

二本松藩 糠澤章雄 著 978-4-7684-7120-3

松下・加藤家に続き丹羽家で200年以上続いた10万石の藩。他藩と比べ過酷な税負担だったが、一揆は少ない。理由は検地のルーズさと、藩政が窮乏農民の救済を誠実に実行し、育児手当を出し、人口の増加を図った福祉の藩だからだった。 ♠

土佐藩 宅間一之 著 978-4-7684-7121-0

戦国末期、長宗我部氏が土佐一国を統一し、四国全土をほぼ手中にした。が、関ヶ原の戦いで西軍に与し改易。替わって山内一豊が24万2千石で入封。上土と下土という独特の身分制度のもと、維新では多くの優れた志士を生む。 ♠

佐賀藩 川副義敦 著 978-4-7684-7122-7

龍造寺家の領知を継承して、35万7千石の領主となった鍋島家。支藩や龍造寺分家などの多くの自治領があった。長崎警備の不手際、台風などで財政は悪化した。が、科学技術の奨励で幕末は日本有数の軍事・技術力を有し、多くの人材が輩出。 ♠

福井藩 舟澤茂樹 著 978-4-7684-7123-4

藩祖は家康の二男、結城秀康。北陸安定の要・親藩福井藩。幕末の名君春嶽は、名門ゆえの苦悩を内包しつつ、開国尊王・敬慕の見識で動乱時には良く国政を支えた。藩校・明道館では俊才が輩出。多くの災害を切り抜け福井人は未来に飛翔。 ♠

古河藩 早川和見 著 978-4-7684-7124-1

古河は奥州街道、利根川渡良瀬川の拠点の要地で將軍日光参拝の宿舎ともなっていた。領主も10回以上替わり、どれも長続きしなかったが、1762年土井利里が入部してから、安定し7代が続き幕末を迎え、維新時は早くから新政府に与した。 ♠

岡藩 村上貞徳 著 978-4-7684-7125-8

「荒城の月」で有名な岡城（大分県竹田市）。小藩が多い豊後では最大の7万石。多くの人材が輩出しているが、画聖・田能村竹田が有名。藩主は熊沢蕃山を招いて澁漚事業を営んだり、藩校・武道修練所・医師養成所などをつくり人材育成をした。 ♠

上田藩 青木歳幸 著 978-4-7684-7126-5

信玄の家臣真田昌幸が上田城を築き上田が始まる。真田氏が去った後、仙石忠政が6万石で入封、上田藩が成立。のち(1706年)松平忠周が入封以後、幕末まで松平(藤井)家が治める。世界水準の養蚕業で栄え、維新時は新政府側に与し北越にも出兵。 ♠

宇和島藩 宇神幸男 著 978-4-7684-7127-2

南海に伊達あり!! 独眼竜・伊達政宗の長子秀宗が10万石を拝領、宇和島の伊達が始まる。氣候人情穏和な南伊予。仙台藩の軀を脱し、開明進取の気質を育んだ。殖産振興で力をつけ、幕末の賢侯宗城は国事に奔走し維持の原動力になる。 ♠

宇都宮藩 高德藩 坂本俊夫 著 978-4-7684-7128-9

門前町、宿場町で賑わった北関東の要衝の地・宇都宮。譜代大名が入れ替わり統治した。「釣天井」「淨瑠璃坂の仇討」等が有名だが、戊辰戦争では城も城下も焼け落ちた。困窮財政でも逸材が輩出。勤王翼幕の策、「山陵修補」で高德藩を生む。 ♠

水戸藩 岡村 青 著 978-4-7684-7129-6

家康の十一男頼房が初代藩主の徳川御三家。藩主は定府で將軍の補佐役であった。三十五万石だが実高は低く、財政難に苦しみながらも學問を好み、尊皇の氣風漲る。幕末、時代の先端を走り、天狗党の乱、桜田門外の変の多くの国士を生む。 ♠♠

松江藩 石井 悠 著 978-4-7684-7130-2

古代出雲の国とはほぼ同じ範囲を領有した松江藩。堀尾氏が富田から松江に拠点を移し、のち京極氏が1代で転封、家康の孫・松平直政が入封、233年支配。7代治郷(不昧)は財政改革し茶道・造園・菓子など江戸期を代表する文化の花を咲かせる。 ♠♠

松代藩 田中博文 著 978-4-7684-7131-9

初代真田信之は関ヶ原の戦いで父・弟と袂を分かち徳川につき、家名を残した。幕府からの執拗な普請要請、災害で蓄財は底をついたが、家老恩田木工の活躍で財政を再建、佐久間象山などの人材が輩出した信州最大の藩の物語。 ♠

伊予吉田藩 宇神幸男 著 978-4-7684-7132-6

西国の伊達・宇和島10万石、その連枝吉田藩3万石。お家騒動に発展した分地問題、三代藩主は忠臣蔵に名を残す。六代藩主の時に起きた武左衛門一揆を克服。佐幕運動と放蕩の八代藩主など、話題が多い宇和海に面した蜜柑の美味しい藩の物語。 ♠♠

守山藩 遠藤教之・遠藤由紀子 著 978-4-7684-7133-3

御三家水戸藩御連枝、守山藩2万石。領地が常陸国鹿島灘に面した松川領と陸奥国阿武隈山麓の守山領に分かれ、藩主は江戸定府で陣屋支配。領民は開達に生き、湯治・お伊勢参り・寺への駆け込みが盛んで、幕末は天狗党参加者も多かった。 ♠♠

中津藩 三谷紘平 著 978-4-7684-7134-0

黒田官兵衛の入部で始まる中津藩。細川・小笠原の後、譜代の奥平家が150年にわたって治めた。飢饉や災害で度々の一揆も起こったが、蘭学には目を見張るものがある。幕末は尊皇攘夷の志士や日本を近代化に導いた福澤諭吉などが輩出した。 ♠

府内藩 大野雅之 著 978-4-7684-7135-7

古代から、豊後の中枢府内城。鎌倉時代から続く大友時代の繁栄の誇りは脈々といまも受け継がれている。大友改易の後、藩主は目まぐるしく変わったが、大給松平氏が入部して安定。日田豪商・廣瀬家の支援で経済・文化に華が咲いた藩。 ♠

相良藩 中村肇・川原崎淑雄 著 978-4-7684-7136-7

現在の静岡県牧之原市にあった、海の幸山の幸に恵まれた氣候温暖な地。徳川四天王の一人、本多忠勝のひ孫・本多忠晴入部により立藩。その後、板倉・本多・田沼と続く。田沼意次時代は街道整備など善政を敷き、物産集散地としても栄えた。 ♠

福岡藩 林 洋海 著 978-4-7684-7137-1

播磨から秀吉・家康に仕えた軍師黒田官兵衛の子・長政が家康より拝領した52万石。武家社会の城下町福岡とアジアに開く町人の街博多津の双子都市、二つの異なる文化が融合し開放的な文化と多彩な人材を生み出し、福岡は今も発展し続ける。 ♠♠

川越藩 重田正夫 著 978-4-7684-7138-8

都心から1時間ほど、埼玉県のほぼ中央部に位置する川越。將軍家康や家光がしばしば鷹狩りに訪れ、幕府要職を歴任した大名が藩主となり「老中の城」といわれた。寺社や蔵造りの町並みなど、藩政時代の雰囲気濃厚な「小江戸川越」の物語。 ♠♠

刈谷藩

舟久保 藍 著 978-4-7684-7140-1

家康の母於大の里・刈谷。戦国期の激しい戦のなか、今川と織田に挟まれた厳しい地で、儉ましくも剛毅な気風を作り上げた、その素地の上に家康の甥、水野勝成が初代藩主に。個性豊かな九家が交替、土井家が維新を迎える。三河武士の物語。

大洲藩 新谷藩

芳我明彦 著 978-4-7684-7139-5

伊予の小京都。静かな佇まいの中に、人情厚く幻想的な朝霧と肱川あらしが有名で、特有な絶景を誇る。加藤家が13代250年間支配、幕末、逸早く藩論を統一、勤皇藩として名を馳せた。支藩新谷藩主は初代の二男で、共に幕末まで乗り切った。♣

秋月藩

林 洋海 著 978-4-7684-7141-8

九州最古の城下町、東西南北を結ぶ要路秋月。400年間、秋月氏が支配。秋月氏は秀吉に逆らい転封。黒田長政の三男・長興が五万石を分地され、秋月藩を立藩。筑前文化の中心藩として多くの偉人才能が輩出。最後まで、もののふの藩だった。♣

沼津藩

樋口雄彦 著 978-4-7684-7142-5

駿河の国の東部、関東と甲斐に通ずる要衝沼津。初期は徳川譜代大久保家、中絶後は水野家が治めた。田沼意次の時代は老中として権勢を誇る。明治維新で駿河が徳川家領地となり、上総菊間に転封。東海道の宿場と共に発展した城下町の歴史。

松前藩

濱口裕介・横島公司 著 978-4-7684-7143-2

日本最北の藩。寒冷で米作不能という苛酷な環境の中で「父祖の地」を守った松前家。異民族との窓口として交易が主財源で、幕府から北辺防備まで課せられた。家老で画家の鯛崎波響の活躍などがあり、転封の危機を乗り越え維新を迎えた。♣

生実藩

西村慎太郎 著 978-4-7684-7144-9

房総要衝の地、下総国千葉市に存在した藩。二代將軍徳川秀忠に仕えていた森川重俊が1627年、大坂夏の陣の功績により1万石で立藩し、陣屋を構えた。以降約250年に亘って森川氏が治めた。この地方には珍しく転封がなかった藩の一つである。♣

津山藩

岩下哲典 著 978-4-7684-7145-6

森蘭丸の末弟・森忠政が立藩。4代で改易。そのあと、徳川家康の二男・結城秀康の子孫が跡を継ぎ、將軍の息子を藩主に迎え「制外の家」の格式を守る。主家の誉れになるような天下に鳴り響く学問を日指した家臣。洋学の藩・津山の物語。

八戸藩

本田 伸 著 978-4-7684-7147-7

鎌倉期、甲斐の豪族南部氏が北奥の地に拠点を移し、戦国期には東北屈指の名家に成長。江戸時代、盛岡に本拠を移し、南部重信の弟直房が2万石で入部。凶作・飢饉を克服、海との交易で栄える。縄文土偶・中世の大鎧など文化財の宝庫でもある。

伊勢崎藩

栗原 佳 著 978-4-7684-7146-3

徳川最古で譜代筆頭の流れを汲む酒井氏が2万石で入部。酒井氏は日本最大数の郷学校をつくり学問を重んじた。浅間山の噴火で疲弊するが、朱子学に基づく善政で打ち壊しは皆無の藩である。日光例幣使道に沿った町は農・養蚕で栄える。

淀藩

常松隆嗣 著 978-4-7684-7148-7

今の淀は京都市伏見区淀と単に「町」だが、城は秀吉が築城し、水陸交通の要所で、「京近き名城」と言われた。三代將軍家光の乳母・春日局を家祖に持つ稲葉氏が入封し、宿場町としても栄えた。鳥羽伏見の戦いでの「淀藩裏切り説」の真相は？ ♣

三池藩(下手渡藩)

林 洋海 著 978-4-7684-7149-4

筑後国で1万石の外様小藩ながら幕府要職の藩主が多数輩出。文化3年(1806)幕府の政争に巻き込まれ、1600キロ離れた奥州下手度(福島県伊達郡)に転封。嘉永5年(1851)、また三池に半地復封し、「奥羽越列藩同盟」にも参加した数奇な藩の物語。

小田原藩

下重 清 著 978-4-7684-7150-0

小田原は、駿河・伊豆・相模の要。徳川譜代の大大久保家。城下町小田原で先祖の武功が首都江戸の藩屏たる強い自覚を生みだした。地震・噴火等の自然災害からの復興は人々を鍛え、二宮金次郎をはじめ多くの偉人を生み、栄えた宿場と城下の物語。♣

佐藤竜一 著

それぞれの戊辰戦争

【シリーズ藩物語・別冊】

978-4-7684-7500-3

1868年1月(慶応4年、9月8日明治に改元)から1年半の内戦、戊辰戦争。その戦いを各藩はどう戦ったのか。歴史の節目で常に中央政権から生け贄にされている、東の人々。戦いの意味を改めて問い、敗れた人々の誇り高い生き様を評価する。♣

シリーズ いま読む！ 名著

時代を超えても、本質的に優れた古典は現代の文脈の中で、常に新しい読み直しができるはずだ。本企画「いま読む！ 名著」シリーズは、大きく社会環境が変化している 21 世紀、特に日本の中でクローズアップされている事象や問題意識をベースにして古典的名著を読み直すことを目的としている。

四六判

遠藤 薫 著

廃墟で歌う天使

ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』を読み直す
978-4-7684-1001-1 四六判 248 頁 2200 円＋税

〈メタ複製技術〉時代に新たな輝きを放つベンヤミンの名著を出発点に、テクノロジーが生んだポップ・アイコン〈初音ミク〉や、宮澤賢治、クレーとの「時空を超えた共振」を論じながら新しい情報社会の光と影を解き明かしていく。 ♠

小玉重夫 著

難民と市民の間で

ハナナ・アレント『人間の条件』を読み直す
978-4-7684-1002-8 四六判 216 頁 2200 円＋税

全体主義を批判した『全体主義の起原』、「公共性」の重要性を強く打ち出した『人間の条件』。両者の哲学と政治の関係を再構築し、「難民性」と「市民性」の両方を一人の人間が抱え込む新しい時代の「公共的」な社会で生きる条件を提示。 ♠

岩田重則 著

日本人のわすれもの

宮本常一『忘れられた日本人』を読み直す
978-4-7684-1003-5 四六判 200 頁 2200 円＋税

『忘れられた日本人』と関連書籍を徹底参照し、本書を創出もあるハナシとして受け止める。進歩史観に基づく社会の中で、宮本常一が描き続けた漂白民的世界観の持つ肯定的生き方を、私たちが無くしてしまった〈わすれもの〉として捉えていく。 ♠

福岡 聡 著

「格差の時代」の労働論

ジョン・ロールズ『正義論』を読み直す
978-4-7684-1004-2 四六判 248 頁 2200 円＋税

サンデル『白熱教室』で大ブームになった〈正義〉を、先駆けること 40 年前に深く広く考えた『正義論』。その大著を先導役に、仕事、結婚、教育などいくつもの格差が循環的に絡まり合う現代社会で正義と働くことの意味を徹底的に考える。 ♠

美馬達哉 著

生を治める術としての近代医療

フーコー『監獄の誕生』を読み直す
978-4-7684-1005-9 四六判 248 頁 2200 円＋税

世界を大きく変化したグローバリゼーションと情報社会の進展によって、社会は近代医療の生み出す、新たな統治・監視社会へと向かっていく。「医療」という権力」は何を統治しようとしているのか。それに抵抗する術はあるのだろうか。

林 道郎 著

死者とともに生きる

ボードリヤール『象徴交換と死』を読み直す
978-4-7684-1006-6 四六判 232 頁 2200 円＋税

ポストモダンの先駆的思想家ボードリヤール。日本では 80 年代に隆盛した消費社会論の中でブームに。彼はグローバル化とテロリズムに関し晩年まで先鋭的な発言を続けたが、本書は消えてしまった「死」の問題を引き継ぐ意識で書いた。

出口 顕 著

国際養子たちの彷徨うアイデンティティ

レヴィ＝ストロース『野生の思考』を読み直す
978-4-7684-1007-3 四六判 248 頁 2200 円＋税

「家族のかたち」を国籍によって分類することが困難な今日のグローバル社会で、複雑化する国際養子たちのアイデンティティのよりどころは何か。『野生の思考』で検討されている様々なアイデアを用いて分析し、家族の形を考える。

伊藤宣広 著

投機は経済を安定させるのか？

ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般論』を読み直す
978-4-7684-1008-0 四六判 240 頁 2200 円＋税

ケインズはもはや時代遅れだと言われて久しいがそうだろうか。ケインズ経済学の根底にある投機の問題を考察することでマネーゲームに沸く現代社会に警鐘を鳴らしたケインズのメッセージを読み解く。『一般理論』と投機の相関性を解明。

田中和生 著

震災後の日本で戦争を引きうける

吉本隆明『共同幻想論』を読み直す
978-4-7684-1009-7 四六判 216 頁 2200 円＋税

戦前から敗戦を経て現在まで貫かれる経済的合理性。その根底を支えてきた原発産業。都合の悪い同胞は切り捨てることで生き延びていく日々の暮らし。そんな「共同幻想」のねじれを終わらせてこそ始まる「震災後日本」の姿を問う。

妙木浩之 著

寄る辺なき自我の時代

フロイト『精神分析入門講義』を読み直す
978-4-7684-1010-3 四六判 232 頁 2200 円＋税

フロイト心理学の頂点の本書は、まさに「大戦期の思想」だ。彼が発見した「ナルシズム—自己愛神経症」は多様な価値観の中で翻弄・分断され「寄る辺なき自我」となり、ナチの台頭を生み、ネット時代の現代まで続く群衆心理の原点だ。

井上義朗 著

「新しい働き方」の経済学

アダム・スミス『国富論』を読み直す
978-4-7684-1011-0 四六判 232 頁 2200 円＋税

アダム・スミスの『国富論』は「神の見えざる手」のフレーズで今でも注目されている。これを 21 世紀の貧困論として読んでみた。その視点を具体的社会問題に絞り込み「新しい働き方」を実現させるための「新しい企業」の姿を考えてみる。

井上隆史 著

「もう一つの日本」を求めて

三島由紀夫『豊饒の海』を読み直す
978-4-7684-1012-7 四六判 240 頁 2200 円＋税

命を賭して三島が挑んだ文学の極。誰もが繁栄を謳歌していた 1970 年、衝撃的な自決と共に生み出された三島の遺作は恐るべき洞察力で進歩主義の終着点「虚無の極北」を描いていた。そんな荒涼たる現代社会を生き抜く力が文学にはあるのか！

坂倉裕治 著

〈期待という病〉はいかにして不幸を招くのか

ルソー『エミール』を読み直す
978-4-7684-1013-4 四六判 216 頁 2200 円＋税

かきたてられる欲望に応じる付加価値の高い商品が、社会・産業構造の中心になる中で「とめどない期待」が生み出され、まほろしの幸福に翻弄される日々が続く。自身ですら制御できない怪物と対峙する為の安全装置を『エミール』から探る。

沖 公祐 著

「富」なき時代の資本主義

マルクス『資本論』を読み直す
978-4-7684-1014-1 四六判 224 頁 2200 円＋税

思想史上の大きな山脈のひとつ『資本論』が世に出て 150 年余り。私達は当時より豊かになったのだろうか。「資本主義的私有」が終わることなく、富・貨幣・賃金がつまかまえない存在になっていく。資本主義の極点で発想の転換を試みる。

障害者・保育・教育の総合誌

季刊 福祉労働

福祉労働編集委員会 編

3・6・9・12月の25日刊

福祉労働は、障害者（児）の自己決定権確立、差別された人びとの側に立つ、学校・地域社会での共生・共育、を編集の基本方針として、障害者や福祉労働者、教育労働者、障害児を持つ父母などの日常的関いの記録、障害児者をめぐる状況や制度の分析、海外の情報等を伝えます。

A5判 164頁 各1200円＋税（1～50号 各950円＋税）

- 創刊号 ●義務化される養護学校とは 4-7684-2201-2 [品切れ]
 2号 ●障害者と福祉労働者の地域闘争は可能か 4-7684-2202-0 [品切れ]
 3号 ●障害者運動の歴史と現在 4-7684-2203-9 [品切れ]
 4号 ●障害児保育・教育の実践と思想 4-7684-2204-7 [品切れ]
 5号 ●社会福祉施設 4-7684-2205-5 [品切れ]
 6号 ●養護学校義務化から一年 4-7684-2206-3 [品切れ]
 7号 ●障害者が地域に生きるとは 4-7684-2207-1 [品切れ]
 8号 ●健康診断——差別・抹殺の実態 4-7684-2208-X [品切れ]
 9号 ●世界の障害児教育 4-7684-2209-8 [品切れ]
 10号 ●養護学校義務化から二年 4-7684-2210-1
 11号 ●障害者と労働運動 4-7684-2211-X [品切れ]
 12号 ●障害者の結婚と性 4-7684-2212-8 [品切れ]
 13号 ●ボランティアってなんだ 4-7684-2213-6 [品切れ]
 14号 ●これから始まる国際障害者年 4-7684-2214-4 [品切れ]
 15号 ●保安処分と「精神障害者」解放 4-7684-2215-2 [品切れ]
 16号 ●障害者・子どもの自立と子育て 4-7684-2216-0 [品切れ]
 17号 ●介護の危機——障害者は訴える 4-7684-2217-9 [品切れ]
 18号 ●老い「のたれ死」の自由 4-7684-2218-7 [品切れ]
 19号 ●障害児の記録 親たちは訴える 4-7684-2219-5 [品切れ]
 20号 ●障害児・者の施設内生活はいま 4-7684-2220-9 [品切れ]
 21号 ●優生保護法改「正」と私たちの立場 4-7684-2221-7 [品切れ]
 22号 ●養護学校義務化から五年 4-7684-2222-5
 23号 ●くたばれ教育臨調 4-7684-2223-3 [品切れ]
 24号 ●変わる福祉行政・障害者運動 4-7684-2224-1 [品切れ]
 25号 ●ノーマライゼーションとは 4-7684-2225-X [品切れ]
 26号 ●もうひとつの地域運動を求めて 4-7684-2226-8 [品切れ]
 27号 ●選別・隔離からの自由 4-7684-2227-6 [品切れ]
 28号 ●追いつめられる子どもたち 4-7684-2228-4

29号	●新保守主義下の社会福祉	4-7684-2229-2 [品切れ]
30号	●学校を捨て学校にこだわる	4-7684-2230-6 [品切れ]
31号	●買う福祉と市民の選択	4-7684-2231-4
32号	●どうなる福祉と教育	4-7684-2232-2
33号	●長寿社会を生きる	4-7684-2233-0
34号	●養護学校義務化から八年	4-7684-2234-9
35号	●福祉施設——その労働と意識	4-7684-2235-7 [品切れ]
36号	●健康診断——子どもたちの周辺	4-7684-2236-5
37号	●中間年を迎えた国際障害者年	4-7684-2237-3
38号	●高校に挑む障害児たち	4-7684-2238-1
39号	●障害者と裁判	4-7684-2239-X [品切れ]
40号	●障害者はなぜ市民生活を阻まれるか	4-7684-2240-3 [品切れ]
41号	●HOW TO 生活保護	4-7684-2241-1 [品切れ]
42号	●養護学校義務化から十年	4-7684-2242-X [品切れ]
43号	●変わる？ 障害者の雇用と就労	4-7684-2243-8 [品切れ]
44号	●親離れ、子離れ	4-7684-2244-6
45号	●子どもをめぐる行政システムを視る	4-7684-2245-4
46号	●束縛と分離がすすむ——新学習指導要領	4-7684-2246-2
47号	●「子どもの権利条約」を読む	4-7684-2247-0 [品切れ]
48号	●障害者は問う——スポーツ・天皇制	4-7684-2248-9
49号	●アメリカ障害者法と日本の障害者	4-7684-2249-7 [品切れ]
50号	●世界の統合教育と日本の現状	4-7684-2250-0
51号	●施設有効活用法	4-7684-2251-9
52号	●自立生活カタログ	4-7684-2252-7
53号	●国障年十年をどう迎え、どう超えるか	4-7684-2253-5
54号	●教科書改訂と障害児者	4-7684-2254-3
55号	●挑戦——もう一つの供給主体、もう一つの場	4-7684-2255-1
56号	●文部省の「心の居場所」にまかせるな	4-7684-2256-X
57号	●福祉・医療における権利擁護のあり方	4-7684-2257-8
58号	●障害児が学校に入るとき、入った後	4-7684-2258-6 [品切れ]
59号	●建物・住まい・移動のアクセス権	4-7684-2259-4
60号	●アジア太平洋の障害者	4-7684-2260-8
61号	●話の祭典・知的障害者の国際会議	4-7684-2261-6
62号	●分離教育にしがみつく学校	4-7684-2262-4
63号	●もっと楽しく、自由に——ハンディをもつ人の旅	4-7684-2263-2
64号	●世界の障害者雇用と日本の現状	4-7684-2264-0
65号	●How to 自立の基盤づくり	4-7684-2265-9
66号	●世界の統合教育と日本の現状	4-7684-2266-7
67号	●変わる厚生行政への提言	4-7684-2267-5
68号	●施設の行方——「障害者福祉改革」の時代に	4-7684-2268-3

-
- 69号 ●阪神・淡路大震災と福祉のまちづくり再考 4-7684-2269-1
70号 ●養護学校義務化から17年——あらためて「共に学ぶ」とは 4-7684-2270-5
71号 ●権利擁護——障害者・高齢者・子ども 4-7684-2271-3
72号 ●生まれる前から学校に入るまで 4-7684-2272-1
73号 ●介護マンパワーは足りているのか 4-7684-2273-X
74号 ●揺らぐ学校、発信する子どもたち 4-7684-2274-8
75号 ●障害者と共に働く 4-7684-2275-6
76号 ●アジア・アフリカの障害者 4-7684-2276-4
77号 ●障害者プランはどこまで進んだか 4-7684-2277-2
78号 ●「共に」とインクルージョンをめぐって 4-7684-2278-0
79号 ●ケアマネジメントって何だ？ 4-7684-2279-9
80号 ●福祉激動——地域も自立も遠くなる？ 4-7684-2280-2
81号 ●障害者労働政策を見直す 4-7684-2281-0
82号 ●私が経験した障害児教育 4-7684-2282-9
83号 ●権利擁護制度とセルフアドヴォカシー 4-7684-2283-7
84号 ●医療・福祉における専門職の専門性とは 4-7684-2284-5
85号 ●介護保険と障害者 4-7684-2285-3
86号 ●世界の統合教育と日本の現状 4-7684-2286-1
87号 ●社会福祉法に変わって何が変わる？ 4-7684-2287-X
88号 ●参政権のバリアフリー 4-7684-2288-8 [品切れ]
89号 ●障害者・子どもへの虐待を止められるか 4-7684-2289-6
90号 ●「教育改革」のなかの「共に学ぶ」は 4-7684-2290-X [品切れ]
91号 ●精神医療は変わるか 4-7684-2291-8 [品切れ]
92号 ●情報のバリアフリー 4-7684-2292-6
93号 ●障害者権利法制定に向けて 4-7684-2293-4
94号 ●就学基準「見直し」と共に学ぶ 4-7684-2294-2
95号 ●触法心神喪失者医療観察法をめぐって 4-7684-2295-0
96号 ●新障害者プランに何を求めるか 4-7684-2296-9
97号 ●第6回 DPI 世界会議札幌大会 4-7684-2297-7
98号 ●教育基本法見直しと障害児教育 4-7684-2298-5
99号 ●もう入所施設はいらない 4-7684-2299-3
100号 ●支援費制度がスタートして 4-7684-2300-0
101号 ●増えつつける作業所・デイケアの行方 4-7684-2301-9
102号 ●特別支援教育・習熟度別学習の問題点 4-7684-2302-7
103号 ●障害児が学校に入るまで 4-7684-2303-5
104号 ●介助の社会関係 4-7684-2304-3
105号 ●支援費と介護保険統合の問題点 4-7684-2305-1
106号 ●見えてきた特別支援教育の正体 4-7684-2306-X
107号 ●障害者ときょうだい 4-7684-2307-8
108号 ●地方発・障害者差別をなくす取組み 4-7684-2308-6
-

-
- 109号 ● 検証・障害者自立支援法 4-7684-2309-4
110号 ● 能力差別と分離が進む「新しい時代の義務教育」 4-7684-2310-8
111号 ● 暮らしの中の医療的ケア 4-7684-2311-6
112号 ● 福祉専門職養成、福祉実習、福祉教育の実践 4-7684-2312-4
113号 ● 共に生きる関係を疎外する障害者自立支援法 4-7684-2313-2
114号 ● 教育基本法「改正」と特別支援教育 978-4-7684-2314-1
115号 ● 防災と障害者 978-4-7684-2315-8
116号 ● 障害者雇用・就労の現在とこれから 978-4-7684-2316-5
117号 ● 障害者権利条約をどう読み、どう活かすか 978-4-7684-2317-2
118号 ● 学テと特別支援教育が同時に始まった 978-4-7684-2318-9
119号 ● 介護労働の諸相 978-4-7684-2319-6
120号 ● 脅かされる生存、棄民政策からの転換のために 978-4-7684-2320-2
121号 ● 障害者権利条約と障害者雇用 978-4-7684-2321-9
122号 ● 改訂学習指導要領と教育の現在 978-4-7684-2322-6
123号 ● 情報保障・コミュニケーション支援 978-4-7684-2323-3
124号 ● 障害者権利条約から地域生活を検証する 978-4-7684-2324-0
125号 ● ソーシャルインクルージョンに向けて新政権への提言 978-4-7684-2325-7
126号 ● 新政権で教育はどう変わるか 978-4-7684-2326-4
127号 ● 地域生活支援のネットワーク 978-4-7684-2327-1
128号 ● 虐待の構造からどう抜け出すか 978-4-7684-2328-8
129号 ● 検証・障害者制度改革 978-4-7684-2329-5
130号 ● 今、地域で共に学び・生きる運動は 978-4-7684-2330-1
131号 ● 拡大する相談支援事業の実相 978-4-7684-2331-8
132号 ● 裁判と障害者 978-4-7684-2332-5
133号 ● 障害者差別禁止法・条例づくりの動向 978-4-7684-2333-2
134号 ● 子ども・子育て新システムで障害児の保育・療育はどうなる 978-4-7684-2334-9
135号 ● 東日本大震災と障害者 978-4-7684-2335-6
136号 ● 障害者虐待防止法と権利擁護 978-4-7684-2336-3
137号 ● 社会的事業所——労働を通じたソーシャルインクルージョン 978-4-7684-2337-0
138号 ● 政権交代とインクルーシブ教育の行方 978-4-7684-2338-7
139号 ● 障害者総合支援法スタート——何が問題？ どう変える 978-4-7684-2339-4
140号 ● 増やされる「発達障害」 978-4-7684-2340-0
141号 ● 検証・障害者制度改革の3年半 978-4-7684-2341-7
142号 ● 安倍政権の「教育再生」と「共に学ぶ」の行方 978-4-7684-2342-4
143号 ● 障害者権利条約と成年後見制度の課題 978-4-7684-2343-1
144号 ● 子ども・子育て支援新制度と障害児 978-4-7684-2344-8
145号 ● 多重・複合問題——地域と縦割りをどう超えるか 978-4-7684-2345-5
146号 ● 「共に学ぶ」ための合理的配慮とは 978-4-7684-2346-2
147号 ● 2015年度安倍政権の社会保障予算をどう読むか 978-4-7684-2347-9
148号 ● 「戦争でできる国づくり」への国民再統合——教育・医療・福祉・司法に見る 978-4-7684-2348-6
-

- 149号 ●権利条約・差別解消法ガイドラインから見る障害者政策の課題 978-4-7684-2349-3
- 150号 ●より早期からの多様な分離が進んでいる 978-4-7684-2350-9
- 151号 ●介護から社会が見える——超少子高齢社会を描く 978-4-7684-2351-6
- 152号 ●今なぜ、成年後見制度利用促進か？ 978-4-7684-2352-3
- 153号 ●相模原・障害者施設殺傷事件——何が問われているのか 978-4-7684-2353-0
- 154号 ●グローバリズムの中の教育改革——教育再生実行会議と学習指導要領改訂 978-4-7684-2354-7
- 155号 ●入所施設の現在——相模原障害者施設殺傷事件を受けて 978-4-7684-2355-4
- 156号 ●障害者の「働き方改革」 978-4-7684-2356-1

福祉労働編集委員会 編

季刊 福祉労働 157号

特集 障害者差別解消法・権利条約から障害者の暮らしを見直す

978-4-7684-2357-8

障害者差別解消法施行から一年 野沢和弘／アクセス分野における差別と合理的配慮 佐藤聡／日常生活分野 白井誠一郎／福祉サービス利用 今村登／障害者差別解消法で学校は変わったのか 橋本智子・高村リュウ／司法分野 崔栄繁／雇用・労働分野 清水建夫／北九州市の障害者差別解消支援地域協議会における議論から 林芳江／権利条約締約国審査と市民社会のパラレルレポート作りに向けての提起 石川准／インタビュー 黒岩祐治神奈川県知事

福祉労働編集委員会 編

季刊 福祉労働 158号

特集 学校における合理的配慮と親の付き添い問題

978-4-7684-2358-5

障害者差別解消法が問いかけるもの 南館こずえ／当事者から 海老原宏美・平本 歩／医療的ケアを必要とする子どもの付き添い課題と合理的配慮 下川和洋／高校受験時の配慮と「〇点」の壁 高村リュウ／ノートテイク者としてかわるなかで 樋口早苗／親の立場から 小田智子／障害のある教員だからこそできることは 山本宗平／合理的配慮で、どの子も共に学ぶ学校に 高木千恵子

福祉労働編集委員会 編

季刊 福祉労働 159号

特集 トリプル報酬改定から社会保障の今後を読む

978-4-7684-2359-2

社会保障制度の課題と2018年度予算の動向 駒村康平／制度の変質、決定づけたダブル改定 川名佐貴子／自立支援介護の是非を問う 三原岳／惨憺たる介護保険（在宅系）報酬改定 小島美里／障害者福祉報酬改定の概要と課題 茨木尚子／就労系分野における報酬改定 白杉滋朗／医療保険抜本改革のラストチャンス 千葉正展／生活保護の「特殊化」とナショナル・ミニマムの放棄 桜井啓太

福祉労働編集委員会 編

季刊 福祉労働 160号

特集 地域で暮らす足場としての住まいの問題

978-4-7684-2360-8

日本の「住まいの貧困」問題 稲葉剛／新たな住宅セーフティネット制度 東條旭／重度身体障害者と住まいの問題岡山・高橋・土田／知的障害者を巡る住まいの問題 末永弘／精神障がいのある人の住まい選びと引越し 日塔龍也／高齢者を巡る住まいの現状と法的課題 矢田尚子／帰るべき場所を失ったホームレスの人たちの居住支援の現場から 副田一郎／NPO＋住民協働の居住地の再生 鈴木雅之

福祉労働編集委員会 編

季刊 福祉労働 161号

特集 「感動ポルノ」——障害者は健常者に感動を与える存在か

978-4-7684-2361-5

文化・メディアにおける障害者表象をめぐる 好井裕明／日本文学に描かれた障害者像 荒井裕樹／「障害者×感動」の方程式の嘘っぽさ 玉木幸則／「アルビノは美しい」って言っちゃダメなの？ 矢吹康夫／オリンピックとパラリンピックを根本から問い直す 岡崎 勝／パラリンピックでまき散らされるパラアスリート像は障害者理解を広げるか 北村小夜／道徳教科書における障害者像 宮澤弘道

教育・子ども・保育

編集代表 名取弘文

日本の教育 1974 ～

日本の教育 1991

(残部僅少)

1974 ～ '78 は各 1200 円＋税

1979 ～ '92 は各 1300 円＋税

編集代表 名取弘文

日本の教育 1992

特集・子どもたちの周辺

4-7684-1142-8

A 5 判 160 頁 1300 円＋税

子どもの権利条約、私たちの取り組み・東伊興児童館／私は内申書の開示を求めた・森本未樹子／子どもの本屋八年目・江草元治／辻説法・子どもの権利条約・名取弘文／〔公開授業記録〕チュエルノブイリ、春・高橋卓志

編集代表 名取弘文

日本の教育 1993

特集・子どもの人権と生活をめぐって

4-7684-1143-6

A 5 判 168 頁 1500 円＋税

なぜ冤罪がなくなるのか。少年犯罪から・吉峯康博／レントゲン検診と健康診断・辰野純子／子ども医療の現場から・本谷研司／母子寮ってこんな所・矢野亮／学校教育事務コンピュータ化について・本間由利子／せっけん授業・滋賀環境生協

「現代子育て考」編集委員会 編

現代子育て考 そのⅠ

〔品切れ〕

4-7684-1119-3

四六判 240 頁 980 円＋税

育児は母親の手で＝育児母性天職論は女・子どもを狭い家庭の中におしこめ、一方「育児から解放」された母親達は性の差別・抑圧から解放を約束しうるのはか。差別や分業の被害者にも加害者にもなる事を拒否し共に生きあえる関係を模索する。

「現代子育て考」編集委員会 編

現代子育て考 そのⅡ

〔品切れ〕

女・男・子どもの関係性を問い直す

4-7684-1120-7

四六判 272 頁 980 円＋税

「共同保育」の実践を手がかりとし、家庭保育、保育行政の問題点、女・男・子どもの関係のあり方を問う。私の子育て考／保育行政を撃つ／共同保育の記録（大阪全日保育、東京あのね保育園、横浜とんとの家）／子育てをめぐる男と女。

「現代子育て考」編集委員会 編

現代子育て考 そのⅢ

〔品切れ〕

労働・子育て・人間解放

4-7684-1121-5

四六判 242 頁 980 円＋税

5 人の子を残して死んでいった母。一方子育てを安アパートのカベの中に、さらに冷たいコンクリートの施設に閉じこめた人。人と人とのやさしいつながりを分断する分業秩序。親と子の怨念の中、子育てを私たちの手にしっかりと取り戻す。

男の子育てを考える会 編

現代子育て考 そのⅣ

男と子育て

4-7684-1122-3

四六判 232 頁 980 円＋税

「仕事が命よ！」のツツパリで、日夜、仕事に馬車馬のように駆り立てられている男たち。一見理解ある顔を捨て本当に男も女も子供も共に生き合え、「協力者から共同の主体者」として登場するにはどうすればいいのか。

保育労働者交流会 編

現代子育て考 そのⅤ

〔品切れ〕

「保育」を問う

4-7684-1123-1

四六判 248 頁 1200 円＋税

子どもをあずける親も疲れ、あずかる保母も疲れきっている保育現場。保育園の内部から保母たちは訴える。生きるとは何か、を。(内容)長時間保育、育児の社会批判、障害児保育、労基法改悪、職業病、保育料値上、育休、時短、保育内容。

高橋 勉 著 教育・その混乱と崩壊 [品切れ] 国民教育運動批判 4-7684-3301-4 四六判 224 頁 1200 円＋税	国民の合意という言葉で支配権力と一体となって進められている国民教育運動を根底から批判する。教科書裁判と国民教育運動／聖職論・スト否定と国民教育運動／教師の地位状況と国民教育運動／人民に敵対する国民教育運動／他。
森下計二 著 教師・その日常と生存感 [品切れ] 4-7684-3302-2 四六判 272 頁 1350 円＋税	全身壊死。そういうことばでしか表しようのない教育現況。本書は、教師という仕事を自分の生命感の証として選んだ筆者が、戦後の「繁栄」と「泰平」に傷つきつつ、自己の生を探し求めていった軌跡を示す、魂の履歴書である。 ♣♣
森下計二 著 子ども・その「自閉」の構図 [品切れ] 4-7684-3304-9 四六判 232 頁 1200 円＋税	加速度的に子どもの世界が狭められている現代、子ども・親・教師はどんな生を強いられているか。病む子どもの内部に辿りつき、必死でいきようとする子どもらの生命の音を聞きとろうと刻明に記録しながら教師としての自らの生を探る。 ♠
五十嵐良雄 著 パトスから大学へ [品切れ] 4-7684-3303-0 四六判 248 頁 1300 円＋税	五木寛之・松本清張・吉本隆明の作品から、彼等の大学観・学問観を分析し、青年期に学問することの意味を問う。本書は、現在の大学や学問体系を否定的に捉えながら、独自の大学論を展開した、若き学徒に贈る青春論である。
五十嵐良雄 著 裁かれる大学 [品切れ] 4-7684-3305-7 四六判 240 頁 1500 円＋税	国家有用の人材養成のために設立された日本の大学の成立過程とその後の政策の変遷を論じ、併せて卒論規定の歴史と現状をみる。羽仁五郎・森毅・高橋暁正・長谷川宏の各氏との対談も収録し、現在の大学は何が問題なのかを明らかにする。 ♠
長谷川 宏 著 赤門塾通信 きのふ・けふ・あす 子どもたちとの知的共同体を求めて [品切れ] 4-7684-3306-5 四六判 272 頁 1700 円＋税	東大闘争を闘った著者が、大学に見切りをつけ学習塾を開く。単なる成績向上のための知識の授受の関係を越えようと、学校のカリキュラムにこだわらない授業、春秋の遠足、展覧会見学、夏期合宿、新春かるた会等を通し知的共同体を試行する。
大阪・15 教職員組合連絡会 編 みんな一緒に学校へ行くんや 「普通」学級で学ぶ「障害」児教育の実践 [品切れ] 4-7684-3307-3 四六判 312 頁 1500 円＋税	大阪・15 教組は、隔離・差別の養護学校義務化に反対し、「障害」児も「健常」児も共に育ち、学び、生きあえる関係を築くために地域・校区保障による教育を目指し、運動を推進している。本書は、その闘いの教師、父母、医師による実践報告。
大倉信子・植垣一彦 著 蟻の歩みよりも遅くして [品切れ] 「自閉症」の子を持つ親のたたかいと教師の記録 4-7684-3308-1 四六判 256 頁 1500 円＋税	〈自閉症〉というレッテルを貼る事によって一方的に子どもの処遇を決める幼稚園と小学校。本書は「教師」と医者への忠告に疑問を感じ悩み抜き、反抗する事によって始めて、のびやかな人間関係をさぐりあてた親と子の教師の感動の記録である。
長谷川 孝・太田垣幾也 著 学校から「教育」を追放しよう [品切れ] 内申書裁判から教育行政の本音を読む 4-7684-3309-X 四六判 256 頁 1500 円＋税	麴町中学が起こした“内申書処分”事件の裁判の第2審に対する都教委・区教委の準備書面は行政側の“教育”に対するホンネが語られている。その教育行政の主張から学校教育制度の現状を批判的に「読む」ことで、教育のあり方を考える。 ♠

全国学校事務労働組合連絡会 編

教育コンピュータ工場 [品切れ]

4-7684-3310-3 四六判 288 頁 1700 円＋税

山崎満喜子 著

メヒコの自由学校 [品切れ]

4-7684-3311-1 四六判 272 頁 1500 円＋税

柳 淑子 著

いきいきと生き抜くために

自立をめざす女子教育

4-7684-3312-X 四六判 296 頁 1500 円＋税

門野晴子 著

わが家の思春記 [品切れ]

高三の息子と中三の娘と

4-7684-3313-8 四六判 248 頁 1500 円＋税

学校事務労働者編集委員会 編

学校事務労働者

組合活動の原点に立って

4-7684-3314-6 四六判 248 頁 1300 円＋税

学校給食を考える連絡会 編

学校給食を自由選択に [品切れ]

4-7684-3315-4 四六判 210 頁 1300 円＋税

埼玉教育塾 編

学校をしっかりとつかむ [品切れ]

4-7684-3316-2 四六判 256 頁 1600 円＋税

大阪・15 教職員組合連絡会 編

輪切りはごめんだ

仲間を結ぶ進路保障

4-7684-3317-0 四六判 320 頁 1700 円＋税

野上 暁 著

おもちゃと遊び

4-7684-3318-9 四六判 240 頁 1400 円＋税

今日の教育現場では、授業、生徒の生活管理のコンピュータ化の波が押し寄せている。同時に、学校予算、給食、学校労働者の給与、旅費等、学校全体をコンピュータで管理するシステムが進行。この教育の総番号制には教育の未来はない。♣

父の留学のため、スペイン語もわからないままメキシコへ。娘まどかは、漫画家リウス氏の小さな自由学校の中で、暴力と軍隊と貧困のない社会をのぞむ、祭の大好きなたくましいメヒカーナに育っていった。魅力あふれるメキシコ体験記。

福岡県の三井高校では、10 年前から、性別役割分業を見なおし、性差別をなくし、男女平等の社会を築くために、「いきいきと生き抜く力を育てる」教育に、全校あげてとりくんできた。本書は、その教師たちの熱き女子教育の実践である。♣

万年「オール 3」の平凡なわが子も校内暴力・いじめ・リンチと「生徒は荒れている」とされる学校の中で様々な事件に巻き込まれる。本当に荒廃しているのは教師ではないか。強烈な教育批判をユーモアあふれる文章で綴った痛快な母親記。♣

教師専門論議を揚げ、教師以外の職員を実質的に切り捨てていく日本教職員組合(日教組)。学校内での教師と事務職員の日常的慣れ合いを断ち、事務職員自らの意思を主張し、日教組に抗して独自の小さな組合を作った若者達の日常との闘い。♣

学校給食を食品公害の問題点からだけでなく、生徒管理の一環としての「食の管理」の問題として考えてみた。同一時間に同一の食物を一齐に食することが生徒に与えるものは何なのか。弁当を持参している子ども、親、教師の手記も掲載。

教師は、常に生徒はやればできると考えている。やってもできない子がいると、生育歴だの身体性だの諸種の事情にかこつけて特異なケース扱いする。そして大多数の「できない」子らを「やらないからだ」と断じてはばからない。果してそうか。

同和教育、障害者教育に地域ぐるみで積極的に取り組んでいる大阪・15 教組の教師集団は、高校進学に対して、輪切りをしないですべての子どもの進路を保障する高校増設運動、地元校集中受験運動に取り組み、差別と闘う子どもを育てている。

著者が自らのおもちゃと遊びの自己史を語る中で、それらは大人の不可視の領域であり、子ども世界の裏文化のコミュニケーションでなければならないとし、現在の大人がいうおもちゃと遊びの復活は、子どもに対する欺瞞的善導意識だと批判する。♣♣

名取弘文 著 学校と子ども 〈新装版〉 4-7684-3319-7 四六判 272 頁 1650 円＋税	[品切れ]	子どもが入学して卒業するまでの学校空間における生活（入学式、始業式、教室、廊下、職員室、便所、行事、文房具、自然、友だち、先生、授業、卒業式等々）を通して立体的に学校とは、子どもとは何かを再点検し、新たな教育論を展開する。
斎藤次郎 著 子ども漫画の世界 4-7684-3320-0 四六判 288 頁 1600 円＋税	[品切れ]	戦後の子ども漫画をテーマ（SF 漫画論、少年漫画の倫理学、野球漫画論、ファンタジー漫画論、戦争漫画論、少女漫画論、漫画の中の親像、ギャグ漫画論）ごとに取り上げ、子ども達の新しいコミュニケーションとしての漫画を語る。 ♠♣
要倉大三 著 ひびきあう子どもたち 教育の原姿を求めて 4-7684-3321-9 四六判 256 頁 1500 円＋税	[品切れ]	戦後教育から今日までの教育を振りかえり、子どもと親、子どもと教師が「碎啄」しあう関係を求め、「あたりまえの社会であたりまえに生きる」統合教育の実践の中から現在の能力主義教育のひずみの根深さを問い続けた教師生活 40 年の軌跡。
エリーズ・フレネ 著／名和道子 訳 フレネ教育の誕生 4-7684-3322-7 四六判 224 頁 1500 円＋税	[品切れ]	1930 年代にフランスの一地方で展開されたフレネの教育がいま、注目されている。このフレネの生いたちを人生の同伴者たる妻・エリーズが詳細に記録する。フレネの民衆の生活に根ざした教育は、今日の日本の管理教育の対極を示している。
武田秀夫 著 このごろのきょうしざせつのでんまつ 当世教師廃業事情 4-7684-3323-5 四六判 208 頁 1500 円＋税	[品切れ]	教育とは、もっとも人間的な営みであるが故に、21 年間の教員生活にビリオドを打った、あるひとりの教師の廃業という決断に至るまでの自らの歩みを綴る。教育改革、学校荒廃が声高に叫ばれる現在、静かな波紋を呼びおこす一冊。 ♠
子どもの健康を考える会 編 今なぜ、学校カウンセリングか 〈新装版〉 4-7684-3396-0 四六判 272 頁 1800 円＋税	[品切れ]	今、世の中はカウンセリングばやり。10 年前から「会」では、不登校、いじめ等に対して学校へのカウンセリング導入など精神・心理治療で解決を計ろうとする文部省に対し異議を唱えてきた。その施策が強まる現在、再度問題を提起する。 ♠
『おもしろ学校の日』上映実行委員会 編 おもしろ学校家外授業 4-7684-3325-1 A 5 判 160 頁 1000 円＋税	[品切れ]	ナトセンの映画「おもしろ学校のいち日」が全国で大好評。それを教材に、柳田耕一、斎藤次郎、最首悟、林郁、田川律、ますのきよし、保坂展人、石川憲彦の講義録を収録。学校教育では味わえない新しい息吹きで、「教育、家庭科」を問い直す。
阿部靖子 著 進路の壁をのりこえて みんなで地元の高校へ 4-7684-3327-8 四六判 208 頁 1400 円＋税	[品切れ]	進路による輪切り教育をのり越えようと、高槻のある中学校 3 年のクラスで、被差別部落の生徒、在日朝鮮人生徒、障害児、そして健常児が共に地元の高校入学を目指し、お互いに語り合い、励まし合った日々を教師と生徒の「生」を通して綴る。
名取弘文 編著 通信簿と評価権 〈新装版〉 4-7684-3328-6 四六判 242 頁 1000 円＋税	[品切れ]	藤沢市の教師達が「差別・選別の価値体系」と指摘される教育体制の中で、通信簿と評価権にこだわり続け、生徒の自己評価による手づくりの通知票を出すにいたった試行、主張、それに対する権力の弾圧の赤裸々な記録。教育のあり方の原点。

毎日学生新聞 編
わいわい学級

4-7684-3329-4 A 5 判 184 頁 1400 円＋税

教師と子どもが共に作っていくべき教室が、教師の一方的権力によって管理の空間に変わっている。しかし、ここにそうではない教室がある。子どもと教師がわいわいやりながら共にいきいきと輝く。80 あまりの教室の実践記録と解説。 ♠

埼玉教育塾 編
文化としての学校 [品切れ]

4-7684-3330-8 四六判 224 頁 1800 円＋税

学校というものは或る「文化の型」を持たねばならないことはいくまでもない。外部の世界と交通しつつ、独自の文化を持っている。そこでは、組織体の構成員。教師、生徒等によって創り上げられる「文化性」の形成が問われている。 ♠

塚越敏雄・大塚三恵子 著
そしてぼくもいる [品切れ]

4-7684-3346-4 四六判 232 頁 1500 円＋税

ダウン症という「障害」をもった浩司君が小学校普通学級に入ってから起きる数々の事件と、それをめぐる教師、親、クラスメイトたちの対応と育ち合いを「連絡帳」を通して綴る。子どもの成長とは、学校、友だちとは、を教師と親が語る。 ♠

北村小夜 著
一緒にいいならなぜ分けた
特殊学級の中から
4-7684-3345-6 四六判 228 頁 1500 円＋税

「よりよい、手厚い教育」をと期待を抱いて始めた特殊学級担任。しかし、そこで子どもに言われた言葉は「先生も落第してきたの？」だった。以来 20 余年、分けられた子どもたちの無念と憤りを共に闘ってきた著者と子どもたちの記録。 ♠

小熊 均 著
伝、悪ガキ教師の二十八年
4-7684-3360-X 四六判 256 頁 1700 円＋税

戦後、農村映画製作を志したが、飽きたらず教職に。平塚の農業高校の分校でミカン園を造りながら 11 年間勤める。その後より厳しい岩手県へ転任して退職まで 17 年間、牧場を営みつつの教師生活を生徒とのユニークな出会いを通して語る。 ♠

千葉学校労働者の会 編
教育への逆光線 [品切れ]
教育と労働のはざまから
4-7684-3357-X 四六判 264 頁 2200 円＋税

教師の権力的存在に後めたさを感じる思いを単に個人的な倫理性の問題にとどめず、教育関係そのものの変革の問題として、そしてまた教育現場における労働運動の問題として追求してきた千葉の学校労働者の会の軌跡と展望を伝える。

教育コンピュータ研究会 編
コンピュータの中の子供たち [品切れ]
4-7684-3364-2 四六判 232 頁 1600 円＋税

学校がまるで工場のようになっている、と、『教育コンピュータ工場』（1981 年）で指摘したことは、コンピュータ市場として産業界の期待のもとに、現在益々拡がり深まりつつある。教育コンピュータ下の授業・子供たちの実態に迫る。

鈴木みち子 著
ひたすらあいしこよなくめでつものまにやいなくなる
溺愛酷愛現代親子事情 [品切れ]
4-7684-3326-X 四六判 256 頁 1500 円＋税

十代の子どもたちは少しずつ親からの自立をめざして、ツッパリ、家出、非行、登校拒否をしながらも自分の道を探し求めている。だが親は我子可愛いさのあまり、子どもの本当の姿が見えない。7 人の子どもの出会いから彼らの本音に迫る。

鈴木みち子 著
アル中予備軍の子供たち
4-7684-3366-9 四六判 216 頁 1500 円＋税

アルコール依存症の子供たちが増えているという。『〇〇白書』には書かれていない、アルコール中毒予備軍の子供たちの悩める心の中の揺れ動き、軽口をたたき合ううちに見えてきた彼らの胸のうちを POP な会話で解き明かす、HOT な本。 ♠

篠原睦治 著

「障害児」教育と人種問題 [品切れ]

アメリカでの体験と思索

4-7684-3337-5

四六判 248 頁 1600 円＋税

長年、「障害児」教育に関わった著者が、アメリカの「共生」に興味を持ち、人種差別、障害者差別を否定する中から生まれた統合教育の実態を探るために1年間留学。その実態は個人の能力主義による白人優位社会への分離の教育であった。♠

篠原睦治 著

「障害児の教育権」思想批判 [品切れ]

関係の創造か、発達の保障か

4-7684-3343-X

A 5 判 224 頁 3000 円＋税

今、「障害児」と呼ばれる子どもも近所の子どもと共に当り前に「共生・共学」しようという流れが大きくなっている。本書は、養護学校義務化とそれを支える全障研の「発達保障・教育権保障」思想を根拠から批判するために書かれたものである。

篠原睦治 著

共生・共学か発達保障か [品切れ]

'80年代日教組全国教研の争論

4-7684-3374-X

四六判 256 頁 2200 円＋税

「障害児の発達保障」論一元支配から「共生・共学」を願う理論・実践との激しい論争の場として揺れ動いてきた障害児教育分科会。その論争の焦点と教研の流れを、「共生・共学」をめざす立場から「助言者」として関わってきた著者の総括。

篠原睦治 編著

関係の原像を描く

「障害」元学生との対話を重ねて

978-4-7684-3504-5

A 5 判 248 頁 2000 円＋税

手話を習得した盲学生、スロープ化に反対した車イス学生、口話をやめよう学生…。「障害」者たちは閉じていた大学を開き、生き合い学び合う大学を探ってきた。彼らとせめぎ合った教員が、元学生たちと36年間の軌跡をたどる証言記録。

佐野さよ子 著

ぼく高校へ行くんだ [品切れ]

「0点」でも高校へ

4-7684-3368-5

四六判 208 頁 1500 円＋税

現行の入試制度では点の取りようのない「障害児」佐野雄介が、都立全日制高校に挑む。地域の子もたちと共に通い、「学び」、過ごしてきた幼稚園・小・中学校時代、三年間の都立明正高校自主登校の記録を通して、偏差値輪切り教育を問う。

高橋 勉 著

学校礼記

4-7684-3369-3

四六判 216 頁 1600 円＋税

「起立・礼」「前へ、ススメ」「ナラエ」軍隊ばりの号令、儀式がはびこり、「日の丸・君が代」の強制とともに国家権力の支配が強化されようとしている学校現場。そのような中での「子どもが主人公」の学校づくり、「礼」の創出をめざす。♠

久田邦明 著

教える思想

4-7684-3370-7

四六判 352 頁 2800 円＋税

戦後思想とは、教える思想だった。その夢と挫折を、敗戦直後の教育文化運動から、80年代の教育問題、ベストセラーまでを主題に、明らかにする。戦後教育の残像、戦後教育論の諸相、戦後教育と教育文化運動、学ぶことの意味、を考える。♣♣

久田邦明 著

生涯学習論

大人のための教育入門

978-4-7684-3503-8

四六判 256 頁 2200 円＋税

学校モデルだけが唯一の教育ではない。江戸時代より各地に点在した茶堂という地域の集会所を舞台に教え・学び合う「茶堂文化」を再発見し、全ての人に「居場所」を提供した学習空間を詳解。今日のコミュニティカフェの動向も伝える。♠

久田邦明 著

生涯学習の展開

学校教育・社会教育・家庭教育

978-4-7684-3539-7

四六判 352 頁 3000 円＋税

学校教育は制度疲労状態である。そもそも近代的な学校教育モデルが、「国民」の形成と「産業化」という国家の要請に基づき構築されたモデルであり、現代にはそぐわないと指摘。ポスト学校教育モデルとしての教育モデルを考察する。

ハンス・ダーデル 著／藤崎千代子他 訳
大学紛争の社会学
パリ五月革命以降の欧米の大学はいかに変革されたか
4-7684-3371-5 A 5 判 632 頁 15000 円＋税

子どもの権利条約の趣旨を徹底する研究会 編
子どもの権利条約と障害児
分けられない、差別されないために
4-7684-3379-0 A 5 判 112 頁 1000 円＋税

子どもの権利条約の趣旨を徹底する研究会 編
統合教育へ一歩踏み出す
条約・規則・宣言を使って
4-7684-3424-X A 5 判 168 頁 1600 円＋税

五十嵐良雄 著
教育カルトの時代
4-7684-3381-2 四六判 224 頁 1800 円＋税

五十嵐良雄 著
教育関係法規概論（解説）
4-7684-3383-9 A 5 判 224 頁 3000 円＋税

五十嵐良雄 著
J・J・ルソーの教育論 [品切れ]
4-7684-3398-7 A 5 判 176 頁 2500 円＋税

山下恒男 著
子どもという不安
情報社会の「リアル」
4-7684-3385-5 四六判 352 頁 3000 円＋税

北村小夜 編
障害児の高校進学・ガイド [品切れ]
「うちらも行くんよ！」14 都道府県の取り組み
4-7684-3386-3 四六判 352 頁 2200 円＋税

K-G. アールストレーム 他 著／二文字理明 編訳
スウェーデンの障害児教育改革
特別指導の歴史と現状
4-7684-3390-1 A 5 判 272 頁 4000 円＋税

1960 年代後半、パリ 5 月革命に端を発した学生達の自由への闘いは全ヨーロッパを覆った。この闘争から学んだ欧米(西ドイツ、アメリカ、イギリス、イタリア、スウェーデン等 11 カ国)の教授・学者達が未来への大学改革を構想した報告書。 ♠

子どもを権利と自由の主体と規定し、「差別の禁止」「意見表明権」「障害児の権利」「親の指導の尊重」「親からの分離禁止」等をもり込んだ権利条約を障害児の視点から読み、教育・保育・福祉・医療・子どもとおとなの関係をとらえ返す。 ♠♣

子どもの権利条約、障害者の機会均等化に関する基準規則、ユネスコのサラマンカ宣言にみるように、障害をもつ子どもそうでない子ども共に学ぶ教育は世界の潮流である。分離教育の基本を崩さない日本の障害児教育を統合教育に転換させる提言。

教育熱狂時代ともいべき現代。教育の目的と目標を見据えて、現代の教育に発言する。自らの体験を踏まえ、何が必要なのかを説く。自分達教育を見つめようと独自の取り組みを続ける各地の教員集団を紹介しながら教育の本質を鋭く突く。

戦後日本教育の出発点となった第一次米国対日教育使節団報告書から、その後アメリカの対日政策の変更と共に教育状況も変化していき、第二次使節団に至る。当時の状況をふまえ、戦前戦後の教育関係法規を網羅した。教育系学生必携の書。

今や教育学の名著として名高いルソーの『エミール』も出版当時は危険思想として焚書となり、ルソー自身もお尋ね者となった。真の教育の創造のため我が身の危険をも顧みず、因襲と戦い続けた一人の思想家を『エミール』を中心に読み解く。

現実の子どもとオトナが抱えている子ども観との亀裂が修復不可能なほど拡大している中で、オトナに不安を生じさせる存在となっている子ども。その「子どもという不安」を通して、オトナの不安についても考えてみた子ども・オトナ論。 ♠♣

障害があっても、遅れていても、小中学校を共に過ごした同級生達があたり前に高校へ行くように、私たちも高校へ行きたい。この願いに応じて、障害児の高校進学を実現するための入試方法の改善、入試選抜制度に風穴をあける取り組みの数々。

高福祉高負担の「スウェーデン型福祉」を維持するにあたり、スウェーデン国民はいかなる教育を築いてきたか。障害を持つ児童・生徒の特別なニーズに対応するとされる「特別指導」の歴史的展開と現状を批判的に考察し、統合の歩みを研究。

斎藤文男・柳 淑子 編著

子どもたちは平和をつくれるか

4-7684-3388-X 四六判 240 頁 1700 円＋税

戦争を知らない教師たちは子どもたちにどう平和をつくる力を育てればよいのか。いえ、その前に教師自身が戦争と平和をどのようにとらえたらよいのか。湾岸戦争後、戸惑いと模索の平和教育のあり方を実践例を通して教育現場から再点検する。

石毛鏡子 著

育ち合いの保育 [品切れ]

保育に自由と自治を

4-7684-3358-8 四六判 232 頁 1600 円＋税

保育は誰のため、何のためにあるのか。保育の商品化、産業化、保育所の公私格差、子育てを再び家庭(母親)に押し戻そうとする家庭基盤の充実構想等の問題を検証しながら、子どもと親、保育者、住民の参加と共同の下で育ち合う保育を志向する。

名取弘文 著

世界と交信する子どもたち

4-7684-3391-X 四六判 288 頁 2200 円＋税

ナトセン(名取)が家庭科を受け持って十数年。インディアン、アイヌ、モザンビーク、ヤップの人の生活振りを教科書や指導要領にとらわれず、文通やおしゃべり、映画、料理を交えた生き生き授業。教師が主体的に向き合えば学校も楽しい。

名取弘文 著

ここまでやったぞ! ナトセン授業

バクハツするおもしろ総合学習

978-4-7684-3465-9 四六判 256 頁 1800 円＋税

小学校で男の家庭科教師の先鞭を付けた名物教師が、多くのゲストを招く公開授業の秘密を全面公開した。「人間はひとりでは生きられない」「家から世界へ」をモットーに名取さんの授業の仕方がよく分かる。授業を楽しむ教師必読の書。 ♠

岡本 操 著

「障害」児教育から教育をみる

担任の手記から

4-7684-3394-4 四六判 212 頁 1800 円＋税

「障害」児の学習権を保障する場として新設された特殊学級担任に、自ら進んでなった著者。数々の取り組みを通して子ども、教師仲間、親と関わるなかから、〈学級の壁〉が子どもたちを分けられた存在に固定化していく現実につき当たる。

北村小夜 編

地域の学校で共に学ぶ

小・中・高校、養護学校 教師の実践

4-7684-3404-5 四六判 392 頁 2500 円＋税

障害があっても、遅れていても、子どもは子どもの中で学び、育つ。小・中学校そして高校でも、共に学ぶことを求める流れは止まらない。授業・評価、行事(運動会など)、具体的な20の実践例から、分けない、共に学ぶ内実を紹介。 ♠

北村小夜 著

能力主義と教育基本法「改正」

非才、無才、そして障害者の立場から考える

4-7684-3442-8 四六判 232 頁 2200 円＋税

100人に1人のエリート養成のための能力主義教育、戦争でできる「ふつうの国」づくりのための愛国主義教育は誰のための教育「改革」なのか。「お国のために役立たない」と排除された側から「改革」の本質を糾す。

「日の丸・君が代」強制に反対する神奈川の会 編

戦争は教室から始まる

元軍国少女・北村小夜が語る

978-4-7684-3485-7 A5判 184 頁 1700 円＋税

修身教科書と道徳「こころのノート」、いわれは海の子」「海」など軍国主義的歌詞を変えて今も歌い継がれる唱歌、「お国のために」の皇民化教育と能力主義教育など、教育における「戦争でできる国」づくりの思想の継続性を豊富な資料を基に解説。 ♠

志澤佐夜 編

「共に学ぶ」教育のいくさ場

北村小夜の日教組教研・半世紀

978-4-7684-3509-0 A5判 180 頁 1700 円＋税

一教師として反差別・共に学ぶ教育を求めて通い続けた日教組教育研究集会(退職後、93年から01年までは障害児教育分科会の共同研究者として参加)の1959年から2006年までの記録。変容する教育現場・教育労働運動の貴重な証言。

全米ソーシャルワーカー協会 編／山下英三郎 編訳
スクールソーシャルワークとは何か
その理論と実践 [品切れ]
4-7684-3412-6 A 5 判 240 頁 3200 円＋税

いまなぜ学校教育は危機を迎えているのか。この問題に早くからとりくんできたアメリカが創出したスクールソーシャルワークという視点を、11の論考から明らかにする。生徒・地域・教員・学校の互いのかかわりから解決の方策を考える。

野本三吉 著
子ども観の戦後史 〈増補改訂版〉
978-4-7684-3472-7 四六判 576 頁 3800 円＋税

敗戦後の日本人の「児童観」の変化と子ども自身の生活の変遷を、子どもを捉えた戦後の書籍を通して探った。保護育成の子ども観を解体し、社会的存在としての子ども像創出に挑戦した画期的な書。今回新たに自立支援の問題を付け加えた。♠

野本三吉 著
沖縄・戦後子ども生活史
978-4-7684-3507-6 四六判 480 頁 3600 円＋税

地域社会のつながりが強く、支え合い助け合う相互扶助の精神が強い沖縄でも、子どもに関する事件が本土なみに増加している。戦後の沖縄史を子どもの生活を基本に置いたところから見つめ直すことを目的として、本書は書かれた。♠

野本三吉 著
〈繋がる力〉の手渡し方
離陸の思想、着地の思想
978-4-7684-5799-3 四六判 288 頁 2300 円＋税

地域から暮らしの共同性をつくりあげていくことの重要性を痛感した著者が、沖縄に移住してから14年間で体感した「そこで暮らす人々が共に協力し、互いに信頼して支え合う暮らし」を通じて得た、新たな社会のイメージを生き活きと描く。♣

大倉 直 著
命の旅人
野本三吉という生き方
978-4-7684-5728-3 四六判 264 頁 2000 円＋税

東京空襲で妹を亡くす原体験。横国大卒で教員に、のち山谷、沖縄等全国放浪。市職員として寿で日雇い労働者に寄り添う。横市大を経て沖縄大教員に、14年春退職。野生の熊の激しさを持ちながら、出会った人に真の安らぎを与える男の半生。♠

小笠原和彦 著
学校はパラダイス
愛知県・緒川小学校オープン教育の実践
4-7684-3423-1 四六判 248 頁 2000 円＋税

校内暴力・不登校・学級崩壊…。学校教育再生のため「生きる力」を育て、「個性重視」を中教審は打ち出したが、20年も前から、教室の壁を取り払い、個性化・個別化教育、総合学習を実践し、子ども達が楽しいと言っている学校がある。♠

堀正嗣 監訳
ディスアビリティ現象の教育学
イギリス障害学からのアプローチ
978-4-7684-3531-1 A 5 判 312 頁 4000 円＋税

関西インクルーシブ教育研究会が、イギリス障害学の研究成果（『障害と社会』掲載の教育関係論文10本）を翻訳紹介。障害児に対する排除や不利益をもたらすディスアビリティ（社会的抑圧）構造を解明・克服し、インクルーシブ教育の意義を示唆。

松本健一 著
親ばなれ留学メール日記
高校からのニュージーランド
4-7684-6867-5 四六判 224 頁 2000 円＋税

中学で学校になじめなかった16歳の青年が、ニュージーランドの高校に留学した。その体験を毎日、日記としてメールで両親に送った記録。異国での生の日常や生活の細かな様子が伝わり、留学案内・青年の成長記録として、留学希望者・親の必読書。

小玉重夫 著
シティズンシップの教育思想
4-7684-7906-5 四六判 184 頁 1800 円＋税

〈市民〉のあり方を思考する「シティズンシップ」をキー概念として、教育思想史を読み直し、教育学の最前線で行なわれている議論をわかりやすく紹介。新しい公教育としての〈市民〉への教育を構想する画期的な教育学入門。白澤社刊

日永千映子 著

中学生は猿からいちばん遠い

補習塾のセンセが見た中学生の素顔

4-7684-3440-1

四六判 232 頁 2100 円＋税

12 歳・13 歳・14 歳——まるで荒れる中学生が日本を破壊しているような報道ぶりが目立つ中、もっとも中学生に近い立場の塾講師が目撃した、全く意外な真相とは何か？ 中学生たちの真の姿を通し、病める親たちを支える中学生たちの真心を描く。 ♠

M. S. プラカシュ、G. エステバ著／中野憲志 訳

学校のない社会への招待

〈教育〉という〈制度〉から自由になるために

4-7684-3445-2

四六判 248 頁 2300 円＋税

「不登校」よりもラディカルに学校という制度から教育を取り戻す試みが始まっている。いま世界の見えざる潮流となっている非学校教育と脱教育社会の本質を捉え、公的監視や官製知識から自由になり、学びの可能性を広げている運動を詳解する。

木村涼子・小玉亮子 著

教育／家族をジェンダーで語れば

4-7684-7912-X

四六判 208 頁 1600 円＋税

「女らしさ」「男らしさ」を大切に、という言説からは、性別による社会的位置の優劣が見えてくる。だからこそジェンダーの視点は欠かせない。気鋭の教育研究者 2 人が、子どもをめぐる身近な事象をジェンダーの視点で読み解く。 白澤社刊

山下英三郎・石井小夜子 編

国民教育文化総合研究所 15 周年記念ブックレット 1

子ども虐待 今、学校・地域社会は何ができるか

4-7684-3460-6

A 5 判 88 頁 1000 円＋税

児童虐待の現状を検証し、子育ての孤立化等の親子関係・家庭の養育力の要因にとどまらず、より広く虐待をとらえ、学校現場における虐待、不登校や非行との関連にも注目する。その上で子どもの視点からの対策を提言する。

長谷川 孝 編

国民教育文化総合研究所 15 周年記念ブックレット 2

〈まなび〉と〈教え〉 学び方を学べる教育への希望

4-7684-3461-4

A 5 判 96 頁 1000 円＋税

生きるために必要な学ぶ力とは何か。「自ら学び課題を解決する力を養う」という中教審答申に基づき導入された総合学習は、学力低下論議の中で再び見直しに向かうが、学校教育において、教化された「学力」でなく「まなび」を豊かにする提言。

嶺井正也・池田賢市 編

国民教育文化総合研究所 15 周年記念ブックレット 3

教育格差 格差拡大に立ち向かう

4-7684-3462-2

A 5 判 96 頁 1000 円＋税

格差社会の根底をなす教育格差拡大。学力格差、教育機会の格差（貧困、マイノリティ等）の実態を明らかにし、その原因を社会背景・国家政策から検証したうえで、格差拡大に抗する教育観・学力観を培う教育実践を紹介。

中野憲志 著

大学を解体せよ

人間の未来を奪われないために

978-4-7684-3463-5

四六判 288 頁 2400 円＋税

教育機関としても、研究機関としてももう大学はとくに破綻しているようだ。教育格差と大学全入時代のはざままで高等教育はどこに向かい、人びとに何をもたらすのか。隠された大学破綻問題を明らかにし、大学から解放される道筋を提示する。 ♠

徳田茂 編著

特別支援教育を超えて

「個別支援」でなく、生き合う教育を

978-4-7684-3470-3

四六判 224 頁 1600 円＋税

子どもの障害をありのままに受け入れ、地域の関わり合いの中で共に育ち合う関係を目指し、活動を続けた障害をもつ子とその親の記録。分けた上での特別支援教育が流行るなか、なぜ、共生・共育が大切なのかを再確認する。 ♠

柴田靖子 著

ビバ！インクルージョン

私が療育・特別支援教育の伝道師にならなかったワケ

978-4-7684-3548-9

四六判 260 頁 1800 円＋税

同じ水頭症の障害をもって生まれながら、療育→特別支援教育の“障害児専用コース”を突き進んだ長女と、ゼロ歳から保育園、校区の小・中学校で“普通に”学ぶ長男。二種類の“義務教育”を保護者として経験して辿りついた結論は。

二見妙子 著

インクルーシブ教育の源流

1970年代の豊中市における原学級保障運動

978-4-7684-3554-0

四六判 216 頁 2000 円＋税

障害の有無にかかわらず地域の幼保育園・学校で共に育ち学ぶ機会の保障をしてきた豊中の二重籍（障害児学級に在籍しながら、全時間普通学級で過ごし、障害児学級担任も普通学級に副担任として入る）の取組みを障害学の視点から分析。 ♣

松森俊尚 著

けっこう面白い授業をつくるための本 状況をつくりだす子どもたち

978-4-7684-3528-1

四六判 264 頁 2000 円＋税

学校教育に対する公権力の締め付け、それに乘じたとされる過度の親からの干渉等により、自信を失い教育に情熱を感じられなくなった教師が増えていく。そのような教師が自信を持って教育現場で子どもたちと社会をつくるための本。 ♠

インクルーシブ教育データバンク 編

つまり、「合理的配慮」って、こういうこと?!

共に学ぶための実践事例集

978-4-7684-3560-1

B 5 判 96 頁 1200 円＋税

障害のある子もいない子も同じ教室、同じ教材で、楽しくみんなが参加できる教科学習、行事、学級づくり、学校生活の様々な工夫、「共に学ぶ」ための障壁は何かの視点から考えた、合理的配慮の実践 30 例を統一フォーマットにわかりやすく整理。

三好正彦・平野拓朗 編著

ユーモアとしての教育論

可笑しみのある教室へ

978-4-7684-3545-8

四六判 272 頁 2300 円＋税

笑いのある授業、お笑いネタなどの授業技術論ではなく、笑いやユーモアが学校にまつわる価値を相対化しつつ、教育の豊かさや複雑さを保障する点に着目。「あるべき」論としての学校文化・規範をユーモアで捉え返す。

宮澤弘道・池田賢市 編著

「特別の教科 道徳」ってなんだ?

子どもの内面に介入しない授業・評価の実践例

978-4-7684-3562-5

A 5 判 152 頁 1500 円＋税

2018 年度導入の道徳の教科化の問題点と、学校現場に及ぼす影響を整理し、問題点の指摘にとどまらず、どのような授業展開が望ましいか教科書に採用されている教材を実際に使った授業実践を紹介。内心に介入しない評価について提起する。

成沢真介 著

先生、ぼくら、しょうがいじなん?

「特別支援教育」という幻想

978-4-7684-3567-0

四六判 240 頁 1800 円＋税

教員が現場から伝えたい、「分ける教育」のリアルと違和感。障害者雇用増し、「生産性」で支援の不必要を説く議員……マイノリティの人権侵害があとを絶たない今、「できる」「できない」だけで分断される教育を現場から問い直す!

河原井純子 著／斎藤貴男 解説

学校は雑木林

共生共存の教育実践と「君が代」不起立

978-4-7684-7928-5

四六判 200 頁 1800 円＋税

七生養護学校の性教育バッシング、10・23 通達…と変容していく都の教育現場に居合わせた、養護（特別支援）学校教諭の教育実践記。子どもたちと向きあった実践のなかで「君が代」不起立を貫き、都の教育破壊に体当たりで警鐘を鳴らす。 白澤社刊

ガート・ビースタ 著／藤井啓之・玉木博章 訳

よい教育とはなにか

倫理・政治・民主主義

978-4-7684-7960-5

四六判 208 頁 2200 円＋税

学力調査結果に注目が集まる成果主義時代のいま、「よい教育とはなにか」という最も中心的な問いを置き去りにしていないだろうか。18 歳選挙権の時代、日本の教育の民主主義的發展に重要な示唆を与える、教育関係者必読の書。 白澤社刊

障害・福祉・臨床心理

渡辺鋭氣 著

依存からの脱出

[品切れ]

「障害者」自立と福祉労働運動

4-7684-3333-2 四六判 320 頁 1300 円＋税

「障害者」は今、自らの力で立ち上がる。「障害者」の具体的な行動と施設労働者のドロドロとした日常性に光をあて、そこから「変革の法則」を引き出す。彼らは誰に向かって、何を問いかけ、それは世間の思考とどう違うのだろうか。 ♣♣

八木下浩一 著

街に生きる

[品切れ]

ある脳性マヒ者の半生

4-7684-3334-0 四六判 312 頁 1300 円＋税

29 歳で初めて小学校の学籍を取った著者は、そこで何を見たか。学校教育が子どもの身心を蝕む現実に直面し、中学入学を止め、障害者解放運動に取り組んでいる著者が、自らの体験を通し障害者が地域で生きる事の重要性を熱く語りかける。 ♣

埼玉社会福祉研究会 編

ハンディキャップ・レポート

[品切れ]

親と子のスウェーデン福祉体験記

4-7684-3335-9 四六判 240 頁 1400 円＋税

埼玉社会福祉研究会のメンバーは、障害児 3 名を含む 12 名でスウェーデンに福祉の勉強に行ってきました。スウェーデンのあまりに進んでいる社会福祉行政の現状と、それを背景に地域に自立して生きている障害者の姿に感動した毎日でした。 ♠

全国障害者解放運動連絡会議 編

障害者解放運動の現在

[品切れ]

自立と共生の新たな世界

4-7684-3336-7 四六判 264 頁 1500 円＋税

今までの闘いを総括し、地域、職場、学校で自立し共生し合える関係を目指す 80 年代の障害者解放運動の理論的展望を模索。〈内容〉障害者差別の歴史、戦後の障害者政策と障害者解放運動、労働者自治と障害者解放闘争、障害者の労働権他。 ♠

今村善子・直 著

悲しみは生きる力となりて

[品切れ]

「障害児」に学ぶ

4-7684-3338-3 四六判 224 頁 1500 円＋税

子どもの誕生。この喜びも束の間、その子は「ダウン症」との宣告。両親は、やはり悲しんだ。しかし、その悲しみを克服し、子どもと共に生きていこうと決心。母は教師として、父は市議員として、障害者問題に取り組んでいく感動の記録。

グンネル・エンビイ 著／藤井恵美 訳

私たち、愛し合わなければ

[品切れ]

障害者とセックス

4-7684-3339-1 四六判 200 頁 1500 円＋税

思春期にポリオに罹り車いす生活者になった著者が、障害者の性がいかに阻害され、生きる喜びを否定され生かされているかを自分の体験を通して生々しく語る。スウェーデンで 72 年に出版、ベストセラーとなり福祉行政に大きな影響を与えた。

松本伸夫 著

思春期心理学入門

[品切れ]

4-7684-3344-8 四六判 232 頁 1400 円＋税

青年心理学の原点にかえり、流動する現代社会の中に生きている思春期の青年の心理的探求を試み、さらに母親の立場から思春期の子どもとの対応方法も考察し、望ましい母子の人間関係の究明をも試みた。思春期の心の動きを知る恰好の書。

山下恒男 著

反発達論 〈新装版〉

抑圧の人間学からの解放

4-7684-3429-0 四六判 288 頁 2000 円＋税

1977 年初版のロングセラー新装本。近代社会がなぜ「発達」という概念を必要としたのか？ 発達という概念が子ども・障害者への抑圧思想になったのではないか。21 世紀人類の生き方が問われる時、新しい共生思想を考える最良の一書。 ♠

山下恒男 著 増補新装版 差別の心的世界 4-7684-3453-3 四六判 448 頁 3200 円＋税	私たちの心の中に潜在する差別はどこから生まれてくるのか。実生活にある差別、小説・芝居等の中にある差別表現、ネット上の差別情報、それらは私たちの「差別する心」にどんな影響を与えるのか。多様化する差別と「人権」について考察。 ♠
山下恒男 著 日本人の「心」と心理学の問題 4-7684-3443-6 A 5 判 616 頁 6800 円＋税	日本人の「心」と心理学の問題を歴史的、文化的に相対化し、心理学の役割は、結局は自他の支配に帰結することを明らかにする。さらに、「心の問題」のたてられ方を、研究する側だけでなく、それを「消費」する側にもあるとして対象化した。
山下恒男 著 近代のまなざし 写真・指紋法・知能テストの発明 978-4-7684-3516-8 四六判 288 頁 2600 円＋税	19 世紀末の欧州。都市の人口は爆発的に増加した。結果的に、その匿名の大衆から個人を特定する手段として発達した写真（見える）・指紋（見えるだけでは意味を持たない）・心理テスト（見えないか特定できる）が発達。その社会的影響を考察した。 ♠
山下恒男 著 フェヒナーと心理学 978-4-7684-3565-6 A 5 判 448 頁 6800 円＋税	フロイトにも多大な影響を与え、現代心理学誕生の鍵を握るフェヒナー。米国心理学を「予見」していたかのようなプラクティカルな志向を、残されたテキストから大胆に読み解く。神秘主義者といわれる彼の実証的な側面に光を当てた。
日本臨床心理学会 編 心理テスト・その虚構と現実 4-7684-9941-4 四六判 448 頁 3650 円＋税	心理テストの問題を是か否かといった狭い範囲に限定することなく、テストに象徴される近代社会の構造とそれに呪縛される我々の問題を掘り下げる。テスト「される側」からの問題提起、「する側」の自己点検、歴史、反批判と再批判他。 ♠
日本臨床心理学会 編 心理治療を問う 4-7684-3342-1 四六判 448 頁 3500 円＋税	今日の管理社会では「心理治療」を受ける人々が増加している。しかし、心理治療の営みは、ヒューマンティックな技法を装いつつ、実は「治療される側」を支配・管理する基本的性格をもつものであり、さまざまな問題をはらんでいる。 ♠
井上芳保 編著 「心のケア」を再考する 4-7684-3435-6 四六判 328 頁 3000 円＋税	カウンセリングブームに、うさんくささを感じながらも、「心のケア」一般にはひかれるものを感じる人が多い。その関心の根幹は心理療法ではなく、信頼できる人間関係を求めていることだ。各分野の実践家と研究者の報告。山之内靖・花崎卓平・小沢牧子他。
日本臨床心理学会 編 「早期発見・治療」はなぜ問題か 4-7684-3359-6 四六判 448 頁 3500 円＋税	病気や障害の早期発見・治療は医学の勝利なのだろうか。病気や障害の根絶をめざす過程——母子保健・胎児診断・出生後健診・体外受精・人工授精——で進行する差別的・管理的人間観を批判し、優生思想・科学信仰の呪縛を解く。
日本臨床心理学会 編 裁判と心理学 能力差別への加担 4-7684-3373-1 四六判 400 頁 3500 円＋税	島田・野田・甲山・みどりちゃん殺人事件、大久保製薬訴訟——「知恵遅れ」と言われる人たちが事件にまき込まれ、「犯人」に仕立て上げられる過程において能力が問題となる構造と、そこにおける心理鑑定・専門家の役割を批判的に検討する。

日本社会臨床学会 編

カウンセリング・幻想と現実 (上・下)

上巻・理論と社会／下巻・生活と臨床

4-7684-3419-3, 3420-7 四六判 328, 344 頁 各3000 円＋税

カウンセリングの思想と技法に疑問と批判を提起し現代社会を考察。上巻歴史と原理に焦点を当て理論自体の問題性を現代社会との関連で検討。下巻病院・地域医療・企業・教育の場・解放・自立論・災害時のカウンセリングの問題点を検討。♠

日本社会臨床学会 編 シリーズ「社会臨床の視界」

第1巻**「教育改革」と労働のいま**

978-4-7684-3475-8 四六判 320 頁 3000 円＋税

子ども・教師・若者から元気を奪う事態が、急速に進行している。その背景には経済のグローバリゼーションと国家主義の蔓延がある。これらの危うい現状を、教育政策、子ども状況、若者労働の三つの角度から分析・提言。(編集担当 小沢牧子) ♠

日本社会臨床学会 編 シリーズ「社会臨床の視界」

第2巻**精神科医療 治療・生活・社会**

978-4-7684-3476-5 四六判 320 頁 3000 円＋税

新自由主義が世界を席捲し、これまで「国家の保護下」にあった医療界にも様々な影響を及ぼしている。それらに対抗する試みや地道な実践を紹介・模索し、そこから見えてくる精神科医療の姿を捉えようと編まれた。(編集担当 三輪寿二) ♠

日本社会臨床学会 編 シリーズ「社会臨床の視界」

第3巻**「新優生学」時代の生老病死**

978-4-7684-3477-2 四六判 328 頁 3000 円＋税

胎児診断、不妊治療、脳死・臓器移植、尊厳死、健康増進法、障害者自立支援法などを切り口に、現代社会が遭遇している生老病死の諸相と問題・課題を考える。古典的優生思想と、「新優生学」時代の諸問題を論述。(編集担当 篠原睦治)

日本社会臨床学会 編 シリーズ「社会臨床の視界」

第4巻**心理主義化する社会**

978-4-7684-3478-9 四六判 308 頁 3000 円＋税

「不健康・不健全」を見つけだそうとする眼差しが広がる中、精神医学的・心理学的対応を受ける人が増加している。この心理主義化の進展を検討する中で、心理的言説や技法の浸透がひきおこす問題を考えていく。(編集担当 中島浩籌)

中島浩籌 著

心を遠隔管理する社会

カウンセリング・教育におけるコントロール技法

978-4-7684-3502-1 四六判 232 頁 2000 円＋税

「あなたは絶対に自信がありますか、心の健康に？」2004年に厚労省は、この脅迫文を国民に突きつけた。心の中の「不健全」を見つけ出そうとする眼差しが溢れる今日、そもそも「問題」とは、「解決」とはいったい何なのかを探索する。 ♠

石川憲彦 著

治療という幻想

[品切れ]

障害の医療からみえること

4-7684-3361-8 四六判 272 頁 2000 円＋税

医療技術の進歩は治療という幻想を肥大化させる。しかし、障害を直すとは、捨て去り、操作し、抹殺することではなかったか。障害の治療・克服・軽減のために医療・教育・福祉で治され続けてきた障害者の警告を受け、治療の魔術を解く。 ♠

大谷 強 著

現代福祉論批判

[品切れ]

4-7684-3340-5 A 5 判 240 頁 2500 円＋税

第二次大戦から70年代までの種々の福祉論とそれのもとづく諸政策の問題点を徹底的に明らかにしながら、現在から21世紀にかけてのあたらしい福祉論、生活保障論の論点を浮きぼりにした、ノーマライゼーションへの道をさぐる一冊。

大谷 強 著

社会福祉から地域社会づくりへ

4-7684-3367-7 A 5 判 208 頁 3000 円＋税

与えられる福祉から自らの暮らしをつくるための福祉政策に！ 政府の福祉政策の推移、民活導入、福祉予算等を分析・検討し、子ども、老人、障害者、働いていない人も当り前に暮らせる地域社会づくりのための福祉論、自治体行政論を展開する。

大谷 強 著

自治と当事者主体の社会サービス [増補改訂版]
「福祉」の時代の終わり、マイノリティの権利の時代の始まり

4-7684-3415-0 A 5 判 240 頁 3000 円＋税

アドルフ・ラツカ 著／河東田 博、古関・ダール 瑞穂 訳
スウェーデンにおける自立生活とパーソナル・アシスタンス
当事者管理の論理

4-7684-3406-1 A 5 判 136 頁 1500 円＋税

斎藤明子 訳

アメリカ障害者法 (全訳・原文)
Americans With Disabilities Act of 1990

4-7684-3376-6 A 5 判 84 頁 1000 円＋税

東京ソーシャルワーク 編

How to 生活保護 [生活保護法改定対応版]
2015-16 年版 申請・利用の徹底ガイド

978-4-7684-3541-0 A 5 判 244 頁 1000 円＋税

自立生活情報センター 編

How to 介護保障 [品切れ]
障害者・高齢者の豊かな一人暮らしを支える制度

4-7684-3402-9 A 5 判 152 頁 1500 円＋税

ノーマライゼーションの現在シンポ実行委員会 編
ノーマライゼーションの現在 [品切れ]
当事者決定の論理

4-7684-3380-4 A 5 判 160 頁 1500 円＋税

河東田 博 著

スウェーデンの知的しょうがい者とノーマライゼーション
当事者参加・参画の論理

4-7684-3382-0 A 5 判 240 頁 2200 円＋税

ビル・ウォーレル 著／河東田 博 訳編

ピープル・ファースト：支援者のための手引き [品切れ]
当事者活動の支援と当事者参加・参画推進のために

4-7684-3399-5 A 5 判 136 頁 1500 円＋税

ビル・ウォーレル 著／河東田 博 訳

ピープル・ファースト：当事者活動のてびき
支援者とリーダーになる人のために

978-4-7684-3500-7 A 5 判 200 頁 1600 円＋税

特別な人への特別な施策としての「福祉」から、誰でも必要に応じて使える権利としての社会サービスへ。福祉構造改革論議の中、既存の福祉・行財政システムを根本的に見直し、当事者のニーズに基づく当事者参画による自治型サービスを提言。

福祉先進国スウェーデンにおいてなお、行政から一律に与えられる介助サービスでなく、自立生活運動と介助サービスの当事者決定・当事者管理を強力に推し進めているストックホルム自立生活協同組合の理論と実践の書。

障害者に対する交通・建築・通信サービス・雇用等、包括的な差別を禁止した画期的な法律。。アメリカ障害者法の原文と全訳文。日本の障害者差別の実態、法制度をとらえ返すためにも、必読の法律。

2014 年 7 月施行の生活保護法「改正」(申請の様式化、扶養義務の強化、等)に対応した全面改訂版。15 年 4 月(一部 7 月)改定の新基準(3 年連続の生活扶助引き下げ、住宅扶助冬季加算総額引き下げ)、他法・他施策の変更を網羅した最新版。 ♠

介護が必要で困っている人、これから介護が必要になるかもしれない人のための公的制度(ホームヘルパー、介護人派遣事業、生活保護の介護料)と、住宅改造費、介護機器購入の助成金利用のノウハウ集。今ある制度をもっとよくするために。

精神医療ユーザー(英)、知的障害者(米)、車イス利用の身体障害者(スウェーデン)が、障害と国境を越えて集い、当事者運動の到達点自己決定、権利擁護、地域自立生活と各国の医療・福祉制度・施策を語り合った熱き一日の全記録。

施設から地域へ、親、専門家による支配・保護から当事者参加・参画へと劇的に変わりつつあるスウェーデンの福祉制度、グループホームでの生活の様子、当事者が自己主張し政策決定に参加する過程を具体的に追いながら、日本の課題を考える。

「知恵遅れ」と呼ばれ、自らの意思、価値や存在を無視されてきた人たちが、「まず人間として」存在を主張し始めた。字が書けない、計算ができない等のハンディを助け、わかりやすくすることによって自立と自己決定を支える支援者の役割。

「ピープルファースト＝障害者ではなくまず人間である」。知的障害者の当事者運動発生の地、カナダのピープルファーストで作られた、『支援者のための手引き』と、『当事者リーダー養成のための手引き』を日本向けに翻訳。

ジョン・マクレー 著／長瀬 修 監訳／古畑正孝 訳

世界を変える知的障害者：

ロバート・マーティンの軌跡

978-4-7684-3544-1 四六判 260 頁 2200 円＋税

親の虐待、精神遅滞児施設での放置、暴力に苦しみ、何もわかない無価値の存在と思われていた一人のニュージーランド人が、声を持って語りはじめ、「人」として認められ国際社会を動かすまでの存在となっていく感動の物語。 ♠♠

畠山民次郎 著

俺たち、人間！

素描・施設「湘南希望の郷」

4-7684-6629-X 四六判 272 頁 2200 円＋税

療護施設に暮らす障害をもつ人々が織りなす膨大なドラマ。圧倒的な生がこすれ合い、愛と憎しみ、歓喜と絶望が死に隈どられて渦まき日々を、施設職員がユーモアとペーソスをまじえて描く。硬直した施設のイメージを打ち破る異色のエッセイ。

筑摩工芸研究所 編

アマチュア実践福祉録・こちら“ちくま”

4-7684-3389-8 A 5 判 192 頁 1500 円＋税

長野県松本市にある筑摩工芸研究所は全国に例をみないユニークな福祉作業所である。パン工場・石鹸工場・廃品リサイクル等 10 以上の事業所を営み、毎月機関誌を発行し、それぞれ独立採算に向かって進む 15 年の記録と内実を綴った。 ♠

堀 利和 編著

生きざま政治のネットワーク [品切れ]

障害者と議会参加

4-7684-3395-2 四六判 208 頁 1200 円＋税

70 年代の障害者と健常者の「共生」から、80 年代の「社会参加」へと進んできた。障害者として普通に政治に参加し、議会に参画してきた各地の記録。障害者が関わる選挙と議会の実状は現代日本の草の根ネットワークと政治を語る貴重な証言だ。

堀 利和 著

共生社会論

障がい者が解く「共生の遺伝子」説

978-4-7684-3512-0 四六判 272 頁 2200 円＋税

憲政史上初、視覚障害のある参議院議員となった著者が、バラエティ豊かな人生を綴る。「共生の遺伝子」を鍵に解く障害観を超えた人間観、議員生活中に肌身で感じた政界秘話、ユーモラスで奥深い詩や短編小説など、盛りだくさんな一冊。 ♠

堀 利和 著

はじめての障害者問題

社会が変われば「障害」も変わる

978-4-7684-3524-3 四六判 256 頁 1300 円＋税

障害者問題は存在しない、あるのは健常者中心の社会の問題だ。憲政史上初の全員の国会議員である著者による、障害福祉を学ぶ学生への講義録。落語や歴史の中の障害者像、ゲスト講師の講義を交え、障害のない人たちの障害観の転換を迫る。 ♠♠

特定非営利活動法人 共同連 編

日本発 共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

978-4-7684-3518-2 四六判 240 頁 2000 円＋税

障害者、薬物・アルコール依存者、シングルマザー、ホームレス、ニートなど、社会的に排除されやすい人を一定割合雇い、ソーシャルインクルージョンと平等な分配を追求する社会的事業所の意義と取り組み、促進のための制度を考える。 ♠

佐伯隆敏 著

腎臓病患者、痛恨の記録 [品切れ]

もっと早く良い医者に出会えたら

4-7684-6644-3 A 5 判 288 頁 2000 円＋税

腎臓の患者で医者に触診された人が何人いるだろうか。「塩分に注意して」の言葉だけで腎臓は良くなならない。医師にとって透析は金になるにしても、あまりにも患者をないがしろにしていまいだろうか。腎臓はこれ以上悪くならないの記録。

中西由起子 著

アジアの障害者

4-7684-3400-2 A 5 判 248 頁 2300 円＋税

国連アジア太平洋地域経済開発委員会の障害者問題専門官として活動した著者による、アジア 20 カ国の障害者白書。障害者数・障害の原因、法律・制度・関連施策（雇用・教育・CBR）、障害者の生活、当事者運動、資料等を網羅した基本文献。 ♠

川内美彦 著

バリア・フル・ニッポン

障害を持つアクセス専門家が見たまちづくり

4-7684-3403-7 A 5 判 224 頁 2000 円＋税

C.B. ドラッカー 著／北山秋雄・石井絵里子 訳

子どもの性的虐待サバイバー

癒しのためのカウンセリング技法

4-7684-3407-X A 5 判 248 頁 2500 円＋税

ぐるーぷ・アミ 編著

あきらめないで、働きながらの 介護術

[品切れ]

4-7684-3405-3 四六判 248 頁 1700 円＋税

樋口恵子 著

エンジョイ自立生活

障害を最高の恵みとして

4-7684-3408-8 四六判 200 頁 1500 円＋税

カリフォルニア・ピープルファースト 編／秋山愛子・斎藤明子 訳

私たち、遅れているの？ [増補改訂版] 知的障害者はつくられる

4-7684-3458-4 A 5 判 208 頁 1800 円＋税

二文字理明 編訳

スウェーデンの障害者政策 [法律・報告書] 21 世紀への福祉改革の思想

4-7684-3409-6 A 5 判 256 頁 3800 円＋税

ベント・ニリエ著／河東田 博 他 訳編

ノーマライゼーションの原理 [新訂版] 普遍化と社会変革を求めて

4-7684-3444-4 A 5 判 200 頁 1800 円＋税

ベント・ニリエ 著／ハンソン友子 訳

再考・ノーマライゼーションの原理 その広がりと現代的意義

978-4-7684-3483-3 A 5 判 264 頁 3000 円＋税

G. グラニンガー J. ロビン著／田代幹康、C. ロボス訳著

スウェーデン・ノーマライゼーションへの道 知的障害者福祉とカール・グリュネバルド

978-4-7684-3464-2 A 5 判 192 頁 1800 円＋税

日米の車イス利用者が日本全国を講演旅行中に遭遇した制度・設備（ハード）・情報文化・意識のバリアの数々。駅・空港・交通機関・公共建物・道路等々、障害を持つが故に「2 流市民」扱いの日本社会のあり方を根本的に解剖する。 ♠

子どもの頃の性的虐待体験のトラウマが成人後の心理及び社会適応上の問題にも深刻な影響を与えている。自らの障碍された感情を理解し、自分や他人に対する歪められた認識を再構築し、新たな人生を享受できるようエンパワメントを援助する。

女性（嫁・妻・娘）が犠牲になっての家族介護はもう限界。介護する人もされる人も充実した人生を送るために、働きながら家族、きょうだいや地域の協力、社会的資源（公的・民間サービス）をフル活用して在宅介護をした 20 の例に学ぶ。

脊椎カリエスによる障害で施設生活。その間自己を抑圧して成長した著者が、14 歳で人生のパートナーに出会い 20 歳で結婚。米国での障害者リーダー養成研修に臨み、自立生活運動を日本に根づかせ、町田市議に。自己信頼、自己回復を語る。

親、施設職員や教員など周囲の人々の期待の低さや抑圧的環境が知的障害者の自立と成長を妨げていることを明らかにし、本当に必要なサービス、制度を提言した報告書『遅れを招く環境』の翻訳。増補でサービス支給プロセスへの当事者参画を紹介。 ♠

高福祉国家スウェーデンが「人間の尊厳の尊重」「自立」「公正」を基本に進めてきた 90 年代の障害者福祉改革の中核をなす三つの主要報告書と、新社会サービス法、機能障害者に対する援助およびサービスに関する法律など五つの法律と各解説。

30 年前北欧で提唱され、今日共生社会の普遍的理念として支持され、社会のあり方を変えてきたノーマライゼーションの考え方を初めて八つの原理に成文化し、定着・発展のために活動してきた「育ての父」の現在までの思想展開。

1960 年代に北欧で提唱され、今日、共生社会の普遍的理念として支持されている、「ノーマライゼーション」。その考え方を、八つの原理に成文化し、ノーマライゼーションの普及に努めた著者が最晩年に母語（スウェーデン語）で書き直した遺作。

スウェーデン医療保健庁（現・社会庁）の知的障害者福祉局の責任者として、1960～80 年代にノーマライゼーションの具体化、施設解体・地域移行を推進したグリュネバルドのインタビュー集に 90 年代福祉改革についての書き下ろしを収録。

河東田 博 著

ノーマライゼーション原理とは何か

人権と共生の原理の探究

978-4-7684-3488-8 A 5 判 192 頁 1700 円＋税

ケント・エリクソン 著／河東田 博・古関 ダール 瑞穂 訳

スウェーデンにおける施設解体と地域生活支援

施設カールスルンドの誕生と解体までを掘り所に

978-4-7684-3514-4 A 5 判 228 頁 2200 円＋税

柴田純一 著

〔増補版〕プロケースワーカー 100の心得

福祉事務所・生活保護担当員の現場でしたたかに生き抜く法

978-4-7684-3540-3 A 5 判 232 頁 1800 円＋税

高山俊雄 著

50のケースで考える医療ソーシャルワーカーの心得

時代と向き合う実践記録

978-4-7684-3513-7 A 5 判 224 頁 1800 円＋税

高山俊雄 編著

現場で磨くケースワークの技

「バイステックの原則」を基に

978-4-7684-3536-6 A 5 判 264 頁 2000 円＋税

山口道宏・根本悦子 編著

老いを戦略するとき

4-7684-3414-2 四六判 304 頁 1800 円＋税

C. キャラウェイ、C. ホイットニー 著／佐藤雅彦 訳

エイズ患者のための栄養療法

実践的レシピ付き全ガイド

4-7684-6767-9 A 5 判 260 頁 2500 円＋税

J. P. シャピロ 著／秋山愛子 訳

哀れみはいらない

全米障害者運動の軌跡

4-7684-3418-5 四六判 488 頁 3300 円＋税

松崎有子 著

ホームヘルパー最前線 [品切れ]

年寄りの暮らしと在宅介護

4-7684-3421-5 四六判 208 頁 1700 円＋税

北欧で誕生し今日共生社会の基本理念となっているノーマライゼーション。そのルーツについて、デンマーク 1959 年法以前にスウェーデン社会庁報告書でノーマライゼーション原理が検討されていたという新たな発見と、その後の展開の研究。

スウェーデンはなぜ、どのように施設をなくすことができたのか。知的障害者の巨大入所施設カールスルンドの設立から解体、地域移行後の生活支援をとおして、障害のある人が地域で暮らすノーマライゼーションの実践を余すところなく研究。♠

毎年、市町村での異動のたびに「貧乏くじ」扱いの生担当員。憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」を支える生活保護の最前線で働く人々の「貧しい」実態を改善する実践的ノウハウと理論。生活保護法改定に合わせた増補版。♠

何のために医療の場に医療ソーシャルワーカーがいるのか。500 床超の大病院で一人でてんでこ舞いした新人時代から 40 年。ベテランワーカーの経験と知恵を集積させた「ソーシャルワーク原則」が出来上がるまでの 50 の事例集。新人ワーカー必携。

相談業務の専門職が教科書としてきたバイステックの『ケースワークの原則』を紐解き、医療ソーシャルワーカー生活保護のケースワーカーが相談対応の在り方を原則に則り具体的に検証。相談業務の新人さんや専門機関以外の人にも参考になる。

少子高齢化が進み介護保険が動き出す中、自らの老後をどうプランするか。単に悲観するだけでなく、医療・保健、住まい、お金、介護、人間関係やトラブル時の権利擁護システムから死に際までの現状を分析し、施設、社会資源の情報を提供。♠

多くのエイズ患者は感染症による栄養障害で亡くなっている。薬物療法と相補的に栄養療法を実施することにより、生活の質を高め、飛躍的に余命を改善した米国の実例。感染症対策、栄養学の基礎、食事プラン、レシピ 67 品付き。

障害者福祉を慈悲と保護から権利と差別禁止へと変えた、歴史的なアメリカ障害者法成立に至る障害者運動のエンパワメントを追う。障害の文化・歴史・アメリカ社会の障害観の変遷、障害をめぐる政治の動きなどを重層的に解き明かす。♠

介護保険で在宅福祉の柱と脚光を浴び、人気職種となったホームヘルパーだが、制度と利用者との狭間でヘルパーが抱える悩みは尽きない。家事援助ヘルパーとして働く中から見えてきた、在宅福祉の現状、制度の問題点を浮き彫りにする。

石毛えい子 著

体あたり介護保険

[品切れ]

市民政治家が国会で考えたこと

4-7684-8831-5

四六判 212 頁 1600 円＋税

「介護保険を市民が主体的に運営できるようにしたい」と社会福祉の専門家から国会議員へ挑んだ著者。議会政治への市民感覚のコメント、介護保険制度の問題点と将来展望についての書きおろし。アトリエ・レクラム刊♠

J・ラーション 他 著／河東田 博 他 訳編

スウェーデンにおける施設解体

地域で自分らしく生きる

4-7684-3425-8

A 5 判 192 頁 1800 円＋税

99 年 12 月、ほとんどの入所施設が解体され、入所者達は思い思いの方法で地域で暮らし始めた。百年の歴史をもつ知的障害者入所施設ベタニアの歴史と解体までの軌跡、施設で暮らしてきた本人とその家族、施設職員の反応・感情をつぶさに記録。

河東田 博・孫 良・杉田穂子・遠藤美貴・芥川正武 著

ヨーロッパにおける施設解体

スウェーデン・英・独と日本の現状

4-7684-3433-9

A 5 判 192 頁 1800 円＋税

障害者入所施設はもういない。スウェーデンではほぼすべての施設が解体されている。施設を解体、縮小して地域居住に移行する欧州の取組みの現状と課題に学び、未だに入所施設が増加している日本における施設から地域への道筋を探る。

杉田穂子 著

知的障害のある人のライフストーリーの語りからみた障害の自己認識

978-4-7684-3559-5

A 5 判 224 頁 2500 円＋税

周囲の人々がもっている知的障害者に対する「価値が低い」という支配的価値観が、当事者の障害の自己認識にどう影響しているのか。そのメカニズムをライフストーリーの語りの中から解き明かし、障害者がより生きやすい社会に向けて提言。

河東田 博 監修

福祉先進国に学ぶしょうがい者政策と当事者参画

地域移行、本人支援、地域生活支援国際フォーラムからのメッセージ

4-7684-3459-2

A 5 判 288 頁 2300 円＋税

施設を完全になくしたスウェーデン、地域移行途上のオランダ、未だに施設中心の日本の知的しょうがい者と支援者、オーストラリア・日本の研究者、福祉関係者による、地域移行、地域生活支援の課題を語り合った国際フォーラムの報告。♠

河東田 博 編著者代表

福祉先進国における脱施設化と地域生活支援

978-4-7684-3474-1

A 5 判 304 頁 3000 円＋税

オーストラリア、ノルウェー、オランダ三カ国と日本の入所施設三カ所の、施設から地域生活への移行の実態調査（当事者・職員・家族への調査）を基に、地域移行、地域生活支援の実態と課題を明らかにし、障害者福祉のあり方を展望する。

河東田 博 著

脱施設化と地域生活支援： スウェーデンと日本

978-4-7684-3522-9

A 5 判 248 頁 2200 円＋税

2000 年までに全ての入所施設を解体、地域生活が実現しているスウェーデンと、「施設から地域」が謳われながら新規入所者が減らない日本。両国の知的障害者をめぐる制度・政策、生活実態の違い、その背景から、日本の課題を浮き彫りにする。

河東田 博 著

入所施設だからこそ起きてしまった相模原障害者殺傷事件

隣人を「排除せず」「差別せず」「共に生きる」ための当事者視点の改革

978-4-7684-3563-2

A 5 判 184 頁 1800 円＋税

元都立施設職員で内部改革の限界を悟り、スウェーデンでノーマライゼーション、施設解体の現実を見た著者が、事件の背景である入所施設の実態を歴史的・社会的・構造的に明らかにし、施設を基盤とした地域移行の限界を示す。

河東田 博 編集者代表

Deinstitutionalization and Community Living in Australia, Norway, Holland and Japan

978-4-7684-3493-2

A 5 判 260 頁 7500 円＋税

オーストラリア、ノルウェー、オランダ、日本における知的障害者の施設から地域への移行の実態と、地域生活支援の課題をインタビュー調査から明らかにした研究書『福祉先進国における脱施設化と地域生活支援』の英語版。

河東田 博 著

Deinstitutionalization and Community Living in Sweden and Japan

978-4-7684-3530-4 A 5 判 184 頁 6000 円＋税

全ての入所施設を解体、地域生活支援を実現させたスウェーデンと、実現できない日本。両国の知的障害者をめぐる制度・政策、生活実態などから日本の課題を浮き彫りにした研究書『脱施設化と地域生活支援：スウェーデンと日本』の英語版。

河東田 博 他 編

A Study on Deinstitutionalization and Community Living of Persons with Intellectual Disabilities

4-7684-3457-6 A 5 判 320 頁 8000 円＋税

『知的障害者の入所施設から地域の住まいへの移行に関する研究』スウェーデン・英・独・日本における障害をもつ人たちの施設からの地域移行政策、その実態と課題を、入所者自身、施設職員、家族への聞き取り調査から研究。英語版です。

パンジーさわかチーム・林 淑美・河東田 博 編著

知的しょうがい者がボスになる日

当事者中心の組織・社会を創る

978-4-7684-3484-0 A 5 判 228 頁 1800 円＋税

知的障害者授産施設パンジーで、当事者自身が施設運営する組織にしようと特別チームが取り組んできた二年間の軌跡。戸惑い、不安、仲間の離脱という挫折を乗り越え、見えてきた展望。そこに至る本人たちのエンパワメントと支援者の関わりの記録。♠

全国自立生活センター協議会 編

自立生活運動と障害文化

当事者からの福祉論

4-7684-3426-6 A 5 判 484 頁 3500 円＋税

親許や施設でしか生きられない、保護と哀みの対象としての障害者が、地域で自立生活を始め、社会の障害者観、福祉制度のあり方を変えてきた。'60～'90年代の障害者運動の軌跡を15団体、29個人の歴史で綴る障害学の基本文獻。

中西正司 著

自立生活運動史

社会変革の戦略と戦術

978-4-7684-3527-4 四六判 260 頁 1700 円＋税

日本の自立生活運動、障害者政策をけん引してきた著者による、80年～2010年代の障害者運動の総括。20世紀最後の人権闘争と言われた「障害者運動」が社会にもたらしたものを明らかにする。『当事者主権』（上野千鶴子氏と共著）の応用編。♠

障害学研究会中部部会 編

愛知の障害者運動

実践者たちが語る

978-4-7684-3538-0 四六判 304 頁 2500 円＋税

関西・東京中心に語られる障害者運動の中で、「きょうされん」「共同連」という働くことと共同性に主軸を置いた運動が名古屋に育ったのは偶然ではない。ゆたか福祉会、わっぱの会、AJU自立の家を中心に、愛知の独自性と背景を探る。♠

「障害者差別禁止法制定」作業チーム 編

当事者がつくる障害者差別禁止法

保護から権利へ

4-7684-3431-2 A 5 判 208 頁 1700 円＋税

世界の42カ国で障害者差別禁止・権利法が法制化されているが、日本の障害者基本法は保護・対策法であって権利法ではない。何が障害にもとづく差別で、障害者の権利とは何か。法案要綱、国連やEUの取り組み等、国際的動向の資料も掲載。

DPI 日本会議 編

障害者が街を歩けば差別に当たる？！

当事者がつくる差別解消ガイドライン

978-4-7684-3561-8 A 5 判 176 頁 1600 円＋税

バニラ・エア事件が映し出したように、障害者が差別と感じることは障害のない人にとっては「わがまま」。何が差別で、「合理的配慮」はどこまで提供すべきか、実際に受けた差別事例を分析・整理し、当事者の視点からガイドラインを提示。

西浜優子 著

しょうがい者・親・介助者

自立の周辺

4-7684-3428-2 四六判 248 頁 1800 円＋税

障害をもつ人が親許や施設から自立して地域で暮らすために不可欠な介助だが、公的保障は未整備なまま。介助される側・する側の関係性やトラブル、介助派遣団体の位置づけ、親離れ・子離れなどの問題をそれぞれに取材し、問題提起する。

D. S. ジェイコブソン 著／桑名敦子 訳

僕の親になってくれる？

脳性まひ夫婦の養子縁組み・子育て

4-7684-3430-4 四六判 352 頁 3000 円＋税

佐々百合子 著

あなたは、わが子の死を願ったことがありますか？

2年3カ月を駆け抜けた重い障がいをもつ子との日々

978-4-7684-3546-5 四六判 208 頁 1600 円＋税

本田真智子 著

補助犬というベストパートナー

障害者の暮らしを支える犬たち

4-7684-3432-0 四六判 192 頁 1800 円＋税

P. プレストン 著／澁谷智子・井上朝日 訳

聞こえない親をもつ聞こえる子どもたち

ろう文化と聴文化の間に生きる人々

4-7684-3434-7 四六判 432 頁 3200 円＋税

ハーラン・レイン 著／長瀬 修 訳

善意の仮面

聴能主義とろう文化の闘い

978-4-7684-3469-7 四六判 464 頁 3600 円＋税

DPI 日本会議＋札幌組織委員会 編

世界の障害者 われら自身の声

第6回 DPI 世界会議札幌大会報告集

4-7684-3436-3 A 5 判 596 頁 3000 円＋税

しみずよりお 著

聴覚障害者が見たアメリカ社会

障害者法と情報保障

4-7684-3438-X 四六判 244 頁 2200 円＋税

横田弘対談集

否定されるいのちからの問い

脳性マヒ者として生きて [品切れ]

4-7684-3437-1 A 5 判 264 頁 2200 円＋税

横田 弘 著／立岩真也 解説

【増補新装版】障害者殺しの思想

978-4-7684-3542-7 A 5 判 256 頁 2200 円＋税

米・西海岸に住む脳性マヒで車いす生活の夫婦が、脳性マヒの可能性のある子どもを養子に迎え、育てるなかで親として成長する物語。障害への偏見、親になることへの不安、障害のない親・きょうだいとの葛藤を超え、家族の絆が深まっていく。

早期胎盤剥離で脳性マヒとてんかんをもって生まれ、経管栄養となった子の障害を受け容れ、共に生きる覚悟ができた矢先、気管支肺炎で先立たれるまでの葛藤。障害者家族になって初めて実感する社会との深刻な断絶を赤裸々に綴る。

'02年10月施行になった身体障害者補助犬法を受け入れ協働するための本。犬と暮らしている障害者の人々の暮らしぶりをレポートし、人生のパートナー補助犬と共にこの社会を支える人々の本音を多角的にレポート。補助犬の全てが分かる。♠

聞こえる祖父母から聞こえない親をへて聞こえる子どもへと振れを伴う家族の物語。聞こえる世界と聞こえない世界の周辺に存在し、両文化を行き来する150人のインタビューを通して彼らの境界性、葛藤を浮き上がらせる。

同じ国・社会に属していても、手話を母語とし生まれつき聞えない世界に生きるろう者は、中途失聴者と違い、自らを障害者とは捉えず、言語・文化マイノリティと捉える。ろうを損傷と捉え、聴者社会への同化を迫る聴能主義への強烈な反論。♠

112の国と地域、3千人以上の参加者が熱く議論したDPI世界会議札幌大会の全体会・記念講演、全40分科会での議論の報告集。障害者の権利条約制定へ向けての議論、自立生活、アクセス、生命倫理他、国際・国内障害者運動の最前線の記録。♠

重度の聴覚障害をもつ大学教授である著者が、アメリカ・シカゴに一年間滞在。大学院他で学ぶなかで、障害学生に対する情報サービスの実態やアメリカ人気質・文化の違いを通し、こころなはずではという思いとアメリカ障害者法の底力を体験。

C Pとして健全者文明に対し鮮烈な批判を展開した「青い芝の会」の33年間の活動を振り返り、地域社会とは（原田正樹）、自己決定とは（立岩真也）、優生思想と女性運動（米津知子）、障害者の表現（金満里）、共に学ぶ教育（長谷川律子）について対談。

1970年代の障害者運動を牽引し、健全者社会に対して「否定されるいのち」から鮮烈な批判を繰り返してきた日本脳性マヒ者協会青い芝の会の行動綱領を起草、思想的支柱であった故・横田弘の原点的書の復刊。70年代の闘争と今に繋がる横田の思索。♠

高山 久子 著

風の狭間で

「青い芝の会」・生みの母からの伝言

978-4-7684-3557-1 B 6判変 128 頁 1500 円＋税

70、80 年代に健常者社会へ鮮烈な批判を展開した青い芝の会。そのルーツである肢体不自由児学校卒業生による親睦会をつくった高山久子の自伝小説。覚醒し、運動にのめり込むメンバーと微妙な距離を保った「青い芝の母」が見てきたものとは。

樋口恵子 著

父 83 歳、ボケからの生還

4-7684-3439-8 四六判 212 頁 1700 円＋税

肺炎→胃がん→硬膜下血腫と立て続けに入院。I C U 症候群でけいけいが出た老父の介護のために、障害をもつ著者が東京⇄高知の遠距離介護者に。三姉妹の本人の意思を尊重した介護のかいあって在宅生活に。障害者運動と高齢者介護をつなぐ感動の書。

花田春兆 編

支援費風雲録

ストップ・ザ・介護保険統合

4-7684-3446-0 四六判 240 頁 2000 円＋税

財源不足から介護保険と障害者の支援費制度とを統合して 20 歳以上から保険料徴収し、20 歳以上の介護の必要な人すべてに保険給付するという案が進行している。理念も制度も違う制度を統合して安心して暮らせる介護保障制度はつくれるのか。様々な立場から検証する。♠

花田春兆 著

1981 年の黒船

JD と障害者運動の四半世紀

978-4-7684-3467-3 A 5 判 184 頁 1700 円＋税

1981 年（国際障害者年）から 2006 年（国連・障害者権利条約採択）までの障害者運動 25 年間を、障害当事者団体、政（永田町）・官（霞ヶ関）・学（福祉系教員）・文（障害文化や芸能の担い手）などの人間関係を交えて読み物風に記す。

無量真見 著

自閉症の意識構造

デジタル文化が無意識の成長を阻害する

4-7684-6904-3 四六判 196 頁 1700 円＋税

自閉症・ADHD 等の子どもは脳の器質障害と言われているが、TV・ビデオ、デジタル的な英才教育等の環境要因によるものである。意識構造成長の仕組みと環境要因の関係を仏教・唯識の概念を使い、日常的出来事の中から具体的に解明。♠

ジャン・M. ロンリー 著

自閉症・環境・発症論

978-4-7684-6988-0 四六判 272 頁 2200 円＋税

言葉と経験（行為）が乖離した早期教育（教え込み）によるデジタル思考と自閉症の発症の関係を、具体的な日常風景に即して解明。ルソーの『エミール』にも、教え込みが子どもの判断能力・対処能力を奪うことへの警告が発せられていた。

江尻彰良 著

新版 おまえらばかか

ほうり出されたおれたち おれたちの生きざし

4-7684-3451-7 A 5 判 340 頁 2200 円＋税

施設以外何も福祉資源がなかった 1960 年代、「精神薄弱」という条件を持ち、かつ家庭的にも恵まれない働く青年たちの下宿屋となって衣食住の世話をし、地域生活を支援してきた「はちのす寮」の 40 年間。福祉制度に乗らない、福祉の原点。

ベンチレーター使用者ネットワーク 編

ベンチレーター（人工呼吸器）は自立の翼

ベンチレーター国際シンポジウム報告集

4-7684-3449-5 A 5 判 360 頁 2500 円＋税

2004 年 6 月、札幌・東京・大阪で行われたスウェーデン・カナダ・アメリカ・日本のベンチレーター（人工呼吸器）使用者と、ベンチレーター使用者の在宅医療を進める医学博士による地域生活・介助・旅等に関するシンポジウムの記録集。

海老原宏美・海老原けえ子 著

まあ、空気でも吸って

人と社会：人工呼吸器の風がつなぐもの

978-4-7684-3543-4 四六判 240 頁 1600 円＋税

脊髄性筋萎縮症Ⅱ型という進行性難病により 3 歳までしか生きられないと医者に言われた著者の半生記と娘の自律精神を涵養した母の子育て記。障害の進行を成長と捉え、地域で人と人をつなぎながら豊かな関係性を生きる姿は爽風のような。♣

佐藤きみよ 著

雨にうたれてみたくて

愛しの人工呼吸器をパートナーに自立生活

978-4-7684-3551-9 四六判 264 頁 1800 円＋税

「病院を出たら 3 日で死ぬ」と言われ、それでもベンチレーター（人工呼吸器）をつけて退院して早四半世紀。自立生活、旅行、恋愛、子育てなど、ベンチレーター使用者が地域で当たり前に生きるパイオニアの生きる喜び溢れるエッセイ！ ♣

松永正訓 著

呼吸器の子

978-4-7684-3555-7 四六判 256 頁 1600 円＋税

2歳までのいのちと言われるゴーシェ病という先天性難病で、人工呼吸器をつけて14歳まで成長した凌雅君をめぐる、親、関わる訪問看護師・ヘルパー、医師、特別支援学校教員たちの日々の営みを丁寧に記し、生きることの究極の意味を考える。 ♣

平本 歩 著

バクバクっ子の在宅記

人工呼吸器をつけて保育園から自立生活まで

978-4-7684-3558-8 四六判 196 頁 1600 円＋税

難病で、幼少時から人工呼吸器をつけた子（バクバクっ子）の在宅生活の草分けとして、保育園・小・中・高校（普通学校）で学び、親許を離れて介助者との自立生活の道をすべて切り開いてきた著者の半生記。バクバクとは、手動式人工呼吸器の通称。

田中耕一郎 著 〈2006年度日本社会福祉学会賞受賞〉

障害者運動と価値形成

日英の比較から

4-7684-3450-9 A 5 判 352 頁 3200 円＋税

戦後から現在までの日英の障害当事者運動の変遷をたどり、運動の課題・スタイル・思想、障害概念の再構成、障害のアイデンティティ・障害文化、統合と異化の問題等に焦点を当て、日英の障害者運動の共通性と共時性を明らかにした比較研究。

田中耕一郎 著

英国「隔離に反対する身体障害者連盟(UPIAS)」の軌跡 〈障害〉の社会モデルをめぐる「起源の物語」

978-4-7684-3553-3 A 5 判 368 頁 3500 円＋税

障害の社会モデルを唱えた源流である UPIAS に関するまとまった研究は英国本国ですら皆無。そのUPIASの非公開内部資料を収集し、結成から解散まで（1970～80年代）の軌跡と理論形成を整理した初めての本。障害の比較思想史研究の基礎文献。

共同作業所ピアセンターあかり 編

見えない世界の物語

ピアで語る心の病

4-7684-3454-1 四六判 240 頁 1800 円＋税

そううつ病、うつ病、統合失調症、転換性神経症、乖離性神経症、アルコール依存症、摂食障害…病名は一緒でも、症状、抱える問題は様々。心の病をもつ人の暮らし、家族との関係、医療とのかかわり、病とのつき合い方を当事者がインタビュー。

高部知子 著

だいじょうぶ！ 依存症

978-4-7684-5761-0 四六判変 240 頁 1200 円＋税

依存症は、意志の弱さに原因はなく、薬物や行動学習によって起こる「精神疾患」である。依存症へと向かう脳の構造をはじめ、現れる症状、周囲の人がとるべき対処などを平易に解説。依存症者への理解を深め、回復の道筋を示す。イラスト付。 ♣

聴覚障害をもつ医療従事者の会 編

医療現場で働く聞こえない人々

社会参加を阻む欠格条項

4-7684-3448-7 A 5 判 176 頁 1600 円＋税

聴覚障害をもちながら、医師・看護師・薬剤師・医療検査技師等として医療現場で働く人々の体験談、アンケート調査などから、資格取得までの教育・研修のあり方や、職場での工夫や周囲との関わり方、情報保障などの課題を明らかにする。

中園秀喜 著

拝啓 病院の皆様

聴覚障害者が出会うバリアの解消を

978-4-7684-3466-6 四六判 280 頁 2000 円＋税

がんの宣告を受け、検査・入院・手術を通して医者・看護師・検査技師・薬剤師等とやり取りする中で出会った聴覚障害に関する無知・勘違いの数々。病気の不安と情報バリアと苦闘する体験のなかから、医療現場での情報保障を提言。 ♠

山口道宏 編著

男性ヘルパーという仕事

高齢・在宅・介護を支える

4-7684-3455-X 四六判 200 頁 1700 円＋税

介護保険による市場拡大で、ヘルパーの仕事は家事労働の延長から専門性と継続性が求められるようになってきた。男性ヘルパーの現状を労働現場・派遣事業者・養成現場に取材し、医療・介護改革の中でのヘルパーの位置づけなど多角的に検証。

山口道宏 編著

「申請主義」の壁！

年金・介護・生活保護をめぐる

978-4-7684-3495-6 四六判 192 頁 1700 円＋税

年金、介護、施設利用、生活保護、高額医療費還付も保育所も、日本の福祉制度利用は申請しなければ何事も始まらない。しかし制度は複雑で、生活保護のように申請すらさせない給付抑制が行われている。申請主義の弊害を暴く。 ♠

山口道宏 編著

無縁介護

単身高齢社会の老い・孤立・貧困

978-4-7684-3520-5 四六判 208 頁 1600 円＋税

「地縁」「血縁」「社縁」が薄れ、福祉サービスにたどり着けない「無縁介護」の状態が「無縁死」を引き起こし、貧困の拡大がこの状況に拍車をかけている。「無縁死」あるいはその一歩手前の実態を、在宅介護・医療の現場から洗い出す。 ♠

山口道宏 編著

介護漂流

認知症事故と支えきれない家族

978-4-7684-3547-2 四六判 232 頁 1600 円＋税

2007 年に名古屋で起きた認知症鉄道事故の裁判の経過を基に、老老介護、介護離職など在宅介護における厳しい現実と、「施設・病院から在宅へ」と掲げる社会福祉政策、介護保険制度の限界により負担が強えられる実態を詳らかにする。

市民福祉情報オフィス・ハスカップ 編

おかしいよ！改正介護保険

4-7684-3456-8 四六判 260 頁 1800 円＋税

施設利用者のホテルコスト自己負担や介護度の低い利用者にはヘルパー派遣なしで介護予防と称しての筋トレが導入された介護保険改正。利用者主体の保険サービスはどこへ？ 研究者・介護事業者・介護保険利用者の家族が市民の立場から検証。

白崎朝子 著

介護労働を生きる

公務員ヘルパーから派遣ヘルパーの 22 年

978-4-7684-3490-1 四六判 208 頁 1600 円＋税

ヘルパー不足のなか派遣切りされた人を介護にシフトする案が出ているが、介護労働はそんなに単純なものではない。自身と 7 人の介護労働者の経験から、混沌の介護現場を支える介護労働者の労働実態を明らかにし、未来を展望する渾身のレポート。

中畠 洋 著

地域福祉・介護福祉の実践知

家庭奉仕員・初期ホームヘルパーの証言

978-4-7684-3549-6 A5 判 400 頁 3500 円＋税

在宅福祉の担い手である全国の家家庭奉仕員、初期ヘルパー 9 名の貴重な証言と戦後の地域福祉実践の歴史に学び、介護・福祉の当事者として生き抜く 40 訓を提示。将来を担う人材育成の実践教材でありかつホームヘルプ事業史の研究でもある。

藤森洵子・須之内玲子 著

生き逝き術のススメ

ニューシニアは語る

978-4-7684-5732-0 四六判 216 頁 1600 円＋税

高齢化社会で生きるということは、介護を媒介することである。自宅・施設・有料老人ホームの被介護者へのインタビューを参考に、介護生活を否定的ではなく、新たな人生として前向きにとらえ、ニューシニアとして生き逝くことを探った。 ♠

久田恵＋花げし舎 編著

100 歳時代の新しい介護哲学

介護を仕事にした 100 人の理由

978-4-7684-3568-7 四六判 240 頁 1800 円＋税

元芸人、元銀行マン、元ダンサー、元主婦……。様々な人生が様々な理由で「介護の仕事」へたどり着く。介護職に出会い、活躍する 100 人 100 様のリアルな声を集めた稀有な一冊。現場に生きる草の根の介護職の言葉と、そこに宿る「介護哲学」を紹介。

水戸事件のたたかいを支える会 編

絶対、許さねえってば [品切れ]

水戸事件 (障害者差別・虐待) のたたかいの記録

4-7684-6903-5 四六判 248 頁 1800 円＋税

横須賀俊司・松岡克尚 編著

支援の障害学に向けて

978-4-7684-3471-0 A 5 判 180 頁 1700 円＋税

杉本 章 著

【増補改訂版】障害者はどう生きてきたか

戦前・戦後障害者運動史

978-4-7684-3487-1 A 5 判 464 頁 3300 円＋税

加藤真規子 著

精神障害のある人々の自立生活

当事者ソーシャルワーカーの可能性

978-4-7684-3494-9 四六判 288 頁 2000 円＋税

加藤真規子 著

社会的入院から地域へ

精神障害のある人々のピアサポート活動

978-4-7684-3556-4 四六判 228 頁 2200 円＋税

大熊一夫 編著

精神病院はいらない！(DVD 付)

イタリア・バザーリア改革を達成させた愛弟子3人の証言

978-4-7684-3550-2 A 5 判 192 頁 2800 円＋税

浅野詠子 著

ルポ 刑期なき収容

医療観察法という社会防衛体制

978-4-7684-5729-0 四六判 216 頁 1800 円＋税

乾 達 著

統合失調症は回復します

978-4-7684-7971-1 四六判 208 頁 1800 円＋税

新田 勲 編著

足文字は叫ぶ！

全身性重度障害者のいのちの保障を

978-4-7684-3486-4 A 5 判 272 頁 2200 円＋税

知的障害をもつ従業員に対する日常的な暴行、傷害、性的虐待事件として、全国的に有名になった「水戸事件」。知的障害者に対する差別・偏見を反映した刑事判決を乗り越え、民事裁判で完全勝利判決を勝ち取るまでの九年間の歩みと支援の記録。

障害者と障害をもたない人との社会関係を「支援」と「つながり」をキーワードにソーシャルワーク、聴覚障害学生へのノートテイク、精神病院での権利擁護、バリアフリー旅行等の実践から捉え返す、障害学分野における意欲的な論考。

従来の障害者福祉史の中では抜け落ちていた、障害をもつ当事者の生活実態や差別・排除に対する闘いに焦点をあて、戦前から現在までの障害者の歩みを綴る。障害者政策を無から築き上げたのは他ならぬ障害当事者であることを明らかにした。♠

医療・福祉の専門職や家族が利害を代弁し、政策決定してきた精神障害の分野で、精神障害があるソーシャルワーカーとしてピア（仲間）による自己決定支援、地域生活支援に乗り出した著者の軌跡と日・米・加の当事者へのインタビュー。♠

精神病院大国日本の問題点を、退院して地域で暮らし始めた人たちのライフヒストリーを主軸に、病を抱える人生を肯定し・慈しみながら地域で暮らすことをどう支えるか、法制度や意識の壁をどう変えていくのか、制度と実践両面から捉える。

世界に先駆けて精神病院をなくし、365 日 24 時間開かれた地域精神保健を実現したイタリア。歴代精神保健局長の証言と映画『むかし Matoo の町があった』（本書付録 DVD）で、イタリアはいかにして閉じ込めの医療と決別したかを詳解。

池田小児童殺傷事件を機に、様々な問題点が指摘されながら成立した心神喪失者等医療観察法。「再犯の虞がなくなるまで」という刑期なき収容を生み出したその基盤は、精神障害者に対する差別であることを丁寧に取材で明らかにしていく。♠

統合失調症は回復する病気なのに、なぜ現代は薬のない時代より回復する人が少ないのか。町医者として診療のかたわら、精神障害の患者さんやその家族と、生活の場で共に語り、学び合ってきた経験からの回復のためのアドバイス。 白澤社刊

脳性マヒによる言語障害と四肢マヒで、足で文字を書いてコミュニケーションをとる著者が、施設から出て在宅生活を始めた 70 年代からの介護保障運動の歴史を総括。事業所まかせの介護派遣でなく、いのちを大切に福祉政策を提言。

李清美 著

私はマイノリティ あなたは？

難病を持つ「在日」自立「障害」者

978-4-7684-5623-1 四六判 208 頁 1500 円＋税

在日二世。親子二代生活保護で、14 歳から下肢障害あり。41 歳にしてアーノルド・キアリ症という難病を発症。民族差別や障害者に対する不当な扱いを許さず、同情も差別も偏見も跳ね除けてきたやんちゃな半生を介助者である学生達が聴き書き。

わらじの会 編

地域と障害

しがらみを編みなおす

978-4-7684-3501-4 四六判 404 頁 3000 円＋税

埼玉県春日部市で、重度障害の姉妹の住む家を利用し、他の障害者も加わってつくったグループホームから始まった「わらじの会」。様々な施策を使いつつ、住民同士がしがらみの中で地域で共に暮らし続けることを支えた 30 年の軌跡。♠

馬場 清・吉岡隆幸 著

車いすでめぐる日本の世界自然遺産

バリアフリー旅行を解剖する

978-4-7684-3505-2 A 5 判 176 頁 1700 円＋税

車いすツーリストと共に実際に旅した知床半島、屋久島、白神山、小笠原、八重山諸島の具体的なバリアフリー旅行の情報、ノウハウをカラー写真入りで紹介 (32 頁)。自由にどこにでも旅ができる社会づくりの意義を考える。♠

牧坂秀敏 著

認知症ケアは地域革命！

「地域福祉館 藤井さん家」の取り組み

978-4-7684-3508-3 四六判 264 頁 1900 円＋税

福岡県大牟田市の空き家を使った認知症対応デイケアサービス「地域福祉館 藤井さん家」の一年半の記録。誰でも寄れる地域寄り合い所、放課後の子どもの居場所など、介護保険外の取り組みを拡張、認知症ケアから地域再生を提唱する。♠

鈴木 良 著

知的障害者の地域移行と地域生活

自己と相互作用秩序の障害学

978-4-7684-3510-6 A 5 判 336 頁 3200 円＋税

入所施設から地域生活（グループホーム・通勤寮・アパート等）に移行後の生活実態、支援者との関係を、当事者・職員・家族への調査により実証的に検証し、地域生活における当事者－職員－家族の相互関係を障害学の視点から切り込む。

鈴木 良 著

脱施設化と個別化給付

カナダにおける知的障害福祉の変革過程

978-4-7684-3570-0 A 5 判 368 頁 3000 円＋税

施設解体過程での当事者運動と親の会が果たした役割と思想、個人への直接給付、権利擁護の在り方のドラステックな変換（代行決定の後見人制度から支援を受けての本人意思決定へ）等、知的障害者福祉の変遷を網羅的に扱った労作。

小林 繁 編著

地域福祉と生涯学習

学習が福祉をつくる

978-4-7684-3519-9 A 5 判 232 頁 2000 円＋税

教育と福祉をつなげるという課題意識に立ち、学習文化支援と福祉サービスとの相互関係のあり方と課題を明らかにすることを追求。研究者や福祉現場の人びとがさまざまな視点で、教育と福祉の縦割り行政の弊の克服を模索する。

林 香里 著

音楽共有の場づくりとしての音楽活動

「福祉文化」活動の場合を手がかりに

978-4-7684-3535-9 四六判 624 頁 7000 円＋税

人間への働きかけとしての音楽活動を巡る従来の理論および実践の蓄積を踏まえ「音楽共有の場づくりとしての音楽活動」という理念とその具体例としての筆者によるピアノ・コンサート「午後のサロン」の実践事例を提示する。

久野研二 編著

ピア・ボランティア 世界へ

ピア（仲間）としての障害者の国際協力

978-4-7684-3515-1 四六判 196 頁 1600 円＋税

JICA 障害者ボランティア隊員として、アジア・中東の障害者支援に携わった 9 名と支援者 3 名による、当事者・ピア（＝仲間）の視点からの国際協力。障害者のためではなく、障害者自身による共に問題を発見し解決していった挑戦の記録。♠

久野研二 編著

社会の障害をみつけよう

一人ひとりが主役の障害平等研修

978-4-7684-3564-9 A 5判 192 頁 1800 円＋税

島野涼子 著

国際協力とキャパシティ・ディベロップメント

障害女性へのエンパワーメントの視点から

978-4-7684-3537-3 A 5判 200 頁 2300 円＋税

荒井裕樹 著

障害と文学

「しのめ」から「青い芝の会」へ

978-4-7684-3511-3 四六判 256 頁 2200 円＋税

荒井裕樹 著

差別されてる自覚はあるか

横田弘と青い芝の会「行動綱領」

978-4-7684-3552-6 四六判 304 頁 2200 円＋税

庄司洋子・菅沼隆・河東田博・河野哲也 編

自立と福祉

制度・臨床への学際的アプローチ

978-4-7684-3521-2 四六判 384 頁 2300 円＋税

菅沼隆・河東田博・河野哲也 編

多元的共生社会の構想

978-4-7684-3529-8 A 5判 232 頁 2200 円＋税

竹端 寛 著

権利擁護が支援を変える

セルフアドボカシーから虐待防止まで

978-4-7684-3525-0 四六判 240 頁 2000 円＋税

竹端 寛 著

「当たり前」をひっくり返す

バザーリア・ニィリエ・フレイレが奏でた「革命」

978-4-7684-3569-4 四六判 248 頁 2000 円＋税

児玉勇二 著

知的・発達障害児者の人権

差別・虐待・人権侵害事件の裁判から

978-4-7684-3534-2 四六判 248 頁 2000 円＋税

障害とは、心身の機能や能力の欠損ではなく、“違ふ”とみなされる人に対する排除、差別、参加の制限＝社会的障壁のことである。社会の障害(障壁)を見抜き、障壁を取り除き、より平等でインクルーシブな社会をつくるための入門・実践ガイド。

複合差別故に当たり前の権利や機会を奪われやすく、最も不可視化されたグループの一つである障害女性への援助の在り様を比較検討。キャパシティ・ディベロップメント・アプローチの有効性を検証し、日本の ODA のあり方を見直す。

障害文芸誌『しのめ』の主宰者である花田春兆(俳人、85 歳)、「青い芝の会」綱領を起草し鮮烈な健常者文明批判を展開した横田弘(詩人、77 歳)を中心に、障害者が展開した文学活動の歴史を掘り起こし、「障害」とは何かを問い直す。 ♠

1970～80 年代の障害者運動を牽引し、「否定されるいのち」の立場から健全者社会に鮮烈な批判を繰り広げた日本脳性マヒ者協会青い芝の会の「行動綱領」を起草、理論的支柱であった故・横田弘の思想とその今日的な意義を探究する。

障害者、高齢者、ひとり親家庭、生活保護利用者等の福祉対象者が、パターンリズムの下に置かれ、自律性を奪われてきたことを規範・制度・臨床面から検証し、福祉がどう自立／自律支援に向き合うのかを展望する。

「ポスト自立社会」の新しい社会像を見据え、障害、貧困、女性(妊婦)、子ども、高齢者、被災者という、社会的排除に遭いやすいカテゴリーの人々を社会の多様性の一部と捉え、インクルーシブな地域社会＝「多元的共生社会」の構想を論述。

当たり前の生活、権利を奪われてきた精神障害や知的障害のある人の権利擁護をセルフアドボカシー、システムアドボカシー、そして社会福祉実践との関係から構造的に捉え返す。当事者と支援者が「共に考える」関係性構築のための本。

精神病院をなくしたバザーリア(伊)、入所施設の論理を破壊しノーマライゼーション原理を唱えたニィリエ(瑞)、教育の抑圧性を告発したフレイレ(伯)。動乱の時代に社会に大きな影響を与えた 3 人を貫く「実践の楽観主義」の今日的意義。

著者が関わった自閉症(発達障害)・知的障害のある障害児・者にかかわる虐待事件・教育・労働問題等の裁判事例から、知的障害者の供述の信用性、障害者の逸失利益等を検討し、障害者の奪われた人権の回復の道筋を追う。 ♠

藤岡 毅・長岡健太郎 著

障害者の介護保障訴訟とは何か！

支援を得て当たり前生きるために

978-4-7684-3526-7 A 5 判 164 頁 1600 円＋税

重度の障害があっても、地域で自立して暮らすための介護が全国どこでも平等に保障されなければならない。自治体ごとに大きな格差がある現実を踏まえ、介護保障の法的権利性と、行政交渉と訴訟の手引きをまとめた本。判例多数掲載。

エヴァ・F・キテイ 著／岡野八代・牟田和恵 監訳

愛の労働あるいは依存とケアの正義論

978-4-7684-7935-3 四六判 448 頁 4400 円＋税

主として女性たちが担っている子育て、障がい者介助、病人や高齢者介護などの依存者へのケア労働は、これまで平等、自律神話の影に隠されてきた。何人も避けられない依存を含む新たな平等の地平を切り拓く、ケア論の新展開。 白澤社刊♠

エヴァ・F・キテイ 著／岡野八代・牟田和恵 編著・訳

ケアの倫理からはじめる正義論

支えあう平等

978-4-7684-7940-7 四六判 176 頁 1800 円＋税

依存による関係性をとらえ直しケア倫理に新局面を開いた『愛の労働…』の邦訳を機に来日したキテイ氏による講演とインタビューを収録、同書監訳者の解説と、江原由美子氏らのコメントを付した、キテイ哲学入門。 白澤社刊

野崎泰伸 著

生を肯定する倫理へ

障害学の視点から

978-47684-7939-1 四六判 216 頁 2200 円＋税

ロールズやシンガーら現代の倫理学は私たちの生を肯定しているのか？そこに生きるに値する者とそうではない者を分かつ隠された境界線はないのか？ 障害者の視点から倫理学を再検討し、生を無条件に肯定する倫理を構想する。 白澤社刊

女性・ジェンダー

女たちのリズム編集グループ 編

女たちのリズム

[品切れ]

月経・からだからのメッセージ

4-7684-3349-9

A 5 判 216 頁 1400 円＋税

女は一生のうち合計すると約7年間も月経につきあうという。にもかかわらず「なきがごとく」隠されてきた月経。本書は全国の13歳から80歳まで、400人以上の女たちの声をもとに、月経を通して自分自身をみつめ直すために作られたものです。

福岡・女性と職業研究会 編

家事・育児を分担する男たち

[品切れ]

4-7684-3350-2

四六判 224 頁 1400 円＋税

男と女が自立し共に生き合える関係をきずくためには、共に自分の仕事を持ち、家事・育児を分担し生活する必要がある。現在、それを実行している数組の夫婦にその日常を語ってもらい、また外国の報告とも合せて、今後の男女の関係性を問う。

シャーロット・P.ギルマン 著／三輪妙子 訳

フェミニジア

[品切れ]

女だけのユートピア

4-7684-3351-0

四六判 264 頁 1700 円＋税

女性が全的な人間として認められ、のびのびと生きる女だけの国。そこに好奇心あふれる3人のアメリカ人青年が迷い込んだら……。ユーモラスな物語の中に、女性、教育、労働、食糧、医療、エコロジー問題等が笑いを通して浮かび上がる。♠

宮 淑子 著

セクシュアリティ 〈新装版〉

女と男の性と生

4-7684-9948-1

四六判 232 頁 1650 円＋税

従来ともすれば下半身のこととして蔑まれ、抑圧されてきた性を、全人的なコミュニケーションの性として位置づけ、女の目の位相から捉え直した重層的ルポルタージュ。いま性の呪縛を解き、性を見つめ、性を語るのとは女たちではないか。

コンピュータと女性労働者を考える会 編

ME 革命と女性労働者

4-7684-3353-7

四六判 232 頁 1600 円＋税

日進月歩のME(マイクロエレクトロニクス)革命の下で働く女性労働者は雇用の縮小、職種の再編成、女性差別の拡大、健康破壊と新しい職業病の出現など新たな質の合理化に直撃されている。本書はその実態を究明し、今後の闘いを考える。

北村小夜が語り、北村小夜と語る集い実行委員会 編

おもちゃ箱ひっくり返した

ひとりの女・教師の半生

4-7684-3365-0

A 5 判 216 頁 1500 円＋税

若き頃、八路军とともに大陸を歩き、後教職へ。20年間の特殊学級担任を含め36年間勤めて定年退職させられた北村小夜が、共に学ぶ教育、教育労働運動、反公害運動、戦争、自分史を語る。対談者 山尾謙二・渡部淳・石上正夫・宇井純。

ミズ・プロジェクト・チーム 編

ワーキングマザーになる本

均等法時代のマタニティガイド

[品切れ]

4-7684-3355-3

A 5 判 192 頁 1400 円＋税

働きながら妊娠・出産・子育てをするためのガイド。計画出産、家事・育児の工夫と分担、ホームヘルパー・レンタル・宅配業等の子育ておたすけ人、心とからだの健康のための情報が満載。ワーキングマザーの彼ともぜひ一緒に読んでほしい本。

21世紀を織る女たちの会 編

母さん、だいじょうぶだよ

[品切れ]

4-7684-3372-3

四六判 248 頁 1500 円＋税

男女雇用機会均等法が施行されて四年、働く女性、共稼ぎの家庭が増えている。そんな中、子供たちは母親をどのように受けとめているか。小・中・高・大学生のアンケート、作文により子供たちの肉声に迫る、母親への激励のメッセージ。♠♣

C. バタースビー著／小池和子 訳

性別と天才

フェミニズム美学のために

4-7684-6608-7 四六判 360 頁 3340 円＋税

「天才は女のようにである、だが女ではない。天才にはベニスが必要」。―「天才的芸術家」「天才教育」等々、何気なく使用している「天才」の概念はどのように形成され、どう機能し、女を文化的業績から排除していったか。女の新しい戦略を提唱。

E. シュテーク 他編／田村光彰 訳

意識はフェミニズム、行動は地域

4-7684-5585-9 四六判 240 頁 2000 円＋税

公務員の男女同数採用、女たちが夜を取り戻すための夜間割引きタクシー、女の眼で見た都市計画や清掃業など、ドイツ各地で取り組まれてきた刺激的で元気の良い女たちの活動の記録。地域と女と政治の時代 1990 年代の日本における必携の書。

しんぐるまざあず・ふぉーらむ 編著

母子家庭にカンパイ！ [品切れ]

離婚・非婚を子どもとともに生きるあなたへ

4-7684-3387-1 A 5 判 176 頁 1600 円＋税

母子家庭は「かわいそう」じゃない！ 母子家庭はステキな家族だ。母子家庭であろうとなかろうと自分自身の人生を大切に生きる親を見て、子どもは安心し、自由になれる。母子家庭をステキに生きる女たちが贈る生きる知恵と元気、情報満載。

しんぐるまざあず・ふぉーらむ 編著

シングルマザーに乾杯！ [品切れ]

離婚・非婚を子どもとともに

4-7684-3427-4 A 5 判 196 頁 1700 円＋税

離婚・非婚・死別で母子家庭として生きる女性に贈る、制度利用法、仕事や住宅、子ども・子どもの父親との関係、恋人との関係、仲間づくりなどの知恵と情報満載。現実には厳しいけれど、楽しくシングルマザーを生きる先輩たちからのエール。

NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 編著

シングルマザーのあなたに

暮らしを乗り切る 53 の方法

978-4-7684-3480-2 A 5 判 144 頁 1400 円＋税

母子世帯の平均所得は一般世帯の半分以下と、圧倒的に苦しい状況。離婚・非婚で子どもと共に生きるシングルマザーを応援する暮らしの知恵と制度活用法を 53 の Q&A で解説。児童扶養手当一部支給停止適用除外の手続きの手引き付き。

H. ギルバート 著／椎野信雄・朴 和美 訳

性の女性史

4-7684-6656-7 A 5 判 256 頁 2300 円＋税

人間の求愛行動から成就までは、種々の手段を用い、時代や地域を超え、様々な追求され吟味され続けてきた。貞操帯・ビデ・ビル等、時代の発明品の影響による性行動の著しい変化を具体的事例にそって、女性の視点で考察した性の歴史。

L. P. フランケル 著／北山秋雄 監訳・中山美香 訳

女性の怒りと憂うつ [品切れ]

セルフ・エンパワメントのすすめ

4-7684-6671-0 A 5 判 128 頁 1400 円＋税

周囲から“感情的な女”と見られることを恐れて抑え込まれた未分化の怒りは、憂うつとなって表出し、女性のパワーを萎えさせる。表出されない怒りと憂うつの社会的関係をときほぐし、感情に正直に向きあい、自己を信頼するための実践書。

M. ヴァレンティス、A. ディヴェイン 著／和波雅子 訳

女性・怒りが開く未来

4-7684-6682-6 四六判 384 頁 3000 円＋税

「感情的」になることを恐れ、自分の怒りをただなだめてきた女性たちへ、米国の心理学者が鳴らした警鐘の書。神話・映画・報道からダイアナ妃報道などを素材に、自分の怒りの由来をしっかりと確かめ人生をきり拓くパワーへと昇華させる。♠

ベティ・ニッカーソン 著／海音融香 訳

婆力（ばりき）

Old and Smart

4-7684-6746-6 四六判 288 頁 2300 円＋税

60 歳以下の人間は信用するな！ 年を重ねて初めて知った生きることの豊かさと素晴らしさを誇り、この先もまだまだ続く長い人生を心ゆくまで楽しむためのアイデア提言集。具体的な日常の注視点から、健康維持や財産管理まで情報満載。♠

田中美津 著 〈新版〉いのちの女たちへ とり乱しウーマン・リブ論 978-4-7684-7827-1 四六判 360 頁 3200 円＋税	70 年代ウーマン・リブ運動のカリスマ的存在だった田中美津が、当時本書を著したことは一つの事件であった。日本中の女たちの共感を呼び、読みつがれてきた本書は三十年を経ても、古びることなく新鮮な感動を呼び起こす。 バンドラ判
パンドラ 編 バトルセックス 4-7684-5579-4 四六判 216 頁 1650 円＋税	西部邁 vs 船橋邦子／栗本慎一郎 vs 田中優子／田原総一朗 vs 三井マリ子による性と文化の論争。政治と女、遊郭・買売春と伝統文化、表現と差別、CM とボルノグラフィー、セクシュアルハラスメントとは。女と男の現在と関係の可能性。 ♠
シカゴ大学出版局 編／渡辺みえ子 他 訳 ウーマン・ラヴィング [品切れ] レズビアン論創成に向けて 4-7684-5576-X 四六判 192 頁 2000 円＋税	レズビアン理論の創造に向けて、(1)レズビアン及びヘテロセクシュアル両者のコミュニティとレズビアン・アイデンティティの関連。(2)女性同士の関係を優先させる女性が、様々な同性愛憎悪の文化の中でどう生きられるか、の二点を問題にする。
井上 保 著 モーヴ色の肖像 4-7684-6619-2 四六判 256 頁 2200 円＋税	ゲイ弾圧の時代に勇気を持って生きた芸術家たち 14 名のバイオグラフィー。あるがままの自分をまやかさずに引き受け、偏見や差別に屈せず、友人や家族や国家を敵に回してでも誇りを持って自らの生き方を貫いた彼らの決意にスポットを当てた。
井上 保 著 ピンクの三角形 ゲイ・リベレーションと文学の潮流 4-7684-6647-8 四六判 256 頁 2300 円＋税	ニューヨーク・ストーンウォールの暴動から 25 年。ゲイの社会認知が広がった現在、マイノリティーに視点を据えた類例のないゲイのブックガイド。標題のピンクの三角形とは、ナチス強制収容所で同性愛者の服の胸につけられた布のことである。
黒柳俊恭 著 彷徨えるジェンダー [品切れ] 性別不快症候群のエスノグラフィー 4-7684-5552-2 四六判 184 頁 2500 円＋税	我が国における性別不快症候群。異性装症、同性愛、変性症の人々に面接し、事例を挙げながら、単に「倒錯」として見るのではなく、現象学的に論究する。これらのセクシュアリティに注目し、日本文化との関係を探りつつ、性の文化に迫る意欲作。
アン・ボリン 著／黒柳俊恭 訳 イヴ・内なる女性を求めて 4-7684-5577-8 四六判 312 頁 2700 円＋税	本書はアメリカの性別に不快を感じる人々、中でも性転換者（男性から女性へ）の外科的転換に至るまでの準備や生活、医療スタッフとのコミュニケーション、転換後の女性として社会に復帰するまでの実態をフィールド・ワークを通して紹介。
G. ハート 著／黒柳俊恭・塩野美奈 訳 同性愛のカルチャー研究 4-7684-6811-X 四六判 296 頁 2800 円＋税	本書は同性愛の問題を文化特有のものとして、時代・場所に深く結びつけて考察することを提唱する。同性愛の誤解、偏見、さらに政治的抑圧の歴史を明かし、レズビアンやゲイの人々の社会変革は政治的動員によって改革されることを提唱する。
フリッツ・クライン 著／河野貴代美 訳 バイセクシュアルという生き方 4-7684-6716-4 四六判 248 頁 2500 円＋税	同性愛でも異性愛でもなく、性別にとらわれることなく自由にパートナーを選ぶバイセクシュアルという生き方を徹底解説。当事者へのセラピーを申し明らかにしていく彼等・彼女等の本当の気持ち、心理カウンセラーが平易に分析する。

佐倉智美 著

性同一性障害はオモシロイ

性別って変えられるんだよ

4-7684-6757-1 四六判 224 頁 2000 円＋税

女性と普通に恋愛をしてきたので無自覚だったが、日に日につのる女性になりたいという気持ち。教職を捨て「女性」として生きる道を選んだ元男性の爆笑の体験手記。明るくユーモラスな文を追ううちに性同一性障害がよく分かる本。

佐倉智美 著

性同一性障害の社会学

4-7684-6921-3 四六判 216 頁 1800 円＋税

『性同一性障害はオモシロイ』で自らの体験を語り各書評で絶賛された著者が、大阪大学大学院での研究をもとに新しく書き下ろした本。平易な筆致で、問題の解説から当事者たちへの調査までを含めた当事者による性同一性障害の解説本。

ジャーメイン・グリア 著／寺澤美恵子＋山本博子 訳

更年期の真実 [品切れ]

4-7684-7824-7 四六判 560 頁 3800 円＋税

フェミニズム学者による「更年期」の再定義書。更年期とは、老化の生物学的側面からその延長線上にある「死」という哲学的側面まで様々な問題に関する多様な文化的視点が錯綜する場であり、豊かで多義的な概念であると提示。 パンドラ刊

**城西国際大学ジェンダー・女性学研究所 編
ジェンダーで読む〈韓流〉文化の現在**

4-7684-6934-5 四六判 264 頁 1500 円＋税

「韓流ブーム」と称された現象を多角的に吟味する。単なる芸能ブーム・映画評を超えアジアの隣国どうしが互いを等身大に見つめ合う契機を紡ぎ出す。柔かいアジア変革の潮流を多士済々の論客がジェンダー論とともに縦横無尽に語り、深める。

木村涼子 編

バッシング現象を検証する

ジェンダー・フリー・トラブル

978-4-7684-7915-5 四六判 224 頁 1800 円＋税

著しい曲解や誇張による「ジェンダー・フリー」へのバッシングが止まない。「ジェンダー・フリー」教育とはなんだったのか、何がトラブル化しているのか。9人の気鋭の執筆者が現状の困難を打開するための議論を展開する。 白澤社刊◆

北沢杏子 著

ある一族の愛と性

1843～2006・そのDNAを探して

978-4-7684-6952-1 四六判 192 頁 1200 円＋税

性教育評論家である筆者が自らの半生を綴りながら、隔世遺伝的に伝わる愛のDNAを赤裸々に明かす。明治維新時少女期を過ごす地主の娘の奔放な愛と性。その孫である自分と孫娘の愛の遍歴。ノンフィクションノベルとして読み応え充分。◆

堀内真由美 著

**大英帝国の女教師 (フェミニズム的転回叢書)
イギリス女子教育と植民地**

978-4-7684-7922-3 四六判 256 頁 2200 円＋税

大英帝国時代、女性たちはフェミニズムを追い風に高等教育と教師という社会的地位を獲得し、海外の植民地にも渡っていった。二つの大戦期までの女教師の軌跡を追いつつながら、女子教育と帝国主義との関係を探る。 白澤社刊◆

キャスリーン・A. ケアンズ 著／佐藤貞子 訳

私は、死なない

死刑台から生還した女

978-4-7684-6969-9 四六判 248 頁 2200 円＋税

1934年カリフォルニア州で起きた妻による夫殺害事件が、死刑・DV・女性の地位などの問題を全米に投げかけた。司法・政治・男たちの権力争いに翻弄されながらも、死刑を覆し自由を取り戻すために闘った女の怒濤の生涯を綴る衝撃の実話。◆

北村朋子 著

DV・被害者のなかの殺意

ネット依頼殺人の真実

978-4-7684-5608-8 四六判 200 頁 1700 円＋税

「知らない旦那、処分します」。ネットに書き込まれたこの一言が、DV被害者を殺人へと向かわせた。2005年名古屋で起きたDV被害者による「ネット依頼殺人事件」、その受刑者への2年間の取材活動をもとに、事件の真相をあぶり出す。◆

福岡女性学研究会 編

性別役割分業は暴力である

978-4-7684-5668-2

四六判 264 頁 1900 円＋税

P. オレンスタイン 著 / 和波雅子 訳

母になるための〈知りたくもなかった〉 教訓について

不妊・乳ガン、私のアラフォー成長記

978-4-7684-5692-7

四六判 264 頁 2200 円＋税

望月雅和 編著 能智正博 監修・解説

山田わか 生と愛の条件

ケアと暴力・産み育て・国家

978-4-7684-5822-8

四六判 288 頁 2300 円＋税

布施えり子 著

キャバ嬢なめんな。

夜の世界・暴力とハラスメントの現場

978-4-7684-5830-3

四六判変 208 頁 1300 円＋税

性別役割分業はなぜ暴力なのか。家父長制大家族から核家族へと家族形態が変わってもしぶとく残る性別役割意識を、世帯単位の社会保障制度、雇用形態・賃金の男女格差などの構造的問題と家事・育児・介護にかかわる個の意識の観点から解明。

母になるための〈妊活〉体験をユーモラスに綴ったノンフィクション。夫はアカデミー賞受賞監督のS・オカザキ。自意識と宗教、そしてアメリカ文化をシニカルに描くスタイルはウッディ・アレンの映画を見ているようにオモシロい。 ♠

騙されて売春婦となった山田わか（1879-1967）がなぜ国家主義的な母性保護を推進する女性活動家となったか？ 彼女の思想から、現代の愛、結婚、ケアなど、モラルの違和感を解明していく。

共著者：大友りお / 櫻坂英子 / 森脇健介 / 弓削尚子

キャバクラ。一見華やかな夜の世界だが、そこには女性を苦しめる出来事が繰り返して捨てるほど存在する。賃金未払いは当たり前、セクハラや暴力が横行する世界に対する怒りと闘いのための一冊。さまざまな偏見に苦しむキャバ嬢の日常を活写。

社会

ジョージ・ブレイトマン 編／長田 衛 訳

いかなる手段をとろうとも [品切れ]

マルコム X

4-7684-6617-6 四六判 240 頁 2200 円＋税

マルコム X のブラック・モスリム脱党から暗殺される直前 1 年間の演説、インタビュー、手紙の収録。この短期間に急激に変貌を遂げる黒人革命家の軌跡を辿るとき、我々は「革命家の人間学」の重みに感嘆せざるをえないだろう。 ♠

黒豹党支援日本委員会 編訳

すべての権力を人民へ [品切れ]

4-7684-5501-8 B 6 判 312 頁 850 円＋税

黒豹党戦士のヒューイ、クリーバー、ボビー、アンジェア・デビス等の論文の紹介を通して、第三世界の革命の思想と行動を探る。徹底的な弾圧と党内の分裂という試練をへて、黒人大衆の組織化という地道な新しい路線を明らかにする。

北村公一 著

片隅の組合の型破りな戦闘史

教育新聞闘争の 1000 日

4-7684-5502-6 四六判 224 頁 850 円＋税

組合潰しのため会社が偽装解散した。その目論見を叩きのめし労働運動史上稀有の完全勝利を勝ちとるまでの 1000 日に及ぶ闘い。街のありふれた組合の、平凡な労働者の闘いの喜怒哀楽は働く人々の連帯を生み、組合運動のあり方を問う。 ♠

鎌田 慧 著

土と人間の記録 [品切れ]

4-7684-5503-4 四六判 256 頁 1300 円＋税

戦後農地改革、減反、青田刈り、出稼ぎ…国家の近代化政策によって踏みつけられ、土から根こそぎにされた民。人々の無念の叫びと抵抗を、三里塚に沖縄に、そして各地に聞き、熱い共感とやさしさをこめてレポートした最新のルポルタージュ。

刑特法被告を支える市民の会 編

キセンバルの火 [品切れ]

沖縄は訴える

4-7684-5504-2 四六判 160 頁 850 円＋税

裁くべきは「安保」だ！ 砲立轟く核基地沖縄に燃えあがった“キセンバル闘争”。着弾地に突入し、体を張って米軍実弾練習に抵抗する沖縄の労働者・学生たち。だが、国家権力は、悪名高い「刑特法」を発動し、この七人を見せしめ的に弾圧する。

田中伸尚 著

自衛隊よ、夫を返せ！ [品切れ]

4-7684-5505-0 四六判 256 頁 1500 円＋税

ある自衛官のクリスチャンの妻が、亡き夫の自衛隊による護国神社合祀を、自分の宗教の良心に従って拒否し、裁判闘争を続けている。それまで権力に無関心で平凡な主婦が、国家に、天皇制に目ざめ自立していく軌跡を感動的に描く。 ♠ ♣

郡山吉江 著

冬の雑草

4-7684-5506-9 四六判 280 頁 1600 円＋税

文学少女から日本共産党の活動家へ、50 年問題で故なき除名以後、「ニコヨン」と呼ばれる日雇い労働をしながら、救済活動に三里塚に反権力の闘いにひたむきに生きる自伝的エッセイ。70 年に及ぶ女の歴史は近代民衆史として貴重な証言。 ♠

津田三郎 著

考証・切支丹が来た島 [品切れ]

女殉教者ジュリアをめぐる

4-7684-5509-3 四六判 216 頁 1300 円＋税

秀吉の朝鮮出征の時、切支丹大名小西行長によって連れられ、洗礼を受け、関ヶ原の戦い後家康の側室となり、慶長 17 年、伊豆神津島に流刑されたというおたあジュリア。ジュリアをめぐる展開された奇妙な殉教者美化の過程を克明に綴る。 ♠ ♣

飯田博久・飯田裁判を考える会 著

赤い鳥を見たか [品切れ]
ある「殺し屋」の半生

4-7684-5510-7 四六判 248 頁 1500 円＋税

三里塚微生物農法の会・ワンパックグループ 編
たたかう野菜たち [品切れ]

4-7684-5507-7 A 5 判 232 頁 1500 円＋税

広野 広 著

都市住民への挑戦状

4-7684-5508-5 四六判 240 頁 1500 円＋税

後藤 護 著

冤罪追跡日記 [品切れ]
羽田女高生殺人事件

4-7684-5516-6 四六判 232 頁 1600 円＋税

塚田悦子・塚田裁判を支援する会 著

保育園死亡事故 [品切れ]

4-7684-3348-2 四六判 228 頁 1300 円＋税

浦島悦子 著

奄美だより

4-7684-5534-4 四六判 224 頁 1500 円＋税

丸山 尚 著

ニューメディアの幻想

4-7684-5537-9 四六判 232 頁 1400 円＋税

鬼塚 巖 著

おるが水俣 [品切れ]

4-7684-5549-2 A 5 判 264 頁 2500 円＋税

太田 竜 著

声なき犠牲者たち [品切れ]
動物実験全廃へ向けて

4-7684-5548-4 A 5 判 172 頁 1500 円＋税

殺人・死体遺棄・窃盗・傷害・覚せい剤取締法違反・現住建造物放火未遂・鉄砲刀剣類所持法等取締法違反・火薬類取締法違反。被告飯田博久は一審で死刑判決。幼年期からあらゆる環境に虐げられ、精神病院の電気ショック等でどう変わったか。

空港に反対する農民たちが、闘いだけでなく生活の根っこまで結びついていこうと有機農法・無農薬野菜の自主流通を起こして6年。1200軒の台所をまかなうまでに成長した、この、のびやかでおおらかな運動の息吹きを肉声を通じて綴る。

東京都の離島・新島に暮らし始めて20年。ブタ飼いの農民として島に定着しようと苦闘する著者の目に映る都市の住民とは…。消費者エゴむき出しで生産者の苦悩を知ろうともしない人々、夏場の無責任な観光客など、都市人間への警告の書。♣

1979年8月、羽田で女子高生が白昼殺される。4ヵ月後に別件逮捕の大竹青年が犯人として再逮捕される。この新聞報道に疑問を持った著者は被疑者との接見、文通、支援活動を通し、権力が一青年を犯人に作り上げていく冤罪の全容を解明。

不可抗力の保育園死亡事故で、全国で初めて保母が「傷害致死」でデッチ上げられる。この冤罪の裁判闘争を通して、被告人塚田悦子や支援の人達は、警察や裁判所は権力そのもの、と気づき、さらに子育てとは、保育園とは何かを考えるに至る。

封建的な田舎を離れ、東京で雑誌編集者をしていった著者が奄美大島の枝手久闘争を闘うシマンチュウと結びつきシマに渡って、ハラハラドキドキしながらも、豊かな自然の中で2人の子どもを育て、百姓として暮らす悪戦苦闘の日々を綴る。♣

判然としないニューメディア社会の虚実を明らかにした、本格的ニューメディア批判の書。政府や企業の利益優先でニューメディア化が進行している中で、人間性を回復する見地から現状に歯止めをかけることを具体的に提案する。♠

水俣の農家に生まれ、昭和18年、15歳で当時地元水俣ではエリートとされていたチッソに入社、40年間の工具生活を終える。その間の安賃闘争、水俣病患者等との出会いを通して、単なる工具から労働者への自己変革を綴りながら水俣を語る。♠

クロード・ベルナルによって確立された近代実験医学の土台としての動物実験。毎年百万匹以上の動物が殺されているが、医学の発達のために本当に動物実験が必要なのだろうか。生体解剖される動物たちの声は、実験の無意味さを伝えている。

田仲のよ 著／三田 栄 絵／加藤雅毅 編

磯笛のむらから [品切れ]

房総海女のくらしの民俗誌

4-7684-5539-5 A 5 判 240 頁 1800 円＋税

房総・白間津の海女がつづる四季折折の生活誌。誕生から死まで、海辺漁業と農業のむらの生活を精緻なイラストを全編に織り混ぜてえがく。また、民俗学的見地からの詳しい解説は、海の生活をよりいっそう印象づけるだろう。

阿奈井文彦 著

アハウドリの仕事大全

4-7684-5536-0 四六判 416 頁 2700 円＋税

つり堀、不動産屋、リンクタク、質屋、ハンコ屋、釣り竿屋、ストリップ、らう屋、豆腐屋、食堂、くつみがき、写真館、パスガイド、団子屋、サーカス等 101 種の主に庶民の仕事と織りなすドラマを絶妙な聞き書きで綴る仕事の小さな大事典。♠

広田伊蘇夫・暉峻淑子 編

調査と人権 [品切れ]

4-7684-5555-7 四六判 308 頁 2500 円＋税

広汎な根強い反対運動によって失敗に帰した '83 精神衛生実態調査をはじめ、障害者調査、売春行為者調査、国勢調査等の統計調査が孕む人権とプライバシー侵害の諸問題を具体的例をあげて論究する。実態調査の“実態”を明らかにした書。♠

小関智弘 著

町工場の磁界 〈増補新装版〉

4-7684-6711-3 四六判 272 頁 2000 円＋税

東京・大森界隈の町工場で旋盤工として働く体験をもとに、ME 革命の波がおしよせ、揺れ動きながらも逞しく生き続ける町工場の群れと労働者達の人生のうごめきを綴り、仕事がつけた道を辿る、粋な旋盤工・小関智弘の町工場巡礼の旅。♠♣

小関智弘 著

町工場の人間地図 [品切れ]

4-7684-5575-1 四六判 216 頁 1800 円＋税

日本の基幹産業を支える町工場は、好不況の波の中で浮き沈みながら、今は、コンピュータ導入の嵐が襲来している。その時々に変化・対応し、雑草のごとく力強く生き続ける東京・大森の町工場と職人達の人間地図を旋盤工 29 年の目で描く。♠

小関智弘 著

おんあたちの町工場

4-7684-6636-2 四六判 216 頁 1800 円＋税

男社会の町工場で荒波にもまれ、鍛えられた女たちは力強く明るく。生活のため、またダンナと共に、あるいはダンナに死に別れ跡を継いだ女たち。旋盤工として、町工場の独自のルポルタージュを染いた筆者が念願の町工場の女たちに迫る。♠♣

小関智弘 著

町工場巡礼の旅

4-7684-6835-7 四六判 248 頁 2000 円＋税

18 歳で見習工になり 69 歳までの半世紀を“粋な旋盤工”として町工場の現場のルポを書き綴り、町工場で働く者へ声援を送り続けてきた著者の、旋盤工として現役最後の十年間のルポ。I C 化の波、不況の中でも逞しく生きる町工場の人々の熱意と知恵を伝える。♠

小関智弘 著

町工場で、本を読む

4-7684-6930-2 四六判 240 頁 2000 円＋税

旋盤工・作家として活躍されてきた著者が新聞、雑誌等で発表した 30 年に亘る書評を収録。年代順の書評は一家の成長とその時代を反映し、また子供の頃は『猿飛佐助』に熱中し、旋盤工になってサークル誌「塩分」で文章力を養ったという逸話も紹介。♠

小関智弘 著

羽田浦地図 〈新装版〉 [品切れ]

4-7684-6850-0 四六判 244 頁 1700 円＋税

“粋な旋盤工”でドキュメンタリー作家・小関氏の芥川賞候補作「羽田浦地図」(「祝る町」と、直木賞候補作「錆色の町」)を集めた文藝春秋刊「羽田浦地図」の新装版。ドキュメンタリー作品とこの小説を併せ読めば、町工場の職人たちの姿がより膨らんでみえる。

小関智弘 著 どっこい大田の工匠たち 町工場の最前線	元旋盤工で、町工場の実態を描き続けてきた著者が、大田区主催「大田の工匠 100 人」の受賞者の中から 16 名を選び、彼らの優れた技と知恵をルポルタージュ。先端技術を支える工匠たちが切り開いた独特な人生の魅力ある生き方が胸に迫る。 ♠♠
978-4-7684-5715-3 四六判 240 頁 2000 円＋税	
藤田綾子 著 京都の染め職人たち 「ほんまもん」を生み出す技	日本の美を創り続けてきた染色技術が今、危機に瀕している。手描友禅、型染、紋染、黒染等、職人たちの仕事への想いや苦勞、誇りを語りながら職人技を継承するための道筋を模索する。着物文化衰退の中、染め職人たちの貴重なメッセージ。 ♠♠
978-4-7684-5740-5 四六判 216 頁 2000 円＋税	
金城 実 著 沖縄を彫る	[品切れ]
4-7684-5560-3 四六判 196 頁 1500 円＋税	
ますのきよし 著 〈家族〉ってなんだろう	[品切れ]
4-7684-3347-2 四六判 256 頁 1500 円＋税	
佐藤文明 著 戸籍がつくる差別〈新装版〉	[品切れ]
4-7684-5535-2 四六判 256 頁 2000 円＋税	
佐藤文明 著 訣婚パスポート	[品切れ]
4-7684-5559-X 四六判 248 頁 1600 円＋税	
佐藤文明 著 戸籍が見張る暮らし	[品切れ]
4-7684-5587-5 四六判 232 頁 1800 円＋税	
大泉実成 著 (第 11 回講談社ノンフィクション賞受賞) 説得	[品切れ]
エホバの証人と輸血拒否事件	
4-7684-5564-6 四六判 320 頁 2000 円＋税	
中島 誠 著 スリーエス SSS の文化戦略 付加価値列島ニッポン	西武セゾングループ、サントリー、資生堂は宣伝に長けた企業であり、高級化・個性化という包装紙で消費者は文化を手にした気分になる。本書は文化を商品化していく企業の生態を描き切り、経済、文化史的位置付けまで試みた労作である。
4-7684-5567-0 四六判 288 頁 1825 円＋税	

小熊 均 著

明日はわが身、ボケるが勝ち

4-7684-5568-9

四六判 224 頁 1400 円＋税

『伝、悪ガキ教師の二十八年』の著者が痴呆症の義母の介護のため高校教師を退職。自治体発行「老人介護の心得」の「正しい介護の仕方」にはない愛憎混った家族との試行錯誤と工夫の4年間を「人格すべてをかけた生き方」として記録。♠

小熊 均 著

老いを生きる人びと

4-7684-5589-1

四六判 160 頁 1340 円＋税

『明日はわが身、ボケるが勝ち』の著者が、全国の数多くの老人たちと出会い、さまざまに老いを生きる人々の姿を心地よいタッチで描く。読者は老後を生きる勇気と型にはめることなく、それぞれの人生を生きる楽しさに気がつくだろう。

小熊 均 著

早蕨のうた

十八歳シベリヤ復員兵の青春

4-7684-6877-2

四六判 216 頁 1800 円＋税

15歳で入隊しシベリヤに抑留された著者が1947年18歳で復員、その後の青春記。姉を実母として生まれ、養父と不和で家出、自殺未遂、そしてヤミの担ぎ屋、研ぎ屋等みなに助けられて糊口をしのぎ早大入学を果たした喜びと苦難の物語。♠

岡村 青 著

森田必勝・楯の会事件への軌跡

[品切れ]

4-7684-5584-0

四六判 320 頁 2500 円＋税

「楯の会事件」——通称「三島事件」から20年。三島由紀夫と共に自衛隊市ヶ谷駐屯地にて自決した森田必勝25年間の生と死。ともすれば三島一人にそって語られてきた「楯の会事件」とその時代背景を、若き行動者・森田必勝の側から読み解く。

岡村 青 著

十九歳・テロルの季節

ライシャワー米駐日大使刺傷事件

4-7684-5571-9

四六判 208 頁 1650 円＋税

日本で生まれ、育った知日派のライシャワー大使が刺された。日米蜜月期を迎えた高度経済成長時代に、アメリカ大使を襲った19歳の少年のテロルの論理とは何か。そして、少年をテロルに追い込んだこの時代とは、どういう時代だったのか。

小笠原和彦 著

少年「犯罪」シンドローム

4-7684-5572-7

四六判 208 頁 1650 円＋税

名古屋・アベック襲撃事件、日黒・両親、祖母殺害事件、巣鴨・マンション「置き去り」事件。「やさしい」「ふつうの」少年たちがなぜ、殺したのか。豊かさを謳歌する日本社会の病理と、少年たちをとりまく大人たちの不毛な心理を解き明かす。♠

遠藤 誠 著

帝銀事件裁判の謎〈新装版〉 [品切れ]

GHQ 秘密公文書は語る

4-7684-5582-4

四六判 232 頁 1500 円＋税

帝銀事件は未解決だ。平沢貞通さんは獄死したが、その後 GHQ の秘密文書が解読され真犯人像が鮮明に浮かび上った。何故再審を始めないのか。旧日本軍七三一部隊に関わった人間のみが出来た大量殺人。犯人像は固有名詞として判明している。

遠藤 誠 著

帝銀事件の全貌と平沢貞通

4-7684-6779-2

四六判 456 頁 3000 円＋税

1948年、12名毒殺の帝銀事件は未だ決着していない。1989年5月10日第19次再審請求を起こしたが、全ての新証拠提出まで決定は保留されている。再審開始に向けた新証拠の数々。平沢貞通無罪確定の為に最後の集大成の本である。♠

遠藤 誠 編著

解説・暴力団新法

[品切れ]

4-7684-6602-8

四六判 336 頁 2155 円＋税

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」いわゆる暴力団新法は、暴力団だけではなく市民運動・政治運動をも弾圧できる破防法以上の違憲法である。法律の問題点、成立過程、新法対策、国会審議・法・政令の全文を掲載。新法百科。

遠藤 誠 著 コンメンタール・暴力団新法 [品切れ] 4-7684-6609-5 四六判 268 頁 2000 円＋税	真の目的は私権の制限と結社の規制である、いわゆる「暴力団新法」の逐条解釈。人権無視の「新法」を一条ずつ完璧に解釈し、その違憲性を暴く。従来の法律で暴力団犯罪は十分取り締まれるのだ。暴力団指定取消訴訟弁護団長の筆が冴る。
遠藤 誠 編著 解説・組織犯罪対策法 [品切れ] 4-7684-6719-9 四六判 200 頁 1500 円＋税	商法改正・新風営法・暴対法と続いて、この法律で、警察官僚の国民支配が完成する。その骨子と意図を解明。盗聴は合法化され、白昼堂々と行われ、マネー・ロンダリング罪で財産が没収され、刑罰は加重される。宮崎学・鈴木邦男・李宇海他。
遠丸 立 著 犯罪の中の子ども 小さき者たちの墓碑銘 4-7684-5588-3 四六判 248 頁 2300 円＋税	戦後の大事件を、当時の資料を通して精査してみても「真相」なるものが那边にあるのか難かしい。小さな事件は尚のことである。本書は戦後の忘れられた事件を丹念に拾いあげた。種々の子どもの死の諸相をつぶさに記録した死のカatalog。 ♠
藤原 晃 著 ヨコスカどぶ板物語 [品切れ] 4-7684-5590-5 四六判 240 頁 2000 円＋税	横須賀の職業軍人の家庭に育ち、学徒動員を経て、予科練に入隊。戦後、進駐軍要員で 1950 年、米海軍掃海艇で朝鮮戦争に参加した著者が、56 年よりどぶ板通りに暮らし、パー「テネシー」経営に励む。基地の街ヨコスカの生活の臭いと色が伝わる。
橋爪大三郎 著 民主主義は最高の政治制度である [品切れ] 4-7684-6606-0 四六判 240 頁 2000 円＋税	ソ連邦崩壊後のアメリカ極世界を読む思想と行動をいかに構築するか。柔軟で明哲な思考で現代の思想世界を激震させる論文集。陳腐で凡庸で過酷な民主主義こそが、最も現実的な社会の運営方法であることを、世界政治の中で熱く語る。 ♠
橋爪大三郎 著 民主主義はやっぱり最高の政治制度である 978-4-7684-5675-0 四六判 256 頁 1800 円＋税	陳腐で凡庸な民主主義が、なぜ、やっぱり、「最高」なのか。民主主義の歴史を検証し、9.11 から 3.11 に至る、イラク戦争・政権交代・憲法・原発などの 21 世紀初頭の事象をケーススタディに、実効性のある民主主義を身につけるために編まれた。 ♠
日隅一雄 著 国民が本当の主権者になるための 5 つの方法 978-4-7684-5688-0 A 5 判 224 頁 1800 円＋税	「主権者の振る舞い方」を示した「全ての市民のための教科書」。生活を豊かにするため、真に政治に関わるために、情報の必要性、報道の自由を担保する方法・選挙の重要性、行政監視の方法などを説く。日隅一雄さんのラストメッセージ。 宮台真司氏推薦 ♣
明良佐藤 著 大工の明良、憲法を読む 土台と大黒柱が肝心！ 978-4-7684-5837-2 四六判変 296 頁 1600 円＋税	学者・弁護士・政治家の本では絶対に見られなかった「大工の憲法論」。大工の目で日本国憲法を読み解くと、それは驚きのベストホームだった！従来の憲法論とはまったく異なる論点から明らかになる憲法の可能性を楽しく解説。
天笠啓祐 著 この国のミライ図を描こう 原発とグローバリズムが無理なわけ 978-4-7684-5685-9 四六判 232 頁 1400 円＋税	「3・11」は様々な悲劇をもたらし、様々な問題点をあらわにした。あの日を境にした今後の日本が進むべき「もう一つの道」とは何か？ 環境問題専門ジャーナリストの天笠啓祐氏が自然エネルギーや民主主義など 10 のポイントで考える。 ♣

富山洋子 著

暮らしのなかのボイコット

消費者市民としての 50 年

978-4-7684-5788-7 四六判 272 頁 2000 円＋税

「環日本海社会党フォーラム」中央実行委員会 編

環日本海新時代 [品切れ]

4-7684-5595-6 四六判 406 頁 2670 円＋税

あんばい こう 著

頭上は海の村 [品切れ]

モデル農村・大潟村ものぐさ観察日記

4-7684-5598-0 四六判 288 頁 2000 円＋税

佐藤友之 著

死刑と宗教

4-7684-6831-4 四六判 232 頁 2000 円＋税

佐藤友之 著

死刑囚の一日

4-7684-6605-2 四六判 208 頁 1700 円＋税

佐藤友之 著

死刑囚の妻

4-7684-6633-8 四六判 208 頁 1650 円＋税

佐藤友之 著

死刑囚のうた

4-7684-6688-5 四六判 288 頁 2500 円＋税

「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク 編

宗教者が語る死刑廃止

4-7684-6941-8 四六判 232 頁 2000 円＋税

正木頼彦 著

バス車掌の時代

4-7684-6611-7 四六判 384 頁 2500 円＋税

不買・不払い運動は、国家や資本に対峙する「市民的不服従」であり、非暴力・直接行動の“暮らしの場からのボイコット”である。各地の消費者運動の歴史、原発立地自治体への視察を通して、「消費者市民」として生きる道を切り開く。

環日本海は今、新たな躍動を始めようとしている。日本海を“平和と共生”の海に。21 世紀を展望し、日本海ルネッサンスに向けその可能性へグローバルに挑戦する。北朝鮮・韓国・中国・ソ連・日本の人々の環日本海新時代に向けての提言集。

日本第二の湖・八郎潟が沈み大潟村が出現し四半世紀、国策の村は政治に振り回されながらも大きく変わった。湖底の村に移住してきた人々の暮らしの実態、新生の大地で生をうけた子供たちの現在など、落穂拾ひ的に普通の生活を集めた。♣

常に死と隣り合わせの死刑囚。死刑囚監房では昼夜を問わず、読経の声が聞こえるという。死刑囚と唯一接することの出来る外部の人間は「教誨師」だけである。宗教を無視して、死刑制度は語れない。両者の結びつきを考えながら死刑廃止を問う。

裁判で死刑判決が確定した瞬間、死刑囚は消息を絶つ。生きているのか処刑されたのか、親族にも確かめようがない。縊り殺されるためにのみ生かされている死刑囚の一日を、朝・昼・夜、最後の朝に分け、濃縮された死までの時間を追う。♠

死刑囚にも妻はいる。死刑が確定すると同時に離婚する妻もいれば、獄中の死刑囚と結婚した妻もいる。さまざまな妻たちは何を考えどういう生活をしているのか。知られざる死刑囚の妻の生と性。初めて書かれた父と母と子、妻たちの記録。♠

死刑囚はなぜ詩を書くのか、死刑とは単に人の生命を奪うだけでなく、残された人々にも大きな傷を残す。刑死した人、冤罪を叫びながら死んだ人、刑を待つ人、事件の概要とうたを十のテーマに分類し、詠まれたうたと心、死刑制度を考える。♠

「悪人正機」（親鸞）、「わたしは罪人を招くために来た」（イエス）のように罪人も等しく「いのちの尊厳」をもち「生存権」を賦与された人間であることを主張する。この考えに沿って各宗教団体の死刑に対する見解を纏めた。宗教者が死刑問題を語る。♠

ワンマンバスの無愛想な料金箱の場所に、かつて、紺色の制服を着た女性車掌が立っていた。女性労働者の誇りと受難と屈辱の歴史が今、ここに甦える。バス車掌のルーツと歴史、仕事の実態、生活と家庭等15年の歳月をかけた書き下しルポ。♠♣

安田武・野添憲治 編
暮らしの型再耕

4-7684-6612-5 四六判 256 頁 2000 円＋税

元木鶏二 著

死の淵をみつめて [品切れ]

4-7684-6616-8 四六判 240 頁 2000 円＋税

桑迫昭夫 著／聞き手・朝倉喬司

凝視録

為五郎 視き・除き人生

4-7684-6618-4 四六判 272 頁 2330 円＋税

ウィリアム・M. ジョンストン 著／小池和子 訳

記念祭／記念日カルト

今日のヨーロッパ、アメリカにみる

4-7684-6622-2 四六判 280 頁 2800 円＋税

佐藤友之 著

〈新版〉ドキュメント精神鑑定

4-7684-6625-7 四六判 256 頁 2300 円＋税

小笠原和彦 著

ニッポン人、元気ですか！

外国人労働者物語

4-7684-6626-5 四六判 272 頁 2300 円＋税

小笠原和彦 著

霊園はワンダーランド

ホームレスと過ごした一年間の記録

4-7684-6777-6 四六判 304 頁 2300 円＋税

小笠原和彦 著

出口のない家

警備員が見た特別養護老人ホームの夜と昼

4-7684-6933-7 四六判 240 頁 1900 円＋税

小笠原和彦 著

刑務官 佐伯茂男の苦悩

978-4-7684-5749-8 四六判 384 頁 1700 円＋税

生活文化全般をそれぞれの探求者をゲストに迎えて考察する。衣・食・住・遊・娯・行事・言葉・親子等、再耕することにより、日本人の生活が四季折々豊かに浮かび上がってくる日本文化論。ゲスト・鶴見俊輔、武者小路規子、鈴木愛子、堀田康彦他。 ♠

癌宣告以来6年半。腎臓・副腎・肋骨と3回の手術。大学教授の著者はその間、論文22本、著書3冊、翻訳1冊を上梓。生死の垣根を越え、自然に死を迎えんとする意志と日常は、死への恐怖を取り除き、読者の生死観に大きな影響を与える。 ♠

視きの巨匠タメゴロウこと桑迫昭夫と犯罪ライター朝倉喬司が東京の公園を猥雑にして気高く視き歩く。視きに駆り立つタメゴロウの心理分析、視きを通して視える現代人、大都市・東京の病理を語り尽くす。二人の対談はスリリングで危ない。

21世紀を間近に控え、2000年祭の歴史的記念祭が取りざたされているが、これは'80年代の文化記念行事の拡がりや深さから発展したものと思える。いつどこで記念日カルトが発生し、なぜ'80年代に花盛りとなったのか。またいつまで続くのか。

被疑者の犯行時または自白時の精神状態を明らかにするため行なわれる精神鑑定。結果によっては、無罪にも死刑にもなり得る。その危険な役割を具体的事件に即して解明し、また国家の意思に従う鑑定人の荒廃した姿を浮き彫りにする。 ♣

まじめな中国人、陽気で気のいいパキスタン人、日本人より“日本的”な日系ブラジル人。町工場、建築現場で一緒に働き、同じ釜の飯を食べるなかでみてきた外国人労働者の等身大の姿と、底辺からみた「経済大国」ニッポンの素顔。 ♣

警備員として霊園で一年間働いた著者が出会ったのは、霊園を生活の場とするホームレスたちであった。誰もがホームレスになる可能性がある今日、彼等を「隣人」として見つめ、本音でつき合った一年の記録から、現代日本の素顔を描く。 ♠

特養ホームの警備員となった著者が見た入所者・職員がおりなす壮絶な日々。利用者同士のいじめ、誰とも会話のない男性利用者、キューピー人形を抱く元三味線のお師匠さん。一年で16人が亡くなり、半分の職員が辞めていく終いの棲家の実態。 ♠

無抵抗の幼稚園児を多数殺害し何の反省も見せずに1審で死刑が確定した石堂死刑囚。教育統括・佐伯の目を通してみた鬼畜・石堂が背負った罪と罰そして、死刑制度の意味。大阪・池田小事件の宅間守死刑囚をモデルにした衝撃の小説。

司 ひろし 著
 デカ わけ
ボクが警官をやめた理由 [品切れ]
 兵庫県警暴対課刑事の驚異の体験記
 4-7684-6627-3 四六判 224 頁 1300 円＋税

社会正義実現の意気に燃え奉職した警察現場は、想像を絶する無法と不正の場だった。警察機構の中で人間性を失っていく警官の実態。オトリ捜査、タカリ、イジメ、内部抗争、違法取締り、キャリア組の事なかれ主義等のテクニクと方法全公開。

根津進司 著
逃げたい やめたい 自衛隊
 現職自衛官のびっくり体験記 [品切れ]
 4-7684-6663-X 四六判 232 頁 1500 円＋税

現職自衛官が初めて明かすびっくり仰天の自衛隊の日々。ボン引きまがいの勧誘に乗って入隊した著者が見たものは？ 災害活動で有難がられる隊とは信じられない別世界。御国を護る自衛隊の内実が初めて明かされた面白本。カット・貝原浩。

鈴木義昭 著
風のアナキスト 竹中労 [品切れ]
 4-7684-6642-7 四六判 216 頁 2000 円＋税

さすらいのアナキスト竹中労が逝って8年。美空ひばり、アナキズム、大杉栄、北一輝、映画、ピートルズ、日本赤軍、沖縄、対馬、アナキストへの道をひたすら走り続け、語りかけた死までの20年間の闘争は過激、ルポライター竹中労が甦る。

鈴木邦男・遠藤 誠 著
行動派の整理学
 4-7684-6640-0 四六判 360 頁 2500 円＋税

抱腹絶倒した後に首肯する。こんな整理・生理があったのか。これまでの整理術が震んで見え、知らず知らずに人生がセイルされる。民族派の論客と異才弁護士が綴る整理術は、行動派サラリーマン・学生にとって瞳目の一冊になるだろう。♠

アリス・ヴァクス 著／佐藤貞子 訳
性犯罪
 4-7684-6673-7 四六判 312 頁 2200 円＋税

ニューヨーク市の性犯罪特別チームの主任女性検事が関わった百件を超える性犯罪。強姦・近親相姦・児童への性的虐待・家庭内暴力・高齢者虐待……。これらの被害者が、今度は警察・検察・裁判によって再び苦痛を強いられる制度をも告発。

スザニー・ソマーズ 著／中野理恵・原田隆史 訳
 たびだち
アダルト・チルドレンからの出発
 アルコール依存症の家族と生きて
 4-7684-6708-3 四六判 272 頁 2300 円＋税

酒びたりの父親が毎晩、暴れる家庭で育ったために心に深い傷を負った著者が、長い苦難の道の日を経て、自分と家族を救う“癒し”に出会うまでの感動実話手記。セラビーを通じ自分をとり戻し、女優として成功するまでをふりかえる。♠

金指 基 著
シュンペーター再考
 経済システムと民主主義の新しい展開にむけて
 4-7684-6676-1 A 5 判 240 頁 2800 円＋税

ソ連邦崩壊・社会主義の敗北(?)が言われる中で、シュンペーターの民主主義・社会主義論が見直されている。資本主義の成熟から社会主義・民主主義の移行についてのシュンペーター理論を、斯界第一人者が平易に論述。学際的研究を広く紹介。

M. B. アダムズ 編著／佐藤雅彦 訳
比較「優生学」史 [品切れ]
 独・仏・伯・露における「良き血筋を作る術」の展開
 4-7684-6734-2 A 5 判 496 頁 5500 円＋税

人類の改良をめざし、19世紀末～第2次大戦までの間に世界的に大流行した優生学の諸相を、ドイツ、フランス、ブラジル、ロシア4カ国の政治・経済、歴史背景、担った人々の観点から比較研究。20世紀科学の闇黒の歴史を初めて解明する。

戸崎 肇 著
観光立国論
 交通政策から見た観光大国への論点
 978-4-7684-5807-5 四六判 200 頁 1800 円＋税

観光振興による経済活性化に向け動き出した日本。訪日観光客増加を新たな国家目標とする一方で、「民泊」やギャンブル法（IR法）などで社会がどう変わるのか？ 可能性と課題の間にある観光業のあり方から、日本の未来像を考える。

武内孝夫 著 〈第6回 JLNA ブロンズ賞・特別賞受賞〉

帝国ホテル物語

4-7684-6712-1 四六判 280 頁 2200 円＋税

北原遼三郎 著

明治の建築家・妻木頼黄の生涯

4-7684-6829-2 四六判 256 頁 2200 円＋税

北原遼三郎 著

わが^{てつろ}鐵路、長大なり東急・五島慶太の生涯

978-4-7684-6972-9 四六判 368 頁 2300 円＋税

メリタ・ショーム、カレン・バリッシュ 著／秋岡 史 訳

あなたがストーカーに狙われたとき

4-7684-6713-X 四六判 312 頁 2300 円＋税

吉岡 攻 著

いくさ世・沖縄

日米安保崩壊序曲

4-7684-6717-2 四六判 312 頁 2200 円＋税

宮坂朝子 著

患者が書いた歯医者の本

歯科医療の裏側教えます

4-7684-6725-3 四六判 212 頁 1500 円＋税

東雲西明 著

終わりのない医療

歯科医の往診現場から見た老人の心理

4-7684-6818-7 四六判 192 頁 1600 円＋税

黒部信一 著

予防接種のえらび方と

病氣にならない育児法 [新訂版]

978-4-7684-5809-9 A 5 判変 240 頁 1400 円＋税

井上芳保 著

犠牲になる少女たち

子宮頸がんワクチン接種被害の闇を追う

978-4-7684-5806-8 四六判 280 頁 2200 円＋税

日本初のグランドホテル、宿泊自体がステータスだったホテル百年の物語。徹底的にこだわりをもって建てられたライト館の出来るまでや、支配人・料理・株式・事件・客のエピソードまで帝国ホテルが興味深く語られる。ホテルが楽しい。♠

建築家たちは明治日本に何を見たのか。近代化に邁進する日本にあって建築家を志したサムライたちが対峙した時代の激動と、対立しながらも今日に残る偉大な建造物を残した妻木頼黄（つまきよりなか）と辰野金吾の熱い生き様を描く傑作。

東急の創始者・五島慶太の伝記。株買めめなど尋常ならざる経営手法のため「強盗慶太」と非難された彼の情熱と真の願いを明らかにし、彼の知られざる闘いを浮き彫りにする。現代日本を創り出した男の闘いの光と影を活写する。♠

狙われたら始末に悪いストーキング犯罪の多発するアメリカ社会はどの様にそれに対処しているのか。ストーキングの凄じい実態とストーキング防止法の成立過程と内容、被害者支援の実状、住宅警備や護身術等、ストーキング対策法解説。♠

沖縄が外来の勢力に力で屈伏される構図、これは21世紀も変わらないのだろうか。ペリー来航から150年、日米の狭間で静かに燃えるウチナンチュの〈誇り〉を100人100時間のインタビューで綴る。歴史と燃える沖縄の心が本土でもよく理解できる。

たまたま町の歯医者に掛ったら、それがとんでもない悪徳歯医者。間違った治療の上、高い治療費を払われ、その対応に疲れた主婦が思いの余り裁判に訴え非を認めさせる。医療社会における医者の絶対性に対して挑んだ一主婦の貴重な手記。

デジタル思考の家族、医療者が増え、老人は自分の居場所をなくし、高齢者医療現場に混乱が起きている。「インフォームド・コンセント」では病む老人の心理を理解できない。主治医（医科）でないからこそ見えてくる、病む老人の心風景。

病氣は人間と環境の相互作用で発生するという「病原環境論」に基づく小児医療を実践。予防接種の問題点をワクチン別に検証し、免疫力を高めて病氣を防ぐ育児法を提唱する。子ども特有の症状や対処方法の解説も豊富で、最新データも追加。

子宮頸がんワクチン接種のために重篤な副反応を起こし、今なお社会生活を送れず苦しんでいる少女たち。なぜこのように危険なワクチンが導入・接種推奨されたのか。その背景と、現代の肥大化した「からだと健康」をめぐる予防幻想を問い直す。

水野昭夫 著

脳電気ショックの恐怖 再び

978-4-7684-6950-7 四六判 192 頁 2300 円＋税

精神病者の脳機能を低下させ、睡眠に移行させ、患者をおとなくさせることを治療行為としていた脳電気ショック。患者の人権侵害だとして、姿を消していた。その脳電気ショックが1990年代以降また多くの病院で復活しだした実態と理由。

朝倉喬司 著 〈第7回 JLNA ブロンズ賞・特別賞受賞〉

少年Aの犯罪プラス α

4-7684-6730-X 四六判 260 頁 2200 円＋税

犯罪を歩く人、朝倉が97年に世間を震撼させた神戸の少年Aの犯罪や小野悦男の殺人事件、オウム真理教事件、宮崎勤の事件、井の頭公園バラバラ殺人事件等のフィールドワークを通して、世紀末の人間と社会の底層をスリリングに読み解く。♠

朝倉喬司 著

電子・少女・犯罪

4-7684-6778-4 四六判 248 頁 2200 円＋税

インターネット、携帯電話等の普及は今までの人間の有様を変え、従来の犯罪のパターンでは読み切れない質のものを大量に出現させている。この難解な犯罪の背景に潜む人間社会の構造を独自の犯罪論を展開する著者が解説して、今に迫る。♠

朝倉喬司 著

ヤクザ・風俗・都市

日本近代の暗流

4-7684-6857-8 四六判 280 頁 2400 円＋税

ヤクザとおんなとヒッピー、パンチパーマ、ラブホテル、カラオケ、プロレス、フードル、情報化社会と犯罪等々の取材を通して都市風俗はどの様に生まれて大衆の中に浸透し、その時代をいかに彩ってきたのかを解説する都市風俗文化論。♠

朝倉喬司 著

都市伝説と犯罪

津山三十人殺しから秋葉原通り魔事件まで

978-4-7684-6983-5 四六判 248 頁 2000 円＋税

「事実は小説よりも奇なり」の事件が巷間で伝播していく中で、話は複雑怪奇に増幅されて、物語となり伝説化される。例えば有名な津山30人殺しもしかりである。近年の11の事件の伝説を丹念にフィールドワークした異色の都市伝説本。♠

高部雨市 著

私風俗

上野界限徘徊日誌

4-7684-6837-3 四六判 264 頁 2200 円＋税

東京の下町、上野界限に生まれ育った著者が、幼き頃の記憶を重ね、今の上野界限を徘徊し続ける。いわゆる風俗に働く人たちや外国人労働者・ホームレスの人たちと出会い、彼らの人生を描き出すなかで、日本のバブル期からその崩壊への社会を写し出す。

高部雨市 著

風俗夢譚

街の底を歩く

978-4-7684-6964-4 四六判 208 頁 2000 円＋税

前著『私風俗—上野界限徘徊日誌』に続く極私的風俗ルポ。ネット等の風俗の情報は巷に溢れているが、情報記事でなく、実際に働く女性たちの喜怒哀楽や豊かな人生経験や、そこに通う男たちの悲哀を描く中で、もう一つの世界が見えてくる。

山谷哲夫 著

裏歌舞伎町まりあ横丁

新大久保コリアンタウンの哀しい嘘

978-4-7684-5722-1 四六判 232 頁 1800 円＋税

韓流ファンで賑わう東京・大久保は、韓国家庭料理やコスメの店がひしめく一大コリアンタウン。しかし、かつてその街で「立ちんぼう」と呼ばれる娼婦たちが生きた。日雇い労働者、ラブホテル経営者……など様々な人生が交錯した街のルポ。

山谷哲夫 著

東京都セレブ区福祉部

オンブズマンが見た渋谷

978-4-7684-5752-8 四六判 208 頁 1700 円＋税

区民オンブズマンとして約15年の間、渋谷区職員とかかわり続け、役所内で最も過酷な仕事とされる福祉の現場に切り込む。また、高額な収入を得ている「単労」職員の実態にも迫りながら、今後の行政と区民の「協働」のあり方を模索する。♠

吉弘香苗 著

大量リストラ時代

4-7684-6733-4 四六判 180 頁 1500 円＋税

福田ますみ 著

されど我、処刑を望まず

死刑廃止を訴える被害者の兄

4-7684-6738-5 四六判 232 頁 2200 円＋税

須磨友男 著

分けられた場での事件

神戸小学生殺害事件

4-7684-6739-3 四六判 208 頁 1800 円＋税

池田 実 著

〈第8回 JLNA プロンス賞・佳作賞受賞〉

郵便屋さんが泣いている

郵便局腐蝕の構図

4-7684-6745-8 四六判 224 頁 2000 円＋税

池田 実 著

郵政民営化

郵便局はどこへ行く

4-7684-6809-8 四六判 224 頁 2000 円＋税

世川行介 著

郵政——何が問われたのか

4-7684-6910-8 四六判 256 頁 2000 円＋税

世川行介 著

地デジ利権

電波族官僚うごめくテレビ事情

978-4-7684-6982-8 四六判 240 頁 2000 円＋税

宮岡 悠 著

公安調査庁の暴走

4-7684-6683-4 四六判 238 頁 2000 円＋税

吉見太郎とその仲間 著

お笑い公安調査庁

現場調査官の九六綴り

4-7684-6760-1 四六判 224 頁 1500 円＋税

株価上昇で好況を呈している米国経済は、実はその裏で大量のリストラが進行し、職場殺人等社会不安が増加。一主婦がこの実態を「N Y タイムス」の記事等を通して分析する。そこに見えてくる薄ら寒い実態は、日本の経済と無縁ではない。

1983 年愛知県下での保険金殺人事件で犯人は死刑が確定。その被害者の兄が日本で初めて遺族として死刑廃止を訴える。それに至る被害者遺族の苦悩を辿る中で死刑のもつ非合理性を明らかにするドキュメンタリー。死刑廃止が説得力に富む。♠

全国を震撼させた事件の震源地・友が丘の住人であり養護学校教師の著者が、大量の報道・評論の中で見落とされてきた障害児に対する地域、分離教育のあり方を問い直し、なぜこのような事件を起こしてしまったのかを検証する。

民営化の波に揺れる郵政を内部から告発。天下りの実態、政治との癒着、郵便番号 7 桁化の顛末、特定郵便局の公私混同、局内外の事故、労働組合の変貌、莫大な貯金等これまでほとんど知られない郵便局を国民の郵政とは何かを視点に論述。♣

郵政民営化のルールは敷かれた。参議院選挙の与党の勝利は、民営化を益々邁進させることになる。民営化とは何か。本書は郵便局の内部から見た郵政の内実の綿密な実態報告である。赤字体質の真の原因は何か。具体的処方を含め、提言する。

国民の選択は正しかったのか? 「郵政選挙」と言われた選挙の後に何が残ったのか。賛否論をのり越えて、本当に郵政の実態を理解するための本。特定郵便局長・政治家等のインタビューも盛り込んだ。選挙後の郵政を考えるための本。

高額機器は買えない、最新技術なんて必要ない、アナログで十分だという声は、メディアでは流れない。官僚主導のこの事業は、企業・マスコミと結託し、壮大な押売りを強行している。私たちの「選ぶ自由」を奪ったものを、地デジ利権の行く先に探る。

オウムへの破防法適用で息を吹き返した、知られざる官庁・公安調査庁。戦後、破防法と共に設立された秘密の役所の組織・活動・資金を明らかにし、庁内機密文書から浮き彫りにされた市民団体までも調査活動対象にする実態を暴く。

オウム事件以来、やけに元気回復した公安調査庁。ところが庁内で強姦未遂やストーカー、はたまたフーズク接待に出張費の横流し、架空協力者で点数稼ぎ。初めて世に出る公調のデータ実態。内部暴露者の 96 話におよぶ面白話。

半田雄一郎 著

溶解する公安調査庁

破防法改定の実態

4-7684-6761-X

四六判 272 頁 2500 円＋税

内部告発者による公調の動向記録。オウムに破防法が適用されなかった詳細な内部分析。破防法改正案の全文と具体的目論見。機構改革と90年代の公調活動の軌跡。海外展開計画の全容。21世紀日本の公安調査の基本計画の全貌が明かされた。♠

野田敬生 著

CIA スパイ研修

ある公安調査官の体験記

4-7684-6774-1

四六判 240 頁 2300 円＋税

公安調査庁から選ばれて「CIA スパイ研修」を受けた著者の実体験記録。分刻みの行動日誌・分析研修講義・公安調とCIAの関係・外国情報機関と公安調の関係等、外部に出たことがなかった記録。CIAも公安調査庁も日常の中に存在する。

青木 理・梓澤和幸・河崎健一郎 編著

国家と情報

警視庁公安部「イスラム捜査」流出資料を読む

978-4-7684-5663-7

A 5 判 400 頁 2200 円＋税

2010年10月、警視庁公安部外事三課の捜査資料114点がインターネット上に流出した。在日ムスリムを尾行し、モスクを監視し、家族関係を調べ、金融機関など民間情報を収集した公安の違法捜査の実態と被害者の悲劇。事件が及ぼす問題を探る。♠

石堂徹生 著

ムラの欲望

土地改良事業は誰のためか

4-7684-6771-7

四六判 240 頁 2200 円＋税

農村でよく見かける土地改良事業。制度が出来て50年。この一大土木事業は農業集約化の中で、無批判に善とされ、かつ、農水省汚職の温床になっている。本書によって初めてその反農家性が明らかになった、異色の現場ルポルタージュ。♠

石堂徹生 著

農業に正義あり

田地一町畑五反貸さず売らず代を渡せ

978-4-7684-5696-5

四六判 288 頁 2300 円＋税

明治政府の林野収奪、戦後の輸入自由化などの悪政に抗い続け、農業の営みによって国土を死守してきた人々の「正義性」を鋭く論じ、高い技術を持つプロ農家を核とした国民参加型の新たな農業を提起。これからの農のあり方を現代に問う。♠

宇根 豊 著

農本主義が未来を耕す

自然に生きる人間の原理

978-4-7684-5736-8

四六判 256 頁 2300 円＋税

現代の「農本主義」とは何か。土に、田畑に、動植物。それらと共に生きること人間の体と生活を委ね、喜びも哀しみも抱きしめ生きていく。この営みを「農」と名付け、その原理を「農本主義」と提唱する。ポスト経済至上社会の書。♠

富嶋克子 著

誤判

医療過誤裁判から司法改革への提言

4-7684-6787-3

四六判 328 頁 2300 円＋税

裁判で正義が勝つとは限らない。裁判制度さえも官僚主義化している現在、実母の医療ミス事故死を訴え、最高裁まで争い勝訴した実体験を綴る。裁判所のデタラメさ、調書を変換する裁判官やグルになる弁護士。その実態を白日の下に。♠

箱ブランコ裁判を考える会 編

危ない箱ブランコはかたづけ

原告は9歳

4-7684-6875-6

四六判 328 頁 2200 円＋税

子どもは安全に遊ぶ権利がある。箱ブランコで遊んでいた子どもが大腿骨折の重傷。遊び方が悪いのか？調べてみると、全国でこれまで25人の死亡事故。設置者とメーカーを相手に裁判。一審勝訴、最高裁敗訴。が危険な遊具は公園から消えた全記録。

吉田敏浩 著

生と死をめぐる旅へ

4-7684-6846-2

四六判 216 頁 1800 円＋税

今日、高齢化社会と医療技術が進み、介護や葬送など老いと死と死後をめぐる問題への関心が高まっている。本書はいま老いや病や死と向き合っている家族、医療者、ケア従事者、宗教者などの取材から現在における生と死の問題に迫る。♠

吉田敏浩 著

人を“資源”と呼んでいいのか 「人的資源」の発想の危うさ

978-4-7684-5624-8 四六判 208 頁 2000 円＋税

森 幹郎 著

証言・ハンセン病

療養所元職員が見た民族浄化

4-7684-6791-1 四六判 276 頁 2400 円＋税

判野 宏 著

星の眠る町から

ハンセン病療養所・それぞれの再出発

4-7684-6876-4 四六判 232 頁 2100 円＋税

大野哲夫・花田昌宣・山本尚友 編

ハンセン病講義

学生に語りかけるハンセン病

978-4-7684-5705-4 A 5 判 280 頁 2500 円＋税

マサミ・コバヤシ・ウィーズナー 著

シニアが活かすアメリカの NPO

4-7684-6830-6 四六判 256 頁 2200 円＋税

田中義三 著

よど号、朝鮮・タイそして日本へ

4-7684-6806-3 四六判 196 頁 1800 円＋税

川本敏郎 著

簡単便利の現代史

高密度消費・情報社会の行方

4-7684-6889-6 四六判 240 頁 2000 円＋税

西村仁美 著

悔

野宿生活者の死と少年たちの十字架

4-7684-6890-X 四六判 232 頁 2000 円＋税

早坂 隆 著

祖父の戦争

4-7684-6905-1 四六判 240 頁 2000 円＋税

今や「人的資源」は日常語。イラク自衛隊派兵で政府は「自衛隊は人的資源」とした。護衛艦内でのいじめで自殺した自衛官の両親がこれに疑問を呈し、それに反応した著者が「人的資源」の発想を戦時中の国家総動員法に見出す。 ♠

1950 年代半ば、患者・元患者の終生隔離と優生手術を強化する国のらい政策を批判し、差別・偏見のなか社会復帰が困難な回復者のため療養所再編を提起。病の進行で指の神経が麻痺した盲人の点字舌読を支援した青年事務官の回想録。 ♠

2001 年、国家賠償請求訴訟に勝訴したハンセン病元患者たちのその後の人生は？ それぞれの立場で生きる希望を紡ぎだそうとする日々と、決断の行方を克明に描き、療養所の人たちの心の軌跡を鮮やかに書き下ろした感動のノンフィクション。

中世から現代にわたるハンセン病に対する社会の対応、とりわけ 1931 年らい予防法以降の苛烈な終生隔離政策がもたらした差別の歴史を、ハンセン病元患者、歴史学者、社会学者、ハンセン病療養所医師、水俣病研究者などが学生に語る。 ♣

アメリカ西海岸に展開する高齢者 NPO の活動・組織・理念。お金がなくても様々なサポートを得て弱肉強食の世の中を豊かに自分らしく生きる高齢者たちの生き様と、シニアの経験・知恵・活動力に支えられる NPO の姿を通してボランティアスピリットの醍醐味を探る。

日本初のハイジャック犯のひとり、田中義三の手記。リンゴの花咲く青森県三沢の幼年時代から熊本での高校生活、明治大学二部政経へ、日本赤軍の一員として北朝鮮、そしてタイへ。偽ドル所持容疑で逮捕、強制送還。半生と祖国への熱い想い。

モノが溢れ、豊かで便利なのに、なぜ、かくも生きづらい社会になってしまったのか？ この 30 年「簡単便利」な商品が開発され、その生活に慣れ親しんだ現代人は何を失い、何が得られたのか。高密度消費・高密度情報社会での人間回復を探る。 ♠

図書館で騒いで注意されたことを根にもった少年たちが、三度にわたって野宿者を襲撃、死に至らしめた。「ふつう」の少年たちが、なぜ殺すまでにエスカレートしてしまったのか。被害者・加害者双方の視点から事件を追う。鎌田慧氏推薦。 ♠

祖父が語り残した戦争の傷跡とは何であったのか。東京帝国大学を卒業した厭戦的な文学青年であった祖父が黙秘していた軍隊生活の真実を世界各地の戦場を取材したジャーナリストである孫に告白する。日本人必読の記録。筑紫哲也氏推薦。 ♠

藤田綾子 著

大阪「鶴橋」物語

ごった煮商店街の戦後史

4-7684-6915-9 四六判 208 頁 1800 円＋税

大阪を代表する名物商店街・鶴橋。戦後の焼け野原から復興し、多様な文化を持つ街として再生した庶民の知恵の秘密に迫る。量販店や大手スーパーにも負けない商店街ならではの魅力の真相を貴重な写真資料もまじえ克明に伝える。 ♠

扇田孝之 著

素朴だけでない 田舎暮らしの馴染み方

4-7684-6922-1 四六判 240 頁 1800 円＋税

信州・北アルプス山麓でペンションを始めて 30 年。山里に流れていた「時速 4 キロ」の生活は、時代と共に「時速 50 キロ」の文明の波に洗われる。村の荒廃の中で田舎暮らしに馴染み、白馬国際映画祭に参画するなかで見えてきた、両文明の長短。 ♠

扇田孝之 著

東京発信州行き 鈍考列車 30 年

まちの味わいいなかの愉しみ

978-4-7684-6977-4 四六判 224 頁 1800 円＋税

大都会「東京人」から一転、長野県で山荘を営んで 30 年。信州と東京や海外とを行き来する生活から見えた、「田舎」と「都会」の相違点を独自の視点で分析する。『素朴だけでない田舎暮らしの馴染み方』に続く第 2 弾。悲喜交々に熟慮あり！ ♠

室井忠道 著

金が人と街を駆け抜けた

金融業界、一匹狼の足跡

4-7684-6935-3 四六判 256 頁 1800 円＋税

1962 年に大学入学、キャバレー等でアルバイト。先輩と呼び屋を開業、スタン・ゲッツ等と呼ぶが放漫経営で倒産。金融業者に追われたが、自ら消費者金融を開業。そこでの水原弘、佐藤重臣、森田必勝らとの出会いから熱き 60 年代が浮んでくる。

藤目ゆき 著

「慰安婦」問題の本質

公娼制度と日本人「慰安婦」の不可視化

978-4-7684-7957-5 四六判 208 頁 2000 円＋税

たびたび巻き起こる反「慰安婦」キャンペーン。本書はそれらの言動の誤謬と、対抗言説の陥穽を鋭く指摘。なぜ日本人「慰安婦」は一人も名乗り出ないのかに焦点をあて、歴史的視点から未だに解決しないこの問題の本質に迫る。 白澤社刊 ♠

VAWW-NET ジャパン 編

裁かれた戦時性暴力

「日本軍性奴隷制を裁く女性国際戦犯法廷」とは何であったか

4-7684-7902-2 四六判 312 頁 2600 円＋税

日本軍による「慰安婦」制度・性暴力を裁いた「女性国際戦犯法廷」を、法律、歴史、メディア論、ジェンダー論、現代思想などの専門家がさまざまな視点から検証し、「法廷」の歴史的意義を立体的に浮かび上がらせた決定版。 白澤社刊

VAWW-NET ジャパン 編

暴かれた真実 NHK番組改ざん事件

女性国際戦犯法廷と政治介入

978-4-7684-5642-2 四六判 344 頁 2600 円＋税

女性国際戦犯法廷を扱った NHK 番組改ざん事件をめぐり、パウネットは 7 年の裁判を闘った。「慰安婦」問題の歴史と責任に背を向ける社会、沈黙するメディア、そこに立ちはだかるものを浮き彫りにし、事件と闘いを追究する貴重な一冊。 ♠

「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター 編
西野瑠美子・小野沢あかね 責任編集**日本人「慰安婦」愛国心と人身売買と**

978-4-7684-5751-1 四六判 272 頁 2800 円＋税

アジア・太平洋戦争において日本軍がその「兵站」として従軍「慰安婦」を必要とし、強制などにより「慰安婦」を集めていた。民族・国籍別に様々な出自を持つ従軍「慰安婦」の中で、特に日本人の「慰安婦」が持つ位置に焦点を当てた論稿集。 ♠♣

諸橋泰樹 著

「戦後時代」の夕焼けの中で

ポピュリズムとルサンチマンの同時代を読む

978-4-7684-5616-3 四六判 264 頁 2200 円＋税

昭和が遠ざかり「戦後」という時代認識も希薄になった。しかし「戦後」こそが今の日本を創った。「戦後」に誇りを持ち世界に訴えよう。グローバリズムの中で見失われる「戦後日本の信念」を大切に生き直そうとする野心的な社会時評。 ♠

篠原睦治 著

脳死・臓器移植、何が問題か

「死ぬ権利と生命の価値」論を軸に

4-7684-6804-7 四六判 368 頁 3000 円＋税

それは科学の勝利なのか。それとも独善的な科学の暴走なのか。人の死が密室の中で決められる脳死がまねく差別の真相を、医療、障害者、自己決定論の中から多角的に暴く。立花隆の脳死論にひそむ生命の序列化の差別観を撃つ。 ♠

優生手術に対する謝罪を求める会 編

【増補新装版】優生保護法が犯した罪

子どもをもつことを奪われた人々の証言

978-4-7684-5827-3 四六判 328 頁 2800 円＋税

「不良な子孫の出生予防」をその目的（第一条）にもつ優生保護法下で、自らの意思に反して優生手術を受けさせられたり、違法に子宮摘出を受けた被害者の証言を掘り起こし、日本の優生政策を検証し、謝罪と補償の道を探る。 ♠

共同通信社社会部 編

わが子よ

出生前診断、生殖医療、生みの親・育ての親

978-4-7684-5741-2 四六判 248 頁 1500 円＋税

出生前診断、生殖医療、養子縁組のテーマで共同配信した連載記事を単行本化。当事者、医者、生命倫理の研究者、検査機関・児童養護施設の関係者、障害者への取材と読者の便りを織り交ぜ、親子とは、子を産み・育てるとは、を問題提起。 ♠

レイ・ベントウラ 著／森本麻衣子 訳

横浜コトブキ・フィリピーノ

978-4-7684-6942-2 四六判 256 頁 2000 円＋税

約 20 年前に著者は横浜の寄せ場コトブキでの日雇い労働者を体験し、再び 6 年前にコトブキを訪れ、不法労働者として警察に怯えながらも働く昔のフィリピン人の仲間と再会する。酒を酌み交わすお喋りから彼らの逞しい魅力に惹かれていく。

村上和夫・長田佳久・河東田 博 編著

たのしみを解剖する

アミューズメントの基礎理論

978-4-7684-3473-4 A 5 判 296 頁 2500 円＋税

何を楽しいと感じるのか、価値観が多様化した現代社会の中で重要性を増している「アミューズメント」について、観光学（ホスピタリティ）・心理学（楽しみの認識）・福祉学（人と人との関係性）の各側面から考察する。 ♠

池田知隆 著

団塊の〈青い鳥〉

戦後世代の夢と希望

978-4-7684-6979-8 四六判 264 頁 2000 円＋税

団塊世代が定年期を迎え大きな関心事となっている。約 680 万人、戦争体験はなく、高度成長、受験地獄、70 年安保の時代を通過した。その秋田明大、戸井十月、ガッツ石松、都はるみ、里中満智子ら 38 名の人生を尋ね歩き団塊曼荼羅模様を探る。 ♠

梓澤和幸・田島泰彦 編著

裁判員制度と知る権利

978-4-7684-6991-0 四六判 312 頁 2200 円＋税

2009 年 5 月から実施された「裁判員制度」。制度の問題点解説の決定版。「知る権利」を中心に誰にでも分かるように配慮し、刑事裁判の不思議を浮き彫りにした。マスコミ関係者・司法関係者・学者など裁判員制度を知りたい人の必読書。 ♠

瀬木比呂志 著

裁判官・学者の哲学と意見

978-4-7684-5842-6 四六判 304 頁 2000 円＋税

東京地裁・最高裁で裁判官を務めた明治大学教授による書き下ろし社会派エッセイ。『ニッポンの裁判』『絶望の裁判所』で裁判所の実態を赤裸々に暴いた著者が、権威に飲み込まれず自由に生きるための思考術と＜教養の力＞を詳解する。

馬里邑れい 著

身代金

戦慄の誘拐

978-4-7684-6996-5 四六判 240 頁 1400 円＋税

メキシコで邦人現地社長が誘拐され、身代金 200 万ドルと引き換えに解放された戦慄のノンフィクション。事件の詳しい内容は書かれることは無かったが、海外での拘束で次第に精神も蝕まれていく生活や捜査結果が初めて明らかにされた。 ♠

正村邦之／聞き書き・馬里邑れい

ブレイクスルー（突破）

中2から働き、8年後には司法書士

978-4-7684-5714-6 四六判 240 頁 1300 円＋税

林 洋海 著

ブリヂストン 石橋正二郎伝

久留米から世界へ

978-4-7684-5615-6 四六判 240 頁 1800 円＋税

林 洋海 著

〈三越〉をつくったサムライ 日比翁助

978-4-7684-5707-8 四六判 272 頁 2000 円＋税

林 洋海 著

東芝の祖 からくり儀右衛門

日本の発明王 田中久重伝

978-4-7684-5748-1 四六判 280 頁 2000 円＋税

大山勝男 著

反骨の棋譜 坂田三吉

978-4-7684-5704-7 四六判 208 頁 1800 円＋税

和賀正樹 著

熊野・被差別ブルース

田畑稔と中上健次のいた路地よ

978-4-7684-5629-3 四六判 248 頁 2000 円＋税

平田剛士 著

人生が見張られている！

ルポ・「孤独権」侵害の時代

978-4-7684-5646-0 四六判 240 頁 1800 円＋税

堅田香緒里・白崎朝子・野村史子・屋嘉比ふみ子 編著

ベーシックインカムとジェンダー

生きづらさからの解放に向けて

978-4-7684-5672-9 A5判 232 頁 1800 円＋税

柳田勝英 著

潜入 閉鎖病棟

「安心・安全」監視社会の精神病院

978-4-7684-5673-6 四六判 208 頁 1800 円＋税

勉強嫌いで中2から新聞店住込み。高校5校の受験に失敗し、自衛隊入隊するも脱走、釜ヶ崎へ、論され東京に戻り、風俗店員、同棲、失恋。奮起、独自の学習法で2年間の猛勉強。司法書士試験10番合格。青春爆走リアルストーリー。

小さな足袋屋から身を起こし、地下足袋を考案、当時日本では無理といわれた自動車のタイヤ製造を始め、ついに世界一のタイヤメーカーに育て上げた男。真のメセナ活動を進めたブリヂストンの創業者・石橋正二郎の生涯を活写した伝記。 ♠

明治37年、日本初となるデパートを創業し、斬新な広告や催事開催、人材育成などにより「三越ブランド」を確立。慶應義塾で福沢諭吉に学んだ“士魂商才”を実践し、近代日本の商業革新に挑んだ久留米武士・日比翁助の壮烈な生涯を辿る。 ♠

幕末から明治に掛けて久留米から、田中久重、日比翁助、石橋正二郎の3人の偉人が傑出した。田中は市井のからくり職人から先進の技術開発者として、蒸気船・アームストロング砲、万年時計などを造り、東芝の祖と呼ばれる。その生涯を追う。 ♠♣

坂田三吉（1870～1946）とは何者か？ 大阪出身の棋士で、死後、名人の称号を得る伝説的棋士だが、アマチュアからスタートし、将棋を苦学。超人的な勉強量をこなし、いくつかの伝説も残す。不朽の名を残した坂田名人の人生を追う。 ♠

田畑稔氏は中上健次氏と義理のいとこで二歳年上。同じ「路地」で育つ。彼を沖浦和光氏は「路地の語り部」、宮崎学氏は「熊野の突破者」とよぶ。彼は「部落は素晴らしいとこなんや」といい、その聞き書きから被差別部落民の生活実態に迫る。

「防犯」「テロ警戒中」の名目で街中に設置されているカメラや個人認証設備。携帯電話の電波、スイカ、パスモ、ETCも個人行動監視に流用され、「安全のため」と言われ監視され包囲されてしまう時代に潜む危険を徹底取材。森達也氏推薦。

ワーキングプアや失業者が増大する中、すべての人に無条件で最低限の所得を給付するベーシックインカム（BI）構想が議論を呼んでいる。従来の議論に欠けていたマイノリティ当事者、ジェンダーの視点からBIの可能性、限界を検討。

「保護者」の同意がなければ退院できない医療保護入院で潜入した著者の体験ルポ。退院患者の平均入院期間298日、社会的入院が7万人という異常なまでに精神科入院が肥大している日本の精神病院の中の非日常を生きる「普通な」人々。

大谷恭子 著

法的基盤 共生社会へのリーガルベース

差別とたたかう現場から

978-4-7684-5712-2

A 5 判 336 頁 2500 円＋税

毎日新聞夕刊編集部 編

〈3・11 後〉忘却に抗して

識者 53 人の言葉

978-4-7684-5690-3

四六判 232 頁 1700 円＋税

細谷 実 編著／中西新太郎・小園弥生 著

仕事と就活の教養講座

生きのびるための働き方

978-4-7684-7961-2

四六判 256 頁 2200 円＋税

毎日新聞社会部 編

オウム「教祖」法廷全記録 1

恩讐の師弟対決

4-7684-7001-7

四六判 400 頁 3000 円＋税

毎日新聞社会部 編

オウム「教祖」法廷全記録 2

私は無罪だ !!

4-7684-7002-5

四六判 344 頁 2800 円＋税

毎日新聞社会部 編

オウム「教祖」法廷全記録 3

元愛弟子への無期判決

4-7684-7003-3

四六判 400 頁 3000 円＋税

毎日新聞社会部 編

オウム「教祖」法廷全記録 4

元信者への死刑判決

4-7684-7004-1

四六判 360 頁 3000 円＋税

毎日新聞社会部 編

オウム「教祖」法廷全記録 5

「新法」成立で揺れる教団

4-7684-7005-X

四六判 376 頁 3000 円＋税

毎日新聞社会部 編

オウム「教祖」法廷全記録 6

名称変更で存続を図る

4-7684-7006-8

四六判 352 頁 3000 円＋税

障害者、外国人、少数民族、そして被災者……。マイノリティの人たちが自らの権利を取り戻そうとしてきた経緯を、国際人権条約をベースに、著者が弁護した事案や判例などを交えて解説。寛容な精神を基底とする「共生社会」への道筋を辿る。

高村薫、内田樹、辻井喬、吉本隆明、津本陽、姜尚中、小熊英二、辺見庸、半藤一利、高橋源一郎、関川夏央、柄谷行人、平野啓一郎、佐野眞一、落合恵子、池澤夏樹、東浩紀、玄侑宗久、中島岳志、和合亮一、平田オリザの懸念なメッセージ。 ♣♣

就職したらブラック企業だった、残業が多くて体を壊した、そんなことにならないために、仕事と就活のおかしな「常識」を疑い、働く者の視線で仕事と生活を見直す、就活を始める前に知っておきたい大学生のための仕事教養講座。 白澤社刊

地下鉄サリン事件の審理で繰り広げられたかつての高弟たちと松本智津夫被告の「対決」を中心に裁判の流れを全て収録。この記録は、日本の宗教史・犯罪史上の貴重な記録であると共に民主社会と宗教を考える上での一級資料だ。 (第 24 回迄) ♠

無罪を叫ぶ「教祖」。坂本弁護士一家殺害の生々しい証言。弁護団欠席。去り行く女性幹部の証言。元弟子の公判に出廷する「教祖」。いよいよ核心に迫る法廷の全記録で、教団の内部が少しずつ判明。本書は第 25 回～第 44 回公判と関連事項を収録。 ♠

核心に入る地下鉄サリン事件の全容、坂本弁護士一家殺害と山中の隠理。その生々しい様子が法廷で語られた。地下鉄サリン事件や飯谷清志さん監禁致死事件に関わった林郁夫への無期論告・判決文を掲載。第 45 回公判から 74 回公判全記録。 ♠

松本智津夫裁判を通して、オウム教団犯罪の全容を解明しようと意図された本シリーズ、第 4 巻は第 75 回～100 回までの全記録と、一連の事件で初めて死刑判決が下った岡崎一明被告への判決の意味と、オウム関連裁判の歩みも掲載。 ♠

相変わらず活発な活動を続けるオウム教団。しかし、いわゆる「オウム新法」が成立・適用されることにより、教団は擬装されつつある。それらの全容と「教祖」裁判 (101 回～140 回) の全記録とこの間の判決、信者の動きを纏めた。 ♠

アレフに改称したオウム教団。サリンプラントの全容も明らかになるなかで、「教祖」の公判進行のため薬物 4 事件の起訴が取り下げられた。そして、幹部への極刑判決が続々下る。第 142～179 回公判全記録と各被告の判決要旨。 ♠

毎日新聞社会部 編
オウム「教祖」法廷全記録 7
検察側立証すべて終了

4-7684-7007-6 四六判 320 頁 3000 円＋税

遺族や被害者が初めて法廷に立ち、苦悩の胸の内を語る。サリン事件の傷は癒えない。「教祖」は相変わらず沈黙を守る。検察の立証が全て終了した 180 回から 219 回公判。しかしまだ裁判は続く。いつになったら遺族に笑顔が戻るのか。♠

毎日新聞社会部 編
オウム「教祖」法廷全記録 8
「教祖」に死刑判決下る

4-7684-7008-4 四六判 360 頁 3000 円＋税

いよいよ判決が下った。日本宗教史・犯罪史上まれにみる大量殺人事件であるが、「宗教教団」のトップ以下による犯罪の動機や教祖の声はついに聞くことが出来なかった。宗教のあり方と事件を考えた毎日新聞の総力取材の最終回。事件の本質を解明。♠

森 達也・深山織枝・早坂武禮 著
A4または麻原・オウムへの新たな視点

978-4-7684-5821-1 四六判 240 頁 1700 円＋税

平成犯罪史最大の謎「オウムサリン事件」。いまだ解明されない動機に迫る。裁判は教祖の精神崩壊を無視して判決を下した。弟子の暴走なのか。教祖の独断なのか。壮大な付度なのか。森達也が元側近たちと麻原の深層心理を見つめる。

猪野健治 著 猪野健治アウトロー論集・1
ヤクザと日本人

4-7684-6634-6 四六判 320 頁 2800 円＋税

庶民の心情にある任侠への「ある種の共感」を解明しながら、ヤクザがカブキ者と呼ばれた江戸期から現代まで豊富な資料と取材で綴る。本書は特にヤクザと政財官界の関係を明らかにしているので、社会史的な広がりを持ったヤクザ史になっている。

猪野健治 著 猪野健治アウトロー論集・2
戦後仁俠史の研究

4-7684-6635-4 四六判 320 頁 2800 円＋税

正史に対する野史と自ら本書を位置付け、敗戦直後から現代（1994 年）まで警察資料とヤクザ組織内部資料を駆使して解説。特に政治とヤクザの関わりを中心に、政治に翻弄されながらも自らの組織を拡大しているアウトロー集団の内奥に迫る。

猪野健治 著 猪野健治アウトロー論集・3
俠客の条件——吉田磯吉伝

4-7684-6641-9 四六判 320 頁 2800 円＋税

「現代ヤクザの鼻祖」といわれる吉田磯吉の生涯を辿りながら、俠客の条件を考える。筑豊の石炭を運ぶ一船頭から身を起こし、中央政界に進出、全国のほとんどのヤクザ組織とつながり大きな発言力を持った吉田の魅力はどこにあったのか。

猪野健治 著 猪野健治アウトロー論集・4
現代親分論

4-7684-6643-5 四六判 288 頁 2800 円＋税

親分とは何か。多くの子分を抱え、彼らの生殺与奪の権を握っているといわれる親分の条件を、松田義一・谷川康太郎・尾津喜之助・芝山益久・坂田浩一郎・村岡伊平治・田岡一雄の七人の実像を探りながら考察する画期的親分論。♠

猪野健治 著 猪野健治アウトロー論集・5
「暴対法」下のヤクザ

4-7684-6655-9 四六判 312 頁 2800 円＋税

1992 年 3 月 1 日施行された、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」いわゆる「暴対法」。この法律によってヤクザ社会は実際にどう変わったのか、変わらなかったのか。筆者独自の取材を通し、現代ヤクザ社会を考察する。

猪野健治 著 猪野健治アウトロー論集・補巻
義理回状の研究

4-7684-6707-5 A 4 変型 96 頁 10000 円＋税

襲名披露や葬儀の案内をはじめとする多くの回状がヤクザ社会にはある。その実物のカラー写真を掲載し、義理回状の意味とそこに記載されている興味深い人物との関係などを考察し、ヤクザ社会の実体に迫る、異色のヤクザ論。

花柳幻舟 著

十四歳の死刑囚

4-7684-6914-0 四六判 240 頁 1500 円＋税

十四歳で死刑!? そんなばかな!! と考えている人に読んでもらいたい警告の書。年少者の犯罪増加により刑事罰年齢も低下している。本書は厳罰化で少年犯罪は抑止できない、と自らの体験を踏まえ若者に語る刑法入門。親は逃げたらアカン!

原発・原子力関係

堀江邦夫 著

原発ジブシー (1979 年刊) [品切れ]

4-7684-5512-3 四六判 320 頁 1800 円＋税

原発下請労働者として美浜・福島・敦賀の各原発で働いた著者がそこで体験したものは、放射能に肉体を蝕まれ、「被ばく者」となって吐き出される棄民労働のすべてだった。原発内労働の驚くべき実態を克明に綴った告発ルポルタージュ。 ♠

堀江邦夫 著

原発ジブシー[増補改訂版] (2011 年刊)
被曝下請け労働者の記録

978-4-7684-5659-0 四六判 352 頁 2000 円＋税

美浜・福島・敦賀で原発下請労働者として働いた著者が体験したものは、放射能に肉体を蝕まれ「被曝者」となって吐き出される棄民労働の全てだった。原発労働者の驚くべき実態を克明に綴った告発ルポルタージュ。オリジナル完全収録版! ♠

デイヴ・エリオット 編著／田窪雅文 訳

原子力の政治学 [品切れ]

労働運動と反原発

4-7684-5513-1 四六判 232 頁 2000 円＋税

本書は原子力問題のなかでも、いままでに語られなかった原子力企業・産業の実態、労働者にとっての問題点(雇用・組合運動など)に焦点を合わせて構成されている。イギリスにおいて、その緻密な分析でベストセラーになった本である。

反原発事典編集委員会 編

反原発事典Ⅰ

[反] 原子力発電・篇

4-7684-9955-4 A 5 判 376 頁 2500 円＋税

原発に未来はない! 人間と自然を圧殺することではしか成立しない原発社会は絶対いやだ! 本書は、原発社会とは何かを検討し、そして否定するために必要な知識・情報を集め、さらに私たちにとって〈エネルギー〉とは何かを考える。 ♠

反原発事典編集委員会 編

反原発事典Ⅱ

[反] 原子力文明・篇

4-7684-9956-2 A 5 判 376 頁 2500 円＋税

原発を否定した生き方・暮らし方を創り出すための一冊。[反] 原発の闘いとそれを支える思想、エコロジー運動・AT 運動の意味、さらに都市に住む人間の問題をさぐる中から、核管理体制の抑圧をはねかえす「生」・文化・社会を模索する。 ♠

北村博司 著

芦浜原発はいま [品切れ]

芦浜原発二十年史

4-7684-5543-3 四六判 224 頁 1600 円＋税

三重県南部の小漁村を突然襲った中電原発第一号炉の候補地決定。以来20余年間、今なお続く紛争・議論・揺れ動く地域の姿を地元ジャーナリストが克明に綴る。地域やそこに住む人々の心と命に投げかけた原発の「影」を描き出す。 ♠♣

北村博司 著

原発を止めた町 (2001 年刊)

三重・芦浜原発三十七年の闘い [品切れ]

4-7684-6808-X 四六判 228 頁 2000 円＋税

原発押しつけを許さない! 国、三重県、中部電力を向こうにまわし、一般住民が徒手空拳で挑んだ原発建設阻止の闘いが到達した奇跡の勝利。「原発なき社会づくり」への住民革命を地元ジャーナリストが赤裸々に活写した感動の記録。 ♠

北村博司 著

原発を止めた町[新装版] (2011 年刊)

三重・芦浜原発三十七年の闘い

978-4-7684-5660-6 四六判 228 頁 2000 円＋税

原発建設は止められる! 一般住民が徒手空拳で挑んだ三重県芦浜原発建設阻止の闘いが勝ち取った奇跡の勝利までの足取りを地元ジャーナリストが長期密着取材。「原発なき社会づくり」への住民革命を赤裸々に活写・書き下ろした。 ♠

倉沢治雄 著

原子力船「むつ」

[品切れ]

虚構の航跡

4-7684-5563-8 四六判 248 頁 1800 円＋税

ミック・プロデリック 編著／柴崎昭則・和波雅子 訳

ヒバクシャ・シネマ

日本映画における広島・長崎と核のイメージ

4-7684-6759-8 A 5 判 272 頁 3000 円＋税

竹田信平 著

α (アルファ) 崩壊

現代アートはいかに原爆の記憶を表現しうるか

978-4-7684-7656-7 四六判 352 頁 2800 円＋税

森川聖詩 著

核なき未来へ

被爆二世からのメッセージ

978-4-7684-5849-5 四六判 384 頁 3000 円＋税

秋元健治 著

核燃料サイクルの闇

[品切れ]

イギリス・セラフィールドからの報告

4-7684-6931-0 四六判 264 頁 2300 円＋税

秋元健治 著

原子力事業に正義はあるか

六ヶ所核燃料サイクルの真実

978-4-7684-5665-1 四六判 280 頁 2200 円＋税

秋元健治 著

原子力推進の現代史

原子力黎明期から福島原発事故まで

978-4-7684-5735-1 四六判 312 頁 2800 円＋税

原発老朽化問題研究会 編

まるで原発などないかのように

地震列島、原発の真実

978-4-7684-6971-2 四六判 256 頁 2300 円＋税

新潟県平和運動センター 編／山口幸夫他 著

なして、原発？！

新潟発・脱原発への指針

978-4-7684-5717-7 四六判 248 頁 2200 円＋税

北辺の村に原子力の船がきた。廃船決定までの自民党内部の暗闘、海盗りで仕掛けられた巧妙な罠。巨額の金で人々の生活と心を分断した原子力船開発の真の狙いは？ 事故を起こし漂っていた原子力船の顛末を科学技術庁詰め記者が検証。 ♠♣

広島・長崎に原爆が投下以来、日本の映画はその意味を問い続けている。本書は「原爆の子」「ゴジラ」「黒い雨」「八月の狂詩曲」等の映画について、主に英語圏の人たちの綿密な分析から「ヒバクシャ・シネマ」の全体像に迫る画期的試みの本。

広島・長崎で被爆し、戦後、原爆投下の「敵国」アメリカ合衆国を始め、南北アメリカ各国に移民した在米被爆者。メキシコとドイツを拠点とするアーティストが、その証言と記憶に向き合い、原爆とは何かを表現する。その手記。 ♠

原因不明の体調不良に苦しむ日々、欺瞞に満ちた国家との闘争、被爆一世である父親との確執、そして核兵器反対と反原発とを結ぶ活動……。未来の平和のために闘い続けた著者が激動の半生を振り返り、若者へと希望を託す。小出裕章氏推薦！

石油高騰の国際不安の中で再び原子力発電が「評価」されている。チェルノブイリの教訓を忘れ核燃料サイクルの恐ろしい真実を隠そうとする悪しき代表例であるイギリス原発の歴史を暴き、セラフィールド原発事故の癒えない後遺症を追う。 ♠

原発建設と表裏一体で進められた核ゴミ処理の闇工作とは？ 暮らしを分断し生業を奪い、補助金漬けにして押しつけられる放射性廃棄物処理場の実態を、日本女子大学准教授が詳解。福島原発事故後のエネルギー政策を提言。鎌田慧氏推薦 ♠

被爆国の日本は戦後、核への警戒心が高かった。それがいつ、なぜ積極的な核エネルギー利用に転化したのか？ 原子力事業を進めた政界・実業界の人脈と利権の流れを戦後史との関連から明らかにする。推進派の意図・反対派の願いを詳解。 ♣

原発は、私たちの頭脳の臨界線にあるのだが、眼には入らないような電力生活をしている。その原発は、地震多発列島上で老朽化しているにもかかわらず、寿命は2倍に延ばされた。安全余裕の欺瞞性、ひび割れと放射線による材料劣化等を解説する。 ♠

最悪のレベル7と評価された福島原発事故後でさえ、再稼働や輸出が進められるのはなぜか。問題の所在が曖昧になろうとする今、工学、地質学、経済学、現職議員など各分野で活躍する12名の専門家が新潟・柏崎刈羽原発を軸に分かりやすく解説。 ♠

川村 湊 著

福島原発人災記

安全神話を騙った人々

978-4-7684-5661-3 四六判 224 頁 1600 円＋税

2011 年 3 月 11 日、東日本大地震大津波、それに続く原発事故。文芸評論家の筆者は原子力に関しては全くの素人。東電・政府・関係機関・専門家の過去から今の発言の生資料を調べまくって分かった彼らのいい加減さ。これは正に人災だった。

毎日小学生新聞 編＋森 達也 著

「僕のお父さんは東電の社員です」

小中学生たちの白熱議論！ 3・11 と働くことの意味

978-4-7684-5671-2 四六判 224 頁 1400 円＋税

福島原発事故後、一人の小中学生の新聞投稿が波紋を投げかけた。僕のお父さんは東電の社員です。悪いのは東電だけ？ 原発は誰がなぜ必要としたの？ 懸命に働いてなぜ皆が不幸になるの？ 小中学生の真剣議論。朝日書評・中島岳志氏絶賛♣

村雲 司 著

阿武隈共和国独立宣言

978-4-7684-5691-0 四六判 152 頁 1200 円＋税

「自由や、自由や、われ汝と死せん」と叫んだ荊宿仲衝の故郷、福島県の一部が独立宣言をした。「故郷の山河を棄てると国が強要するなら、俺たちは国を棄ててもいい」が人々の想いだ。抵抗の一つの形を示す、痛快な物語。菅原文太さん激賞！

北野 慶 著

〈城山三郎賞受賞〉

亡国記

978-4-7684-5766-5 四六判 360 頁 1700 円＋税

近未来の日本、原発再稼働が進む日本を東海トラフ地震が襲う。原発破損、放射能漏れで日本は壊滅状態に。京都で暮らしていた父娘は日本を脱出し韓国、中国、欧米諸国へ。普通の人々が国を失う姿をリアルに描写。朝日新聞・東京中日新聞書評続々。♠

塩見鮮一郎 著

江戸から見た原発事故

あの時こうしていたら……の近代日本史

978-4-7684-5724-5 四六判 192 頁 1800 円＋税

原点を江戸時代に置くことではっきり分かる、明治・大正・昭和、そして原発事故。戦後、あやまった明治維新からの誤りを繰り返す愚行を重ねている。不甲斐ない祖国でどう生きたらいいか。近代史を読みかえるための歴史私観。今なら間に合う。♣

八木澤高明 著・写真

にっぽんフクシマ原発劇場

978-4-7684-5758-0 四六判 288 頁 2400 円＋税

原発事故は、フクシマに何をもたらしたか。生業を断たれた帰還困難区域の人びと、避難せず故郷に残ることを選んだ男、原発事故バブルに賑わう盛り場などを小学館ノンフィクション賞作家が 2011 年から 14 年にかけて追ったフォト・ルポ。♠

フクシマ未来戦略研究所 企画編集

フクシマ発

イノシシ5万頭、廃炉は遠く……人びとはいかに這いあがるか

978-4-7684-5767-2 A 5 判 192 頁 1800 円＋税

原発事故から 4 年が過ぎ、中間総括が必要な時期が来た。復興事業から放射能汚染までをテーマにした、福島に関する、各界の知識人や街の人々による総合的な言論誌。福島からの言葉が、文学が、社会理論が集められている。♠

佐藤昌明 著

飯館を掘る

天明の飢饉と福島原発

978-4-7684-5829-7 四六判変 208 頁 1600 円＋税

天明の飢饉で 37% の人口減、そして原発事故で避難地域となった飯館村。相馬藩時代には国禁を破り越後から多くの移民を受入れた。地誌学上も類書のないユニークな飯館村物語。第 1 回「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」優秀賞受賞！

ジャーナリズム

津田正夫 編著

テレビジャーナリズムの現在

市民との共生は可能か [品切れ]

4-7684-5594-8 四六判 272 頁 2200 円＋税

情報化社会といわれる中で、テレビはどんな役割を果たしているのか。今テレビに何が問われ、何処へ行くこうとしているのか。現場の第一線記者と批評家が生の裏情報をまじえ、テレビ報道の真の姿を生々しく伝える。メディアと市民の構造。

津田正夫 著

ドキュメント「みなさまのNHK」

公共放送の原点から

978-4-7684-5785-6 四六判 280 頁 2200 円＋税

批判されるべきは、安倍政権下におけるNHKなのか。30年近くNHKで報道番組制作に携わり、体感した、「公共放送」が大きく変質しはじめた1980年代を捉え返す。コミュニティFMなど新たな放送を担う市民メディアについても幅広く言及。

飯室勝彦 著

報道の中の名誉・プライバシー

「ロス疑惑」にみる法的限界 [品切れ]

4-7684-5596-4 四六判 224 頁 1680 円＋税

13勝3敗。「ロス疑惑」の三浦和義氏がメディアを相手取った名誉毀損、プライバシー侵害訴訟で次々に勝訴している。それも単なる名目的勝訴ではない。裁判所の厳しい姿勢が現われている。その裁判の軌跡を検証し、報道のあり方を問う。

飯室勝彦 著

裁判をみる眼

4-7684-6631-1 四六判 240 頁 2000 円＋税

裁判における判断は時代と社会の産物であり、人間的な思想の葛藤でなくてはならない。わが国の裁判の現状は余りに常識からかけ離れている。冤罪・陪審・死刑等の問題の根底に共通するのは、市民的感觉の欠如である。具体例で述べる。♠♣

飯室勝彦 著

「客観報道」の裏側

4-7684-6756-3 四六判 224 頁 2200 円＋税

メディアは常に「客観報道」を口にする。しかし、内実は客観報道という名の「権力追従」にすぎない。その実態を、ペルー大使公邸占拠事件、警察庁長官狙撃事件等々の実例をもとに明らかにし、権力に追従しない現場記者のあり方を提言。

飯室勝彦 著

NHKと政治支配

ジャーナリズムは誰のものか

978-4-7684-5738-2 四六判 240 頁 1700 円＋税

NHKへの報道介入は、経営委員会会長に政権寄りの人物を据えることで完全なものとなった。政権×報道の数々の攻防を検証し、新聞・テレビなど報道側の問題点を指摘。市民の「知る権利」を堅守すべき真のジャーナリズムを提示する。♠♣

メディアと人権を考える会 編

徹底討論 犯罪報道と人権

[品切れ]

4-7684-6623-0 四六判 232 頁 2000 円＋税

犯罪報道の変革をめざし、現実が立脚する基盤をしっかりと分析し、その上に立って改革の見通しと提言を呈示しようとする第一線記者・弁護士・研究者の報告と火花を散らす激論。梓澤和幸・飯室勝彦・小川一・倉澤治雄・田島泰彦・服部孝章。

現代ジャーナリズムを考える会 編

テロリズムと報道

4-7684-6705-9 四六判 212 頁 2000 円＋税

テロが日常化していない日本で、人々の生命を守るための捜査と報道のスタイルは国民的合意を得ていない。第一線のTV・新聞記者・弁護士・学者がそれぞれの立場から報道と捜査のあり方を提言する。第二のオウム報道を繰り返さないために。

D. A. グレイバー 編／佐藤雅彦 訳

メディア仕掛けの政治 [品切れ]

現代アメリカ流選挙とプロパガンダの解剖

4-7684-6689-3

A 5 判 400 頁 5800 円＋税

田中和子・諸橋泰樹 編著

ジェンダーからみた新聞のうら・おもて

新聞女性学入門

4-7684-6703-2

四六判 408 頁 3300 円＋税

諸橋泰樹 著

ジェンダーの語られ方、メディアのつくられ方

4-7684-6845-4

四六判 248 頁 2300 円＋税

諸橋泰樹 著

メディアリテラシーとジェンダー

構成された情報とつくられる性のイメージ

978-4-7684-5609-5

四六判 256 頁 2200 円＋税

飯室勝彦・赤尾光史 編著

包囲されたメディア

表現・報道の自由と規制三法

4-7684-6824-1

四六判 232 頁 2000 円＋税

坂口順一 著／重信幸彦 聞き書き・構成

たったひとりのメディアが走った

『タクシージャーナル』三十三年の奮闘記

4-7684-6873-X

四六判 256 頁 2300 円＋税

小野善邦 著

本気で巨大メディアを変えようとした男

異色 NHK 会長「シマゲジ」・改革なくして生存なし

978-4-7684-5607-1

四六判 376 頁 2300 円＋税

池上 彰・森 達也 著

池上彰・森達也の

これだけは知っておきたいマスコミの大問題

978-4-7684-5762-7

四六判 232 頁 1400 円＋税

森 達也・青木 理 著

森達也・青木理の反メディア論

978-4-7684-5763-4

四六判 264 頁 1700 円＋税

スキャンダルもゴシップも何でもありの米大統領選と、戦争、原発事故だって面白おかしい「ニュース商品」に仕立てあげてしまう米マスコミの虚々実々の駆け引きを追っていき、その舞台裏を徹底暴露する画期的な米メディア研究の決定版。

新聞社を支配する「オジサン本位制」が、すべての新聞をつまらなくしている！ 販売・取材と様々な現場で活躍する女性たちが自らの職場・新聞社のウラ側を大公開。現代の新聞の病巣を現役の新聞記者と、研究者が完全解明する。 ♠

何となくテレビのホームドラマを見る。感激だ、涙だ、家族愛って素晴らしい……。しかし、待てよ。男と女の役割がメディアの中で作られ、それが実社会に影響を与え、家族の理想像が決められていいのか？ そんな疑問に答えるメディアの解毒剤となる一冊です。 ♠

メディアの進化に伴う混沌状況の中、私たちはメディアの何に気をつけなければならないのか？ ジェンダー差別的視点からなされるさまざまな偏見や誤謬を指摘し、メディアにおける表現の自由と個人の自由の併存の可能性を探る。朝日新聞書評絶賛 ♠

個人情報保護法案、人権擁護法案、青少年有害環境法案とメディアの表現活動を法の執行で規制しようとする動きが、ほぼ同時に進行している。これらの動きを牽制し、その危険性を指摘しながら、最高裁が誘導した、この間の慰謝料高騰の弊害をも糾す。

坂口氏は東京で約 30 年のタクシードライバーの経歴の持ち主。70 年代初頭よりミニコミ誌「タクシージャーナル」を出し続け、タクシーから見た高度成長、公害、市民運動等等と時代の転換期を書き続けてきた。民俗学者・重信幸彦のまとめが異彩を放つ。 ♠

1990 年代初め、日本メディアの改革を夢見た男がいた。過激で、破天荒な NHK 会長で「シマゲジ」と仇名された名物男・島桂次の前代未聞の挑戦とその意義を元 NHK 幹部であり、島の側近であった著者が詳解。田原総一朗氏推薦。 ♠

初めての顔合わせによる待望の対談がついに実現！あの池上彰に、タブーなしの気鋭のドキュメンタリー映画監督の森達也が迫る。選挙報道で政治家たちをなで斬りにする「池上無双」に森が対立覚悟で持論を展開！ 白熱のメディア討論。 ♠♣

メディアが病めれば社会も病む。権力からの独立と言論の自由に支えられ、発信する情報は民主主義の食糧である。今、最大使命の権力監視機能を健全に行っているとは思えない。三日間に亘った公安・死刑などこの二人にしか語れない閑談義。 ♠

歴史・民俗・民族

伊能忠敬研究会 編
忠敬と伊能図

[品切れ]

4-7684-8897-8 A 4 判 176 頁 2400 円＋税

大図・中図・小図など伊能図総集合、測量方法や器具、第1次～10次測量の全軌跡、そして人間・忠敬にせまった伊能忠敬の「人と仕事」決定版。江戸東京博物館で開催された「伊能忠敬展」で好評発売した図録を改訂。 アワ・プランニング刊◆

森川方達 編著
帝国ニッポン標語集
戦時国策スローガン・全記録

[品切れ]

4-7684-5570-0 四六判 280 頁 2000 円＋税

商品からライフスタイルまで、様々な宣伝コピーに踊らされる現代だが、半世紀前、それ以上にコピーにしばられた生活があった。戦時中、生活全般にわたって全国から集めた戦時国策標語 4237 点を収録し解説。コピーの魔力が痛感される。 ◆

森川方達 編著
帝國ニッポン標語集〈増補普及版〉
戦時国策スローガン・全記録

[品切れ]

4-7684-6666-4 四六判 288 頁 1800 円＋税

「米英を消して明るい世界地図」「二人して五人育てて一人前」など戦時国策標語が 4237 句。現代でも通用する標語もあるが、国民を戦争へと駆り立てるのに大きな役割を果たしたのはこれらの言葉であった。言葉の責任は重い。解説に新資料追加。

森川方達 著
滿蒙幻影傳説
「聖戦」灰滅史を旅する

4-7684-6896-9 四六判 640 頁 4600 円＋税

「大東亜戦争」と名付けられたかつての「聖戦」の意味を問いながら、自分の足と眼で戦跡を訪ねた 1700 枚の記録。明治以降日本人はかくも広大な地域で何をしたのか。忘却の彼方に閉じ込めようとする日本人の意識を今、覚醒させる。 ◆

森川方達 著
原子爆弾テロ概言
憂悶の反核文学者宣言から 70 年

978-4-7684-5773-3 四六判 560 頁 5300 円＋税

人類史上初めての原爆体験記は、1945 年 8 月 30 日に発表された大田洋子のエッセーだった。その後、GHQ によって被爆記録は発表禁止。核の脅威隠しがフクシマの悲劇に繋がる。原爆記録 1049 タイトルを読み原爆の教訓を生かそうとする労作。 ◆

和賀正樹 著
これが「帝国日本」の戦争だ

978-4-7684-5778-8 四六判 128 頁 1200 円＋税

だれも、こうはなりたくなかった。戦争は悲惨だ、と言ってもなかなか理解されにくい。リアルな写真と解説でたどる戦場の〈実像〉。全国空襲被害都市・空襲予定地一覧も掲載。また、多分、日本初、帯裏はブラカードとして使用できます。 ♣

保阪正康・鈴木邦男 著
昭和維新史との対話
検証 五・一五事件から三島事件まで

978-4-7684-5794-8 四六判 320 頁 1800 円＋税

テロ事件から読み解く日本現代史。血盟団事件や 2・26 事件等の当事者を取材した保阪正康と鈴木邦男の徹底討論。戦前、日本人は何のため国家を改造しようとしたのか？ 青年将校や愛国者の心理から日本の希望と課題を浮き彫りにする。

孫崎 享・鈴木邦男 著
いま語らねばならない戦前史の真相

978-4-7684-5747-4 四六判 272 頁 1600 円＋税

戦前史から読み解く日本論。幕末の黒船来航から昭和 20 年の敗戦まで、日本人は何を考えてきたのか？ 幕末のテロリズムが日本を救った？ 薩長は今の政党よりマシ？ 真珠湾攻撃に宣戦布告は不要だった！ 等、スリリングな昭和史討論。 ◆

孫崎 享 著

小説 外務省

尖閣問題の正体

978-4-7684-5730-6

四六判 288 頁 1600 円＋税

『戦後史の正体』の著者が書いた、日本外交の真実。事実は闇に葬られ、隠蔽される。＜つくられた国境紛争＞と危機を煽る権力者。誤った政策が誰によってつくられ実行されるのか。外務省元官僚による驚愕のノンフィクション・ノベル。 ♠

孫崎 享 著

小説 外務省Ⅱ

陰謀渦巻く中東

978-4-7684-5783-2

四六判 272 頁 1600 円＋税

外交官だけが知っている情報戦の内幕。アメリカの暗躍が産んだ I S。主人公と C I A エージェントが繰り広げる苛烈な情報戦。アメリカに追従するテロの標的となった無為無策な日本外交。元イラン大使でなければ書けないヒット作第二弾。

孫崎 享 著

アーネスト・サトウと倒幕の時代

978-4-7684-5844-0

四六判 280 頁 1800 円＋税

世界の歴史で相手国に深く食い込んだ外交官は数々いる。しかし、紛争の両者と密な関係を築き、相手国の歴史の動きに深刻な影響を与えた外交官はアーネスト・サトウ以上の人はほとんどいない。一次史料を駆使し、彼の活躍を明らかにした。

里中哲彦 著/清重伸之 絵/現代書館編集部 編

黙って働き 笑って納税

戦時国策スローガン 傑作 100 選

978-4-7684-5713-9

四六判 232 頁 1700 円＋税

「欲しがりません勝つまでは」「贅沢は敵だ」「りっぱな戦死とえがおの老母」「権利は捨てても義務は捨てるな」等、凄すぎる超絶コピー・戦時国策スローガン 100 選。コメントとイラストで戦時下コピーが明らかに。 孫崎享氏・青木理氏推薦

石田甚太郎 著

ワラン・ヒヤ

[品切れ]

日本軍によるフィリピン住民虐殺の記録

4-7684-5583-2

四六判 416 頁 2800 円＋税

日本の戦史や戦記では、「ゲリラ討伐」という名目で、住民虐殺は大々的な戦果として謳われている。現地を 1 年以上にわたり聞き書きした記録。老若男女を問わず殺し尽くした凄惨な事実からは、今のフィリピン人の日本人観も読みとれる。 ♠

石田甚太郎 著

日本鬼 (ヤンプングワイ)

日本軍占領下香港住民の戦争体験

4-7684-6628-1

四六判 224 頁 2000 円＋税

第二次世界大戦中、香港住民にとって日本軍は正に「鬼」であった。中国人が現在にまで語り継ぐ日本軍の残虐行為、強制的に行なわれた香港ドルと軍票の交換など、百二十余人の香港住民が明かす、百万ドルの夜景・香港の隠された真実の歴史。

山田邦紀 著

軍が警察に勝った日

昭和八年 ゴー・ストップ事件

978-4-7684-5801-3

四六判 232 頁 2200 円＋税

昭和 8 年、信号無視の陸軍兵士を警官が注意、些細な口論が死者まで出す巨大権力闘争に発展。戦争は軍人の怒声ではなく正論の沈黙で始まった！〈もの言わぬ付度大国・日本〉への戦前史からのメッセージ。 中島岳志氏・毎日新聞書評絶賛！

山田邦紀 著

岡田啓介

開戦に抗し、終戦を実現させた海軍大将のリアリズム

978-4-7684-5836-5

四六判 328 頁 2400 円＋税

日米開戦に反対し、東條英機内閣と命がけで闘った海軍大将がいた！ 日露戦争ではバルチック艦隊と戦い、首相時代に 2・26 事件に遭遇した激動の人生を詳解した評伝。早期終戦を求め闘い続けた、戦前史で最もドラマチックな男の全貌を活写。

佐藤友之 著

昭和天皇下の事件簿

4-7684-6794-6

四六判 688 頁 3800 円＋税

20 世紀は天皇制の完成と崩壊・復元の世紀である。昭和天皇・裕仁は 1926 年から 1989 年まで在位し、この間に発生した天皇関連事件 250 件。これらは全て天皇制が無ければ起こらない事件である。その事件を網羅し、時代の理不尽を考える。

東史郎さんの南京裁判を支える会 編

加害と赦し

南京大虐殺と東史郎裁判

4-7684-6801-2 四六判 296 頁 2600 円＋税

W. B. シンプソン 著／古賀林 幸 訳

特殊諜報員

日本の戦争犯罪を暴いた情報将校

4-7684-6736-9 四六判 304 頁 2500 円＋税

田中 宏・松沢哲成 編

中国人強制連行資料〈復刻＋解題〉 「外務省報告書」全 5 分冊他

4-7684-6658-3 B 5 判 820 頁 50000 円＋税

冬季衛生研究班 編

極秘 駐蒙軍冬季衛生研究成績 〈復刻版〉

4-7684-6665-6 B 5 判 386 頁 30000 円＋税

西崎雅夫 編著

関東大震災朝鮮人虐殺の記録

東京地区別 1100 の証言

978-4-7684-5790-0 A 5 判 512 頁 9000 円＋税

秋元健治 著

戦艦 大和・武蔵

そのメカニズムと戦闘記録

978-4-7684-6976-7 A 5 判 320 頁 2600 円＋税

秋元健治 著

真珠湾攻撃・全記録

日本海軍・勝利の限界点

978-4-7684-5632-3 A 5 判 272 頁 2600 円＋税

秋元健治 著

玉と砕けず

大場大尉・サイパンの戦い

978-4-7684-5652-1 四六判 256 頁 2000 円＋税

秋元健治 著

狙撃兵ローザ・シャニーナ

ナチスと戦った女性兵士

978-4-7684-5775-7 四六判 304 頁 2500 円＋税

南京攻略戦に参加したときの日記を基に書かれた書籍が、名誉毀損と元上官から訴えられ、被告敗訴が確定。南京大虐殺をめぐる直接の加害証言と、なかったことにしたい修正主義の論理を日中の研究者が検証し、謝罪と赦しの可能性を追求する。

マッカーサーと同時期日本に上陸した米特殊諜報員の日記。ニューギニア→マニラ→沖縄→本土と駐留防諜部隊の経済部門で特務を遂行。花岡・広島・長崎・横浜で戦争犯罪の調査にあたった全記録。日米の占領政策の違いも浮き彫りにする。♠

92 年夏、ワシントンにある国立公文書館に保管されていた一件書類が編者らに発見され、外務省がひた隠しにしていた「華人労務者就労事情調査報告」の存在が公になった。強制連行の顛末と就労事情の機密文書が、今初めて明らかになる。

旧日本軍が対ソ戦に備え、内モンゴルの寒冷地で凍傷対策の生体実験を中国人「政治犯」8 名を用いて実施した詳細なデータの報告書。解剖実験の写真（50 点）をも掲げた報告書は日本軍の戦争犯罪を歴史的事実として確認する貴重な資料である。

1923 年 9 月、戒厳令下の東京の空の下で「朝鮮人暴動」の流言が飛び、信じられない虐待・虐殺事件がごく普通の人々によって起こされていた。本書には体験した人しか語られない「具体性」がある。有名人や市井の人の体験談や目撃談を集めた。

世界最大最強の戦艦大和と武蔵。15 万馬力の超ド級戦艦はどんな運命の下に生まれてきた軍艦だったのか。軍国主義・海洋国家・少資源国等の様々な課題に直面しながら米海軍に勝つために創られた戦艦の全貌を詳述する。かわぐちかいじ氏推薦。♠

日本人にとって「真珠湾攻撃」とは何だったのか？空前絶後の太平洋横断作戦を敢行し、世界を揺るがした大作戦の全容を多数の写真・イラストで詳説。真珠湾に命を燃やした日米の兵たちの肖像を詳説。米海軍所蔵写真多数掲載。

太平洋戦争末期、米軍に包囲され完全に孤立した太平洋戦線のサイパン島で、住民と部下を守り抜き、生還を果たした勇気ある一人の若き将校がいた！米軍にまで感銘を与えた戦火の中の真の勇気とは？感動の史実が蘇る。写真多数。♠

第二次世界大戦の欧州東部戦線に多数投入されたソ連女性兵士たち。その中にまだ 19 歳の天才狙撃兵がいた。自ら志願して最前線で戦い続けたローザ・シャニーナの生涯を通し、戦争の真実と悲惨さ、そして平和の尊さを描く。写真多数。♠

大倉 直 著

六市と安子のゝ小児園、

日米中で孤児を救った父と娘

978-4-7684-5803-7 四六判 224 頁 1800 円＋税

火傷を負って捨てられていた女の子。その子を安子と名付け実子として育てた六市。戦争前夜、ロサンゼルスと上海郊外で孤児たちの父となり母となった。そして、戦後一通の手紙が届く……。「排他」が叫ばれる今だからこそ、心揺さぶられる。

仲里三津治 著

母ちゃんの脱出

満洲崩壊―沖縄の琴は朝鮮にひびいた

978-4-7684-5765-8 四六判 224 頁 1600 円＋税

沖縄戦、東京大空襲、満洲へのソ連軍侵攻、そして朝鮮半島で難民に……。四つの戦災のうち三つを生きぬいた沖縄のおばあと、母ちゃんら家族は故郷に向け脱出を図る。苦難に満ちた日々の悲喜こもごもを描くノンフィクションノベル。 ♣

上原正三 著 〈第33回 坪田譲治文学賞受賞〉

キジムナー kids

978-4-7684-5804-4 四六判 360 頁 1700 円＋税

出会い、友情、冒険、好奇心、別れ……そして、希望。少年期特有の感性をノスタルジックに綴る感涙の自伝小説。沖縄戦(ウチナーイクサ)の犠牲、痛みをのりこえた“キジムナー kids”を、ウルトラマンのシナリオライターがみずみずしく描く。 ♣

蒲 豊彦 編著 浦島悦子・和仁康夫 著

三竈島事件 (さんそうとうじけん)

日中戦争下の虐殺と沖縄移民

978-4-7684-5839-6 四六判 288 頁 2800 円＋税

マカオ西南部の三竈島。日本軍が占領、住民を虐殺し沖縄の農民を移住させた。日本軍の秘密基地として、中国本土等への空爆もここから出撃。今は珠海空港と名を変え、国際航空ショーも行われる。教科書にも書かれない秘密が明らかに。 ♣

松木謙治郎 著

阪神タイガース**松木一等兵の沖縄捕虜記**

978-4-7684-5678-1 四六判 248 頁 1800 円＋税

脂肪過多を名目に召集を免れていたタイガース監督の松木謙治郎は根回しに失敗しついに北支へ。四百里の行軍を遂げ内地帰還の喜びも束の間、着岸したのは激戦をひかえる沖縄だった。ユーモラスな筆致に命の危うさと儚さがこじも傑作。張本勲氏推薦! ♠

近藤節夫 著

南太平洋の剛腕投手

日系ミクロネシア人の波瀾万丈

978-4-7684-5733-7 四六判 240 頁 1600 円＋税

南方トラック諸島、日本人と現地人首長の娘に快男児が出生。名をススム・アイザワという。彼は日本プロ野球に参加(毎日オリオンズ→高橋ユニオンズ)、引退後にはミクロネシアで地域社会のリーダーに。二つの祖国をまたにかけた男の一代記。 ♠

伴野昭人 著

マッカーサーへの 100 通の手紙

占領下 北海道民の思い

978-4-7684-5686-6 四六判 272 頁 2200 円＋税

戦後の日米関係が始動した民主主義創成期、日本人はマッカーサーへ 50 万通もの手紙を書いた。日本人は「彼」に何を期待したのか。手紙を書いた人々のその後を尋ね、人々が思い描いた日本がその後どのように変容したかを考察した。 ♠

朝倉喬司 著

裸の昭和史

[品切れ]

佐久間文作への道

4-7684-5554-9 四六判 216 頁 1500 円＋税

1920 年、東北の貧農の三男として生まれ、貧しさからの「出口」を求めて、満蒙開拓青少年義勇軍へ。そして徴兵、中国戦線に参加して敗戦で満洲に 2 年間抑留され帰国。戦後も貧しさからの脱出を求めヤミ市等ひたすらに走り続けたものは。 ♠ ♣

朝倉喬司 著

戦争の日々 (上・下)

天皇から娼婦まで、戦時下日本の実況ドキュメント

978-4-7684-6987-3, 5619-4 四六判 232, 240 頁 各 1800 円＋税

犯罪・芸能をフィールドとする筆者が、初めて「戦争」を描ききった。戦争の悲惨さを声高に言うのではなく、当時の人々が戦争という怪物に取り付かれた生の実態を日記・新聞・雑誌の記事や市井の噂・流言飛語を活用し執筆。 ♠

松村高夫・矢野 久 編著

裁判と歴史学

七三一細菌戦部隊を法廷からみる

978-4-7684-6948-4 A 5判 400 頁 5600 円＋税

731 部隊が残した歴史問題にどう向き合うべきか！本書は歴史家と弁護士による共著であり、現地調査と文献研究によって明らかになった第二次世界大戦時の中国における 731 部隊の真実を法廷にて明らかにした記録である。♠

岡村 青 著

「毒殺」で読む日本史

4-7684-6909-4 四六判 256 頁 2000 円＋税

歴史の転換期には毒殺が躍り出る。古代では神武天皇が熊野で大熊の毒氣に、平安では長屋王毒殺、戦国では石田三成が蒲生氏郷を毒殺、江戸では家康の豊臣家臣毒殺の風説、明治では植木枝盛政敵による毒殺等々歴史上の有名な毒殺の数々。♠

岡村 青 著

「絶倫」で読む日本史

978-4-7684-5618-7 四六判 280 頁 2200 円＋税

神代の時代から、神武天皇、武烈天皇、神功皇后、後醍醐天皇、頼朝、清盛、蓮如、信玄、秀吉、家康、家斉、綱吉、一茶、海舟、松方正義、蘆花、晶子らの性豪ぶりを歴史的に検証し、セックスと子づくりは権力の固持と継承の必須条件であることの実態を解明する。

佐伯 修 著

偽史と奇書の日本史

978-4-7684-6945-3 四六判 288 頁 2300 円＋税

偽史や奇書はアカデミズムにとっては問題外の書物であるが、根強いファンがいる。それらには時代の世相を反映し人々のロマンが込められ、時代を知る手掛かりが秘められている。本書は『竹内文書』『上記』等、100 の偽史、奇書の入門書。♠

上島敏昭 著

魔界と妖界の日本史

978-4-7684-6946-0 四六判 296 頁 2300 円＋税

『日本書紀』『古事記』から明治初期までの正史にはない事件や人物、「源頼政のヌエ退治」「土佐に伝わる河童の祟り」「明治天皇が行った怨霊鎮め」等々、大衆に伝承された怨霊や祟りの物語 100 篇。絵・写真多数。『偽史と奇書の日本史』の姉妹編。♠

佐々木 聡 著

復元 白沢図

古代中国の妖怪と辟邪文化

978-4-7684-7964-3 四六判 176 頁 2000 円＋税

禍を避け福を招くとして江戸時代に流行した白沢の図。その源流には古代中国の辟邪呪術を伝える幻の書物『白沢図』があった。およそ一千年前に散佚した奇書を、最新の研究成果をもとに復元し、文化史的意義を読み解く。白澤社刊

孫崎紀子 著

「かぐや姫」誕生の謎

渡来の王女と“道真の祟り”

978-4-7684-5769-6 四六判 248 頁 2200 円＋税

『日本書紀』の記述を手がかりに、中世ペルシアと日本の暦や祭礼のつながり、奈良の遺跡や地形を調査分析。さらに神社の祭神から竹取物語最古の写本まで読み解き、飛鳥～平安～現代と時空を超えて「かぐや姫」誕生の謎に迫る。

孫崎紀子 著

古九谷の暗号

加賀藩主・前田利常がつくった洗礼盤

978-4-7684-5843-3 四六判 208 頁 2500 円＋税

最高峰の絵付、理由不明の閉塞、産地論争など、愛好家を魅了し続ける古九谷。キリシタン大名・高山右近の影響と、色絵に描かれたキリスト教シンボルに着目し、斬新な切り口で誕生の謎に迫る！石川県九谷焼美術館館長・武腰潤子推薦！

久慈 力 著

シルクロード渡来人が建国した日本

秦氏、蘇我氏、藤原氏は西域から来た 【品切れ】

4-7684-6900-0 四六判 224 頁 2200 円＋税

多くの人びとのロマンをかきたてるシルクロードが今新たな注目を浴びている。NHK テレビ「新シルクロード」でタブー視され、テレビでは見られない禁断の歴史の闇を現場取材を経た著者が明快に斬り、日本文化のルーツを明らかにする。

久慈 力 著

蘇我氏はシルクロードから渡来した
飛鳥文化のルーツはメソポタミアにあった

4-7684-6932-9 四六判 240 頁 2200 円＋税

『シルクロード渡来人が建国した日本』で大好評を博した著者の古代史解明第二弾。大和朝廷の豪族たちのルーツを明らかにした前著に続き、今回は蘇我氏の真実を暴露する。シルクロード文化の結晶としての大和朝廷の源流が明らかになる。♠

久慈 力 著

聖徳太子と斑鳩京の謎

ミトラ教とシリウス信仰の都

978-4-7684-6957-6 四六判 208 頁 2000 円＋税

シルクロードから伝承された宗教・文化が古代日本に与えた影響とは？聖徳太子と斑鳩京の歴史を徹底検証し、そこに秘められた古代宗教の足跡を明らかにし、国際色溢れる大和朝廷の文化多様性から日本文化のルーツに迫る。

久慈 力 著

法隆寺の中のギリシャ・シルクロード文化

聖徳太子関連寺院の真偽を探る

978-4-7684-6973-6 四六判 200 頁 2000 円＋税

聖徳太子創設の名刹法隆寺に秘められた日本古代史の謎を、『シルクロード渡来人が建国した日本』等で瞠目の歴史観を展開した久慈氏が完全解明。シルクロードの集約地としてオリент文明を結晶させた飛鳥は国際文化に支えられていた！♠

久慈 力 著

聖徳太子はシルクロード合成人間

藤原氏が作り上げた最大の虚構

978-4-7684-5603-3 四六判 208 頁 2000 円＋税

〈聖徳太子〉という日本古代史最大の英雄の真の姿とは？日本人にとって忘れ難い聖徳太子伝説の数々に込められた古代日本の歴史・文化・宗教を巡る暗闘の真実を、歴史研究家が徹底した取材で明らかにする。

久慈 力 著

法隆寺ミステリーの封印を解く

なぜ、二度も焼失したのに飛鳥文化が残っているのか

978-4-7684-5617-0 四六判 200 頁 2000 円＋税

法隆寺は二回火災に遭っている。しかしなぜか飛鳥文化を伝える仏像・宝物は遺されている。それはなぜか!? 歴史上の僥倖と思われていた事実は、実は古代日本の隠された権力・文化闘争史の結果であった。瞠目の書き下ろし歴史評論。

坪内栄夫 著

シルクロードと世界の楽器

音楽文化の東西交流史

978-4-7684-6953-8 四六判 240 頁 2000 円＋税

文化の大動脈として機能し続けたシルクロード。しかしその意義は商業や宗教のみに止まらず音楽文化にも絶大な影響力を与えていた。著者の長年の研究により初めて明らかになったユーラシア文化圏の音楽文化史の全貌を書き下ろす。♠

清水正晴 著

ジャンヌ・ダルクとその時代 [品切れ]

4-7684-6646-X 四六判 424 頁 3800 円＋税

戦争と掠奪、宮廷の腐敗と民衆の窮乏、政争と闘争うず巻く百年戦争の時代に、「神の使い」として現われ、フランスに勝利をもたらしたとされる「救国の少女」ジャンヌの実像と、彼女が生き急いだ過酷な時代を冷徹な筆致で描く。♠

清水正晴 著

《青髯》ジル・ド・レの生涯 [品切れ]

4-7684-6678-8 四六判 312 頁 2800 円＋税

フランス中世国土と人心を二分する英国との百年戦争の中、ジャンヌ・ダルクとともに戦う弱冠24歳の青年元帥ジル。栄光のさ中にあった彼は、なぜ黒魔術と少年狼奇殺人に走り異端者として火刑台に果てたのか。中世貴族社会の闇を探る。♠

清水正晴 著

《ドラキュラ公》ヴラド・ツェペシュ [品切れ]

叢書 中世異端のコスモロジー

4-7684-6710-5 四六判 320 頁 3000 円＋税

吸血鬼のモデルで有名な実在の人物ヴラド・ツェペシュ。中世ルーマニアの統治者であるがためオスマントルコとの激烈な戦いに挑まざるを得なかった彼の生涯を史実の中に追う。その残虐さで敵・味方に恐れられた彼の孤独な素顔を描く。♠

清水正晴 著

《色事師》カザノヴァの青春

叢書 近世異端のコスモロジー

4-7684-6755-5 四六判 432 頁 3800 円＋税

一代の色事師として名高いカザノヴァ。十八世紀の欧州文化を体現する彼の生涯は自由のための絶えざる戦いであった。当時の欧州上流社会の文化風俗を詳しく紹介しながら知識人、鍊金術師、魔女、娼婦の素顔に言及した色と欲の博物誌。 ♠

清水正晴 著

《聖者》カザノヴァの肖像

叢書 近世異端のコスモロジー

4-7684-6776-8 四六判 452 頁 3600 円＋税

「カザノヴァ学」とも称すべき稀有なカザノヴァ論の集大成。ダンディズムの体現者カザノヴァが、同時代最高の知識人ヴォルテールと対峙する陸目の史実を鮮やかに蘇えらせ、ヨーロッパ文化の源流になった精神のあり方を完全解説する。 ♠

市之瀬 敦 著

ポルトガル 震災と独裁、そして近代へ

978-4-7684-5781-8 四六判 472 頁 3600 円＋税

大航海時代の栄光の後、ポルトガルはどんな歴史を歩んだか？ 地震・津波・戦乱・革命・クーデター・脱植民地……。繰り返される試練の度にしたたかに立ち上がる近現代ポルトガルの〈歴史的叡智〉を上智大学教授の著者が平易に詳述する。

ヨハネス・デ・テブラ 著 青木三陽・石川光庸 訳

死神裁判

妻を奪われたボヘミア農夫の裁判闘争

978-4-7684-5808-2 四六判変 248 頁 2500 円＋税

14～15 世紀頃、中欧で出版された古典「ボヘミアの農夫」の新訳。亡き妻を取り戻すため農夫が何と裁判を起こした！被告は死神、裁判長は神様！ユーモアと家族愛、信仰と生死観が縦横に語られる。異色の物語が京大研究者による翻訳で甦る。

薩摩秀登 著

〈叢書 歴史学への招待〉

プラハの異端者たち

[品切れ]

中世チェコのフス派にみる宗教改革

4-7684-6735-0 四六判 294 頁 2800 円＋税

中欧のバリといわれた美しいバロックの都は、なぜ「異端の都」と呼ばれたのか。ローマ教皇の権威に挑み、五度にわたり十字軍を迎え撃ったプラハ市民の胸に去来したものは何か。全欧州を巻き込んだ流血の中世宗教戦争の全貌を詳述する。

杉谷綾子 著

〈叢書 歴史学への招待〉

神の御業の物語

スペイン中世の人・聖者・奇跡

4-7684-6822-5 四六判 368 頁 3000 円＋税

中世欧州の心の風景を聖者・奇跡譚と巡礼の歴史の中に読み解く。奇跡話はいかにして人に癒しを与え生活の中に根づいたのか。スペイン中世の聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼とレコンキスタ等イベリア半島中世史を詳述する。

浜岡 究 著

〈叢書 歴史学への招待〉

「ブラジルの発見」とその時代

大航海時代・ポルトガルの野望の行方

4-7684-6920-5 四六判 216 頁 2200 円＋税

南米一の大国ブラジルは、19 世紀前半にポルトガルより独立した国であり欧米植民地としては異例の早さで独立国となった国である。ブラジル「発見」から独立、そして今日に至るまでの歴史を詳述し、大航海時代の光と闇を植民地から見つめる。

森 涼子 著

〈叢書 歴史学への招待〉

敬虔者たちと〈自意識〉の覚醒

近世ドイツ宗教運動のミクロ・ヒストリア

4-7684-6936-1 四六判 384 頁 3000 円＋税

17 世紀末のドイツの宗教運動「敬虔派」の歴史を解説し、この宗教運動がまったく思わぬ波紋を社会と個人の精神に及ぼす過程を歴史学者が書き下ろす。近代化の激動の欧州で、「自意識」を創り出した庶民たちの精神史を明らかにする。 ♠

矢野 久 著

〈叢書 歴史学への招待〉

ナチス・ドイツの外国人

強制労働の社会史

(社会政策学会 奨励賞)

4-7684-6888-8 四六判 256 頁 2300 円＋税

慶應義塾大学教授でナチスドイツ研究の第一人者が、口語体の文章で易しく書き下ろしたナチス期の外国人労働者研究入門。ナチスの恐怖は戦争・人種差別だけにあるのではない。ヒトラー政権下の外国人労働者を通して初めて分かる史実を詳かにする。 ♠

矢野 久 著 〈慶應義塾 義塾賞〉

労働移民の社会史

戦後ドイツの経験

978-4-7684-5637-8 四六判 320 頁 2400 円＋税

ナチスの苛烈な民族主義から敗戦を経て民主化へ。経済成長期に渡独してきた外国人労働者たちは「新たなドイツ国民」になったのか？ 人種の相克はドイツをどう変えたのか。慶大教授が、多民族社会ドイツの歴史を一次史料で解明する。

河合信晴 著

政治がつむぎだす日常

東ドイツの余暇と「ふつうの人びと」

978-4-7684-5760-3 四六判 328 頁 3200 円＋税

わずか 50 年足らずで消えていった東欧社会主義諸国。その中で「優等生」と言われた東ドイツに隠された日本との意外な類似性とは何か？ 抑圧社会の中でも密やかに育っていく社会変革の芽を、一般労働者のアフター 5 を通して明らかにする。♠

関口義人 著

ユダヤ・リテラシーの視界

アブラハムはディズニールンドの夢を見たか

978-4-7684-5743-6 四六判 400 頁 3200 円＋税

「悲劇の離散民」と「陰謀の黒幕」のイメージの狭間で、様々な語られ続けるユダヤとは？ なぜユダヤはアメリカに、そして世界に影響を与え続けるのか？ 神話・歴史・文化、そしてエンターテインメントから多角的にユダヤの真相に迫る。♠

小俣和一郎 著

ドイツ精神病理学の戦後史

強制収容所体験と戦後補償

4-7684-6819-5 四六判 232 頁 2300 円＋税

戦後も消え去ることのない「人間性の究極的破壊」＝ホロコースト体験の後遺症を、精神病理学はいかにとらえ、戦後補償はどう応えたのか。連邦補償法に基づく迫害犠牲者に対する主要鑑定論文を読み比べ、被害者及び次世代への責任を問う。

池田浩士 著

ドイツ革命

帝国の崩壊からヒトラーの登場まで

978-4-7684-5846-4 四六判 384 頁 3000 円＋税

100 年前に世界で最も先進的な民主主義国を目指したドイツ。格差解消、差別廃止、国際平和実現を目指し、戦争と貧困に苦しむ民衆を救済しようとした変革はなぜナチスに敗れたのか。現代へのメッセージを導き出し新しい歴史の見方を提示。

根本正一 著

民主主義とホロコースト

ワイマール／ナチ時代のホワイトカラー

978-4-7684-5833-4 四六判 376 頁 3000 円＋税

「ホワイトカラー層の焦燥」「アイデンティティーの迷走」という視点からホロコーストの原因を探る。〈民主主義の責任〉とは何か？ 国家はなぜ暴走するのか？ ナチの犯罪を可能にした社会的背景をジャーナリスト出身の研究者が詳解する。

ヒュー G. ギャラファール 著／長瀬 修 訳

【新装版】ナチスドイツと障害者「安楽死」計画

978-4-7684-5797-9 四六判 424 頁 3500 円＋税

アウシュビッツに先き立ち、ドイツ国内の精神病院につくられたガス室等で、20 万人もの障害者・精神病患者が殺された。ヒトラーの指示の下で、医者が自らの患者を「生きるに値しない生命」と選別、抹殺していった恐るべき社会を解明する。♠♠

キャトリーン・クレイ、マイケル・リーブマン 著／柴崎昭則 訳

ナチスドイツ支配民族創出計画

4-7684-6715-6 四六判 344 頁 3000 円＋税

「世界を支配する優秀なアーリア民族」を人工的に大量に産みだす！ 欧州を席卷しホロコーストに狂奔するナチ親衛隊がもくろんだアーリア民族増産計画と、そのために行なわれた組織的幼児誘拐の実態を追う。東京女子大 芝健介氏解説。♠

P. シュタインバッハ 他 編／田村光彩 他 訳

ドイツにおけるナチスへの抵抗

1933-1945

4-7684-6728-8 A 5 判 400 頁 5800 円＋税

学生、労働者、聖職者、軍人、国会議員等ナチス支配下にあっても自分の良心に従って行動したドイツ人たちの手記、チラシ、手紙等を収録。ヒトラー暗殺計画の立案・実行の全貌や、処刑直前に書かれた遺書等、抵抗者たちの肉声を伝える。♠

F. バヨール&D. ポール 著／中村浩平・中村 仁 共訳

ホロコーストを知らなかったという嘘 ドイツ市民はどこまで知っていたのか

978-4-7684-6984-2 四六判 216 頁 2200 円＋税

R&T. ギーファー 著／斉藤寿雄 訳

冷戦の闇を生きたナチス 知られざるナチス逃亡の秘録

4-7684-6836-5 A 5 判 352 頁 3000 円＋税

C. レゲヴィー 著／斉藤寿雄 訳

ナチスからの「回心」 ある大学学長の欺瞞の人生

4-7684-6866-7 四六判 368 頁 3000 円＋税

W. ベンツ 著／斉藤寿雄 訳

ナチス第三帝国を知るための 101 の質問

978-4-7684-6961-3 四六判 216 頁 2000 円＋税

W. ベンツ 著／斉藤寿雄 訳

第三帝国の歴史

画像でたどるナチスの全貌

978-4-7684-5720-7 A 5 判 320 頁 3300 円＋税

W. ベンツ 著／斉藤寿雄 訳

反ユダヤ主義とは何か

偏見と差別のしごとさについて

978-4-7684-5695-8 四六判 320 頁 2800 円＋税

G. フイツナー 他 編著／田村・岡本・片岡・藤井 訳

ナチス第三帝国とサッカー

ヒトラーの下でピッチに立った選手たちの運命

4-7684-6919-1 四六判 240 頁 2000 円＋税

岡田全弘 著

イタリア・パルティザン群像

ナチスと戦った抵抗者たち

4-7684-6893-4 四六判 224 頁 2200 円＋税

矢野龍渓 著

カネッティを読む

ファシズム・大衆の 20 世紀を生きた文学者の軌跡

978-4-7684-5698-9 四六判 232 頁 2200 円＋税

ホロコーストはナチスの罪だったのか、ドイツ人全体の罪だったのか。ユダヤ人の大量殺戮に感づきながらも知らぬふりをしたドイツ人の罪を問う。ホロコーストの真相と未だ反省なきドイツ精神を検証する。保阪正康氏・朝日新聞書評絶賛 ♠

ニュルンベルク裁判は茶番劇だったのか。第二次大戦後、裁かれたはずの旧ナチスの残党を利用したのは誰か。米ソ対立の二十世紀史を裏から演出したナチスの動きを取材し、そこに蠢くローマ教皇や反共団体の水面下の政治工作を暴く。 ♠

ドイツがひた隠しにする歴史の恥部にメスを入れる。戦後裁かれたはずの元ナチ党員が戦前の身分を隠し偽名を騙ってドイツ学界の頂点に立ち大学学長になっていた。この歴史への欺瞞を暴き、ドイツ人の心の闇を見つめる。戦争責任とは何か？ ♠

「ナチス第三帝国の『第三』とは何か」「ドイツの教会はいかにナチに協力したのか」「ニュルンベルク裁判は『勝者の裁き』に過ぎなかったのか」等、ナチスについての 101 の Q&A にドイツの歴史学の泰斗が簡潔に答えるナチス学入門書。 ♠

ナチスの歴史を 150 枚もの画像で紹介する。ヒトラーが国家元首となって今年でちょうど 80 年目を迎える。いま世界はナチスの歴史から何を学んだのかを問われている。指導者の資格とは？ 民主主義の責任とは？ 譲ってはならない権利とは？ ♠♣

今も欧米に根深く残る反ユダヤ主義とは何か？ ユダヤ人への憎しみは民族問題か？ 宗教問題か？ 複雑に絡み合う差別構造を庶民・知識人等多くの声を集め、21 世紀も隠然と続く、ヨーロッパの悪しき因襲を具体的に検証する。 ♠

大衆スポーツとして人気の高いサッカーはいかにナチスと協力関係を結んだのか。政治プロパガンダとスポーツの隠された関係を追い、スタンドの熱狂がそのままナチス体制支持にすりかわる恐ろしいプロセスを当事者のインタビューを交え詳解する。 ♠

ファシズム発祥の国イタリアでナチスを倒すための激しい戦闘が行なわれていた。ナチスと戦ったイタリアの抵抗者たち・パルティザン。平和のため命をかけて闘った人々の貴重な証言は、平和を自ら勝ちとる意義をいきいきと現代に伝える。

ブルガリアに生まれ、ドイツ語作家として生き、ユダヤ人としてナチズムの脅威を見詰め続けた英知は戦後秩序にも抗った。全体主義の危険を戦前・戦中ばかりか戦後世界にも見出した孤高のノーベル賞作家の全体像に迫る。

高澤秀次 著
フォークロア
辺界の異 俗

近代対馬史詩

4-7684-5574-3

四六判 256 頁 2000 円＋税

対馬は朝鮮半島と九州との間にあって、各々の影響を受けながらも独自の文化を築き、その異俗を現在に残して宮本常一氏ら民俗学者を魅了してきた。いま、近代「対馬」の新たなフォークロアにより、〈半島〉と〈列島〉の現代の意味を問う。♠

星 亮一 著

国境の島・対馬のいま

日韓、交流と摩擦のあいだで

978-4-7684-5764-1

四六判 256 頁 1800 円＋税

メディアを賑わす対馬での日韓摩擦は、根底には、対馬と朝鮮半島の地理的、歴史的な距離の近さがある。対馬の風物や民俗を詳細に追い、韓国からの観光客が増加する一方、反韓感情も一部に高まっている対馬ならではの振興策を提示する。♣♣

R. B. エジャートン 著／和波弘樹・和波雅子 訳
ビーチの社会学

4-7684-6630-3

四六判 304 頁 3500 円＋税

アメリカではリゾート地としてのビーチの活用が盛んで、そこに集まる人々は多民族国家アメリカの縮図を形成しているが、意外と暴力沙汰は少なく安全が保障されている。それは何故か。外国人労働者が急増する日本の今後の課題でもある。

ジョージ・グメルク 著／亀井好恵・高木晴美 訳
アイルランドの漂泊民

4-7684-6632-X

四六判 288 頁 3500 円＋税

アイルランドでは伝統的にブリキ細工や各種の修理、行商、馬喰等で旅の生活をする人々がいるが、今や都市の発達と農村の崩壊とともに都市周縁への移住・定着が進行し、彼らの共同体の崩壊、生活形態の変化等の問題が発生している。♠

エリノア・M. ミラー 著／中西恭子・中西純子 訳
ストリート・ウーマン

4-7684-6638-9

四六判 256 頁 3000 円＋税

ミルウォーキーの売春、詐欺、文書偽造、横領、窃盗など路地裏稼ぎの社会的ネットワークに関わる 64 名の女性達をインタビューし、その生活史を分析。暴力と絶望と麻薬が支配するストリートで懸命に生きようとする女性達を強烈に描く。♠

リチャード・W. アンダーソン 著／土岐隆一郎・藤堂億斗 訳
体験

ニッポン新宗教の体験談フォークロア

4-7684-6639-7

四六判 336 頁 3500 円＋税

アメリカの民俗学者の著者が日本の新宗教善隣会、立正佼成会、崇教真光をフィールドワークの中で、信者自らによる体験発表に注目し、日本人が人生を理解する方法や思考パターンを分析しながら日本人の精神論、文化論にも論及する。

ジョン・ヴァン＝マーネン 著／森川 渉 訳
フィールドワークの物語 [品切れ]
エスノグラフィーの文章作法

4-7684-6747-4

四六判 286 頁 3200 円＋税

フィールドワークの関係本は数多くあるが、その成果たるエスノグラフィーを正面から扱った本は数少ない。フィールドワークによって書物として表現されるエスノグラフィー。その基本となる他者をどう表現するかについてユニークに展開する。

ハリー・アルロ・ニモ 著／西 重人 訳

漂海民バジャウの物語

人類学者が暮らしたフィリピン・スルー諸島

4-7684-6800-4

四六判 320 頁 2800 円＋税

いま注目されているフィリピン南西端・スルー諸島の漂海民バジャウについて初めて本格的なフィールド調査を行った人類学者・ニモが、その時の体験をもとにした海洋民の物語。「人類学的小説」スタイルの面白い読み物の登場である。♠

ハリー・アルロ・ニモ 著／西 重人 訳

フィリピン・スルーの海洋民

バジャウ社会の変化

4-7684-6912-4

四六判 216 頁 2200 円＋税

ニモの前著「漂海民バジャウの物語」はNHK・BS「週刊ブックレビュー」でも紹介され好評を博した。本書はより具体的にバジャウ社会の居住方式、婚姻、親族、仕事、集落等について、家府生活者と杭上生活者とを比較分析する。

実松克義 著

アマゾン文明の研究

古代人はいかにして自然との共生をなし遂げたのか

978-4-7684-5621-7

A 5 判 384 頁 3800 円＋税

世界最大の大河アマゾン川。南米 5 カ国に亘る生命の大動脈である河川の歴史と文化圏としての全容解明は始まったばかり。立教大学教授の著者がアマゾン流域に広がる文化圏の歴史を新発見の資料を基に詳述。朝日書評・柄谷行人氏絶賛

実松克義 著

マヤ文明

文化の根源としての時間思想と民族の歴史

978-4-7684-5772-6

A 5 判 480 頁 6500 円＋税

BC2000 年頃から、その後約 3500 年間、南米で栄えた巨大文明の歴史と本質に迫る。現在も形を変えて生き続けるマヤ文明の精神と英知、時間思想というマヤ独自の根源的理念を詳解。図版・写真を多用したマヤ研究決定版。朝日新聞書評紹介

ジェニファー・ロバートソン 著／堀 千恵子 訳

踊る帝国主義

[品切れ]

宝塚をめぐるセクシュアルポリティクスと大衆文化

4-7684-6773-3

四六判 312 頁 3200 円＋税

ミシガン大学の文化人類学者による全く新しい日本文化論。日本の近代を彩った大衆文化の華はどんな「日本」を演じてきたのか。宝塚や松竹歌劇団等、日本の美と力を演出してきた大衆文化に隠された日本のオリエンタリズムを解明する。

赤松啓介×上野千鶴子 著／介錯・大月隆寛

猥 談

近代日本の下半身

4-7684-6662-1

四六判 406 頁 3000 円＋税

赤松啓介の体験した村の夜這いや寄せ場、町工場さらには商家での近代とは異質な男と女の性の関係性からみえてくる明治から現在までの社会のあり様を探る。ツッコミの上野とボケの赤松、それが時には逆転する対談はスリリングで超面白い。

今川 勲 著

犬の現代史

[品切れ]

4-7684-6686-9

四六判 240 頁 2500 円＋税

猟犬、牧羊犬、番犬、盲導犬、軍用犬、警察犬等、犬ほど人間にとって身近かで有益な動物はいない。明治開国以来、軍用犬として戦争に駆り出され、狂犬病で排撃され、ペットとして愛玩される犬の歴史は明治百年來の日本人の歩みでもある。♣

稲川 實・山本芳美 著

靴づくりの文化史

日本の靴と職人

978-4-7684-5655-2

四六判 248 頁 2000 円＋税

いま、靴作りが若者に脚光を浴びている。草履、下駄等が主だった日本人は明治以降の近代化の中で日本人向きの靴をどのように作り出し、いかに靴に馴染んできたのか。また、世界の靴作りといかに繋がっているのか。靴職人自らが実態に迫る。♣

稲川 實 著

西洋靴事始め

日本人と靴の出会い

978-4-7684-5703-0

四六判 224 頁 2000 円＋税

草鞋から靴へ。日本人は西洋靴にいかに対応したか。明治の「はきもの」革命期に、日本人自らの靴を作り上げ現在に至る。著者の靴職人体験と収集の資料をもとに写真、図を駆使し日本人の靴づくりを楽しく語る『靴づくりの文化史』の姉妹編。♣

朝倉喬司 著

走れ国定忠治

血笑、狂詩、芸能民俗紀行

4-7684-6681-8

四六判 336 頁 2800 円＋税

上州のヤクザ者、国定忠治が何ゆえに明治以降、演劇、映画、浪曲、演歌、河内音頭と「語り」のスーパースターとして登場し、大衆の中に浸透していったのか。その「語り」の磁力を香具師、ガマの油売り、大道芸等芸能領域の中に探索する。

朝倉喬司 著

「色里」物語めぐり

遊里に花開いた伝説・戯作・小説

4-7684-6924-8

四六判 372 頁 3000 円＋税

中里介山、泉鏡花、十返舎一九、深沢七郎、永井荷風、広津柳浪、近松門左衛門、樋口一葉等々の色里を舞台に書かれた名作と著者自らのフィールドワークを重ね合わせ、今も残る当時の面影の断片をユニークな想像力で再現する渾身の力作。♣

『マージナル』編集委員会 編

歴史はマージナル

漂泊・闇・周辺から

4-7684-6709-1 四六判 292 頁 2800 円＋税

五木寛之「漂泊の幻影をめざして」三浦大四郎・寛子「わが父・三角寛を語る」中上健次 vs 朝倉喬司「さてもめずらし河内や紀州」半村良「漂泊する妖しの星」網野善彦「顔」のみえる『資本論』等 16 名が歴史を基層から語りあう。♠

森田一朗 編著

あわき夢の街 トーキョー

4-7684-6732-6 A 5 判 224 頁 2200 円＋税

写真家・森田一朗氏のサーカス、ストリップ、見世物、暴走族、乞食、アメリカインディアン、ネパール、香港、浅草の街角等の怪しげで懐かしい写真に、森まゆみ、山折哲雄、沖浦和光、若一光司、高瀬千図等の文章を添えたフォトエッセイ。♠

紀和 鏡 著

おいらん

首塚巡礼花魁道中

4-7684-6731-8 四六判 232 頁 2300 円＋税

平将門、後南朝、酒吞童子、八百屋お七や吉原、玉ノ井、洲崎など敗れ去りしヒーロー、過ぎ去りし場への鎮魂歌。漂泊・闇・周辺に挑むルポルタージュは伝奇小説家・紀和鏡の新境地。森田一朗氏の写真を挿入した立体的な読物の誕生。♠

此経啓助 著

明治人のお葬式

4-7684-6813-6 四六判 208 頁 1800 円＋税

明治に亡くなった山内容堂、木戸孝允、大久保利通、岩崎弥太郎、尾崎紅葉、二葉亭四迷ら 26 人の葬式模様を時の「東京日日新聞」「国民新聞」等を通して解説。近代国家日本の出発時の葬式を通して明治人の生き方や葬式風俗を探る。♠

谷川健一 著

明治三文オペラ

巫娼から遊女へ

978-4-7684-6956-9 四六判 216 頁 2000 円＋税

民俗学の大家・谷川健一が '68 年の明治百年にあたり書き下ろした戯曲「明治三文オペラ」。シンガポールが舞台の實在の女衞がモデルである。「からゆきさん」の遊女性精神構造を解明するための、近代以前の性愛の民俗学的な考察論文 9 篇を収録。♠

寺 畔彦 著

戦艦ポチョムキンの生涯 1900-1925

978-4-7684-5701-6 四六判 256 頁 2200 円＋税

映画史上初めて完成されたモンタージュ技法を使い、革命のプロパガンダ映画として名高い『戦艦ポチョムキン』（エイゼンシュテイン監督）。伝説となった戦艦ポチョムキンの歴史（生涯）をロシア革命史の史実を織り交ぜ描いた物語。♠

若林 悠 著／桑野 隆 監修

風刺画とアネクドートが描いたロシア革命

978-4-7684-5813-6 A 5 判 216 頁 2200 円＋税

ロシア革命から 100 年。風刺画・コマ割りまんが 102 点とアネクドート（ロシアンジョーク）で、ボルシェビキの権力闘争、社会主義国家の建設、トロツキー追放からスターリン独裁まで、ロシア革命・新生ソヴェトを読み解く超ユニークな 1 冊。

山田邦紀・坂本俊夫 著

東の太陽、西の新月

日本・トルコ友好秘話「エルトゥールル号」事件

978-4-7684-6958-3 四六判 224 頁 1800 円＋税

1890 年 9 月 16 日夜半、オスマン帝国（現トルコ共和国）の軍艦が紀州沖で遭難、587 名が死亡した。紀伊大島の島民は何の打算もなく無私無欲で必死に救援し、日・土友好の絆は今も深く続く。他国人との交流の原点を描いた感動史話。♠

山田邦紀・坂本俊夫 著

明治の快男児 トルコへ跳ぶ

山田寅次郎伝

978-4-7684-6985-9 四六判 224 頁 1800 円＋税

トブカブ国立博物館に甲冑師明珍作の鎧兜、豊臣秀頼の陣太刀がある。寅次郎がオスマン帝国皇帝に献上したものだ。茶の湯の家元で、実業家でもあり、トルコ艦船遭難時、トルコに義捐金を持参し、日・土友好の架け橋となった明治快男児の生涯。

山田邦紀 著 ポーランド孤児・「桜咲く国」がつかないだ 765 人の命 978-4-7684-5666-8 四六判 272 頁 2000 円＋税	20 世紀初頭のシベリアには祖国を追われた約 20 万人ものポーランド難民がいた。シベリアを脱し祖国帰還を目指すポーランド孤児たち。各国が背を向ける中、唯一手をさしのべたのは日本だった。日波友好の源となった感動の歴史秘話！ ♠
武井 優 著 オランダからの白い依頼状 インドネシアで生まれた日系二世の父親捜し 978-4-7684-5718-4 四六判 272 頁 2000 円＋税	戦時中、蘭領東印度(現インドネシア)に侵攻した日本軍人・軍属と蘭系東印度女性間に生まれた子供達。母親は戦後宗主国オランダ人と結婚、オランダに渡る。子供達の父親探しを手伝う内山氏の感動秘話。歴史は善意の人がいて物語になる。♠
松本紘宇 著 サムライ使節団欧羅巴を食す 4-7684-6849-7 四六判 240 頁 2000 円＋税	’03 年は江戸開府から 400 年。幕末期、福沢諭吉ら一行の「文久遣欧使節団」に始まり、数多くの使節団がヨーロッパを訪れた。その親・子・孫三代に亘って現地ですべて初めて食べる洋食にどう食味したのか。日本人の洋食百年の食事情を探る。 ♠
松本紘宇 著 中国コメ紀行 すしの故郷と稲の道 978-4-7684-6994-1 四六判 260 頁 2300 円＋税	現在、日本のすしは世界的ブランド。ただし、二千年前、中国での魚の保存食「なれずし」が元祖。米国で最初のすし専門店「竹寿司」の開業者がその故郷を求めて秘境・雲南など悪戦苦闘の一人旅。すしのルーツは稲の道へと繋がっていく。 ♠
沖藤典子 著 北のあけぼの 悲運を超えた明治の小学校長 978-4-7684-5838-9 四六判 224 頁 1800 円＋税	北海道開拓時代に初等教育普及に取組んだ安田貞謹 (1850～1911)。「ご一新」による希望と閉塞、アイヌへの教育普及と文化奪取の葛藤など、国政によって揺れ動く青年の心情が丁寧に描かれた、著者初のノンフィクションノベル。 ♣
チカupp美恵子 著 月のしずくが輝く夜に アイヌ・モシリからインドへの祈りの旅 4-7684-6864-0 四六判 232 頁 2000 円＋税	アイヌ文様刺繍の第一人者であり、アイヌ文化について自らの出自を基に発言し続けている著者が、インドを旅しアイヌ・モシリを想う珠玉の書下ろしエッセー。遠く離れた大地が、インドの人々とアイヌ民族の心が、今しっかり結びあう。 ♠
チカupp美恵子 著 カムイの言葉 [品切れ] 物語が織り成すアイヌ文様 978-4-7684-5626-2 四六判 224 頁 1800 円＋税	神(カムイ)と自然と人間(アイヌ)が混然一体となって紡がれたアイヌ文化は、様々な詩や物語などに編まれ、口承により受け継がれてきた。山本多助エカシによる意訳詩のほか、アイヌ・モシリの創世神話、ヒグマなどカムイが語る昔話も多数掲載。 ♠
伊賀ふで 著／麻生直子＋植村佳弘 編 アイヌ・母のうた (CD 付) 伊賀ふで詩集 978-4-7684-5682-8 A 5 判変型 160 頁 2400 円＋税	アイヌ文様刺繍家チカupp美恵子の母・伊賀ふでの詩集。大正二年生まれで母語がアイヌ語／日常会話が日本語のアイヌ女性による、歌い継いできたウポボの意識詩や、日常の憤りや幸せを綴った創作詩を編んだ一冊。アイヌ語音声 CD 付。 ♣
加藤久子 著 (第33回沖縄タイムス出版文化賞受賞) 海の狩人 沖縄漁民 糸満ウミンチュの歴史と生活誌 978-4-7684-5681-1 四六判 240 頁 2300 円＋税	小さな舟で大洋を駆け巡るウミンチュ。勇壮な糸満漁民は沖縄古来の狩込漁を原型として発明された小中眼鏡を利用し大型追込み網漁を編み出した。その経緯と女達の独自の経済活動を丁寧なフィールドワークで明らかにした。谷川健一氏推薦！ ♣♣

山本尚友 著

史料で読む部落史

978-4-7684-6998-9 A 5 判 216 頁 2000 円＋税

被差別部落とは、江戸時代に形成された集落のみと思われがちだが、歴史的にみるとその範囲はさらに広がる。宿・散所・三昧聖などと呼ばれた人びとの歴史を史料から読み解き広義の被差別部落の歴史について詳述する。♠

本田 豊 著

戦国大名と賤民 [品切れ]

信長・秀吉・家康と部落形成

4-7684-6917-5 四六判 208 頁 2000 円＋税

信長・秀吉・家康等、戦国時代に名将を生み出した三河、尾張。その大名たちに差別され、利用されながらも彼らを支えた部落民、非人等が形成された。いまだに続く彼らへの差別の歴史と多様性をその調査から繙き、差別の構造を解明する。♠

本田 豊 著

被差別部落の形成伝承

978-4-7684-5649-1 四六判 224 頁 2000 円＋税

全国の被差別部落を隈なく歩いている著者が、その地の人から部落形成に纏わる伝承、部落に多い白山神社と時宗、部落の強制移住、部落の産業、弾左衛門の支配、また先祖は医者、神主が多くそれらの具体的な聞き取りから被差別形成の実態に探る。♠

大熊哲雄・斎藤洋一・坂井康人・藤沢靖介 著

旦那場 近世被差別民の活動領域

978-4-7684-5664-4 四六判 232 頁 2000 円＋税

近世被差別民の研究において、旦那場の存在が注目されている。主に①長吏・かわたの艶牛馬の解体処理の範囲(楯域)。②彼らの勧進、門付それに伴う警備の範囲。③芸能民、民間宗教者の活動範囲の分類である。それらを古文書、絵図、調査から解説。

東日本部落解放研究所 編

東日本の部落史**I 関東編**

978-4-7684-5818-1 A 5 判 384 頁 3800 円＋税

関東各地の長吏・非人たちの中世～近代を辿り、生業・役割・文化、地域社会との関係、弾左衛門体制などの実相に迫る。伊豆・水戸・日光も特論として収録。鳥山洋・坂井康人・友常勉・大熊哲雄・吉田勉・菊地照夫・小嶋正次・松浦利貞ほか。

東日本部落解放研究所 編

東日本の部落史**II 東北・甲信越編**

978-4-7684-5819-8 A 5 判 352 頁 3800 円＋税

史上初の東北の県別部落史。青森・宮城・福島、特論として盛岡・庄内・本州アイヌ、東北エリアの総論を収録。甲信越は新潟・長野・山梨の地域的特色を活写する。浪川健治・鯨井千佐登・大内寛隆・西澤睦郎・斎藤洋一・関口博巨ほか。

東日本部落解放研究所 編

東日本の部落史**III 身分・生業・文化編**

978-4-7684-5820-4 A 5 判 304 頁 3300 円＋税

身分・生業・文化、三つの視点から東日本の部落史の全体像を捉える。長吏・非人、宗教者の身分、生業・役割、農業、暮らし・文化・教育などをテーマに論述。藤沢靖介・鳥山洋・橋本鶴人・斎藤洋一・坂井康人・大熊哲雄・吉田勉・松浦利貞。

沖浦和光 編

佐渡の風土と被差別民

歴史・芸能・信仰・金銀山を辿る

978-4-7684-6959-0 四六判 244 頁 2000 円＋税

佐渡は文化・芸能の十字路。流人島として順徳天皇、日蓮、世阿弥等の多くの人が流刑。江戸時代に佐渡金銀山が発見され、また北前船の中継基地としての財力で、文化・芸術が花開く。一方では様々な強い差別も生じた。これらを重層的に解明。

沖浦和光・川上隆志 著

渡来の民と日本文化

歴史の古層から現代を見る

978-4-7684-6954-5 四六判 240 頁 2200 円＋税

朝鮮、中国などの東アジア文化圏からの渡来人はヤマト王朝成立、また日本文化の重層的な形成にいかなる役割をはたしたのか。巨大氏族・秦氏ら多様な渡来の民の足跡を、政治、経済、産業、技術、芸能の視点から東アジアを視野に追究する。♠

沖浦和光 著

竹の民俗誌 [新装版]

日本文化の深層を探る

978-4-7684-7010-7 四六判 224 頁 2200 円＋税

前田速夫・前田憲二・川上隆志 著

渡来原郷

白山・巫女（ムダン）・秦氏の謎を追って

978-4-7684-5634-7 四六判 232 頁 2200 円＋税

前田憲二 著

祭祀と異界

渡来の祭りと精霊への行脚

978-4-7684-5759-7 四六判 224 頁 2200 円＋税

前田速夫 著

海を渡った白山信仰

978-4-7684-5721-4 四六判 224 頁 2000 円＋税

旅の文化研究所 編

旅の民俗シリーズ

第一巻 生きる

978-4-7684-5815-0 四六判 256 頁 2300 円＋税

旅の文化研究所 編

旅の民俗シリーズ

第二巻 遊ぶ

978-4-7684-5816-7 四六判 256 頁 2300 円＋税

旅の文化研究所 編

旅の民俗シリーズ

第三巻 楽しむ

978-4-7684-5817-4 四六判 256 頁 2300 円＋税

篠田正浩・若山滋 著

アイドルはどこから

日本文化の深層をえぐる

978-4-7684-5731-3 四六判 248 頁 1800 円＋税

川上隆志 著

江戸の金山奉行 大久保長安の謎

978-4-7684-5669-9 四六判 224 頁 2000 円＋税

日本人にとって、竹は籠、箒、箕、筍など、身近な日常用品であり、また霊力が宿る呪物として崇められてきた。この歴史、民俗、文化を縄文時代まで遡り、学術的研究とフィールドワークから、重層的に日本文化の基層に迫る、名著の復刻版。

古代日本に多大な影響を与えた朝鮮の文化のなかで、白山信仰、巫女（ムダン）、秦氏の朝鮮発祥の地をフィールドワーク。その成果を基に、その道の第一人者の前田速夫が白山、前田憲二が巫女、川上隆志が秦氏を新たな視点で展開する。 ♠

日本と朝鮮の文化、祭りや芸能、神事をテレビ・映画で約 250 本も撮り続けた、この道の第一人者前田憲二監督が、朝鮮・中国・東アジア・北方地域から、日本の文化・芸能・祭りが受けた多大な影響を解明し、日本の精神構造の基層に挑む。

「白山信仰」研究の第一人者が新たな視座で書き下ろす。朝鮮はもとより、ユーラシア大陸にハクサンの本源としてのシラの言葉、シラの付く山が多く存在することに注目し、その壮大な視点から、日本の白山信仰の成り立ちを画期的に追求する。

人間の重要な営み「旅」。その文化的意義を学際的、国際的に解明する新たな「旅学」の誕生！ 全三巻シリーズの第一巻は旅を生活の場とした商人・芸人・職人の実相に迫る。執筆：神崎宣武／山本志乃／小島孝夫／松田睦彦／稲垣尚友／筒井功。 ♣

木偶まわし、歌舞伎、神楽、女相撲、三味線、鉦叩き等、かつて日本の年中行事を慶賀し、やがて海外にまで飛躍した旅する人々を記録する。執筆：神崎宣武／神野善治／川上隆志／木村涼／川野裕一郎／亀井好恵／高橋竹山。 ♣

江戸元禄の頃より旅は日常的なものとなり、人々の心に潤いと豊かさをもたらす体験となった。このかけがえのない紀行文化を各分野の第一人者が詳解。執筆：神崎宣武／白幡洋三郎／千田稔／高田公理／岡村隆／佐伯順子／石森秀三。 ♣

映画監督篠田、建築家若山は親戚同士。映画・建築を通して日本文化創造に関わってきた。AKBからアマテラスまで日本文化はアイドル(偶像)によって形成されてきた、として3日間に亘って建築・演劇・絵画・音楽・文学などに蘊蓄を傾けた。 ♠

長安の出自は秦氏の末裔？で能楽師。武田家に仕えた後、家康と邂逅し金山奉行として石見、佐渡等の金銀山開発で初期幕府の財政基盤を確立、交通網の整備で流通ネットワークを形成し、江戸社会の土台作りにも貢献した謎多き男の歴史ルポ。 ♠

田中 基 著

縄文のメドゥーサ

[品切れ]

土器図像と神話文脈

4-7684-6929-9

四六判 368 頁 3200 円＋税

ハケ岳山麓に縄文中期の豊富な女神、蛇体、半人半蛙、幼猪等の精霊を表現した土器図像が発掘された。これらを『古事記』『日本書紀』から縄文人の世界観を解説。さらに中世諏訪祭は蛇体祭祀であり『記・紀』の蛇体祖霊来訪神事と同質性を解く。 ♠

中島光孝 著

還我祖霊

台湾原住民族と靖国神社

978-4-7684-7918-6

四六判 256 頁 2200 円＋税

台湾原住民族は、なぜ合祀取消しを求めるのか。台湾靖国訴訟の弁護団の一人である著者が、原住民族の歴史をたどり、祖霊を取り戻す「還我祖霊」は、奪われた民族の歴史と文化を取り戻す闘いであることを明らかにする。 白澤社刊

長谷川亮一 著

教育勅語の戦後

978-4-7684-7973-5

四六判 304 頁 3200 円＋税

口語訳は“誤訳”だらけ!? 戦後つくられた「教育勅語」の各種口語訳を比較するとともに、教育勅語の成立から失効に至る経緯や、戦後の教育勅語を巡るさまざまな発言や事件をふまえ、誤訳の来歴と教育勅語評価の本質に迫る。 白澤社刊

塩見鮮一郎 著

吉原という異界

978-4-7684-6966-8

四六判 240 頁 1800 円＋税

「売春街」が通人以外の人に、なぜ、強いメッセージを送ることができたのか。色・欲・差別・人間の哀切漂う吉原の歴史と本当の姿が、新資料を駆使し、明らかに。江戸のアンダーグラウンドを凝視し続けている著者の渾身の書き下ろし。 ♠

塩見鮮一郎 著

禁じられた江戸風俗

978-4-7684-5604-0

四六判 216 頁 1800 円＋税

江戸時代、町奉行は町人、農民、遊女、役者、非人など庶民の服装、履物、髪型、装身具、食物、芝居、堕胎にまで細かく規制した。天保の改革時に焦点を当て、当時の文献から具体例をあげての論述から、江戸の風俗や芸能、庶民の生活が見えてくる。

澤宮 優 著

1000キロの海を渡った「大王の棺」

九州から大阪、実験考古学の航海が解く古墳の謎

978-4-7684-6965-1

四六判 296 頁 2200 円＋税

約1500年前、熊本から大阪まで巨大な石棺が海を渡った。6世紀、継体天皇陵墳墓の今城塚古墳（大阪）に納められた熊本産の石棺から古代史の謎を解明するため、壮大な実験航海を成功させた考古学者と船乗りの交流と、浮き彫りになった日本人論を詳解。 ♠

江口 司 著

柳田國男を歩く

肥後・奥日向路の旅

978-4-7684-6974-3

四六判 224 頁 2200 円＋税

日本民俗学の創始者柳田國男が、九州脊梁山地の宮崎県椎葉村に入ったのが1908年7月13日のことであった。それから丁度100年、柳田が歩いた肥後・奥日向の同じ道を辿り、柳田の『後狩詞記』の想いを検証。柳田が考えた民俗学の原点を考える。

小池静子 著

柳宗悦を支えて

声楽と民藝の母・柳兼子の生涯

978-4-7684-5620-0

四六判 240 頁 1800 円＋税

女性声楽家の第一人者として、明治・大正・昭和にわたり歌い続けた柳兼子。彼女はまた、白樺派の民藝運動家・柳宗悦を支える妻であり、三人の息子の母でもあった。音楽・家庭・女性・教師と、様々な生き方を全力で邁進した壮大な生涯。 ♠

多胡吉郎 著

海を越え、地に熟し 長沢 鼎**ブドウ王になったラスト・サムライ**

978-4-7684-5684-2

四六判 392 頁 2300 円＋税

壮大なスケールで描く歴史ドキュメンタリーノベル。幕末、薩摩藩から派遣された英国留学生団の中に長沢鼎（ながさわかなえ）という一人の少年がいた。森有礼と共に13歳で渡欧した少年がアメリカでワイナリー経営に成功。誇り高き生涯を活写。 ♠

熊野新聞社 編

大逆事件と大石誠之助

978-4-7684-5644-6 四六判 232 頁 2000 円＋税

関口すみ子 著

管野スガ再考

婦人矯風会から大逆事件へ

978-4-7684-7953-7 四六判 256 頁 2500 円＋税

関口すみ子 著

近代日本公娼制の政治過程

「新しい男」をめぐる攻防・佐々城豊寿・岸田俊子・山川菊栄

978-4-7684-7963-6 四六判 240 頁 2400 円＋税

高城修三 著

日出づる国の古代史

978-4-7684-5648-4 四六判 336 頁 3200 円＋税

小山顕治 著

倭国の都は火国・熊本

史書と遺跡が証明する

978-4-7684-5768-9 四六判 240 頁 2200 円＋税

古内泰生 著

政宗が殺せなかった男

秋田の伊達さん

978-4-7684-5744-3 四六判 272 頁 2200 円＋税

星 亮一 編／歴史塾 著

「真田丸」を歩く

978-4-7684-5770-2 四六判 224 頁 1800 円＋税

星 亮一 編

「朝敵」と呼ばれようとも

維新に抗した殉国の志士

978-4-7684-5745-0 四六判 224 頁 2000 円＋税

樋口雄彦 著

幕末の農兵

978-4-7684-5825-9 四六判 208 頁 2300 円＋税

'11 年は「大逆事件」100 年。大日本帝国憲法下に社会主義者弾圧のため幸徳秋水ら 24 名が処刑された事件。その中に、新宮市ではドクトル(毒取る)と貧民や被差別民から慕われた開業医・大石誠之助ら 6 名がいた。熊野からみた大逆事件。 ♠

女性記者の草分けであり、女権拡張の論陣を張り、明治期の思想大弾圧「大逆事件」で幸徳秋水らとともに処刑された唯一の女性、管野スガ。これまでの毀誉褒貶さまたまな表象を検証。「妖婦」像を一掃し、スガの実像に迫る。 白澤社刊 ♠

近代日本ではなぜ「公娼」が容認されてきたのか。これまで埋れてきた公娼制をめぐる政治的攻防を追跡するとともに、公娼制が当たり前だった時代に、廃娼運動、女子教育、女性の労働問題を訴えた三人の女性の姿を活写する。 白澤社刊

「日本古代史の三大難問」である、紀年論・邪馬台国論・神武東征論に芥川賞作家が挑む。歴代の宝算(天皇の年齢)を春秋年で解決、第 10 代崇神天皇の崩年を西暦 290 年とする。これをもとに卑弥呼と神武東征も確定した。教科書が教えない真実。 ♠

『隋書』には推古天皇や聖徳太子の時代、倭国の都には阿蘇山があり、竹斯(筑紫)国より東の国は皆倭国に属している、と記載されている。日本書紀の再解釈と遺跡調査で解き明かされた真実。邪馬台国を初め日本古代史が書き換えられた。

伊達政宗の叔父伊達盛重。仙台平野を 400 年間にわたって支配した国分氏に入嗣したが、居城松森城を政宗に攻められ、敗走。姉の嫁ぎ先、常陸の佐竹氏に亡命のち横手城代に。その数奇な運命と奥羽・板東の戦国模様を再現。政宗との密約は？

歴史ガイド。16 年の NHK 大河ドラマ『真田丸』放映に合わせ、真田家の本拠信州、真田幸村の奮戦が後世に名高い大阪城一帯から、果ては岡山、秋田まで日本中に広がる真田家ゆかりの地を地図と写真をふんだんに使い案内する。 ♣

維新に抗し、日本史の転回点においてももう一つの日本を作ろうとした男たちの評伝集。佐幕の志士たちもまた、自らの信念に基づいて行動したのであり、薩長、そして新政府に抗い、朝敵とされてもおおその魂は時代を超え人々の胸を打つ。 ♣

幕末、軍事と無縁だった農民たちが幕府や藩によって兵士に仕立て上げられた。幕府の蕨山代官によって採用された農兵、そして全国各地の農兵について、その全体像を初めて明らかにした。国を守る農兵、これが「国民」としての自覚を植え付ける契機となる。

坂本 俊夫 著

浄瑠璃坂の仇討ち

978-4-7684-5834-1 四六判変 200 頁 2000 円＋税

赤穂浪士の討ち入りに先立つこと 30 年、「江戸三代仇討ち」のひとつ「浄瑠璃坂の仇討ち」があった。宇都宮奥平家の旧臣 42 人が栃木宇都宮・山形上山・東京市谷を舞台に戦ったが、経過の定説はなかった。史料を駆使し真相に迫る。磯田道史氏絶賛!!

林 洋海 著

十二歳の戊辰戦争

978-4-7684-5657-6 四六判 272 頁 2000 円＋税

戊辰戦争には多くの少年兵が戦場に駆り出されている。彼らは大人に伍して戦い、戦場に散った。二本松少年隊・少年新選組・衝鋒隊少年隊士・白虎隊・長州干城隊少年隊士など、少年兵の聞き書きを、現代文で読みやすくした記録と時代背景。 ♠

林 洋海 著

キリシタン武将 黒田官兵衛

秀吉と家康から怖れられた智将

978-4-7684-5719-1 四六判 264 頁 1900 円＋税

播州に居ながら信長を見抜き、秀吉に仕え、家康に与し、家康にも怖れられた武将、官兵衛。九州にキリシタン王国建設を夢見、頓挫。播磨から九州・朝鮮までの戦功や黒田騒動、筆頭家老栗山大膳の功績も評価した正伝。九州から盛岡まで調査。 ♠

五藤孝人 著

「世直し歌」の力

武左衛門一揆と「ちょんがり」

978-4-7684-5677-4 四六判 224 頁 2000 円＋税

武左衛門一揆は伊予吉田藩で農民が完全勝利を収めた全国的にも稀な一揆。その首謀者・武左衛門が演歌・浪曲に通じる門付芸「ちょんがり」を駆使してオルグし、83 カ村、9600 人を組織したという。民衆の蜂起の起動力となる芸能の精神史を探る。 ♠

高橋克彦 著

東北・蝦夷の魂

978-4-7684-5700-9 四六判 240 頁 1400 円＋税

阿豆流為(あてるい)対坂上田村麻呂から戊辰戦争まで、中央政権に何度も蹂躪され続け、そして残された放射能。しかし「和」の精神で立ち上がる東北人へ、直木賞作家からのメッセージ。著者がこれまでに書いてこなかった歴史秘話満載。 ♠♣

佐藤竜一 著

原敬と新渡戸稲造

戊辰戦争敗北をバネにした男たち

978-4-7684-5796-2 四六判 224 頁 1700 円＋税

両者共、盛岡南部家の家臣の子として生まれた。戊辰戦争で賊軍となった悲哀が二人の偉人を生んだ。原は平民宰相として初の政党内閣を組織し日本の憲政史上に名を残し、新渡戸は国際連盟事務次長や学者として活躍した。二人の生涯を描く。 ♣

柴 桂子 監修／桂文庫 編・著

江戸期おんな表現者事典

978-4-7684-7050-3 A5 判函入 1408 頁 26000 円＋税

江戸期の女たちが書き残した作品や足跡を示す史料を、30 年以上かけて全国で調査収集。天皇、公家、尼僧、武家、農民、町人や遊女、藝女ほか、あらゆるジャンルで活動した女たち約 1 万 2 千人の人生と、その表現作品がいま鮮やかに蘇る。 ♠

宇神幸男 著

幕末の女医 楠本イネ

シーボルトの娘と家族の肖像

978-4-7684-5824-2 四六判 272 頁 2200 円＋税

司馬遼太郎、吉村昭らを魅了し、謎につつまれたシーボルトの娘イネの実像に迫る。誤説・通説を排し、新発見を含む多数の史・資料を満載した初の本格評伝!『銀河鉄道 999』のメーテルのモデルといわれるイネの娘 高子の壮絶な生涯も圧巻!

政治・国際関係

『海峡をへだてて』刊行委員会 編

海峡をへだてて

日韓条約 20 年を検証する

4-7684-5538-7 四六判 244 頁 1700 円＋税

元 省鎮 著

日本のなかの朝鮮問題

文化のファシズムと在日朝鮮人

4-7684-5544-1 四六判 240 頁 1700 円＋税

佐藤信夫 著

ソ連邦解体と民族問題

4-7684-5599-9

四六判 224 頁 1800 円＋税

赤岡 剛 著

バチカンの国際陰謀

[品切れ]

世界最大の情報国家の世界戦略

4-7684-6624-9 四六判 208 頁 1800 円＋税

中川智子 著

びっくり

[品切れ]

4-7684-6724-5

四六判 240 頁 1300 円＋税

佐藤敬夫 著

佐藤敬夫流

[品切れ]

孤立したこともある でも孤独ではなかった

4-7684-6764-4 四六判 196 頁 1500 円＋税

石原慎太郎研究会 著

石原慎太郎猛語録

4-7684-6781-4

四六判 240 頁 1800 円＋税

石原慎太郎研究会 著

ここがヘンだよ石原都政

4-7684-6786-5

四六判 238 頁 1800 円＋税

韓民族の怒りは天皇の「お言葉」などにごまかされない！ 日韓条約締結 20 年余、日帝支配・癒着の構造を、政治・経済・文化・軍事のあらゆる面から暴き、国籍法、外登法、入管法により「外国人」とされてきた「在日」の問題を考える。 ♠♣

日本固有の問題である在日朝鮮人問題はこれまできわめて形式的に論じられてきたにすぎず、内実の“変容”を追求する作業もあまり行なわれなかったが、本書は、なぜそのような傾向がもたらされたのかということを中心に在日問題を論ずる。

解体に向けドラスティックに展開した、民族問題の歴史と現実に迫る。ソ連邦を構成した民族の成立と動向を主軸に「なぜ、ソ連では民族騒乱が起き、その民族問題がどのように展開し、ソ連を解体に導くまでになったか」一貫したテーマで追う。

世界人口の五分之一を占めるカトリック信者の大本山バチカンは、ソ連邦を崩壊させ、残された敵フリーメーソンとの対決に賭けている。最後の勝利に向けて一段と陰謀をめぐらすバチカンの世界経済・政治・文化への影響を初めて明らかにする。

突然、土井たか子社民党党首から衆議院議員立候補要請。条件は「女性」「党のアカにまみれてない」「地域で地道な市民運動をやってきた」の三つ。筆者は他に、過激な恋を生きてきた。その愛多き青春から、当選までの「びっくり」人生。

政治改革に情熱を燃やす佐藤敬夫の政治にかける男のロマンを語る。河野洋平に誘われ当時の新自由クラブから参議院全国区に出馬以来、自民党、新進党、民主党とたえず政治改革を訴える道をつき進んだ政治家の熱意を伝える入魂の一冊。 ♠

「妄想」を「現実」と言いくるめる男の全てが分かる本。小説以外の全文を解説し、その引用によって今の日本に彼が受け入れられた要因と危険な思考を明らかにし、警鐘を鳴らす。一貫した民衆蔑視の生き様が、石原自身の言葉で語られる。

「東京から日本を変える」と叫ぶ石原は時代の救世主なのか、新ファシストなのか。弱者切り捨て・都民の犠牲の上に立つ都市開発推進・上意下達のワンマン行政・人権侵害の差別者なのか。各県が石原の手法を模倣する今、仮面を剥ぐ。

石原慎太郎研究会 著

検証・石原政権待望論

小泉政治との徹底比較

4-7684-6827-6 四六判 224 頁 1800 円＋税

口では都政に専念すると言いながら国政に強い意欲をみせる石原と、小泉政権との徹底比較。育った場所も近いし、親戚筋にあたる両人は共通点も多い。小泉政権が終焉して、石原政権が誕生することになると日本はどうなるか。21 世紀日本を占う。

J. A. T. D. にしゃんた 著

留学生が愛した国・日本

スリランカ留学生の日本体験記

4-7684-6825-X 四六判 200 頁 1900 円＋税

スリランカの少年が夢見た憧れの国日本への留学。学問、差別、生活のさまざまな場面で日本に生きる決意を固めた著者が大学教師になるまでの日々を明るく美しい日本語で綴る。異文化交流・第三世界論・アジアから見た日本像を明るい筆致で描く。

ジェフ・バーグランド 著

日本から文化力

異文化コミュニケーションのすすめ

4-7684-6868-3 四六判 240 頁 2200 円＋税

在日 35 年のアメリカ人、外人タレント、大学教授と多くの顔を持つ J・バーグランド氏が日本人のために描く異文化交流入門。日本人の日常の所作に秘められた深い文化と思考法の可能性を新たな視点から解き明かす日本文化礼賛論。◆

盧 武鉉 編著／青柳純一 編訳

**ノム ヒョン
韓国の希望 盧武鉉の夢**

4-7684-6847-0 四六判 216 頁 1800 円＋税

サッカー・ワールドカップにつぎ、韓国の夢・そして希望はすでに半ば実現した。韓国の若きリーダーとして大統領選挙を闘い勝利した盧武鉉。彼の波乱万丈の人生と熱いメッセージを初めて日本に紹介する。衝撃と感動と希望の書。

田中良紹 編

憲法調査会証言集 国のゆくえ

4-7684-6884-5 四六判 232 頁 2000 円＋税

2000 年 1 月より国会に憲法調査会が設置され多くの有識者の憲法に対する考えが陳述され、21 世紀日本のあるべき姿が語られている。その中から、石原慎太郎・小田実・松本健一・渡部昇一・孫正義・姜尚中・市村真一の七氏の意見を収録し解説した。◆

飯室勝彦 著

自民党改憲で生活はこう変わる

草案が目指す国家像

978-4-7684-5710-8 四六判 212 頁 1300 円＋税

2012 年 10 月自由民主党が発表した改憲草案は、天賦人權論・立憲主義の否定、そしていつでも改憲できる改憲ハードルの引き下げなど、現憲法を完全否定する驚くべき内容だ。そのような復古的改憲を阻止するための全面批判の書。

梓澤和幸・岩上安身・澤藤統一郎 著

前夜 [増補改訂版]

日本国憲法と自民党改憲案を読み解く

978-4-7684-5779-5 A 5 判 392 頁 2500 円＋税

現行憲法と自民党改憲案を前文から附則まで逐条比較。天皇制、軍隊、基本的人権や知る権利等、民主憲法の枠組みを大きく逸脱した安倍改憲案の本質を徹底解剖。2015 年に成立した戦争法・緊急事態宣言条項等の危険性を 56 頁追加。◆

浜 矩子・山口二郎・竹信三恵子・木村 朗・桜井智恵子 他 著

希望への陰謀

時代の毒をどう抜き取るか

978-4-7684-5784-9 四六判 272 頁 1800 円＋税

安保法制に続き憲法改正を日論む安倍政権の「毒」が政治・経済・社会・人心に蔓延している。政治・経済・労働・ジャーナリズム・教育など各分野の第一人者が「アベ的なもの」の正体を解析し、解毒剤を探しあて、希望社会への可能性を語る。

中堂幸政 著

石油と戦争

エネルギー地政学から読む国際政治

4-7684-6891-8 四六判 214 頁 2000 円＋税

イラク国内だけでなく連日のように続くテロ。プッシュム大統領が言うまでもなく、新しい戦争が始まっている。世界経済と政治は石油を中心に動いていることを、地政学的にユーラシア大陸を検証し証明する。パクスアメリカナの行方も占う。◆

秋元健治 著

覇権なきスーパーパワー・アメリカの黄昏 迷走するアメリカの〈正義〉の行方

978-4-7684-5610-1 四六判 264 頁 2200 円＋税

長谷川直之 著

ココム・WMD・そして中国 (大量破壊兵器) アメリカ輸出規制戦略とその現実

978-4-7684-6968-2 四六判 240 頁 2200 円＋税

日隅一雄 編訳／青山貞一 監修

審議会革命

英国の公職任命コミッショナー制度に学ぶ

978-4-7684-5601-9 A 5 判 136 頁 1000 円＋税

ジョン・デューイ調査委員会 編著／梓澤 登 訳

トロツキーは無罪だ！

モスクワ裁判 [検証の記録]

978-4-7684-6995-8 A 5 判 336 頁 2800 円＋税

前田哲男 著

自衛隊のジレンマ

3・11 震災後の分水嶺

978-4-7684-5662-0 四六判 288 頁 2000 円＋税

高橋真樹 著

ぼくの村は壁で囲まれた

パレスチナに生きる子どもたち

978-4-7684-5802-0 四六判 200 頁 1500 円＋税

岡野八代 著

シティズンシップの政治学〈増補版〉

国民・国家主義批判

978-4-7684-7932-2 四六判 304 頁 2600 円＋税

木前利秋・亀山俊朗・時安邦治 編著

変容するシティズンシップ

境界をめぐる政治

978-4-7684-7943-8 四六判 192 頁 2000 円＋税

木前利秋・時安邦治・亀山俊朗 編著

葛藤するシティズンシップ

権利と政治

978-4-7684-7945-2 四六判 208 頁 2100 円＋税

アメリカが展開する「対テロ戦争」の呪縛が世界を壊し続けている。今も星条旗の下に多くの人間が殺されている。オバマも手を焼くブッシュ時代の負の遺産の正体を暴く。アメリカと付き合い合なくてはならない不幸な世界を解剖する。

国際紛争が激化する時代に国際貿易は平和をつくれるか？ 日本の安全保障貿易管理担当官として、政策・審査・検査の三分野を担当した唯一の行政官が、現在もしばしば政治問題になる輸出規制について平易な文で分かり易く解説する。

御用学者や官僚 OB で形成される審議会をアライに、政官業優先の政策が成立していく。名ばかりの審議会を革命し、行政を市民に取り戻すための答えが、英国の「公職任命コミッショナー制度」にある。実施綱領の原文と全訳、解説を掲載。

反革命の烙印の下、ソ連邦の市民権を剥奪され亡命の旅を続けながらスターリン政権批判を展開したトロツキー。彼が欠席のまま死刑を宣告したモスクワ裁判に対し、弁明の機会を与えた調査委員会報告の全記録『Not Guilty』日本初全訳。

東日本大震災時の災害救助活動を通じ自衛隊はどう変わったのか？ 震災前と後の自衛隊の違いを明らかにし、その知られざる悩みを浮き彫りにする。今後、国防はどうあるべきかを自衛隊の役割・能力・隊員のホンネ等から多角的に詳解する。 ♠

700キロの壁と、イスラエルからの激しい空爆。何世代にもわたって、故郷に帰れないパレスチナ難民。ホロコースト犠牲者の国が何故迫害するのか。日本人には分かりにくい問題を、子供の目線で書いた、写真・地図・注釈多数の本物の入門書。 ♣

過去のシティズンシップ論を批判的に再検討しながら、「平等で自由」な社会をめざす新たな理念を構想する。フェミニズム・シティズンシップ論に続き、「依存」や「ケア」を含む新たな責任論「シティズンシップ論再考」を増補。 白澤社刊

今やグローバル化時代のキー概念となったシティズンシップ。本書は、その定義と歴史から〈市民〉と〈外国人〉の問題、コスモポリタニズムの可能性、シティズンシップ概念の再編まで、権利と義務の平等をめぐる諸問題を明らかにする。 白澤社刊

自由と平等、資本主義と民主主義、格差社会におけるリスク、特権集団と被抑圧集団、文化的多様性など、現代社会の様々な葛藤のなかで民主主義理解の基礎概念であるシティズンシップを捉え直し、あるべき道を探る。 白澤社刊

高橋哲哉・岡野八代 著

憲法のポリティカ

哲学者と政治学者の対話

978-4-7684-7958-2

四六判 256 頁 2200 円＋税

「民主主義と平和主義の種を潰すような企て」に危機感をもち発言し続けている哲学者と政治学者が、自民党改憲案、集団的自衛権をはじめ、九条、沖縄、死刑、人道的介入など憲法をめぐるさまざまな問題の核心に斬り込む。 白澤社刊

杉本 宏 著

ターゲテッド・キリング

標的殺害とアメリカの苦悩

978-4-7684-5826-6

四六判 328 頁 2200 円＋税

「対テロ戦争」の果てしない戦闘が世界を覆う中、標的殺害（ターゲテッド・キリング）という非公然攻撃を米国は展開している。しかし米国を非難するだけでは何も解決しない。米首脳たちの苦悩を通じ「21 世紀の正義」と戦争の行方を追う。

海外事情

此経啓助 著

アショカとの旅 [品切れ]

インド便り

4-7684-5531-X 四六判 224 頁 1200 円＋税

プレイボーイ評・マガダ大学の日本語講師の著者が、ものの考え方も生活も日本人とはまったく異なる 16 歳のインド少年アショカと一緒に暮らし旅した記録である。インドに本当に興味があるならば、これでインドの一つの現実がわかるだろう。

内海愛子 著

マンゴウの実る村から [品切れ]

4-7684-5533-0 四六判 242 頁 1500 円＋税

どんな田舎にも日本製アジノモトやホンダ・カワサキのオートバイがあふれるアジア。団地のウサギ小屋暮らしなのに、アジアへ行ったとたんに札幌をバラまき、大きな顔でのし歩く日本人。日本とアジアの関わりを考えるための一冊。♠

阿奈井文彦 著

アホウドリの韓国ノート [品切れ]

1987 年夏

4-7684-5561-1 A 5 判 464 頁 2000 円＋税

十数年に亘り夏の韓国を訪れていた著者が、今年もまた夏の韓国で暮らす。その日々の観光案内、乗車証、メニュー、映画の広告、学生・労働運動の新聞切り抜き、さらに手書きのメモをそのまま本にした、異色の韓国ノート。

相原なおみ 著

ジグソーパズル・アジア

4-7684-5562-X 四六判 224 頁 1600 円＋税

アジアを歩き続けている女性ジャーナリストが活写する、出会った人々、心震える体験、揺れ動く社会。迷路のようなアジアの諸問題を、ジグソーパズルを完成するように一つひとつ組み立てていくと、日本とアジアの全体像が鮮明にみえてくる。

中野理恵 監訳

ディア アメリカ

戦場（ベトナム）からの手紙

4-7684-5565-4 四六判 352 頁 2300 円＋税

ベトナム戦でベトナムへ派遣された米兵や看護婦が故国の両親・友人・恋人に宛てた手紙。戦場での苦悩・疑問・憎悪・いらだちがリアルに綴られている。アメリカの青年にとってアジア・ベトナム戦争とは何だったのか。アメリカの心がわかる。♠

富岡悠時 著

タイ娼館・イサーンの女たち [品切れ]

4-7684-5580-8 四六判 312 頁 2200 円＋税

イサーンと呼ばれる東北部の村には、昔からソン（娼館）が根強く残り、また、近年バンコクの売春宿にも多くの女たちを送り出している。この春を売る少女たちはこたわりなく明るく見えるが……。この娼館に通う中からタイ社会を映し出す。

富岡悠時 著

ノンフィクション・ストーリー

娼婦ノック

4-7684-6741-5 四六判 208 頁 1900 円＋税

タイの娼館（ソン）で出会った娼婦ノック。火焰樹の緋い花のごとく熱く愛に燃えた二人。ノックの死をもって終わる六年間の真摯な愛のドラマはもの悲しく、タイ農村社会の貧困を見事に映し出す。『タイ娼館・イサーンの女たち』の姉妹書。

北村 元 著

タイ・うごめく「人」景

4-7684-6702-4 四六判 248 頁 2300 円＋税

急速な高度成長を続けるタイ。都市は肥大化し農村は疲弊、伝統的な文化・生活は崩壊し、人々は戸惑いの中にいる。東北の農村から流出する売春婦、カネと女に揺れる仏教界、路上に溢れる子供たち等を前テレビ朝日バンコク支局長が報告。♠

王 真亮 著／畑中吉彦 訳

出路

ある中国農村青年の日記

4-7684-6613-3

四六版 240 頁 2000 円＋税

北村小夜 著

再び住んでみた中国

長春（旧新京）で日本語を教える

4-7684-6614-1

四六版 208 頁 1900 円＋税

アジアプレス・インターナショナル 編著

アジア大道曼陀羅

フォト・ジャーナリストたちが歩いて感じたアジア

4-7684-6620-6

四六版 256 頁 2300 円＋税

吉田敏浩 著

宇宙樹の森

北ビルマの自然と人間その生と死

4-7684-6722-9

四六判 244 頁 2200 円＋税

邱 若龍 作・画／江 淑秀・柳本通彦 訳

劇画・霧社事件

台湾先住民（タイヤル族）、日本軍への魂の闘い

4-7684-6621-4

A 5 版 270 頁 1650 円＋税

柳本通彦 著

台湾・霧社に生きる

[品切れ]

4-7684-6677-X

四六判 272 頁 2500 円＋税

柳本通彦 著

台湾先住民・山の女たちの「聖戦」

[品切れ]

4-7684-6770-9

四六判 240 頁 2200 円＋税

柳本通彦 著

台湾・タロコ峡谷の閃光

とある先住民夫婦の太平洋戦争

4-7684-6807-1

四六判 208 頁 2000 円＋税

キム・ユンシム 著／根本理恵 訳

海南の空へ

戦場からソウル、そして未来への日記

4-7684-7812-3

B 5 変型 144 頁 1200 円＋税

中国広東省の農村青年が綴った '90 年 5 月～'91 年 4 月の日記。出稼、家の手伝い、小さな工場勤め等を繰り返しながらの親兄弟・仲間との対話、恋愛、若者の苦悩等の報告は共産国・中国の現在を写し出す。日本の若者と何ら変わることはない。♣

若き頃、救護看護婦として中国（旧満州）で敗戦を迎え、八路軍と共に大陸を歩いた著者が、30 余年間の教員生活を経、退職後再び日本語教師として長春に住む。45 年の年月を経て見る中国の街、人々の暮らし、政治・教育、中日の歴史と現在。♣

若きフォト・ジャーナリスト 20 名がアジアの国々（カンボジア、インド、パキスタン、ビルマ、タイ、ラオス、ベトナム、中国、韓国、フィリピン、チベット、香港、マレーシア、インドネシア）等に出向き、各々が持つ生活の豊かさを写真と文で伝える。♠

ビルマ「民族民主戦線」のゲリラ部隊に 3 年 7 か月従軍。その間、マラリアに感染し生死をさまようが、ビルマ山岳で自然に宿る精霊を畏敬して生きる山の民の温い友情に助けられ生還したドキュメンタリー。大宅賞受賞作『森の回廊』の姉妹書。

台湾中部の山中で、「首狩り」の風習を祖先から遺訓として伝えてきたタイヤル族。日清戦争後「軍事強国」日本の派遣した討伐隊と悍悍に戦ったタイヤル族の最も人間的な感動の物語。「経済大国」日本が再び誤ちを犯さないための必読書。♣

日本の台湾植民地政策に抗して、少数民族セイダツカが名誉をかけて日本軍と壮絶な戦いを繰り広げた 1930 年の霧社事件。その後、霧社で生きた住民、残留した日本人の悲惨なる生活と人間の尊厳に満ちた証言。アジアの日本が問われている。♠

台湾に住んで十数年、積極的に先住民に接している著者が、1996 年に初めて、先住民ブヌンの老女から「従軍慰安婦」の存在を聞かされる。それから三年間に亘り、困難な聞き取りの中で 11 名の証言を得る。台湾先住民「慰安婦」初の証言集。

台湾が日本の植民地時代、先住民タイヤル人の仲良し三人娘が、日本軍に騙され慰安婦にされる。一人の女性の夫は高砂義勇兵として戦死、他の女性の婚約は破談、地域から排除される等、日本によって翻弄された薄幸の人生を静かに訴える。♠

第二次世界大戦中、日本軍に慰安婦にさせられたキム・ユンシムさんが自ら綴った半生の記。幸せだった少女時代、そして苛酷な体験を乗り越え、自ら言葉を紡ぎ出すキムさんの豊穡な精神のにじみ出る感動の一冊。パンドラ刊

緒方 修 著 ハッカ 客家見聞録	[品切れ]	4-7684-6727-X 四六判 212 頁 2000 円＋税
緒方 修 著 ハッカ 世界客家大会を行く		4-7684-6823-3 四六判 208 頁 1800 円＋税
河内美穂 著 満 洲 氷晶のマンチュリア		4-7684-6650-8 四六判 224 頁 2000 円＋税
河内美穂 著 上野英信・萬人一人坑 筑豊のかたほとりから		978-4-7684-5737-5 四六判 280 頁 2500 円＋税
高沢皓司 写真・文 写真報告・素顔の北朝鮮		4-7684-6649-4 四六判 240 頁 2000 円＋税
小川 淳・高沢皓司 編著 慟哭の民 [品切れ] 1994 年夏・ピョンヤン	[品切れ]	4-7684-6652-4 A 5 判 120 頁 1500 円＋税
上野清士 著 ポコ・ア・ポコ グアテマラ／エル・サルバドルの旅		4-7684-6601-X 四六判 216 頁 1800 円＋税
上野清士 著 熱帯アメリカ地峡通信		4-7684-6657-5 四六判 224 頁 2000 円＋税
マリカ・オマツ 著／田中裕介・田中デアドリ 訳 ほろ苦い勝利 戦後日系カナダ人リドレス運動史		4-7684-6648-6 四六判 272 頁 2300 円＋税
鄧小平、李登輝、リ・クアンユー等、アジアを代表する政治家を輩出し、世界の注目の的、謎多き客家。その実態を追って、中国、シンガポール、台湾、東京、そして沖縄の客家を訪ね歩く。中国梅県の円楼の写真、造り方のスケッチは圧巻。		
全世界に約 6000 万人、40 カ国に散らばった客家たちが、二年に一度の世界客家大会になぜ集まり、何を決めるのか。そして故・鄧小平、李登輝、リクアンユーなどの世界の指導者を輩出する客家とは何か。第 14 回、15 回、16 回世界大会出席の見聞録ほか。		
戦後生まれの著者が、みずみずしい感覚で旧満洲を歩いて 10 年。旧満洲に残された日本人や、在中朝鮮族の人々との出会いの中で、日中戦争を検証する。「戦後」の終結を求める著者に、残された人々の証言は重い。若者の見た戦争と中国。♠		
日本を代表するノンフィクション作家・上野英信。彼は、被ばく体験と入学した満州・建国大学について、多く語ることはなかった。およそ 6 年間かけて、関係者を訪ね、語らなかつた心の深奥に迫る。アジア情勢が変化している今読みたい本。♠♣		
北朝鮮のごく普通の民衆の素顔を初めて激写した。これまでの壮大な建築物や金親子のモニュメント、一条乱れぬマスゲーム等の人間の温もりのない写真ではなく、ピョンヤンのみならず地方都市や農村地帯の人々の喜怒哀楽を豊かに活写した。♠		
世界初公開の 1994 年夏のピョンヤン。金日成主席の遺体・金正日書記・政府高官と家族等の写真。喪中の人々の慟哭する姿、町や村の表情や新たな動きのルポ。各国元首の弔電など、葬儀の全貌。本書によって北朝鮮に何が起ったか判る。♠		
中南米では時間、生活、文化等の営為が少しずつ、ゆったり進展する。これを土地の人はスペイン語でポコ・ア・ポコという。グアテマラ在住の著者がこれらのリズムを刻む。忙しく働くことに価値を置く日本人の貧しさが写し出される。♠		
熱くて細長い中米。日本でのジャーナリストを辞め、グアテマラ在住 4 年の著者が流動化するグアテマラ、ニカラグア、エル・サルバドル、コスタ・リカ、ホンジュラス、パナマ、ベリーセを旅し、生活や文化、政治を住民の体温を通して伝える。♠		
第 2 次大戦中、「敵性国人」として財産を没収され、強制収容された日系カナダ人。半世紀の後、カナダ政府の正式な謝罪と補償（リドレス）を勝ち取り、カナダ市民としての尊厳を取り戻すまでのほろ苦い歩み。第 4 回カナダ首相出版賞受賞 ♠		

高木規矩郎 著

ニューヨーク事件簿

4-7684-6653-2 四六判 240 頁 2000 円＋税

「世界の警察官」を自称するアメリカはなぜ満足に自国の治安を守れないのか。自らの「巨大さ」を持て余しつつも、常に世界の中心であり続けるニューヨークに駐在する読売新聞編集委員の著者が、そこに見た「明日の日本」の姿を描写する。

M. リーブマン 著／小林誠一 訳

大統領をつくった男はゲイだった

4-7684-6668-0 四六判 416 頁 3000 円＋税

レーガンをはじめアメリカ歴代政権の成立と運営に深く関わってきた反共保守派の大手指導者が、同性愛者という自分自身の半生をさらけ出して赤裸々に語る戦後政治の深層。アメリカをもう一歩突っ込んで知る上で欠かせない一冊である。

藤田妙子 著

オハイオ・元気のなぞ

4-7684-6670-2 四六判 208 頁 1800 円＋税

いつでもどこでも必ず元気なアメリカ人。その不気味なまでの明るさと、信じ難く根強い個人主義はどこから生まれたものなのか。オハイオの大学町に住んだ著者が、アメリカ人の元気な笑顔を支える「元氣至上主義」の真実にせまる。♠

クラウドディオ・ファークヴァ 著／中村浩子 訳

イタリア南部・傷ついた風土

4-7684-6714-8 四六判 224 頁 2200 円＋税

ファッション・歴史遺産・芸術で知られる文化大国イタリアはなぜ深刻な国内南北格差の中、国家分裂の危機を迎えているのか。南部極貧地域出身のジャーナリストがマフィアの故郷を訪ね、その苦しみの奥にある南部イタリアの本音を語る。♠

平野 洋 著

伝説となった国・東ドイツ

4-7684-6833-0 四六判 240 頁 2100 円＋税

EU の中心国・ユーロの立役者である大国ドイツ。その見えざるもう一つの顔・旧東ドイツの実態に迫る。冷戦後の矛盾を内にかえ、民族激動の 21 世紀になり排外主義が昂る旧東独地域に密着し、国際化と国粋化が交差する揺れる欧州を活写する。

平野 洋 著

東方のドイツ人たち

二つの世紀を生きたドイツ人たちの証言集

4-7684-6937-X 四六判 240 頁 2000 円＋税

冷戦後、旧ソ連邦から約 230 万人もの「ボルガドドイツ人」がドイツ国内に移住している。在独トルコ人に迫る最大マイノリティを形成し、ドイツの民族像・歴史観を揺るがす存在になりつつあるボルガドドイツ人等から欧州の現在を見つめる。♠

平野 洋 著

ドイツ・右翼の系譜

21 世紀、新たな民族主義の足音

978-4-7684-5613-2 四六判 240 頁 2000 円＋税

ヨーロッパの中心国ドイツで、今なぜ人種主義とナショナリズムが蘇っているのか？ドイツ統一から 20 年が過ぎ、冷戦の傷も癒え、ナチスの過去から解き放たれ再び力を持ち始めたドイツ民族主義者の本音をインタビューで浮き彫りにする。♠

渡辺一男 著

オーストリア日記

ドナウ河畔の田舎町で

4-7684-6886-1 四六判 240 頁 2200 円＋税

大学助教授の職を辞し欧州の小都市に渡った男性が新たな人生を歩み出す。オーストリア女性との結婚、転職等を通して欧州の小さな町から EU 拡大、移民や極右政治家の諸問題を詳かにする。成熟した筆致が異文化を鮮やかに捉える。♠

M. ニコリッチ 著／金子マーティン 訳

あるロマ家族の遍歴

生まれながらのさすらい人

978-4-7684-5689-7 四六判 304 頁 2300 円＋税

「ジプシー」と呼ばれたロマの人びとは激動の 20 世紀をどう生きたのか。東欧に生まれ、大戦・虐殺生き抜き、冷戦・対立・民族差別の苦境をのり越えたロマの苦難の日々を綴る。家族の絆、隣人愛の尊さを深く訴える。読売新聞書評絶賛！ ♠♠

ウーゴ・チャベス 著／伊高浩昭 訳

ベネズエラ革命

ウーゴ・チャベス大統領の戦い ウーゴ・チャベス演説集
4-7684-8881-1 四六判 340 頁 2200 円＋税

1999 年に大統領に就任したウーゴ・チャベスは、新憲法の起草・公布し矢つぎ早に改革を進め、人民の正義を目指す。クーデターで四日間政権を負われたが、復讐。2002 年 12 月からの石油クーデターに会うが、本書はその時期の発言集。 VIENT 刊

フィデル・カストロ 著／白野降雨 訳

思想は武器に勝る

フィデル・カストロ自選最新演説集 2003～2006 年
978-4-7684-8887-4 A 5 判 288 頁 2800 円＋税

2006 年 7 月に腸の手術のため入院、権力を暫定的に移譲していたカストロは、以来公式の場には姿を現していない。本書に収められた自選の入院直前までの演説は、2008 年 2 月 19 日の引退声明を受けて国家元首カストロの最後の演説となった。 VIENT 刊 ♠

中川六平 編

外国体験のパッチワーク

4-7684-5591-3 四六判 352 頁 2500 円＋税

海外で組織のバックボーンなしに生活した日本人の記録。鈴木常勝・谷譲次・高木東六・石垣綾子・岡田嘉子・鹿地亘・宇佐美承・小川平・上野英信・佐野碩・石田天海・伊高浩昭・工藤久代・壇一雄・山口文憲・千葉敦子・堀田善衛・西江雅之。 ♠

金 文学・金 明学 著／蜂須賀光彦 訳

刀を秘めた中国人

4-7684-6751-2 四六判 208 頁 2000 円＋税

日本に留学中の中国人で朝鮮族の三世が、中国の生活や文化を韓国、日本と比較検討し、中国人の本質に迫る。著者の三カ国で生活した体験からの具体的な論述は、中国に対する既成の見方から自由にする。中国を身近に感じさせる本。

森田六朗 著／沢野ひとし 挿絵

北京で二刀流

ヤットウ先生の中国若者ウォッチング
978-4-7684-5726-9 四六判 208 頁 1700 円＋税

中国一般人の考え方と生活実態！ TBS テレビで紹介されるなど注目度が高まる中国通の著者が、中国の庶民の姿、とりわけ次の世代を担う大学生や若者の生活感覚、恋愛や留学、就職、結婚、家族観などに剣道の指導を通してギリギリまで迫る。 ♠♣

内田道雄 著〈第 8 回 JLNA ブロンズ賞・特別賞受賞〉

サラワクの風

ボルネオ・熱帯雨林に暮らす人びと
4-7684-6758-X 四六判 216 頁 2200 円＋税

豊かな森林の恵みに育まれたボルネオ・サラワクの原住民は、日本をはじめとする外国資本の森林伐採によって、狩猟と焼き畑による自給自足の生活が破壊されている。5 年間に亘って原住民と交流し、その実態を写真と文章で伝える。 ♠

大内 治 著

タイ・演歌の王国

4-7684-6763-6 四六判 232 頁 2200 円＋税

タイ社会では農民、出稼ぎ労働者、運転手など下層階級でしか聴かれない「ルークトウン・モーラム」といわれる「演歌」がある。5 年間に亘りこの「演歌」を追っかけ、その中から見えてきたタイ社会の欲望うずまき貧富の構造をルポする。

横田幸典 著

東ティモールに生まれて

独立に賭けるゼキトの青春
4-7684-6795-4 四六判 240 頁 2200 円＋税

1991 年に東ティモール独立闘争の取材で現地に出会った著者とゼキト。ゲリラを支援し、身の危険に晒されてマカオ→ポルトガルに亡命したゼキトとその友人達の国際関係の中で翻弄される悲劇と逞しさを描く渾身のフォトドキュメンタリー。 ♠

平田晴敏 著

ニューギニアの贈りもの

パプアニューギニアからイリアンジャヤへ
4-7684-6793-8 四六判 256 頁 2200 円＋税

人と豚と犬を包みこむ森林と、その奥深い文化の中へ。若き写真家が分け入るニューギニアの旅がなぜ人の心をこんなに熱くするのか。人の生活の原点と生きる意味を味わいながら旅を続ける著者の姿に深い共感を覚える感動の紀行文。 ♠

長田健次郎 著

協力隊員物語

トンガ・国道ボブア線の彼方に

4-7684-6820-9 四六判 248 頁 2000 円＋税

青年海外協力隊員としてトンガ王国に勇躍した青年の試練と成功、精一杯に生き抜いた日々の熱い感動を描く。道路舗装技術指導を通じて互いの理解を深め、崖っぷちまで追いつめられてもお困難に挑み続けた青年とトンガの人々を描く。

中島 洋 著

サイパン・グアム 光と影の博物誌

4-7684-6855-1 四六判 312 頁 2200 円＋税

観光地で有名な南太平洋の島はいまや国際社会としての成熟をめざしている。アジア各国やアメリカ、ロシアの人々の共生の舞台として太平洋文化圏のビジョンを追求するサイパン、グアムの歴史、文化、民族、自然を余すことなく語り尽くす。♠

鈴木常浩 著

モスクワ地下鉄の空気

新世紀ロシア展望

4-7684-6848-9 四六判 320 頁 2300 円＋税

ロシアの首都にはもう一つの顔がある。都市交通網として拡大を続けたモスクワ地下鉄に秘められた歴史を探り、革命と戦争、スターリン主義と冷戦を経て今日に至るロシア現代史の激流を、モスクワ長期留学を経験した日本青年が描く。♣

早坂 隆 著

ルーマニア・マンホール生活者たちの記録

4-7684-6858-6 四六判 208 頁 1800 円＋税

EU は東欧に拡大を続けているが、その一方で貧富の差は広がるばかり。ルーマニアのブカレストのホームレスたちのマンホール内生活に潜入し、地下での暮らしを詳述。欧州最底辺を探り、21 世紀欧州の実情を赤裸々に暴くルポルタージュ。♣

松本榮一 著

ホテル・ガンジスビュー

4-7684-6862-4 四六判 224 頁 1900 円＋税

20 年ぶりに聖地・バナーラスを訪れた著者・松本氏が、宿泊先のホテル・ガンジスビューで出会った人々との交流を重ねながら街を徘徊し、インド人の凄まじいエネルギーと生きる知恵の素晴らしさを再確認する渾身のフォトエッセイ。

鈴木みち子・豊田雅人 著

インド・スイート紀行

4-7684-6865-9 四六判 208 頁 1900 円＋税

恋多き中年女性・鈴木みち子が若きインド研究者・豊田雅人と出会い、インドを共通項として愛し合い、インドに出かける。日本人では珍しい現地の人を仲人とする正式なヒンドゥー教の結婚式を挙げるに至るラブストーリー版インド旅行記。

津山恵子 著 〈カナダ首相出版賞〔審査員特別賞〕受賞〉

カナダ・デジタル不思議大国の秘密

4-7684-6863-2 四六判 200 頁 2000 円＋税

森と氷河・湖などの豊かな自然、他にカナダはハイテク・デジタル技術大国でもあり、多くの新技術がある。広い国土と少ない人口、それは IT で結ばれ、初めて国家の統合がなされているし、遠隔地の医療・教育・映画産業への貢献がすごい。

久保英之 著

アジアの森と村人の権利

ネパール・タイ・フィリピンの森を守る活動

4-7684-6872-1 四六判 224 頁 2000 円＋税

森に生かされ、森を活かすアジアの農山村に暮らす人々、森林行政に携わる人々、政府、国際 NGO による地域開発と森林保全の両立をめざす取組みのルポルタージュ。森林保護、アジアの農山村開発に関心がある方の必読書。

せがわ きり 著

[品切れ]

WE MADE IT! ハワイ親子プチ留学

お金？ 夫の理解！？ 英語がダメ！ をのりこえて

4-7684-8885-4 四六判 160 頁 1800 円＋税

周囲の理解、費用、英語が苦手などの困難を乗り越えてまで、親子留学になぜ旅立ったのか。はじめてのプチ留学のときどき、失敗、我が子の成長などをまじえ、プチ留学のノウハウと楽しさを日々の出来事を日記風に紹介。 VIENT 刊

不二牧 駿 著

タイの象は生き延びられるか

4-7684-6897-7

四六判 232 頁 2000 円＋税

森林伐採、農業・輸送の近代化により世界の野生象は絶滅の危機に直面している。タイの象も例外ではない。タイでは村で生活できない象が街に連れ出され、ビルの谷間で物乞いをしながらようやく生きていく。その実態をタイで長期取材した。♠

渡辺 悟 著

クルド、イラク、窮屈な日々

戦争を必要とする人びと

4-7684-6901-9

四六判 256 頁 2200 円＋税

過酷な現実と直面しているイラクで、なぜ今なお戦争を必要とする人がいるのか？自爆テロ未遂犯・兵士・学生・家族等と向き合い語り合う中から、イラクの現在を描く。日本人フォトジャーナリストが目撃した真実を豊富な写真とともに書き下ろす。♠

米田綱路 著 〈第32回サントリー学芸賞受賞〉

モスクワの孤独

「雪どけ」からプーチン時代のインテリゲンツィア

978-4-7684-5622-4

四六判 628 頁 4000 円＋税

スターリン死後の「雪どけ」からプーチン時代に至るまで、精神の自由のために闘った少数派知識人（エレンブルグ、マンデリシュタームの妻、ボゴラズ、セルゲイ・コヴァリョフ、ポリトコフスカヤ等）の精神世界を鮮やかに描き出す。♠

田村志津枝 著

初めて台湾語をパソコンに喋らせた男

母語を蘇らせる物語

978-4-7684-5631-6

四六判 224 頁 2000 円＋税

戦前は日本語を、戦後は北京語を強制された台湾人。それを習得出来たのはインテリで、大衆の母語は台湾語である。しかしこれには正書法が定まっていない。そこで台湾人のアロン氏がコンピューターを駆使して台湾語の音声付き辞書の制作に励む。♠

久遠智彦 著

ワーカーズ

「労働」をめぐるアジアの旅

978-4-7684-5680-4

四六判 272 頁 2000 円＋税

人生を豊かにする大切な方法であったはずの「労働」は、いまや過酷な人生ノルマになってしまったのか？アジア6カ国の低開発地域に赴き厳しい肉体労働を実体験した著者が目撃した労働の風景を一切のタブーを排し活写する。♠

米倉史隆 著

子ども兵を知っていますか？

アフリカの小さな町から平和について考える

978-4-7684-5683-5

四六判 240 頁 2000 円＋税

日本人フォトジャーナリストがアフリカで出会った少年兵の真実。子どもを強制徴用し、無理やり戦闘に投入する蛮行がいまも続くアフリカの実態とは？犠牲になる子どもたちの叫びを現地取材で詳らかにする。写真多数。♠♣

紀行

牧野和春 著

奥武蔵 日々の移ろい

独歩『武蔵野』を超えて

4-7684-6604-4 四六判 280 頁 2000 円＋税

近代日本の変貌と軌を一にする武蔵野も、東京の急激な変貌により独歩の『武蔵野』のイメージでは把握できない新しい修羅が展開する。この実相を奥武蔵に暮らす著者が世俗と原郷、都市と自然、新住人と伝統の古層等の対立を通して描く。 ♠

畑中一一 著

私の伊能ウオーク 574 日

ニッポン再発見の旅

4-7684-6798-9 四六判 224 頁 2000 円＋税

ゼネコンの一員として、高度成長経済の先頭集団でひた走ってきた著者が定年を機に、歩いて日本を一周する「伊能ウオーク」の旅に出た。それは、新しい町や新しい友人などに会おう旅であるとともに、ニッポンを再発見する旅であった。 ♠

吉田正孝 著

ひょいと四国のお遍路へ

千二百キロの歩き旅

4-7684-6918-3 四六判 184 頁 1600 円＋税

定年後、ひょいと思いつき、歩き四国お遍路へ。白衣、菅笠、金剛杖のスタイルで、今までの上下会社人間からただ「お遍路さん」で通じ合う新鮮な関係での人との出会い、「お接待」という四国の風土に慣れ、親しんだ快適な巡礼日記。

西川阿羅漢 著

歩く四国遍路千二百キロ

ある定年退職者の 31 日の旅

4-7684-6769-5 四六判 240 頁 2200 円＋税

定年退職後、四国八十八カ所 1200 キロを 31 日間で歩いて回るという驚異的な日々の記録。小柄で病弱な著者が足のマメに悩まされ、道に迷いながらも地元民の温かい接待に励まされ「結願」を果たす感動の読み物。今、歩き遍路はブームである。

西川阿羅漢 著

風と歩いた二年間

私の伊能ウオーク

4-7684-6844-6 四六判 232 頁 2000 円＋税

好著書『歩く四国遍路千二百キロ』の著者西川阿羅漢氏が挑んだ「伊能ウオーク」全国一周、1 万 1 千 30 キロの記録。15 名の本隊員の一人として、参加者の世話をしながら全行程を歩きとおした体験から、歩くことの意味と楽しさを伝える。 ♠

岩瀬政夫 著／宮本成美 構成／栗原 彬 解題

水俣巡礼

青春グラフィティ '70 ～ '72

4-7684-6750-4 四六判 462 頁 2800 円＋税

70 年代、世界中の若者に、まだ微かに抵抗心が残っていた頃、一人の院生が、水俣病の実態を訴えた旅日記。巡礼姿で北海道から水俣へ。その旅で視た自分と日本。あの時代だから見えた日本の姿を、あえて、世紀末の日本人に問うてみた。 ♠

野本三吉 著

海と島の思想

琉球弧 45 島フィールドノート

978-4-7684-6949-1 四六判 608 頁 3800 円＋税

45 の島々はヤマトとは異なる文化を伝える。島は閉鎖空間ではなく人類史の基層、現代人にとって再生の宇宙かもしれない。これらの島々には未来の祖形がある。5 年の歳月を費やした島巡りは島の魅力を再認識させ新しい観光案内にもなる。 ♠

田村光昭 著

魅惑の魔都マカオでバカラ漬け

〔品切れ〕

4-7684-6768-7 四六判 200 頁 2000 円＋税

'99 年 12 月に中国返還となるカジノと娯楽の街・マカオ。この地に '73 年から究極のギャンブル「バカラ」に身を費やした、雀師・田村光昭が十二分に知り尽した魔都マカオの魅力を文と写真で描写。沢木耕太郎氏とのバカラ談義は必読もの。

長田幸康 著

あやしいチベット交遊記

4-7684-6780-6

四六判 208 頁 2000 円＋税

チベットを歩き、人びとと語り寝食を共にした長い旅路の日々をユーモアいっぱい記録した書き下ろし。ごくふつうの現代のアジアの国として偏見なくチベットを描きながらチベット人の苦悩と希望を語る。楽しく読めるチベット入門。

松村美與子 著

パリ・メトロ物語〈増補改訂版〉

4-7684-6783-0

四六判 256 頁 1800 円＋税

2000 年 7 月 19 日パリ・メトロ開通百年。新設の駅も含め全線・全駅の解説。パリの街角にひそむ物語と思いがけないパリの素顔。賑わうメトロが織りなす文化と歴史のタビストリー。地下からみた日仏文化論。パリ好き、地下鉄好きの必読書。♠

小林孝信 著

世界の小さな旅路より

4-7684-6817-9

四六判 216 頁 2000 円＋税

不便で、きつくて、危険い目にあってもなぜ旅はこんなに素敵なのだろう。世界各地の自由旅行で体験した想像を絶するハプニングや、トラブルの中でしか知りえなかった世界の素顔を綴る。旅したぶんだけ豊かになる透徹した旅の心の手記。♠

西村仁美 著

奄美・テゲテゲで行こう！

4-7684-6841-1

四六判 224 頁 1800 円＋税

インド、ネパール、チベットを放浪し、奄美に魅せられ弁当屋等でバイトをしながら島で暮らす。本土とは異なるテンポや人との接し方に戸惑いつつも、島の人のテゲテゲ（いい調子）で行こう！にハマッてしまう。軽いタッチで島歌のブームが見えてくる。

緒方 修 著／漫画・ももコロロ

燦々オキナワ

沖縄暮らし 3000 日

978-4-7684-6975-0

四六判 216 頁 1600 円＋税

東京の放送局を辞し、沖縄に渡り沖縄大学の教員として約 9 年間の生活で、異なる文化に戸惑い、驚きながらも生活を楽しみ、日々の感想、意見を本土からのマレビトとして洞察する。沖縄のももコロロ氏の漫画との二人三脚で今の沖縄が楽しく分かる。

フランク・ヴェスターマン 著／下村由一 訳

アララト山 方舟伝説と僕

978-4-7684-5709-2

四六判 328 頁 2300 円＋税

トルコにあるアララト山は「ノアの方舟」が漂着したという伝説があるが、実は漂着地点は聖書には明記されていない。なぜアララトがその伝説の場となったのか？ ユーモア溢れる知的探索に満ちた娯楽教養紀行本。池澤夏樹氏推薦・読売新聞書評絶賛 ♠

思想・評論

東岡 耐 著

アメリカ神話の解体

[品切れ]

4-7684-5518-2

四六判 632 頁 3200 円＋税

アメリカ合衆国は自由で民主的な歴史をもつ国家であるのか？ 本書はアメリカ大陸の「発見」から現在に至るまでの歴史を被抑圧民である赤人の視点にたち総展開した画期的労作である。読者は本書の一読によって新しいアメリカを発見する。

梅原正紀 著

民衆宗教の世界

[品切れ]

叛科学の旗手たちとそのコミュニケーション

4-7684-5500-X

B 6 判 258 頁 1000 円＋税

全国に散在する無数の新宗教教団、その生成過程は「宗教」そのものの形成過程でもある。そこには現実の政治、あるいは思想運動によって把握されない民衆の素顔があり、日本人の土着の思想の原基を見い出すことができる。

二葉憲香・梅原正紀 編著

天皇制と靖国

[品切れ]

4-7684-5499-2

四六判 276 頁 1500 円＋税

かつて天皇が政治制度の頂点にすえられたのは天皇を神とする宗教的観念から発している。この宗教的幻想性を撃つ営みを抜きにして天皇制は撃てない。本書は靖国問題を媒介として民衆の土着性の中から天皇制を否定しきる契機を見つける。♠

五十嵐良雄 著

転びの時代をいかに生きるか

4-7684-5519-0

四六判 536 頁 2300 円＋税

人間の具体的な生に感動し、日常生活そのものに思想の根源を見い出している一知識人たる筆者が、具体的現実との関わりで、何を問題にし、何に怒り、何を生きがいとしているかという軌跡を通して現状を告発し、思想の根拠を明らかにする。♠

松本健一 著

時代の刻印

[品切れ]

4-7684-5520-4

四六判 288 頁 1500 円＋税

歴史の鏡を透して 70 年代を逆射する。魯迅・丸山真男・柳田国男論をはじめ、連合赤軍からロッキード、新右翼に至る時代の中の精神を一つ一つ検証し、現代という虚空の時代に〈思想〉の文字を刻印する。気鋭の著者初思想・状況論集。♠

松本健一 著

在野の精神

[品切れ]

4-7684-5521-2

四六判 256 頁 1600 円＋税

「秩父困民党」「東洋社会党」を始め、安藤昌益、北村透谷等々、激動する時代に民衆のただ中に生きた人々を通して「在野」の意味をさぐる。それらの、権力を志向しなかったがゆえに「失われた歴史」を、著者は丹念に掘り起こし復権する。♠

長谷川 宏 著

ことばの探索

[品切れ]

4-7684-5556-5

四六判 272 頁 1650 円＋税

本書はまず、近代主義批判の立場から、構造主義、実証主義、行動主義の言語観を批判する。さらに、言語を実用の道具と考える言語観に対するルソーの「言語起源論」等を検討し、最後に、物として言語に関わる詩人のことばを考察する。

佐伯 守 著

人間性の解釈学

[品切れ]

理性・イメージ・狂気

4-7684-5524-7

四六判 240 頁 1800 円＋税

本書は「疎外」を軸として病者に関わるフロムから、ユング、サルトルをへて、狂気が非理性の排除空間に押しこめられる様を歴史的にとらえるフーコーまでを論じつつ、その「人間理解」の仕方そのものをひとつの哲学として提示する。♠

佐伯 守 著			
経験の解釈学	[品切れ]		
物・世界・人間の関係論			本書はヘーゲル、ハイデガー、ボルソーらの〈経験〉概念にまなびつつ、それをさらに現代の〈狂気論〉の基軸と対比することを通して、経験の基礎構造をうきばりにしようとするものである。経験の哲学的展望のための書き下ろし。 ♠
4-7684-5523-9	四六判 288 頁	1800 円＋税	
太田 竜 著			
革命・情報・認識			
よみかきのしかた			地上 35 億の同胞たちが、自己に固有の知的生産、精神的生産の主体となること、この意味で、真実のよみかきのしかたを学ぶこと、従って、すべての同胞がおのれに固有の言語体系をつくることを志した革命的よみかきのしかたの書である。
4-7684-5517-4	四六判 334 頁	1600 円＋税	
太田 竜 著			
いのちの革命			
			虚食に慣れ親しみ蝕まれている身体を、食の変革によって自然の身体によみがえらせようとする思想とその実践記録。人間の身心の退化を救う道、革命的体操学、西洋医学批判、自然科学批判、正食の試み、自然食実践記録、桜沢如一研究。
4-7684-5526-3	四六判 272 頁	1700 円＋税	
太田 竜 著			
性の革命	[品切れ]		
			太田竜の「革命」シリーズ。ライヒの性理論を凌駕する性の革命を目指す。性の革命と国家制度の解体・宗教と科学による性抑圧の意味。女人政治論・女性解放の真の意味を問う・アマテラス女神と白山ヒメの霊的戦争・21 世紀への大長征他。
4-7684-5527-1	四六判 240 頁	1600 円＋税	
柴谷篤弘＋太田 竜 著			
自然観の革命			
			近代資本主義制度の発達のもとで結実した、権力のイデオロギー、すなわち自然を人間の所有権の対象として確保しようとするローマ法の支配する自然観を根底から問い直す。分子生物学者として反科学論を論じる柴谷氏と太田氏の 4 日間の討論。
4-7684-5525-5	四六判 304 頁	2500 円＋税	
福田定良 著			
聖書との対話	[品切れ]		
旧約篇			聖書は日本人のために編まれたものだという、奇妙な信念（信仰）を持った人びとの出会い。その独特の聖書理解を通してみると、敗戦という手痛い体験を忘れて、みにくく肥大し、近代化をとげた日本の歪んだ姿が面白おかしく浮かんでくる。
4-7684-5528-X	四六判 244 頁	1600 円＋税	
グループ草の根 編訳			
民衆の結晶			
韓国民衆運動の底流にあるもの			軍事政権・日韓癒着…の暗い闇の底からきれぎれに伝わってくる民主化への熱い胎動。それを支える思想的営みを明らかにする。未完の民衆時代への予感をひめて語られる文化・社会・歴史状況への発言は、日韓連帯を希む全ての人々に重く響く。
4-7684-5529-8	四六判 288 頁	1800 円＋税	
南坊義道 著			
近代をどう超えるか			
			今、我々は近代のなれの果てとしての現代の危機に直面している。それは非合理主義やローマン主義、新国家主義等の退行的な超克論での解決ではなく、前進的な新たな合理によって超えなければならない。政治、文学、哲学、思想に及ぶ。
4-7684-5530-1	四六判 224 頁	1800 円＋税	
中島 誠 著			
江戸商人の知恵 囊	ち え ぶ くら		
			江戸期の商人は家禄も土地もなく、自分の才覚だけで、場合によっては一国一城の大名も頭が上がるに程の力をもつこともある。その才覚の源泉と彼らの倫理の寄りどころを探る。平成の不況時にこそ生きる儒教だけではない日本独自の思想。
4-7684-6753-9	四六判 240 頁	2200 円＋税	

中島 誠 著

アジア主義の光芒

4-7684-6797-0 四六判 280 頁 2500 円＋税

「アジア主義」という言葉は日本人の心に負の遺産の響きがある。明治以来、大亜細亜主義の美名に隠れて近代化を歩んだ日本人。我々の先輩は何を目指し何を為すために、荒寥たる大地に夢を馳せたのか。アジアとの共存を目指す一冊。 ♠

大橋健二 著

中江藤樹・異形の聖人 [品切れ]

ある陽明学者の苦悩と回生

4-7684-6790-3 四六判 288 頁 2500 円＋税

江戸時代初期に忽然と現れた日本思想界の巨人、中江藤樹。「脱サラ」して故郷に戻った藤樹が、人生の涯つぶちに立たされてもけして手放さなかった思いとは何か。内村鑑三『代表的日本人』で絶賛された藤樹の思想と生涯を感動的に描く。

高澤秀次 著

パースペクティブ

昭和精神の透視図 [品切れ]

大衆の形成からポスト・モダンまで

4-7684-5586-7 四六判 288 頁 2500 円＋税

昭和の初期から太平洋戦争を挟み戦後へと大きく日本の精神構造が変化した中で、小林秀雄、林達夫、保田與重郎、花田清輝、竹内好らの創作活動を通して、彼らを含む知識人達とその時代の状況をどう把握しようとし悪戦苦闘したかを探る。

上野昂志 著

肉体の時代

体験的 '60 年代文化論

4-7684-5573-5 A 5 判 496 頁 3800 円＋税

「黄金の '60 年代」それは肉体の時代でもあった。'60 年代の映画、テレビ、テレビ CM、大衆小説、週刊誌、流行歌、ジャズ、酒場等において新しい形の文化、風俗が百花繚乱の様相を呈したが、そこに通じるものは新たな肉体の表現であった。

竹田青嗣／西 研 著

哲学の味わい方

4-7684-6749-0 四六判 240 頁 2000 円＋税

哲学は理屈ではない。明るく普通に使いこなす“生きていく術”こそが本当の哲学の目的である。ハイデガーやニーチェ論から既成概念との闘い方、世代対立解決法、失業・失恋の苦しみから自分を救出する考え方などを具体的に明示していく。 ♠

立川健二 著

ポストナショナリズムの精神

4-7684-6765-2 四六判 336 頁 2800 円＋税

21 世紀は「言語戦争の時代」なのか？ 民族・宗教と共に世界を動かす原理となりつつある言語問題に、記号論の旗手が迫る。すべての思想、表現、情報が英語に直される中、コミュニケーション手段である言語が排除の凶器となる悲劇を捉える。

立花弘志 著

日本再共同体論

何が現代日本を縛るのか

4-7684-6789-X 四六判 320 頁 2600 円＋税

日本人の「軸」が見えてくる！ 不況の中、経済・社会・雇用体制が大きく変わる現代にあっても日本人がけして手放さない「独特な価値」を具体的に解明し、21 世紀の日本社会の問題点と展望を詳かにする博覧強記の日本経済思想論。

子安宣邦 著

新版 鬼神論

神と祭祀のディスクール

4-7684-7903-0 四六判 224 頁 2000 円＋税

鬼神とは祖霊崇拜の対象である。仁斎、白石、徂徠、闇斎ら江戸時代の儒家知識人が展開した鬼神論という言説の意味を明らかにした思想史研究の名著。新版刊行にあたり現代の鬼神論＝国家神道の原型を解き明かす新稿を加えた。 白澤社刊

小坂井敏晶 著

異邦人のまなざし [品切れ]

在バリ社会心理学者の遊学記

4-7684-6854-3 四六判 208 頁 1800 円＋税

いま話題の『民族という虚構』の著者の自己史的異文化論。早大中退、放浪の後、フランス国立社会科学高等研究院修了をし、現在バリ第八大学心理学部助教授。彼の破天荒な半生を辿りながら異文化で生きる戸惑いと感動、意味を綴る好読物。

大澤正人 著

サクラは何色ですか？

[品切れ]

西田幾多郎の思想

4-7684-6895-0 四六判 224 頁 2500 円＋税

日本が生んだ世界的哲学者・西田幾多郎の「絶対無」の思想をサクラの花を見ることを通して解説。古今東西の哲人を援用しながら、西田哲学の「解釈」ではなく、西田の生きた思想を伝えようとした。西田の「身体論」も初めて解説した。 ♠

栗本慎一郎 著

パンツを脱いだサル

ヒトは、どうして生きていくのか

4-7684-6898-5 四六判 272 頁 2000 円＋税

歴史と生命の全体像が見える書。「パンツをはいたサル」の完結編として書かれた。ヒト・宗教・貨幣・国家の誕生と進化の過程を解明。常識を覆す経済人類学の最新成果。ヒトは何処から来て何処へ向かうのか。経済・政治の真底がわかる。 ♠

栗本慎一郎 著

【増補版】パンツをはいたサル

人間は、どういう生物か

978-4-7684-5805-1 四六判 240 頁 2000 円＋税

経済人類学者・栗本の名論に手を加えて再刊。ヒトの社会に充満する混乱を解きほぐすためにあらゆる学問界の障壁を取り払い「過剰」「蕩尽」「パンツ」というキーワードで快刀乱麻を断った本書は21世紀になってもますます威力を発揮する。 ♣

子安宣邦 著

日本ナショナリズムの解読

978-4-7684-7920-9 四六判 240 頁 2400 円＋税

本居宣長、水戸学、福沢諭吉、和辻哲郎、田辺元…、20 世紀における帝国日本を導き、支え、造り上げてきた日本ナショナリズムの言説を徹底的に読み解く。日本思想史学に新風を吹き込んだきた子安思想史の集大成。 白澤社刊

子安宣邦 著

歎異抄の近代

978-4-7684-7955-1 四六判 336 頁 3400 円＋税

清沢満之から梶島敏、倉田百三、丹羽文雄、鈴木大拙、三木清、野間宏、吉本隆明、滝沢克己はどのように『歎異抄』を読んできたか。近代日本知識人における、『歎異抄』による「信」の思想体験を読み直し辿り直す。 白澤社刊 ♠

子安宣邦 編著／三木 清 著

三木清遺稿「親鸞」

死と伝統について

978-4-7684-7967-4 四六判 152 頁 1600 円＋税

哲学者・三木清は親鸞の思想をどのように読もうとしたのか。終戦直後に、解放されることなく無念の獄死をとげた三木の疎開先に残されていた未完の遺稿を復刻。日本思想史家による解説と、解説にあたり参照したテキストも併載。 白澤社刊

G. W. ヴェルナー 著／渡辺一男 訳／小沢修司 解題

ベーシック・インカム

基本所得のある社会へ

978-4-7684-6963-7 四六判 224 頁 2000 円＋税

全ての人に所得保障を！ 見せかけの成長論の下、企業だけが儲かるワーキングプア社会・格差社会を根本から改革する最も新鮮な経済社会理論ベーシック・インカムの要旨を詳解。生活保障社会を提案。小沢修司（京都府立大教授）解説付き。

G. W. ヴェルナー 著／渡辺一男 訳

すべての人にベーシック・インカムを

基本的人権としての所得保障について

978-4-7684-6997-2 四六判 256 頁 2000 円＋税

無責任なバラマキか？ 究極の生活保障か？ いま話題の給付金方式の元アイデアである基本所得保障制度、ベーシック・インカムの内容と意義を簡潔にまとめた一冊。前著『ベーシック・インカム』をさらに理論的に補完した。 ♠

林 少陽 (Lin Shaoyang) 著

「修辞」という思想

章炳麟と漢字圏の言語論的批評理論

978-4-7684-7927-8 四六判 384 頁 4600 円＋税

近代中国の思想家・章炳麟の言語論に光を当て、東アジア漢字圏特有の批評理論のキー概念となる「文」と「修辞」の脱構築的機能を再生。文学と政治、言語と倫理の関係を考察し、近代的な言文一致イデオロギーの排他性を批判する。 白澤社刊

高橋哲哉 著

反・哲学入門

4-7684-7910-3

四六判 232 頁 1700 円＋税

哲学者とは何をする人か、日本人とは誰のことか、学校とはどういう場所か、赦されない悪はあるか、正義の戦争はあるか、戦争をしない国家は可能か、など、現代哲学の俊英が日本と世界の諸問題について率直に語る。 白澤社刊

網谷杜介 著

カントの政治哲学入門

政治における理念とは何か

978-4-7684-7969-8

四六判 208 頁 2000 円＋税

政治における自由の理念の重要性を語り続けたカント政治哲学の意義を、平明かつ最新の研究成果にもとづいて説いた斬新な入門書。『法論』を軸にしてその全体像を描き、カントの政治哲学のエッセンスを伝える好著。 白澤社刊

プラトン 著／岸見一郎 訳

ティマイオス／クリティアス

978-4-7684-7959-9

四六判 224 頁 2200 円＋税

宇宙創造を物語るプラトンの『ティマイオス』は、西洋思想に今もなお甚大な影響を与え続けている。その続編の『クリティアス』はアトランティス伝説で有名な未完の書。古代ギリシアの叡智が語る壮大な自然哲学、久々の新邦訳。 白澤社刊

岸見一郎 著

三木清『人生論ノート』を読む

978-4-7684-7962-9

四六判 224 頁 1800 円＋税

死、幸福、虚栄、名誉、怒り、嫉妬…。生きている限りまぬがれ得ないこうした感情を、哲学者・三木清はどう捉えたのか。長年読み継がれた珠玉の人生論を、ベストセラー『嫌われる勇気』の著者・岸見一郎が読み解く。 白澤社刊

岸見一郎 著

希望について

続・三木清『人生論ノート』を読む

978-4-7684-7965-0

四六判 176 頁 1700 円＋税

危機の時代を生きた卓抜な哲学者が綴った『人生論ノート』から、懷疑、習慣、利己主義、健康、秩序、仮説、偽善、娯楽といったテーマについて、希望をキーワードに深く味わう。『三木清『人生論ノート』を読む』の待望の続編。 白澤社刊

梅垣千尋 著

女性の権利を擁護する

メアリ・ウルストンクラフトの挑戦

978-4-7684-7942-1

四六判 224 頁 2200 円＋税

フランス革命の衝撃がひろがる英国で、保守陣営と論争する女性論客として一躍有名になったウルストンクラフトは1792年、『女性の権利の擁護』を発表した。このフェミニズムの古典中の古典を若手思想史研究者が丹念に読み解く。 白澤社刊

太田昌国 著

テレビに映らない世界を知る方法

978-4-7684-5694-1

四六判 304 頁 2300 円＋税

反アメリカ・半植民地・反国家・反グローバリズムの視点から独自の発言を重ねる太田昌国氏の論集。歴史に耐えられる行動の基準を何にするかの一つの見本がここにある。歴史の歯車が大きく逆進している今、読みたい書。 ♠

太田昌国 著

【増補決定版】「拉致」異論

978-4-7684-5841-9

四六判 248 頁 1800 円＋税

米朝接近の中で、日本だけが取り残されている朝鮮問題。「拉致問題は内閣の最重要課題」と言い続け、制裁を加える安倍内閣の元で、問題は1ミリも進展していない。何故なのか。その解決の鍵が本書にある。日朝間、真の和解のために。

太田昌国 著

さらば！ 検索サイト

太田昌国のぐっと世界案内

978-4-7684-5851-8

四六判 256 頁 2000 円＋税

天皇制や死刑廃止、拉致、アイヌ民族、キューバやロシアなど各国で起きた革命…。マスメディアが深追いしない、日本および世界のキーワードを独自の視点から詳解。検索サイトやワイドショーの煽動に踊らされないためのヒントが、ここに。

真鍋 厚 著

テロリスト・ワールド

978-4-7684-5782-5 四六判 344 頁 2300 円＋税

ネルソン・マンデラもガンジーも、ダライ・ラマもナチへの抵抗者たちも〈テロリスト〉と言われていた。評論・映画・小説・マンガを網羅しながらテロリスト像を考察し、一律に解釈できない多様な正義を読み解く〈暴力のリテラシー論〉。 ♠

笈 次郎 著

死を超えるということ

“もう一つのこの世”に気づくために

978-4-7684-5756-6 四六判 256 頁 2300 円＋税

我欲のなかでも、最も根源にあるのは「死にたくない」という欲である。現代社会は豊かな故に我欲が増大して「死」に対する怖れが肥大している。本書は「死」についての新たな考え方を示し、心を穏やかに超高齢社会を生きる必読書。

三上 治 著

吉本隆明と中上健次

978-4-7684-5746-7 四六判 244 頁 2200 円＋税

吉本の間近で深い交流があったからこそ描けた、吉本・中上思想の真髄。ヨーロッパ近代思想も色褪せ、その根底も見えない今、思想の可能性を追究し、最後まで格闘を続け、思想にこだわった二人の巨人が、混迷の中での生き方を示す。

言語・語学・外国語

黒田龍之助 著 〈木村彰一賞受賞〉

羊皮紙に眠る文字たち

スラヴ言語文化入門

4-7684-6743-1 四六判 240 頁 2300 円＋税

ロシア語などでおなじみの謎めいた変な文字、キリル文字。このキリル文字の歴史を、NHK ラジオ「まいにちロシア語」の元講師、黒田龍之助氏が解明する。著者の体験を交えた、明るく易しい文を追う中から東欧文化圏成立の壮大な史実が分かる。 ♠

黒田龍之助 著

外国語の水曜日

学習法としての言語学入門

4-7684-6784-9 四六判 296 頁 2400 円＋税

NHK ラジオ「まいにちロシア語」の元講師の本。英語ばかりでなく、さまざまな外国語学習体験記を楽しく平易に解説する。涙ぐましい努力の数々と爆笑の学習談を読むうちに外国語を学ぶ勇気を身につけられる本。知的で愉快なロングセラー。

黒田龍之助 著

その他の外国語

役に立たない語学のはなし

4-7684-6892-6 四六判 264 頁 2000 円＋税

ロシア語と英語を大学やテレビで教えてきた言語学者の初の書き下ろしエッセイ。「その他」に分類されてしまうマイナーな言語を研究している中で起こる“悲喜劇”を軽快に綴り、「目立たない外国語」を学ぶ愉しみを縦横に語る。 ♠

黒田龍之助 著

ロシア語の余白

978-4-7684-5647-7 四六判 320 頁 2200 円＋税

NHK テレビ・ラジオ元講師の書き下ろし。明るく爽やかな筆致でロシア語の魅力と学習の楽しさを伝える、魅力溢れるロシア語を知るための最上の1冊。ロシア語学習のコツと、学習への勇気を与える。ロシア語を学ぶすべての人に贈る。

黒田龍之助 著

チェコ語の隙間

東欧のいろんなことばの話

978-4-7684-5754-2 四六判 336 頁 2200 円＋税

ロシア語、英語と数多くの外国語を教えてきた著者によるまったく新しいスラヴ語案内。チェコ、ポーランド、スロヴァキア、スロヴェニア、クロアチア、セルビア、ブルガリア、そしてマケドニア語、ソルブ語等、軽快に綴る知的語学エッセイ。 ♠♣

黒田龍之助 著

ロシア語だけの青春

ミールに通った日々

978-4-7684-5828-0 四六判 192 頁 1500 円＋税

外国語を学ぶ楽しさを語らせたら右に出る者はいない黒田龍之助先生の最新エッセイ。ロシア語学習にいそむ変な高校生が人気語学教師になるまでの厳しくも楽しい「ミール・ロシア語研究所」での修行の日々を軽妙に綴る。外国語学習者必読！

相原 茂 著

雨がホワホワ

中国語のある風景

4-7684-6812-8 四六判 288 頁 2000 円＋税

中国語学習者のための語学エッセイ集。「雨がホワホワ」って何のことだ。氷砂糖と聞くと落ち着かなくなるのはなぜだ。中国語を知ると見えてくるもう一つの風景をNHK テレビ「中国語会話」元講師、相原茂氏がユーモアいっぱい描く。

相原 茂 著

北京のスターバックスで怒られた話

中国語学エッセイ集

4-7684-6881-0 四六判 208 頁 1800 円＋税

NHK テレビ「中国語会話」の元講師の相原茂が描く中国語の楽しい学び方。とかく難しく思われがちな中国語をテレビやラジオの名授業で一変させた中国語の第一人者が、読者のリクエストに応え出版を決意した待望の本。中国語文例多数掲載。 ♠

相原 茂 著 ちくわを食う女 中国語学者の日中異文化ノート 978-4-7684-6989-7 四六判 320 頁 2200 円＋税	中国語教育界の第一人者、相原茂氏（NHK テレビ『中国語会話』元講師）の語学エッセイ集。中国語学習の過程でおこるさまざまな愉快的な体験・交流をもとに、中国語を学ぶ人・中国に興味を持つ人に新しい中国言語事情を伝える。 ♠
相原 茂 著 ひねもすのたり中国語 日中異文化 ことばコラム 978-4-7684-5627-9 四六判 224 頁 1800 円＋税	中国語をめぐる楽しいエッセイ集。現代中国のさまざまな風俗や、新しいトレンドなど中国語学習者ばかりでなく、誰もが楽しめる。今、各所で展開する日中恋愛バトルにまでテーマが及ぶ。中国語例文も豊富に紹介した、語学うんちく話。 ♠
相原 茂 著 ふりむけば中国語 978-4-7684-5651-4 四六判 224 頁 1800 円＋税	中国語・中国事情エッセイ執筆で幅広い人気を博する相原茂氏の語学エッセイ集。軽妙洒脱な楽しい大人気の語学エッセイシリーズの第5作目では、激変を続ける隣国の意外な素顔を中国語例文と愉快的イラストとともに紹介する。 ♠
相原 茂 著 マカオの回遊魚 痛快！日中ことばコラム 978-4-7684-5676-7 四六判 248 頁 1800 円＋税	中国語教育界をリードしてきた著者による中国語と中国についての最新エッセイ。国全体が未来に向け疾走している現在の中国とさまざまな異文化交流も深まっている。中国人のホンネを中国語の例文とともに愉快に解説する。 ♠
相原 茂 著 中国語 未知との遭遇 978-4-7684-5725-2 四六判 280 頁 2000 円＋税	長年、中国人とホンネの付き合いをしてきた言語学者が、マスコミでは報道されない知られざる中国人の思考や感情の機微を中国語とともに詳解。他の中国語教材では見られない「使える中国語」の例文を満載。中国語例文ピンイン付。 ♠♣
相原 茂 著 読む中国語文法 978-4-7684-5742-9 四六判 256 頁 2000 円＋税	講談社現代新書のロングセラー『謎解き中国語文法』をリニューアル！ 復刊を望む多くの声にお応えして、全面増補改訂を経て、装いも新たに単行本として再生！ 現代中国語にアップデートした内容で、文法を詳細に解説する。 ♣
相原 茂 著 中国人は言葉で遊ぶ 978-4-7684-5787-0 四六判 208 頁 1800 円＋税	中国語教育の第一人者が明るく軽妙に解説した中国語表現集&エッセイ集。自虐ネタも政府批判も意外に大ウケしている中国事情など、現代中国の思わぬユーモアセンスを中国語文例とともに楽しく詳解する。著者のイラスト作品も冴える。
相原 茂 編著 日中は異文化だから面白い 言語と文化のプロたちが綴るエッセイ集 978-4-7684-5795-5 四六判 224 頁 1800 円＋税	日本人と中国人の総勢 17 名の中国語教師が見聞したそれぞれの異文化体験を軽妙に描いたエッセイ集。お互いの違いが新しい気づきと楽しい発見をもたらす。双方の視点から日本と中国の意外な長所を綴る。実践的で楽しい中国語も併記。 ♣
相原 茂 著 中国語ひらめき塾 978-4-7684-5832-7 四六判変 232 頁 2000 円＋税	NHKテレビ・ラジオで長年、中国語講座の講師を務めた中国語教育の第一人者による中級者向け文法解説書。解説文はすべて短いコラムにまとめ、文法の要点を最速で理解できるように工夫。例文にはピンイン（発音記号）付き。

福嶋教隆 著

スペイン語の贈り物

4-7684-6882-9 四六判 296 頁 2200 円＋税

NHK テレビの「スペイン語会話」の講師を務めた神戸市外国語大教授・福嶋氏が描くスペイン語への招待。まったく学習経験のない人から中級者まで、スペイン語の学び方を楽しく解き明かし、スペイン語の魅力を詳述する本。文例多数掲載。

後藤雄介 著

語学の西北

スペイン語の窓から眺めた南米・日本文化模様

978-4-7684-6993-4 四六判 296 頁 2200 円＋税

スペインに行ったことがないスペイン語教師・早稲田大学教授である著者はいかにスペイン語と出逢い、南米に旅立ったのか。明るく愉快的な南米留学記から日本国内においても異文化を見つめる意義までを縦横無尽にユーモラスに描く。♠

中嶋茂雄 著

少数言語の視点から

カタルーニャ語を軸に

978-4-7684-6978-1 四六判 224 頁 2300 円＋税

少数者の視点に立つときにはじめて見えてくる文化の諸相を、言語学はどのように記述してきたのか。スペイン国内にある少数言語カタルーニャ語の歴史を詳細に見つめ、その中に見えてくる言語文化の柔軟な可能性とその課題を分析する。♠

市之瀬 敦 著

海に見える言葉 ポルトガル語の世界

4-7684-6887-X 四六判 280 頁 2300 円＋税

世界を旅することは、ポルトガル語を旅することだ。欧州・南米・アフリカ・アジアそして日本で話されるさまざまなポルトガル語の響きから今日の世界を読み解く。上智大学教授の著者が、世界中のポルトガル語圏を旅した経験から生まれた一冊。♠

市之瀬 敦 著

出会いが生む言葉 クレオール語に恋して

978-4-7684-5638-5 四六判 280 頁 2300 円＋税

上智大学外国語学部教授が書き下ろしたクレオール語への誘い。クレオール語とは何か？ どんな経緯でどんな人たちによって創られた言語なのか？ 文法・用法・歴史社会的背景等の視点からクレオール語の全貌を明らかにする。♠

浜岡 究 著

ポルトガル語の色彩

978-4-7684-6967-5 四六判 264 頁 2300 円＋税

ヨーロッパ、南米から日本まで広がるポルトガル語圏の多様性を具体的な文例で紹介。語学力も身につけられる語学教養エッセイ集。ポルトガルとブラジルのポルトガル語の違いから旅行案内・旅行会話例、メール文例等を網羅した語学案内。♠

スーザン 小山 著

電話通訳

息づかいから感じる日米文化比較

4-7684-6792-X 四六判 208 頁 1800 円＋税

在米 20 年の著者が在宅電話通訳で体験した日本人の言動の数々。アメリカ文化と日本文化の違いが顔の見えない電話口だからこそ分かる言葉の真実。生死に関わる事柄から、日常のチョットしたトラブルまで数多くの実例で語る日米文化比較。♠

里中哲彦 著

英会話どうする？

[品切れ]

4-7684-6860-8 四六判 296 頁 1800 円＋税

河合塾のカリスマ講師が書き下ろした英語学習論。「英語難民」のための自己チェック法、最も効果的な学習法、忙しい人・お金のない人のための勉強法、L と R の発音の違いが分かる方法等。高校生から社会人まで英語学習者必読の学習案内。♠

渡辺克義 著

ポーランド語の風景

日本語の窓を通して見えるもの

4-7684-6916-7 四六判 264 頁 2300 円＋税

中・東欧の静かなる大国ポーランドの言語文化を詳しく解説する。日本には馴染みの少ない、しかしとても面白いポーランド語の世界を紹介するとともに、厳しい歴史から見事に立ち直ったポーランドの現状も併せレポートする。♠

B. C. ドナルドソン 著／石川光庸・河崎 靖 訳
オランダ語誌 [品切れ]
小さな国の大きな言語への旅
4-7684-6766-0 A 5判 228 頁 2800 円＋税

日本人にとって江戸時代の「蘭学」の頃より大言語であったこの言語の歴史を、社会、民族、国家の関係の中から浮き彫りにする。イギリス、ドイツのはざまに忘れられた、もう一つの国際語を、平易な事例で明らかにしていくオランダ語入門。

石川光庸 著
ドイツ語〈語史・語誌〉閑話
978-4-7684-5679-8 四六判 240 頁 2300 円＋税

京都大学元教授のドイツ語学者が、一味も二味も違う軽妙洒落な文章で描くドイツ語語源学の愉しみ。ドイツ人との会話で、ふいに聞く語源学への扉が思わぬ知的冒険に繋がっている！ 欧州の歴史と文化に出会える、読んで楽しい語学教養書。

河崎 靖 著
ゲルマン語学への招待
ヨーロッパ言語文化史入門
4-7684-6906-X 四六判 224 頁 2300 円＋税

英語・独語・蘭語グループのおおもとゲルマン語の全貌と歴史が分かる本。ギリシア、ラテンなど古典語として強い文化的求心力を持つ言語に対し、ゲルマン語が担ってきた多様な文化と歴史を多くの文献、会話例などで詳解する。 ♠

河崎 靖 著
ドイツ語学への誘い
ドイツ語の時間的・空間的拡がり
978-4-7684-6951-4 四六判 208 頁 2300 円＋税

欧州地域内で最も話者が多い言語は実は英語ではなくドイツ語である。EU 内で重要な役割を果たすこの言語の歴史・文化・特徴を一般向けに書き下ろした。ドイツ語とルターの宗教改革の関係を軸として宗教と言語の関係も解説する。 ♠

河崎 靖 著
ドイツ方言学
ことばの日常に迫る
978-4-7684-6980-4 四六判 216 頁 2300 円＋税

「方言礼賛」を超えて、展開されるドイツ方言学入門の真髄。言語学から見た方言とは何か、外国語の方言を学ぶ意義とは何か等の疑問に答えながら、かけがえのない母語としての方言の歴史・特徴・文化的可能性をドイツ方言を通じ考える。

河崎 靖 著
ドイツ語で読む『聖書』
ルター、ボンヘッファー等のドイツ語に学ぶ
978-4-7684-5656-9 四六判 248 頁 2400 円＋税

京都大学教授による書き下ろし。ルターの宗教改革等、キリスト教の歴史の中でも特異な役割を果たしてきたドイツ語訳聖書の深い世界を文法・語彙・表現を豊富に例示。ラテン語・ギリシア語等古典語も併記しながら解説する。

河崎 靖 著
ボンヘッファーを読む
ドイツ語原典でたどる、ナチスに抵抗した神学者の軌跡
978-4-7684-5776-4 四六判 192 頁 2700 円＋税

ナチス独裁の戦争時代、ヒトラー暗殺計画に参加した者の中に一人の牧師・神学者がいた。この意外な「暗殺者」はどんな思いで戒律を破り、暗殺を決意したのか？ その思想の全容を京大教授の解説付きのドイツ語テキストから明らかにする。 ♣

西本美彦・河崎靖 著
ドイツ語学を学ぶ人のための言語学講義
978-4-7684-5708-5 四六判 328 頁 3200 円＋税

英語とともに西ゲルマン語というグループに属するドイツ語。その歴史、構造の理解を通じて、言語そのものの理解を深められる本。京大名誉教授と京大教授の共著によって、研究の歴史から最新の成果までを分かり易く解説。 ♣

河崎 靖 著
アフリカーンス語への招待 (CD 付)
その文法、語彙、発音について
978-4-7684-5630-9 四六判 216 頁 3000 円＋税

南アフリカ共和国を中心として話されるアフリカーンス語は、稀有な歴史を持つ。欧州を源泉とし独自の発展を遂げた。京大教授の著者が発音と文法、語彙について解説。ネイティブ吹き込みによるオリジナル CD 付。 ♠

マサミ・コバヤシ・ウィーズナー 著

リングイストを知っていますか？

言語・経験・おもてなしの世界で働く

978-4-7684-5810-5 四六判 240 頁 1800 円＋税

「リングイスト」とは何か？ 通訳者、翻訳者、医療系通訳として活躍する著者が、多岐にわたる業務内容、苦労話、醍醐味などを語る軽快エッセイ。TOEIC、英検だけじゃない！ 言語を活かす職業に必要なモノが、ここに 있습니다。

中村桃子 著

翻訳がつくる日本語

ヒロインは「女ことば」を話し続ける

978-4-7684-7951-3 四六判 208 頁 2000 円＋税

女らしい「女ことば」を話し続けているのは、日本人女性ではなく洋画のヒロインたちだった!? 白人男性たちのキザな言葉づかい、名作の黒人たちの方言など、翻訳ことばが気になってしかたがなくなる新しい視点の日本語論。 白澤社刊

宗教

遠藤 誠 著

道元「禅」とは何か 第一巻

「正法眼蔵随聞記」入門

4-7684-9940-6 四六判 318 頁 2800 円＋税

人類最高の精神的遺産の一つといえる鎌倉新仏教の真髓を、カビのはえた「聖典」としておくのは宝の持ち腐れだ。社会矛盾のただ中で活動する著者が、自己の体験に即して道元を自分の目で読み、現代に生きる人々の指針としようとする。 ♠♣

遠藤 誠 著

道元「禅」とは何か 第二巻

「正法眼蔵随聞記」入門

4-7684-5593-X 四六判 304 頁 2800 円＋税

帝銀・永山則夫・反戦自衛官事件や様々な民事裁判を通し、人の世の裏も表も、善の内なる悪・悪の内なる善をも毎日見据えている異才弁護士が、自らの体験をふまえ、自分の言葉で語る道元。混沌たる現世に悩み、迷った時、読んで欲しい。

遠藤 誠 著

道元「禅」とは何か 第三巻

「正法眼蔵随聞記」入門

4-7684-6754-7 四六判 304 頁 2800 円＋税

道元の言葉を記録した『正法眼蔵随聞記』を平成の世の泥沼に生きる人々に救いの手を差し伸べている奇才弁護士が、日常の体験を基に、誰にも分かるように解説している。本書は原文（面山本）第3巻第1～第4巻第7まで。

遠藤 誠 著

道元「禅」とは何か 第四巻

「正法眼蔵随聞記」入門

4-7684-6785-7 四六判 312 頁 2800 円＋税

戦後の生産第一主義・利益第一主義・消費第一主義・物質万能主義と拝金主義による個人の尊厳と人間性の損失、こうした諸処の病弊からの特効薬が今から760年以上前に生まれていた。それが『正法眼蔵随聞記』である。（4・9～5・8まで）

遠藤 誠 著

道元「禅」とは何か 第五巻

「正法眼蔵随聞記」入門

4-7684-6810-1 四六判 288 頁 2800 円＋税

人間関係が混沌し、拝金主義が跋扈し、ストレスがたまる今の世の中、心安らかに生活できる道元の智慧を現代に甦らせる。奇才弁護士が正法眼蔵随聞記の現代語訳を始めて15年、現在売られているのはこのシリーズのみ。（面山本5.9～5.23）。

遠藤 誠＋紀野一義 著

道元「禅」とは何か 第六巻(完結編)

「正法眼蔵随聞記」入門

4-7684-6842-X 四六判 288 頁 2800 円＋税

「正法眼蔵随聞記」巻第6・1～17（最終章）までの解説。これで全巻解説完了。道元の思想を伝えた「随聞記」の全巻全文解説は現在本書のみである。道元の言葉をこれほど日常に近づけて解説した本は類をみない。奇才弁護士の執念がついに実った。

遠藤 誠 著

絶望と歓喜（上・下）

〔上巻品切れ〕

歎異抄入門

4-7684-5541-7, 5542-5 四六判 244 頁 各 2200 円＋税

寺院が葬儀屋同然となり、仏教古典が職業的仏教学のメシの種と化している今日、弁護士という、一見仏教と縁がなさそうで、実は火宅の世界のただなかを生きる職業の人のほうが、はるかに親鸞の真意に近づけるのかもしれない。（家永三郎）♠

遠藤 誠 著

観音經の現代的入門

「妙法蓮華經観世音菩薩普門品第二十五」

4-7684-6661-3 四六判 376 頁 2800 円＋税

「妙法蓮華經観世音菩薩普門品第二十五」の俗称である観音經を、異才弁護士が、原文（真読）・読み下しを入れ、筆者ならではの解釈で綴る。自らの生活と、関わった事件を交えながらの独特の語りは、知らず知らずに読者を覚りの心に導く。

遠藤 誠 著 今のお寺に仏教はない 既成仏教教団の宗派別問題点 4-7684-6660-5 四六判 240 頁 2000 円＋税	葬式・法事・観光仏教に堕した既成仏教教団。釈迦の教えの原点に還るべきと言われて久しい。本書は、その実践編ともいべき書で、日本にある 17 仏教会派、教団の教義を徹底的に分析し、その思想と実態の矛盾点を鋭く弾劾した名著の新装版。
遠藤 誠 著 弁護士と仏教と革命 4-7684-6669-9 四六判 304 頁 2000 円＋税	人間を救うのは仏法か六法か。オウム問題も含め怪物弁護士が分かりやすく説く。法律の世界を越えた永遠の世界、すなわち宗教、特に仏教の世界。また、パンなしでは生きられない社会の問題、すなわち革命の問題。実体験から核心に迫る。
山折哲雄 著 宗教の行方 4-7684-6667-2 四六判 232 頁 2000 円＋税	戦後 50 年、経済成長による物質的欲望を謳歌し続けた日本人は精神的支柱を失い、オウム事件を前に何ら思索するすべもない。本書は 21 世紀に向けて、益々関心が高まるであろう宗教の可能性を、日本人論をからめながら縦横無尽に論究する。♠
山折哲雄対話集 いのちの旅 4-7684-6720-2 四六判 292 頁 2500 円＋税	終末論的状况の今、人はいかにいのちを全うするのか。ユニークな宗教学者、山折哲雄が命について永六輔、アルフォンス・デーケン、加藤尚武、立花隆、吉本隆明、藤井貞和、今谷明、谷川健一、内藤正敏、山本七平、岩田慶治氏と語り合う。
山折哲雄対話集 こころの旅 4-7684-6721-0 四六判 368 頁 2800 円＋税	混沌とした時代状況の中で、宗教学者、山折哲雄が白洲正子、アレックス・カー、佐々木幸綱、河合隼雄、松原泰道、杉山二郎、大澤真幸、谷沢永一、山下悦子、森岡正博、芹沢俊介との対話を通して、人の生き方、心の有様を様々に問う。
山折哲雄対話集 いのりの旅 4-7684-6748-2 四六判 312 頁 2600 円＋税	『いのちの旅』『こころの旅』に続く対話集第三弾。森敦、梅原猛、上山春平、加藤周一、大野晋等の宗教についての対話を中心にまとめる。話題は、宗教専門の話でなく、日本人について、日本の文化について等、自由自在に進めている。♠
高橋卓志 著 死にぎわのわがまま [品切れ] 4-7684-6680-X 四六判 232 頁 1700 円＋税	死にぎわは人生の総決算なのだから、心地よく逝きたいという「わがまま」がもっと許されてもいい。「命の長さ」より「命の質」を重視したい。地域福祉やチェルノブイリ支援に関わる和尚の誰にでもできる医と葬の選択の数々の説法。♠
赤間 剛 著 死の秘密 4-7684-6782-2 四六判 208 頁 2000 円＋税	人間にとって「死」はどのように考えられてきたのか。仏教・キリスト教・現代哲学・唯物論における死生観を踏まえながら「死」を考察し、死にまつわるさまざまなイメージを論述。自死が増加している現代。死を通して人間の生を考え直す書。♠
藤川チンナワンソ清弘 著 タイでオモロイ坊主になってもうた 4-7684-6853-5 四六判 240 頁 1800 円＋税	京都生まれの悪ガキで、ヤクザ予備軍から不動産業。バブルで浮かれた絶頂期。突然タイで出家、人生を考え直した。十年以上タイで布施だけの比丘生活。そんな彼にしか見えない身につまされる日本への想いと、この人だから語れる人生。

藤川チンナワンソ清弘 著

オモロイ坊主のアジア托鉢行

4-7684-6883-7 四六判 216 頁 1800 円＋税

中垣顕實 著

ニューヨーク坊主、インドを歩く

4-7684-6879-9 四六判 200 頁 1800 円＋税

中垣顕實 著

マンハッタン坊主 つれづれ日記

978-4-7684-5639-2 四六判 272 頁 2000 円＋税

中垣顕實 著

卍(まんじ)とハーケンクロイツ

卍に隠された十字架と聖徳の光

978-4-7684-5706-1 四六判 240 頁 2300 円＋税

菱木政晴 著

市民的自由の危機と宗教

改憲・靖国神社・政教分離

978-4-7684-7919-3 四六判 168 頁 1600 円＋税

菱木政晴 著

ただ念仏して

親鸞・法然からの励まし

978-4-7684-7926-1 四六判 128 頁 2000 円＋税

菱木政晴 著

極楽の人数

高木顕明『余が社会主義』を読む

978-4-7684-7944-5 四六判 176 頁 1800 円＋税

高橋哲哉・菱木政晴・森 一弘 著

殉教と殉国と信仰と

死者をたたえるのは誰のためか

978-4-7684-7934-6 四六判 176 頁 1600 円＋税

実松克義 著

アンデス・シャーマンとの対話

宗教人類学者が見たアンデスの宇宙観

4-7684-6894-2 四六判 272 頁 2300 円＋税

『タイでオモロイ坊主になってもうた』の藤川坊主さんが、インド・バングラデシュ・ベトナム・カンボジア・ミャンマー・韓国・オーストラリアを托鉢。それぞれのお国柄の出る仏教談義と抱腹絶倒の旅日記。これらの諸国の民は救われたのか？

浄土真宗本願寺派からアメリカに派遣されて 20 年、現在ニューヨーク仏教連盟会長・ニューヨーク本願寺の住職であり、ホワイトハウスに招かれ大統領に会見もした筆者が、釈迦生誕の地で感じた現代仏教の心。9.11 以来仏教徒としての精神的援助、平和運動も語る。♠

平和祈念と追悼のメッセージをのせた灯籠が、ハドソン川に浮かぶ。9・11 の初盆をきっかけに、NY に新しい平和の風物詩を実現させたマンハッタン坊主の一年記。楽しい暮らしと感動エピソードを交え、仏教の魅力を逆輸入する珠玉の 1 冊！ ♠

卍(まんじ)とハーケンクロイツは同じなのか、どう違うのか。欧米ではナチスと結びつけられて悪印象の卍だが、古代から幸せの聖徳として崇められていたのである。世界中の卍の分布や卍を見る側の感情を調べ、その復権を試みた。 ♠

宗教と国家の関わりが、改憲の流れのなかで大きく転換されようとしている。私たちの持つ宗教への「漠然とした尊重」が結びつく靖国的なものの解体を論じ、政教分離が市民的自由にとっていかに重要であるかを訴える。 白澤社刊

「ただ念仏して」(歎異抄)とはどういうことか。浄土とは、往生するとはどういうことか。法然を師とする親鸞によって完成された浄土仏教の系譜をたどり、その精髓を示す章句を平易な現代語訳で紹介し、専修念仏の方法をあきらかにする。 白澤社刊

大逆事件に連座し死刑判決を受けた真宗僧侶・高木顕明の残した『余が社会主義』。この文書を親鸞『教行信証』と対比させながら読み解き、非戦と平等な社会への実践を訴える主張のラディカルさを明らかにする。 白澤社刊

死者をたたえるのは誰のためなのか？ 平和や平等を説く宗教が命の価値に序列を付け、戦争へと人々を駆り立てた歴史を踏まえ、殉教と殉国について哲学者、仏教者、キリスト者が立場を超えて語り合う。 白澤社刊

シャーマニズムはなぜ人びとを魅了してやまないのか？ 古代文明の精神的遺産を現代に引き継ぎ、いまも人びとを癒し続ける思想と文化の淵源を訪ね、立教大学教授の宗教人類学者が南米を歩く。現地での長年の研究が結実した渾身の力作。 ♠

小村明子 著

日本とイスラームが会おうとき

その歴史と可能性

978-4-7684-5757-3

四六判 320 頁 2600 円＋税

近年、イスラームに改宗する日本人が増えつつある。日本人はなぜ、何を求めて改宗するのか？どんな悩みや問題に直面しているのか？日本国内で生活する日本人ムスリムについての初の本格的研究。
読売・日経書評絶賛。♠♣

大河原礼三 著

聖書の平和思想を現代にどう生かすか

978-4-7684-5625-5

四六判 256 頁 2500 円＋税

旧約聖書に「シャローーム」という言葉がある。「平和」の概念だが、日本語の「平和」とは意味合いが違う。「正義の実現に向けての積極的行動」をも含む言葉である。この行動をどのように解釈し、現代の平和に生かせるかを考察した。

虚空山彼岸寺 著

お坊さんはなぜ夜お寺を抜け出すのか？

978-4-7684-5635-4

四六判 224 頁 1800 円＋税

仏教界の低迷が喧伝されて久しいが、仏教が人々の日常生活に根付くようと努力している若いお坊さん達も多い。「暗闇ごはん」で有名なインターネット寺院「虚空山彼岸寺」に集う様々な宗派の若き仏教徒の活動と考えを紹介する。♠

三土修平 著

いま宗教にできること、できないこと

978-4-7684-5653-8

四六判 216 頁 1800 円＋税

人間生活で、宗教の役割とは何か。どういう場面で宗教が必要とされ、役立っているのか。オウム事件から、戒名問題から、死刑廃止問題から、活きるために我々は宗教をどう考えればいいのか、多くの歴史的事実から平易に読み解く。♠

自然科学・環境

徳永 旻・岡村 浩 著

現代の古典物理

4-7684-9952-X A 5 判 336 頁 2500 円＋税

里深文彦 著

もうひとつの科学・もうひとつの技術 [品切れ]

4-7684-5558-1 四六判 260 頁 1700 円＋税

M・ギボンズ＋P・ガメット 編／
科学史科学教育研究所 訳・里深文彦 監訳
科学・技術・社会をみる眼 [品切れ]
相互作用解明への知的冒険

4-7684-5553-0 A 5 判 210 頁 2500 円＋税

里深文彦 著

21 世紀ヨーロッパの技術戦略

周縁から中心へ

4-7684-6799-7 四六判 208 頁 2300 円＋税

ジェリー・ミニッチ 著／河崎昌子 訳

ミミズの博物誌 [品切れ]

4-7684-6645-1 A 5 判 240 頁 3500 円＋税

林 延哉 著

増殖するコンピュータ [品切れ] 変化する教育と生活

4-7684-6672-9 A 5 判 184 頁 2000 円＋税

松田裕之 著

「共生」とは何か [品切れ] 搾取と競争をこえた生物どうしの第三の関係

4-7684-6675-3 四六判 232 頁 2300 円＋税

逢沢 明 著

複雑な、あまりに複雑な

複雑さの科学を解明するカオス vs コンピュータ編

4-7684-6706-7 四六判 216 頁 2000 円＋税

現代物理を理解するためには、古典物理からたねんに理解していかなければならない。本書は古典物理の知識を百科辞典的に盛り込むことでなく、古典物理をいかにして、ひとつのまとまった形として把えていくかに重点を置いた問題の書。

「民衆のための科学」から「民衆による科学」を求め、日本・欧米の先進国やアジア諸国を訪ね、そこでの AT の現状と地域に密着した生き方を考える。そのための、もうひとつの労働・生産・組織・教育について言及し、科学そのものを問う。

80 年代初頭からの日本科学立国路線は世界の人々の目には「驚異」というよりは「脅威」の対象になっている。日本の科学技術を、民衆の立場から、また科学技術相互の関係から捉え直しが必要な時だ。先端技術相互の関係を論じる好読み物。

EU 拡大の中、科学パラダイムはどう変革しようとしているのか。スウェーデンの大学で研究に従事した著者が体感した科学の激変を科学史の中に位置づける。いま新たな科学の進化に揺れる社会観と倫理の中で 21 世紀の知的可能性を探る。

人類の歴史と文化を支えたのはミミズであった。世界中の古代遺跡を保存し、広大なアメリカの大地を耕した自然の原動力・ミミズの真価を、ダーウィン晩年の知られざるミミズ研究をまじえ、紹介する。写真・図版多数掲載。 ♠

コンピュータを代表とし核とするデジタルメディアの理想と現在。その普及と変化の様子を見極める手がかりの書。コンピュータを始めたがうまく使えない、どうも他人と違うようだと思う人に、著者自身の体験から、分かりやすく説明した。

敵は常に敵ではなく、仲間は常に味方ではない。喰うか喰われるかの弱肉強食も共存共栄のガイア仮説も、ともに人間の思いこみに過ぎない。事実とかけ離れた「共生幻想」をこえ、敵対者ともつき合っていく生物の叡智を豊富な事例で紹介。

著者は京都大学准教授を務める数学者。日常に潜むトラブルや不幸をユーモアあふれる事例で紹介しつつ、カオス理論やフラクタル理論を平易に解説。数学と哲学を縦横無尽に語る複雑系面白入門読本。広中平祐氏、合原一幸氏推薦！

逢沢 明 著

複雑系は、いつも複雑

カオスの縁から〈複雑適応系〉を探検する編

4-7684-6723-7 四六判 216 頁 2000 円＋税

前著『複雑な、あまりに複雑な』で大好評を博した著者が、さらなる複雑系の深淵を解説する。“未完の科学”の複雑系の可能性を見つめつつ、新しい学問を創造する科学者群像を自身の研究も交えながら活写する。嶋正利氏、上田皖亮氏推薦。

伊勢史郎 著

快感進化論

[品切れ]

ヒトは音場で進化する

4-7684-6871-3 四六版 264 頁 2300 円＋税

京都大学准教授を務める音響学者がヒトの進化の謎に迫る。ドーキンズの『利己的な遺伝子』の概念を批判的に継承し文化と進化の難問を学問的に検証しながら新たな視点から人間を捉え、音響学の可能性を示唆する。栗本慎一郎氏まえがき寄稿。

石川博久 著

思考・表現・コンピュータ

あなたがあなたを救うには

4-7684-6729-6 A 5 判 272 頁 2800 円＋税

コンピュータ全盛の現在は、同時に役に立たないマニュアルの時代でもある。不毛なハウ・ツーに惑わされることなく情報の真の有用性を明らかにする新しい情報学。自己表現のためのコンピュータの活用術と、納得できるヒントを図解する。

天笠啓祐 編著

石油文明の破綻と終焉

4-7684-6752-0 四六判 256 頁 2300 円＋税

20 世紀は石油の世紀であった。石油文明が生み出した有機化学物質は人類を滅亡へと向かわせている。その人工化学物質の歴史、成分、規制、環境・第三世界への波及等を統合的に検証。化学からバイオへ向かう 21 世紀の危機と変革への提言。

木本協司 著

石炭火力が日本を救うCO₂ 神話の崩壊

978-4-7684-5697-2 四六判 224 頁 2000 円＋税

“原発推進”の柱といえる CO₂ 温暖化論が虚構科学であることを科学的に実証。地震活動期に入った日本のエネルギー戦略として、経済的で安全な石炭火力へのシフトが最善と結論づける。原発の根幹を揺るがす新たな切り口の書。♠

福本英子 著

人・資源化への危険な坂道

ヒトゲノム解析・クローン・ES 細胞・遺伝子治療

4-7684-6832-0 四六判 324 頁 2500 円＋税

ヒトゲノム解析・遺伝子診断・遺伝子治療・発生操作(人クローン、ES 細胞)等、研究機関・医薬産業が共同し、国家がお墨付きを与えるなか、人体を素材化・資源化する究極の技術が脚光を浴びている。爆走する技術の産業化は我々の日常に何をもたらすのか。♠

グリーンカルチャーセンター 編 GCC BOOKS

緑の地球へ

[品切れ]

森林のエコロジー

4-7684-5545-X A 5 判 160 頁 1200 円＋税

瀕死の地球を救うため、今こそ緑の文明への転換を。生態系における緑の価値、森林破壊の現状から再生の方法論まで。地球を救う緑の文明 三島昭男／環境行政事始め 大石武一／エコロジー経済学入門 福岡克也／森と共に生きよう 筒井迪夫

グリーンカルチャーセンター 編 GCC BOOKS

心の宇宙へ

宗教とエコロジー

4-7684-5546-8 A 5 判 176 頁 1300 円＋税

自然と心が切り離された現代文明の中で、森羅万象を包み込む宇宙との一体感、あらゆる生命の尊重を考えながら、さまよう心の真のありかを探る。密教とエコロジー 松長有慶／禅とエコロジー 中野東禅／アニミズムとエコロジー 佐治芳彦

グリーンカルチャーセンター 編 GCC BOOKS

いのちを未来へ

暮らしのエコロジー

4-7684-5547-6 A 5 判 176 頁 1300 円＋税

エコロジカルな暮らしに豊かさを求め、都市と山村の共生や本来の医食農、子育てを考える。都市のエコロジー 村瀬誠／山村のエコロジー 黒沢丈夫／いのちを癒す 丸橋賢／自然出産・子育て 山西みな子／大地に農を求めて 小田川太 ♠♣

ジム・メイソン&ピーター・シンガー 著／高松 修 訳
アニマル・ファクトリー [品切れ]
飼育工場の動物たちの今
4-7684-5511-5 A 5 判 232 頁 2000 円＋税

大規模な監禁システムに押しこめられ菜づけにされた家畜たち。今や“工場製品”と化した鶏・ブタ・牛の実態、アグリビジネスとそれを肥大化させる国家政策。豊富な写真と衝撃的なルポは、わが国の現状であることを教えてくれる。 ♠

永尾俊彦 著
干潟の民主主義
三番瀬、吉野川、そして諫早
4-7684-6802-0 四六判 352 頁 2700 円＋税

水辺ほど日本がよく見える場所はない。埋め立て干拓事業、ダム建設など公共事業の現場を歩き、水辺の暮らしを破壊する日本社会の原理を追及する。官僚天下りの温床と自然破壊の元凶としての公共事業と、日本のあり方を検証する。 ♠

永尾俊彦 著
せきめん
国家と石綿
ルポ・アスベスト被害者「息ほしき人々」の闘い
978-4-7684-5789-4 四六判 376 頁 2700 円＋税

明治期から殖産興業を支え、近年まで使用していた石綿。健康リスクが明らかになった後でも、なぜ日本だけ被害者が増えたのか？ 日本での石綿使用の歴史から大阪の健康被害国賠訴訟までを詳解。被害者たちの肉声を通して日本を再考する。 ♣

宮崎 勇 著
土地と水と人びと
4-7684-6874-8 四六判 192 頁 2000 円＋税

社会的分業は人を自立化させつつ、共同体を崩壊させ、更に人を自立させ新たな協力関係を生む。この実例を戦後の千葉県印旛沼の水利をめぐる土地改良と川崎製鉄を中心とするコンビナート建設の連携の実態の中に検証し、今後の農政をうう。

能代山本広域市町村圏組合 編
白神山地と共に歩む道
第一回白神自然文化賞受賞作品集
4-7684-6744-X 四六判 208 頁 2000 円＋税

1993 年にユネスコの世界遺産の自然遺産に登録された秋田、青森にまたがる白神山地。この貴重な広葉樹林帯をどの様に地域住民の生活を通して守り残していくのか。この建設的意見を全国に募集した第一回白神自然文化賞受賞作品の発表。 ♠

能代山本広域市町村圏組合 編
白神山地と共に歩む道Ⅱ
第二回白神自然文化賞受賞作品集
4-7684-6772-5 四六判 184 頁 2000 円＋税

世界遺産に登録された白神山地。人と自然の共生と利活用のビジョンを全国から、98 年の第一回に続いて募集した受賞作品集。20 代から 60 代の方々の大賞、優秀賞、佳作の 11 点を収めている。全国の自然環境を守るために役立つユニークな一冊。

能代山本広域市町村圏組合 編
白神山地と共に歩む道Ⅲ
第三回白神自然文化賞受賞作品集
4-7684-6788-1 四六判 196 頁 2000 円＋税

白神自然文化賞も 3 年目を迎えて、理念的なものよりも白神周辺地域の生活に密着した提言が多くみられる。地域のネットワークづくり、里山ネットワークづくりをどうするかという発想に重点が置かれて、除々にこの取り組みが浸透している。

能代山本広域市町村圏組合 編
白神山地と共に歩む道Ⅳ
第四回白神自然文化賞受賞作品集
4-7684-6814-4 四六判 184 頁 2000 円＋税

日本初のユネスコ世界自然遺産指定・白神山地。この地域の人々が白神山地のかけがえのない自然といかに共生していくかの知恵を全国から毎年募集して 4 回目。今回は一般の部の他に小中学生の部門を設けて、若者の声に耳を傾けている。

能代山本広域市町村圏組合 編
白神山地と共に歩む道Ⅴ
第五回白神自然文化賞受賞作品集
4-7684-6838-1 四六判 176 頁 2000 円＋税

世界に誇るぶな林に囲まれた森林生態系の宝庫で、世界自然遺産に登録された白神山地。この自然との共生のビジョンや知恵を全国から募った白神自然文化賞受賞作品集の第 5 弾。回を重ねるごとに生活に密着した力強い作品が集まっている。

三浦英之 著

水が消えた大河で

JR 東日本・信濃川大量不正取水事件

978-4-7684-5641-5 四六判 232 頁 1800 円＋税

日本最大の川であった信濃川が枯れたのはなぜか？ 魚が消され、漁民が消され、あとに残った巨大なダム群は何を物語るのか？ JR 東日本による不正大量取水事件を追った朝日新聞記者による書き下ろしドキュメンタリー。 ♠

K. オット、M. ゴルケ 編著 / 滝口清栄 他訳

越境する環境倫理学

環境先進国ドイツの哲学的フロンティア

978-4-7684-5636-1 四六判 366 頁 2700 円＋税

「絶対的な解」がない環境問題に哲学者はいかに挑んだのか？ 安易な自然礼賛・文明批判を超え、希望の根拠を探る哲学者たちの挑戦。人間は今何を問われているのか？ 哲学者たちが見た環境の本当の問題点をズバリ指摘する。 ♠

村田厚生 著

ヒューマン・エラー学の視点

想定外の罠から脱却するために

978-4-7684-5693-4 四六判 240 頁 2000 円＋税

原発事故・企業の不祥事・トラブル隠しはなぜ根絶できないのか？ 現代社会では失敗した時への備えは必須の教養である。ヒューマン・エラー学の第一人者が「失敗とは何か？」「失敗どう付き合うべきか？」を豊富な具体例で詳解。 ♠

神沼克伊 著

白い大陸への挑戦

日本南極観測隊の 60 年

978-4-7684-5771-9 四六判 256 頁 1800 円＋税

明治時代から始まった日本の南極観測の歴史は、いかに継続されたのか？ 15 回もの南極観測を経験した科学者が、写真をまじえ極地研究の知られざるエピソードを紹介する。日本にとって南極とは何か？ 平易な科学ドキュメンタリー。 ♠♣

西原智昭 著

コンゴ共和国 マルミミゾウとホテルの行き交う森から

978-4-7684-5823-5 四六判 256 頁 2200 円＋税

中部アフリカのコンゴ共和国で、いま何が起きているのか——。熱帯林に生息するゾウやゴリラなどの生態調査、環境保全に携わる中での内戦や森林伐採業との対峙、貨幣経済の浸透が先住民に与える影響など現場のリアルを伝える。 ♣

生活

阿奈井文彦 著

からだとの対話

ぼくの野口体操入門記

[品切れ]

4-7684-5532-8

四六判 248 頁 1500 円＋税

体操とはただの健康法ではなく、からだを動かすことで生き方を変え、新しい世界の見方を獲得してゆく思考法のことである。野口体操の実際と、その元である野口氏の「体液主体説」が入門体験記をもとにイラスト入りで語られ、わかりやすい。

登坂倫子 著

DVD 付アート オブ ヴォイス

978-4-7684-6960-6

A 5 判変型 144 頁 1600 円＋税

人間の思考・哲学・知識・愛情を声で伝えるためのエクササイズの本。ビジネスマン、教師、主婦、声優どんな人でも声で意思を伝達するとき、その発声で相手への伝わり方は大きく違う。意味を持って伝えるための方法を DVD 付で説明します。

吉田さとみ 著

バレリーナヨガ

978-4-7684-6940-8

A 5 判変型 144 頁 1200 円＋税

ダンサーのように美しくしなやかな筋肉、体のラインを作っていくためのヨガ。年齢や性別に関係なく、とても簡単で、どなたにも気軽に日常生活の中に取り入れられ、楽しみながらエクササイズできます。早速、今日から始めてみませんか。

やまもとよしこ 著

マタニティ・ウォーキング 安産 BOOK

978-4-7684-3489-5

A 5 判変型 144 頁 1200 円＋税

元日本女子マラソン最高記録保持者で二児の母、やまもとよしこ氏が紹介するマタニティ・ウォーキング。運動が苦手な人にも気軽にでき、体重管理や体力づくり、むくみ予防から産後の体型戻しにまで役立つ、プレママうってつけのスポーツ。

きくちさかえ 著

マタニティ・ヨーガ 安産 BOOK

4-7684-3441-X

A 5 判変型 144 頁 1200 円＋税

健康と体力を最大限に活用させ、精神のバランス、幸福感をもたらしてくれるヨーガ。妊娠中の各段階に合わせた最良の運動方法から、安定した妊娠とスムーズな出産の実現に向け、さらに赤ちゃんと最初の数週間の過ごし方までも豊富な写真で紹介した。

きくちさかえ 著

DVD 付 マタニティ・ヨーガ 安産BOOK

978-4-7684-3452-9

A 5 判変型 144 頁 1600 円＋税

安産は自分でつくる！ おなかの赤ちゃんと一緒に安全なヨーガの方法で大好評の前著に DVD をつけた。BGM は NHK 等で活躍のウォン・ウィンツァンのピアノ。より安全・安心に精神のバランス、リラクゼーション・幸福感をもたらす。

J. オブライエン 著／きくちさかえ 訳

マタニティヨーガ

[品切れ]

4-7684-3363-4

A 5 判変型 96 頁 1000 円＋税

胎児も妊婦も元気に自然な出産を迎えるための無理のないヨーガの数々。妊婦にヨーガは合わないと言われていたが、無理のないポーズは本来のヨーガと同じように体だけでなく心を大切に、精神的に不安定な妊婦に最適のリラクセス体操である。

J. バラスカス 著／佐藤由美子・きくちさかえ 訳

ニュー・アクティブ・バース

4-7684-3384-7

A 5 判 320 頁 2800 円＋税

アクティブ・バースは、現代の医療に管理された出産を、女性と赤ん坊主体の出産に取り戻そうという新しい運動である。分娩台からおりて、起き上がった姿勢で産めば、女性は出産本能に身を任せ自由に産むことができる。第二のお産革命の書。

ミシェル・オダン 著/久靖男 監訳/佐藤由美子・きくちさかえ 訳

バース・リボーン

よみがえる出産

4-7684-3377-4

A 5 判 180 頁 1740 円＋税

きくちさかえ 編

お産はっけよい

アクティブに産もう

4-7684-3392-8

四六判 248 頁 1500 円＋税

きくちさかえ 編著

DVD 付 みんなのお産

39 人が語る「お産といのち」

978-4-7684-3532-8

A 5 判変 128 頁 1600 円＋税

男の子育てを考える会 編

男の育児書〈新装改訂版〉

4-7684-3393-6

A 5 判 184 頁 2000 円＋税

チルカの母たち・父たち 編著

お産はたからもの

助産院発・すてきなお産

978-4-7684-3492-5

A 5 判 200 頁 1600 円＋税

宮 淑子 著

更年期

メノポーズからのからだ・心・性

4-7684-6775-X

四六判 240 頁 1800 円＋税

レディース・ホーム・ジャーナル 編/さとうよしこ 訳

離婚しなくても大丈夫

4-7684-6742-3

A 5 判 240 頁 2200 円＋税

遠藤 誠・梶原しげる

愛と誠の人生相談

4-7684-6718-0

四六判 232 頁 1500 円＋税

現代書館編集部 編

ペットへの感謝状

4-7684-6659-1

四六判 240 頁 1200 円＋税

自然なお産を願う女性達の気持ちと女性が本来もっている産む力を信頼した出産の方法。安全性の名の下で必要かどうか確信のないまま使われている薬剤や機械による近代医療介入の管理分娩を批判した、お母さんと赤ちゃんに優しいお産の本。

自然なお産、男が参加するお産、高齢出産、水中出産、ホーム・バース、やむなく帝王切開など、各々の顔が異なる様にお産も千差万別。自分にあったお産をアクティブに取り組んだ人達の発気よいの物語。産科医久靖男先生のアドバイス付き。

お産経験者・支援者・研究者・哲学者・助産師・医師、さらに被災地の人たちなど 39 人の話から、医療に頼りがちなお産が本来はもっと自然で楽しいものであることを実感できる。男が見ても「お産っていいな」と思える本（DVD 付/約 42 分）。

今までの「育児書」は母親のために書かれてきた。「子育て」に協力するのではなく、主体者として男が子育てに関わった日本で初めての「男の育児書」。失敗談、男のホンネ、女のホンネ、出産に立ち合った記録。男から男への熱きメッセージ。

釧路市の小さな助産院マタニティ・アイに置かれた「チルカのノート」は、お母さんやお父さんが自由に書き込めるノートだ。ここには出産前後のお母さん・お父さんの不安、葛藤、喜び、悩み、感動の生の姿が綴られている。89 編の感動手記。

団塊世代が迎えた更年期。男も女も、からだが揺れ、心が騒ぎ、性も仕切り直しを迫られる。この時期の豊かな乗り切り法を公開。ホルモン補充療法・バイアグラの効果と安全性は？ 隠されてきたセクシュアリティ事情に大胆率直に迫る。♠

離婚寸前の夫婦の危機を乗り越え方。浮気・経済問題・暴力・子供の教育・姑小姑・性の不一致等の問題をカウンセラー（第三者）を交えて解決した実例集。米国のベストセラーを日本の実情に合わせて翻訳した。決意の前に読む本。

人生相談は時代を反映する。法律家で、仏教者でもある遠藤弁護士の的確で辛辣な回答は読者の人生の指針にもなるだろう。色・金・親子・嫁姑・古今東西変わらぬ人間模様が、今風に楽しく、苦しく語られる。梶原の突っ込みも花を添える。

ありがとう。キミたちに会えてよかった！秋山豊寛、川本三郎、宮迫千鶴、日高敏隆氏等各界のどうぶつ好き 68 名が書き下ろしたペットたちへの感謝状の数々を収録。涙と笑いとフンの始末をのりこえた、かけがえのない“家族”への愛が満載。

現代書館編集部 編

ペットへの感謝状 第二信

4-7684-6674-5 四六判 208 頁 1200 円＋税

M. ファントン、J. ファントン 著／
自家採種ハンドブック出版委員会 訳
自家採種ハンドブック
「たねとりくらぶ」を始めよう

4-7684-6816-0 A 5 判 256 頁 2000 円＋税

プロジェクト「たねとり物語」著 にっぽん たねとりハンドブック

4-7684-6926-4 A 5 判 196 頁 2000 円＋税

山根成人 著 種と遊んで

978-4-7684-6943-9 四六判 224 頁 2000 円＋税

本野一郎 著
有機農業による社会デザイン
文明・風土・地域・共同体から考える

978-4-7684-5670-5 四六判 280 頁 2200 円＋税

山川 理 著
サツマイモの世界 世界のサツマイモ
新たな食文化のはじまり

978-4-7684-5793-1 A 5 判 248 頁 2000 円＋税

山田 征 著
[増補改訂版] **ただの主婦にできたこと**

978-4-7684-5852-5 四六判 248 頁 1700 円＋税

山田 征 著
山田さんのひとり NGO [品切れ]
「ニライカナイ・ユー通信」

4-7684-6834-9 四六判 260 頁 1800 円＋税

笠谷和司 著
これなら買っても大丈夫 !!
環境にやさしい暮らし方事典

4-7684-6851-9 A 5 判 304 頁 1600 円＋税

赤塚不二夫、松本零士、橋爪大三郎氏等が書き下ろした好評シリーズ第二弾。かわいくて、わがままで、ときには噛みついたり、ひっかいたりもするけれど、やっぱり離れることのできない人生の大切なパートナーたちへの感謝の思いを綴る。

植物の多様性を維持するために、在来種を保存し、作り続け、食べ続ける人がいることが重要だ。その観点で、日本で入手可能な 126 種の野菜・ハーブの採種・起源・栽培・利用や種にまつわるエピソードも掲載した。誰にでもできる採種法。

かつて農家で伝統的に自給用として栽培されていた野菜の在来品種が姿を消している。その「種」を守るために在来種 64 種の繁殖・採種・保存からレシピまでカラーで紹介する。誰でも簡単に種取りができるように分かりやすく書かれている。

「農」の出発点は「種」にある。「種」の自給がすべての「農」の基本にあると考え、種採りの研究会で種の交換会にかかりだした。その土地に合った作物を先人達が長い時間を掛けて作っていた。それを次の世に引き継ぐための作業の記録。 ♠

3.11 以降、日本人の安全に対する意識は変化した。40 年に亘る有機農業への取り組みから「食の安全」を確保するためには、自給と協同の実践が有効ではないか、と提案する。世界の実践例や自らの体験を基に今後の有機農業への展望を述べる。 ♠

サツマイモ研究の先駆者が、その栄養価、品種の特徴、用途や栽培法はもとより、企業と連携した新品種開発やルーツ調査、最新の国内・海外事情などを語り尽くす。歴史・植物・民俗・農政学など多彩な観点からサツマイモを紐解いた決定版。

東京郊外に住むひとりの主婦が、自分の小さな家庭の中から外に向けて一歩踏み出した。学校給食に素性のわかる野菜の納入から始まり、石垣島白保などの自然保護運動へ。そのなかで出会った多くの人々や、夫・娘たちとのゆかいな奮闘記。 ♠

山田征さんという東京武蔵野市在住のおばさんがいる。子どもの給食食材に疑問を持ち改善運動を始めて以来、子どもが平和に暮らすために、震災の神戸、中国北朝鮮国境地帯、パタヤス、モンゴル、パレスチナ…。N(なんでもやっちゃん) G(グレート) O(おばさん) の記録。 ♠

衣食住・地球環境全般にわたり、環境に配慮した生活をおくるために、なにがどうしていけないかを明らかにしながら、ただダメだけでなく、有効な代替案として入手可能な生活用品の使用法と入手方法の案内書。こだわりの安心生活のために。

笠谷和司 著
からだ

身体にやさしい買い物事典

4-7684-6885-3

A 5 判 232 頁 1600 円＋税

身体にやさしく、環境への負荷も少ない生活の道具・素材・薬草などを春夏秋冬に分けて紹介。食器、台所用品、健康維持の民間療法、薬草の作り方・利用法、身体にいい副食の作り方・食べ方。自分で作れない人には安全安心なお店を紹介した。

笠谷和司 著

心身健康事典

978-4-7684-5611-8

A 5 判 624 頁 2600 円＋税

ひとが安全に暮らすためのあらゆる情報を一冊に纏めた安全生活百科。医・食・住・教育・遊び・事故・事件まで網羅。困った時も、ちょっと手が空いた時も、いつでも本書を活用することで、安心・安全が約束される製品・施設・情報満載。

田嶋智裕 著

長寿社会と生きる〈健康麻将〉
マージャン

4-7684-6938-8

四六判 224 頁 1800 円＋税

「(お金を)賭けない、(お酒を)飲まない、(タバコを)吸わない」の健康マージャンが全国に増殖している。約千人もの人が毎日点数を競いあい、楽しんでいる。「ねりんピック」の正式競技種目にもなり、中高年に受けている秘密に迫る。

久慈力 著

図書館利用の達人

インターネット時代を勝ち抜く

978-4-7684-6986-6

四六判 208 頁 1600 円＋税

図書館はインターネットより便利だ。図書館資料だけで世界のほとんどが分かる。その図書館利用のコツを詳細に解説、誰でも無料でアクセスできる最大の情報バンクの仕組みと利便性を斬新な視点から解剖する。

大冢賀政昭・河東 仁・空閑厚樹・佐藤 太 著
つながる喜び

農的暮らしとコミュニティ

978-4-7684-5614-9

A 5 判 224 頁 1800 円＋税

「自分も他の人も楽しい、人間も動物や植物たちもうれしい、体にも心にも気持ちいい、そんな生き方はあるだろうか」。この問いから辿りついた「農的暮らし」と「コミュニティ」。喜び・楽しみを大切にしたいライフスタイルの研究と提案。

西村かおる 著

パンツは一生の友だち

排泄ケアナース実践録

978-4-7684-5633-0

四六判 248 頁 1600 円＋税

生きてれば排泄トラブルは自然なこと。お年寄り、障害者、先天性疾患、病人、それらの切実な悩みに対処している「カリスマナース」が深刻な話を暗くならず語る。ユーモアある話を読みながら、身に付く排泄についての役立つ情報が満載。

渡辺万里 著

修道院のウズラ料理
アルカンタラ

スペイン料理七つの謎

[品切れ]

4-7684-6815-2

四六判 248 頁 2000 円＋税

イスラムとキリスト。二つの宗教の接点でもあったスペインは風土的に地域差が大きく異なる文化と料理を持つ。スペイン料理を 20 数年研究している著者が、各地方の味の奥義とその謎を美味しく語る味と旅のエッセー。スペインが一段と身近に。

渡辺万里 著

スペインの竈から
かまど

美味しく読むスペイン料理の歴史

[品切れ]

978-4-7684-5645-3

四六判 208 頁 1800 円＋税

日本でも大流行のスペイン料理。野菜やチーズ、果物、それぞれの食材・調理にはそれぞれの由来がある。それらを歴史的に調べ細かく蘊蓄を傾けた。素材の由来を知ることによって、これまで以上にスペイン料理が美味しく食べられる。 ♠

高橋敬一 著

鉄道と生物・運命の出会い

978-4-7684-5667-5

四六判 256 頁 1800 円＋税

鉄道本についに新ジャンル誕生！ 生物の視点から今まで予期しなかった鉄道の意味を考える。鉄道と運行システムは一種の生態系である！ 鉄道と生物のウンチクをユーモアたっぷりの文章で描く痛快教養エッセイ。川本三郎氏書評絶賛 ♠

映像・写真

岡本 博 著 映像ジャーナリズム I

偽善への自由

夏のジャーナリズム (67・8～70・7)

4-7684-7703-8 A 5 判 312 頁 1800 円＋税

戦争賛美につながった 5W1H の新聞報道の論理を否定し、戦後の映画と結合し映像として広がりをもち〈面の論理〉を形成したTVドキュメンタリーを高く評価。その8・15報道は偽善への自由を獲得する。映像記者30年、TV、映画の評価集。♠

岡本 博 著 映像ジャーナリズム II

退廃への自由

夏のジャーナリズム (70・8～73・7)

4-7684-7704-6 A 5 判 310 頁 1800 円＋税

ジャーナリズムの現場は腕力的で毒々しい。その現場で生きるジャーナリストもその毒性に冒されて暴力的だ。この退廃をいかに解毒するか。戦後の映像ジャーナリズムは自己をさらけ出すことによってその退廃から自由を獲得していった。♠

塚田嘉信 著

日本映画史の研究

[品切れ]

活動写真渡来前後の事情

4-7684-7705-4 四六判 320 頁 3200 円＋税

明治以降、日本人の大衆娯楽に大きな役割をはたしてきた映画は、いつ、どの様なかたちで輸入されたのか、そのことは意外に知られていない。莫大な新しい資料を発掘し、従来の“定説”を批判、検討するなかで、新しい発見に出会う。♠

佐藤忠男・川本三郎 著

映像の視覚

4-7684-7706-2 四六判 240 頁 1600 円＋税

佐藤・川本が毎月の映画とTVをそれぞれの立場で論じ合うユニークな映像論。同じ映像が違った視覚から論じられているので、読者は映画・TVの見方が広がり、より映像の持つ自由さ、楽しさを獲得するであろう。80年代の新しい映像論。

佐藤忠男 著

ストレンジャーズ・ミート

第三世界の映画

4-7684-7707-0 四六判 352 頁 2300 円＋税

長年にわたり見つけた熱気溢れる東南アジア、韓国、インド、中近東、アフリカ、中南米等の映画を単なる映画評としてでなく、第三世界の民衆、異文化との出会い(ストレンジャーズ・ミート)として捉えるユニークな映像文化論。♠♣

佐藤忠男 著

知られざる映画を求めて

4-7684-7690-2 四六判 296 頁 2500 円＋税

近年ますますアメリカ映画への一極集中を強めている映画界。我々があまり観る機会の少ないアジア、中近東、アフリカ、中南米、北欧の映画を日本で一番観ている著者の様々な国の映画評を集成した。ハリウッドばかりが映画じゃない。♠

佐藤忠男 著

映画に魅せられて

4-7684-7684-8 四六判 272 頁 2500 円＋税

今、日本の映画館には様々な国の映画が上映されており、ハリウッド映画にはない映画のおもしろさを堪能させてくれる。本書はそれらの映画をつぶさに観ている佐藤氏のこの数年の大きな映画から小さな映画までの映画評を集成する。

斎藤正治 著

エロスで撃つ

4-7684-7708-8 四六判 336 頁 2300 円＋税

日活ボルノ裁判、愛のコリーダ裁判に関わり、積極的に支援活動を行ってきた著者が、エロスの世界を描き続けてきた、神代辰己、藤田敏八、田中登、大島渚、寺山修司らの映画を通して、権力によって抑圧され続ける性の解放を唱える。

北村公一 著

50年代新宿シネマ・グラフィティ

4-7684-7710-0

四六判 200 頁 1500 円＋税

1950年代は映画が最も映画らしく、新宿が最も新宿らしい時代。日活名画座の小さなスクリーンをみつめながら泣き、笑い、〈2丁目〉の麗人に心をときめかせた青春と当時の新宿風俗、映画（館）の思い出を織り合わせた新宿青春物語。

松田政男・川本三郎 著

映画はアクチュアル

4-7684-7711-9

四六判 256 頁 1800 円＋税

松田・川本が84、85年の映画評を通しナマの映画の面白さを語る。過去の映画を分析・研究するよりも、時代と共にあるいまの映画の感動を伝えることに映画評の意義はある。松田・川本の映画の見方は違っても、ナマの映画への情熱が伝わる。

山下恒男 著

シルバー・シネマ・パラダイス

978-4-7684-7666-6

四六判 288 頁 2000 円＋税

老いと孤独・闘う老人・老人の役割・異色の老人映画・働く老人・女性と老い・老いと死という七つのテーマで描く老人映画論。「老人と海」「許されざる者」「ドライビング・ミス・デイジー」「橋山節考」など各国の秀作21作品を取り上げる。♠

名取弘文 著

シネマの子どもに誘われて

978-4-7684-7670-3

四六判 280 頁 2000 円＋税

男性で家庭科を教え、名物教師「ナトセン」こと名取氏も定年。教師生活40年の体験から、子どもが主役の洋・邦映画70本のユニークな映画評。近年の『誰も知らない』『パッチギ』等から、戦前の『綴方教室』『馬』までを縦横無尽に論評する。♠

武田秀夫 著

シネマの魔

4-7684-7689-9

四六判 256 頁 2300 円＋税

癌で入院中に抜け出して、映画を観に行くという大の映画ファンの著者が自己の死生観、オウムや神戸の少年Aの事件等を見据え、ベルイマン、ヴィスコンティ、イーストウッド、ケン・ローチ、楊徳昌等の映画評を通し、時代を透視する。♠

シグロ 編

ドキュメンタリー映画の現場

土本典昭フィルモグラフィから [品切れ]

4-7684-7716-X

四六判 248 頁 1800 円＋税

日本のドキュメンタリー映画の旗手・土本典昭の記録映画を素材に蓮實重彦、羽仁進、黒木和雄、小川紳介、羽田澄子、高木隆太郎、本間喜美雄、高橋悠治、鈴木志郎康、瀬川順一氏らが自らの製作活動に照らし合せ、記録映画の可能性を探る。♣

土本典昭フィルモグラフィ展2004実行委員会 編

ドキュメンタリーとは何か

土本典昭・記録映画作家の仕事

4-7684-7678-3

四六判 224 頁 2000 円＋税

「土本典昭フィルモグラフィ展2004」のシンポジウムを全収録。「記録とは何か」（佐藤忠男＋黒木和雄）、「あるプロデューサーの証言」（高木隆太郎＋時枝俊江）、「テレビとドキュメンタリー映画」（田原総一朗＋森達也）など。♠

土本典昭・石坂健治 著

ドキュメンタリーの海へ

記録映画作家・土本典昭との対話

978-4-7684-7672-7

A5判 376 頁 3600 円＋税

『水俣——患者さんとその世界』『水俣一揆』『ある機関助士』など数々の秀作のドキュメンタリー作品を撮り続けた土本典昭の生い立ち、それぞれの作品論や製作経緯を石坂健治が具体的に聞き出し、記録映画作家の巨匠・土本典昭の全体像に迫る。♠

鈴木志郎康 著

映画素志

自主ドキュメンタリー映画私見

4-7684-7699-6

A5判 360 頁 4500 円＋税

'60年代後半の政治、社会闘争高揚と共に盛り上がった自主製作のドキュメンタリー映画。今日迄の作品論、亀井文夫、土本典昭、小川紳介等の作家論や状況論、更にドキュメンタリー映画史年表を付したドキュメンタリー映画論の決定版。♠

倉田 剛 著

山形映画祭を味わう

ドキュメンタリーが激突する街

978-4-7684-7654-3 四六判 248 頁 2000 円＋税

2015 年で第 14 回、25 年目を迎える山形国際ドキュメンタリー映画祭を第 1 回から鑑賞している著者の映画祭論。なぜ山形で開催されるようになり、どんな話題作があったのか。地元農民と世界中からのスタッフとの映画祭を通じた交流を描く。♠

森 達也 著

「A」撮影日誌

オウム施設で過ごした 13 カ月

4-7684-7687-2 四六判 212 頁 2000 円＋税

オウム広報副部長荒木浩を中心に施設内部を記録したドキュメンタリー映画「A」の撮影日誌。外からのマスコミ報道では知られざるオウム内部の映像は驚きと新鮮さに溢れ、ベルリン映画祭、山形ドキュメンタリー映画祭等で話題をさらう。♠

森 達也＋安岡卓治 著

A 2

4-7684-7682-1 四六判 240 頁 1700 円＋税

オウム広報部荒木浩を軸にした内部からのドキュメンタリー映画の話題作「A」に続く第 2 弾「A 2」。地域住民やマスコミのバッシングを受けるオウム信者の日常生活や地域住民との交流の姿を通して、何故にオウムに留まるのかに迫る。

森 達也・代島治彦 編著

森達也の夜の映画学校

4-7684-7677-5 A 5 判 296 頁 2200 円＋税

東京・BOX 東中野で開催された「森達也の夜の映画学校」のシンポジウムの面白い話を収録。いま、一番旬な森達也氏のお相手は、是枝裕和、黒木和雄、緒方明、石井聰互、樋口真嗣、庵野秀明、荒木浩、松江哲明、小池征人、綿井健陽他。♠

荒井富雄 著

松竹大船大島組

プロデューサー奮戦記

4-7684-7686-4 四六判 228 頁 2000 円＋税

1960 年代初頭、松竹大船撮影所の人間模様を大島渚を中心に活写したノンフィクションノベル。著者本人が、プロデューサーとして大島の松竹での初期作品を製作した。当時の映画華やかなりし頃の撮影所内部の人間模様や大島の去就を活写した。

佐藤忠男 著

黒木和雄とその時代

4-7684-7675-9 四六判 280 頁 2000 円＋税

現在の日本映画監督の第一人者・黒木和雄監督が'06 年 4 月 12 日急逝された。ここ数年監督の戦争に対する想いを描いた『美しい夏キリシマ』『父と暮せば』は映画ファンに称賛され、没後『紙屋悦子の青春』が絶賛公開された。♠

鈴木義昭 著

若松孝二 性と暴力の革命

978-4-7684-7662-8 四六判 248 頁 2000 円＋税

'10 年夏の『キャタピラー』はベルリン映画祭で主演の寺島しのぶが最優秀女優賞を受賞した。前作品の『実録・連合赤軍あさま山荘』以来、海外でも評価の高い若松孝二のピンク映画監督時代から現在までをインタビューも交え徹底的に解体する。♠

野島孝一 著

映画の現場に逢いたくて

4-7684-7694-5 四六判 216 頁 2000 円＋税

毎日新聞映画担当 15 年の野島記者が寅さんに逢いたくてウィーンロケへ、アルカトラズ島の「ザ・ロック」の試写会へ、「深い河」のロケ現場・ベナレスへ、さらにはカンヌ映画祭の取材等を通して映画現場の人達の熱き息づかいを伝える。♠

原 一男 編

インタビュードキュメンタリー

映画に憑かれて 浦山桐郎

4-7684-7692-9 A 5 判 496 頁 4600 円＋税

戦後日本映画の名作『キューボラのある街』『私が棄てた女』等をつくり、吉永小百合、大竹しのぶ等の女優を育て、酒と映画を熱愛して逝った伝説の映画監督・浦山桐郎。今村昌平、鈴木清順他 60 名のインタビューで原一男が彼の全貌に迫る。♠

原 一男＋疾走プロダクション 編

『ニッポン国vs泉南石綿村』製作ノート
「普通の人」を撮って、おもしろい映画ができるのか?

978-4-7684-7649-9 A 5 判 288 頁 2300 円＋税

佐々木徹雄 著

「三分間の詐欺師」が語る銀幕の裏側

4-7684-7676-7 A 5 判 232 頁 2200 円＋税

中野理恵 著

すきな映画を仕事にして

978-4-7684-7648-2 A 5 判 208 頁 1500 円＋税

A. ギイ 著／松岡葉子 訳

私は銀幕のアリス

映画草創期の女性監督アリス・ギイの自伝

4-7684-7820-4 B 5 判 248 頁 3500 円＋税

門間貴志 著

朝鮮民主主義人民共和国映画史

建国から現在までの全記録

978-4-7684-7659-8 A 5 判 392 頁 3800 円＋税

福島菊次郎 写真集

迫る危機

[品切れ]

自衛隊と兵器産業を告発する!

4-7684-7714-3 B 5 判 168 頁 1000 円＋税

松村久美 著

片想いのシャッター

[品切れ]

私の沖縄 10 年の記録

4-7684-7702-X A 5 判 200 頁 2000 円＋税

本橋成一 写真集

炭鉱 (やま)

4-7684-7721-6 B 5 判 128 頁 3800 円＋税

本橋成一 写真集

上野駅の幕間

[品切れ]

4-7684-7712-7 B 5 判 176 頁 3800 円＋税

ドキュメンタリーの鬼才・原一男監督 23 年ぶりの新作。「普通の生活者」を撮ることへの葛藤、運動内のジレンマ。ドキュメンタリー故に撮りこぼした、あるいは撮影後だから語れる被撮影者・監督自身の想いを綴った制作ノート。

本書は『三分間の詐欺師—予告篇人生』(バンドラ発行・小社発売)の著者で、戦前から戦後の映画界の裏方を生きた。淀川長治、野口久光や川喜多長政氏らとの出会い等「フィルムの博物館」と異名をもつ彼の映画界の貴重な裏方史である。♠

「製作人は名を残し、興業人はカネを残すが、配給人は何も残さない」と言われる映画界。そんな映画配給を仕事にして 40 年。他の映画人があまり顧みない同性愛や従軍慰安婦などタブー視された作品を配給し続ける愛すべき辣腕映画人の半生。

メリエス、エジソン、リュミエール等、映画草創期にアリス・ギイという女性が、世界初の長編劇映画を監督していた! 歴史に埋もれた女性監督の生涯は自立と進取の精神に満ちている。当時の写真が多用されているのも貴重。 バンドラ刊 ♠

決して、プロパガンダだけではなく、ポルノ・ホラー・サスペンス以外、何でもある北朝鮮映画を歴史的に分類し、写真を豊富に使い解説した、日本初の書。国際映画祭もあるピョンヤン。本書で映画史だけでなく国の歴史も分かる。 ♠

急速に武装の近代化を強行した陸海空自衛隊の全容の写真集。カメラマン自らが「遺作集」と名づけたように、正に生命を賭した写真の数々は、自衛隊の知られざる内奥に迫る。また三菱重工等の復活した軍需産業の実体にもメスを入れている。

カメラを放り出してしまいたくなった時、離婚で身も心もボロボロになった時、“沖繩”に新たなまなざしを向けることで私は生きかえった、この本は、復帰によって激しく世替りする沖縄社会を見つめ続ける女性カメラマンの心の旅の記録。

筑豊の炭鉱を撮り続けたカメラマン。25 年前に太陽賞を受賞し社会を風靡した作品の重版・復刻。今はなき炭鉱の鎮魂歌として再度世に問う。上野英信・重森弘淹・羽仁進の跋文も、日本の炭鉱政策の欠陥を綴る。これだけの炭鉱の本はもう出ない。

3 時間も 4 時間も迎えにくる息子を待つ老母。ホームに小便をする人。構内に新聞紙を敷いて酒を飲んだり、弁当を食べながら人や列車を待っている人たち。なぜ上野駅はこの様に人間味に溢れているのか。その豊かな表情に迫る写真集。 ♠

羽永光利 写真集

舞踏 THE BUTOH

[品切れ]

肉体のシュールレアリストたち

4-7684-7713-5

B 5 判 148 頁 3800 円＋税

60 年代に確立した新しいジャンル「舞踏」は今、ヨーロッパで明らかに拡張し増殖しつつある。その草創期から着実に把えたフォトリックメント写真集。日本人の表現行為シリーズ第 1 弾として、我らヤポネシアの怪奇と耽美の原姿を抉る。

原田広美 著

舞踏 (BUTOH) 大全

暗黒と光の王国

4-7684-7680-5

A 5 判 552 頁 5200 円＋税

土方巽の「暗黒舞踏」に始まり、世界を震撼させた舞踏 45 年の歴史と記念碑的名舞台がいま蘇る。主要 60 団体・個人を豊富な資料、インタビュー、秘蔵ビデオ、舞台分析を含め、160 点の写真と 1200 枚の原稿で追う。舞台鑑賞のハンドブックとしても最適!! ♠

原田広美 著

国際コンテンポラリー・ダンス

新しい〈身体と舞踊〉の歴史

978-4-7684-7651-2

A 5 判 420 頁 4800 円＋税

国際的な「コンテンポラリー・ダンス」の現在を、バレエとダンスの歴史を含め、分析解説。ダンス・クリエイションと身体性の多様なあり方を、海外の国際フェスティバルの現地取材・来日公演の写真 200 枚を添えた。国際的な舞踊の歴史と現在。

神山貞次郎 写真集

I Love BUTOH!

978-4-7684-7655-0

A4 判変型 504 頁 10000 円＋税

世界を席卷した極限の舞台芸術・舞踏。A4 判変型、504 ページの写真集に 80 組、700 葉の写真を取めた。大野一雄・笠井淑・磨 赤兒・小林嵯峨・大森政秀・山田せつ子などの傑出した大舞踏家から新人まで、空前にして絶後と思われる写真集。

武田 花 写真集

猫・陽のあたる場所

4-7684-7715-1

A 5 判 128 頁 2000 円＋税

我輩は野良猫である。なぜか日だまりが好きだ。それもビルの屋上ではなく、下町の路上、繁華街の路地裏や公園、墓地、洗濯物の揺れ動く軒先の日当りの居心地はたまらない。これらの見慣れたアングルの中に野良猫達が心地よく収まっている。

武田 花 写真集

猫・大通り

978-4-7684-7673-4

A 5 判 116 頁 2000 円＋税

武田花さんの 20 年前のデビュー作『猫・陽のあたる場所』(小社刊)はロングセラーとなり、10 刷りを数えている。時代に置き去りにされた街並みを背景に生きる野良猫の表情の温もりが伝わる心を打つ素敵な写真集。20 年ぶりの姉妹篇である。

遠藤 誠 写真集

山河慟哭

4-7684-7718-6

B 5 判 96 頁 3800 円＋税

鬼才弁護士・遠藤誠が 32 年間、自然のみを撮り続けた作品集。「武島羽衣がうたった『青松白砂』はもうどこの海岸にもない。山河慟哭している。声を挙げずに泣いている。私はカメラを通しての自然との対話により、それを聞いた。」心の慟哭。

児玉房子 写真集

千年後には・東京

TOKYO KINETIC

4-7684-7719-4

菊判 128 頁 3500 円＋税

今の若者をさりげなく、優しい眼で撮り続ける児玉房子が闇と光が交叉する 90 年代東京の若者達の風景を躍動感溢れるカメラワークで迫り、東京の未来を写し出す。アミューズメント都市、劇場都市、盛り場等々。文・手塚眞／松山巖／吉増剛造。

庄司丈太郎 写真集 〈第五回「写真の会」賞受賞〉

明日また 釜ヶ崎・沖繩

アバ、アチャ イチャラヤ

4-7684-7720-8

菊判 128 頁 3500 円＋税

釜ヶ崎、沖繩、そして自分にこだわりながら変幻自在にシャッターを切り続けて 20 年。そこで出会った人々の喜怒哀楽が自分の仲間の表情として写し出されている。この写真集をみる時、人の生の豊かさを発見するだろう。文・金城実／朝倉喬司。

篠木写真真集

子どもは……

[品切れ]

4-7684-8833-1

A 4判変型 84 頁 2000 円＋税

東京都あきる野市にある「ころりん村幼児園」の日常を写真で紹介する。子どもが笑う、子どもが泣く、子どもが怒る、子どもが駆ける、子どもが泳ぐ、子どもが踊る、子どもが唄う、子どもが食べる、子どもが眠る、子どもが夢見る。そんな表情がイキイキと蘇る。 ♠

篠木 眞 写真・文 / 里中哲彦 英訳

〔新訂〕子どもは……〔Kids Are……〕

篠木 眞 写真集

978-4-7684-7658-1

A 4判変型 84 頁 2000 円＋税

東京多摩の子ども遊び、泣き、笑い、駆け、寝て、泳ぎ、怒り、踊り、唄い、食べ、夢見る、そんな表情がイキイキと蘇る写真集。子どもの日常にこれほど密着した写真があったらどうか。世界中で評判になった写真に英文を付けた。 ♣

篠木 眞 写真集

日々わくわく

978-4-7684-7647-5

A 4 変型 96 頁 2200 円＋税

子供の表情を写真で切り取ることはとても難しい。篠木は幼稚園・保育園に何年も通い、水を掛け合い・泥んこ玉を作り、子供と遊ぶ。そして傍に置いてあるカメラに一瞬飛びつき、撮る。デジカメではなく、銀塩で。子供の表情が未来に輝く。

吉村 正 写真集

幸せな、お産

[品切れ]

978-4-7684-7671-0

B 4判 56 頁 2500 円＋税

いいお産が世界を変える！ 愛知県岡崎市の産院、吉村医院。医療介入のない産院を目指し、畳の上に布団を敷いて出産させる。出産に夫も立ち会える。出産直後の子ども、産婦、夫の幸せに満ちた表情が観る人に安らぎをあたえる写真 42 点。 ♠

伊藤龍也 写真集

古教会への誘い

978-4-7684-7674-1

A 4 判 194 頁 2300 円＋税

関東甲信地区 26 古教会のオールカラー写真集。「信仰の共同体」を表す「教会」。明治期のキリスト教再伝道から全国に様々な教会が建てられ、街と暮らしに溶け込んできている。都市改造が進む中、古き愛すべき教会の全容を写真で残す。

伊藤龍也 写真・文

妖怪の棲む杜 国立市 一橋大学

978-4-7684-7652-9

A 5 判 96 頁 1300 円＋税

東京都国立市にある一橋大学。構内は武蔵野の面影を色濃く残し、伊東忠太が設計した建物には 100 以上の妖怪が潜んでいる。これらの建物群と国立の町は一体となって四季折々を彩っている。大学・町・妖怪が融合したオールカラー写真集。 ♠

貝原 浩 鉛筆画集

FAR WEST

4-7684-7681-3

B 5 判 48 頁 2200 円＋税

貝原画伯が、この 10 年間でコツコツ描いた A 半裁の鉛筆画 20 点。ヨーロッパの村・町・ひとの生活の奥に秘め喜びと苦悩を HB の鉛筆一本で描いた。鉛筆の芯から奔流するのは、被写体の涙か画伯の血液なのか。極西の生活がいま蘇る。

咲き織順子 著

咲き織順子の世界

古布の甦りと想いの織り

4-7684-7683-X

B 5 判 64 頁 3000 円＋税

昔から伝わる「裂き織」を現代の暮らしの中に咲かせた「咲き織作品集」。ちゃんちゃんこ、コート、タペストリーと様々な作品 120 点余を、カラー写真で紹介。簡単な卓上製織り機を使って、命を終えた古布たちが生き生きと甦った織りの本。

多磨全生園創立 90 周年記念事業実行委員会 編

全生園の森〈創立 90 周年記念写真集〉

人と光と風と

[品切れ]

4-7684-7688-0

B 5 判 112 頁 4000 円＋税

国立療養所多磨全生園。ハンセン病の隔離施設として開園して 99 年 9 月で創立 90 年を迎える。戦前・戦後・現代の園内の変遷を写真で追う。「らい予防法」が廃止になった現代の様子と、緑の大空間を未来に有効活用の願いも込めて刊行された。

本橋成一 写真集

サーカスが来る日

4-7684-8870-6 B 4 判変型 96 頁 2400 円＋税

88年のオリンピックをひかえた韓国は驚くべき変貌をとげた。しかし、小奇麗に合理的に無駄を削ぎ落せなかったサーカスはソウル市内からも追いついてしまった。だが、その分サーカスは大切な居心地のよさを残すことができたのだった。

宮本成美・水俣写真集

**まだ名付けられていないものへ
または、すでに忘れられた名前のために**

978-4-7684-7665-9 A 4 判 164 頁 2800 円＋税

公式認定から半世紀以上、いまだに病に苦しむ人が多い水俣病。1970年5月から、1996年8月までの26年間にわたる患者との関わりの中で撮影された中から選んだ158枚の写真。水俣の自然、患者支援者の人々の姿が光る写真集だ。 ♠

荒川健一 著

腥態（せいたい）

978-4-7684-7661-1 B 4 判変型 108 頁 3500 円＋税

15年余の時間に堆積した「眼の記憶」。博物館や植物園、動物園や廃屋を彷徨いながら撮り貯められた100のモノクロームの情景からは、いわば「視覚のつぶやき」とでも呼べそうな幽かな声が聞こえてくる。ものの言わぬ被写体との100の交感。

芸能・音楽・サブカルチャー

北村公一 著

50年代ジャズ青春譜〈新装版〉

4-7684-7696-1 四六判 208頁 1800円＋税

1950年代はジャズの青春期だった。ジャズを愛して30年、台頭するモダン・ジャズの躍動する精神と、著者のしなやかな青春の感性が奏でる絶妙の二重奏。本書はジャズを通して人間の生きかたを語る、新しいジャズ批評の誕生である。 ♠

北村公一 著

ジャズ・ヴォーカル感傷旅行

〔品切れ〕

4-7684-7691-0 四六判 216頁 1800円＋税

ドリス・ディ、ベギー・リー、ヘレン・メルル、ビリー・ホリディ、ルイ・アームストロング、サミー・ディビス Jr. らの'50年代から歌い継がれ、人々の心に刻まれたジャズ・ヴォーカルの想い出と著者の青春史を重ね合わせた熟年男の感傷旅行。 ♠

北村公一 著

ジャズ・ヴォーカル哀愁旅行

4-7684-7700-3 四六判 208頁 1800円＋税

ナタリー・コール、カーメン・マクレイ、ジュリー・ロンドン、マット・デニス、チェットベイカー等、ご存じ33歌手・33曲。粋な調べに乗せて語るお洒落な人生恋模様。大好評『ジャズ・ヴォーカル感傷旅行』に続くロマンチック・エッセイ。 ♠

北村公一 著

ジャズ・ヴォーカル抱擁旅行

シナトラ名唱有情

4-7684-7697-X 四六判 208頁 1800円＋税

大好評『感傷旅行』『哀愁旅行』に続く第3弾。今回は大御所シナトラ。50年代初め、まだ不治の病の結核療養中に初めてシナトラに聴き惚れ、人生に希望を見出して完治した著者。彼の歌に夢をみたエピソードの数々に人生の楽しさを知る。 ♠

北村公一 著

ジャズ・ヴォーカル追憶旅行

4-7684-7685-6 四六判 216頁 1800円＋税

『50年代ジャズ青春譜』『感傷旅行』『哀愁旅行』『抱擁旅行』に続く北村公一氏第5弾目のジャズ本。ジャズ・ヴォーカル25曲を取り上げ、夢でもいいから会いたい人とそれらにまつわる女性との出会いをほのぼのと書き上げる名調子の数々。 ♠

下元信行 著

通天閣の歌姫伝説・叶麗子物語

〔品切れ〕

4-7684-6610-9 四六判 256頁 1456円＋税

大阪が生んだスーパースター通天閣の歌姫・叶麗子の虚像と実像。フツウの女の子が盆踊りで指名され歌ったばかりに演歌の道へ。ドサ廻り5年、今や通天閣の歌姫としてオッチャン、オバチャンのアイドル歌手に。その不思議な魅力を抉る。 ♠

山折哲雄 著

美空ひばりと日本人〈増補版〉

〔品切れ〕

4-7684-6805-5 四六判 224頁 1800円＋税

戦後日本が生んだ最大のエンターテイナー、美空ひばり。宗教学者で日本人論にも造詣が深く、そして美空ひばりの大ファンでもある著者がひばりの演歌を日本の文化の中に位置付ける作業を通して、日本人とその文化の有り様をさぐる。

朝倉喬司 著

遊歌遊俠

今年の牡丹はよい牡丹

4-7684-6654-0 四六判 352頁 2800円＋税

一かけ二かけ三かけて…の西南戦争後に全国津々浦々に広まった西郷を慕うわらべ歌から、明治近代とそれに抗する大衆の唸りの関係を歌の中に読みとり、その流れに浪曲、演歌、ヤクザを論じる。この世紀末に贈る反時代的考察の決定版。 ♠

花田一彦 著					非日常空間ラブホテルの歴史と現在を通して、文化としてのエロティシズムを考える。いつ出来、今どうなっているのか。何が問題なのか。内部装置、外観、地元の声、利用者の感想、オーナーのコンセプト等、ホテルと性の「超」文化誌。
ラブホテルの文化誌	[品切れ]				
4-7684-6701-6	四六判 232 頁	2000 円＋税			
ジョナソン・グリーン 編／里中哲彦 訳					世の中の間人間関係をシニカルに捉えた「冷笑家辞典」。引用句の辞典は格言・名言集として、風格をもつものだ。しかし、本書は厚顔で反道徳なもので、偏りのある見解で書かれ、それが、ものごとの核心を明確についているという、好例の本。
名言なんか蹴っとばせ					
4-7684-6803-9	四六判 216 頁	1800 円＋税			
武田庸太郎 著					星、血液、氏名等一見何の関係もない物事を眺めいづれも占いの材料ということに着目すれば、人類最古の文化＝占い、はもっと面白くなる。その危険性と楽しさ、魅力と怖さを、工学博士の著者がユーモラスに明るく描く爆笑の占い博物学。♠
検証・占いの真相					
4-7684-6796-2	四六判 208 頁	1700 円＋税			
八尋茂樹 著					テレビゲームは悪か？ ゲーム悪影響論の大半は、そういった作品を未経験のオトナによって推測で組み立てられてきた。今こそ若者はゲーム学を確立し、大人のゲーマーはゲーム論を構築し、印象論のみのゲーム批判／擁護に決別すべき時だ。♠
テレビゲーム解釈論序説 ／アッサンブラージュ					
4-7684-6907-8	A 5 判 384 頁	3200 円＋税			
竹内オサム・小山昌宏 編著					原作作品がアニメ化される際、どのように作り替えられアニメ的変容が見られるのか。その変容を調べることで、アニメならではの体質や表現が見えてくる。この作業を通して、アニメーションという現代メディアの特質を明らかにする。♠
アニメへの変容	[品切れ]				
原作とアニメとの微妙な関係					
4-7684-6923-X	四六判 248 頁	2200 円＋税			
小山昌宏 著					マンガ文化繁栄の陰にマンガ論争あり。2003 年、文科省から「排除すべき文化」から「芸術」として「認可」されたマンガ。その評価の変遷を論争で見る。マンガ好きには黙殺できない忘れられた論争から現在進行中の論争まで網羅した。♠
戦後「日本マンガ」論争史					
978-4-7684-6962-0	四六判 192 頁	1800 円＋税			
小山昌宏 著					コミュニズムからエコロジーへ。漫画版は重厚な哲学的世界観のもと、人間の未来について苦悩し自然との共存のあり方を掘り下げ、アニメ版は簡略化されている「風の谷のナウシカ」。未来における、自然との共生のテーマの「核心」に迫る。♠
宮崎駿マンガ論					
『風の谷のナウシカ』精読					
978-4-7684-5602-6	四六判 208 頁	1800 円＋税			
小山昌宏・須川亜紀子 編著					メディア芸術として海外戦略も行われる日本の“アニメ”。そのアニメを学術的に研究する道筋をつけるため、映像・音声・歴史・流通・視聴者・ジェンダーなど様々な視点から読み解く方法を指南する。批評と研究、海外アニメを論じた補章を追加。♠
アニメ研究入門 [増補改訂版]					
アニメを究める 9 つのツボ					
978-4-7684-5739-9	四六判 272 頁	2300 円＋税			
小山昌宏・須川亜紀子 編著					最前線で摸索し格闘する研究者たちが著すアニメ研究の現在。産業、技術、消費・利用、心理、歴史、メディアの各視点からの成果を一冊に纏め、学術対象としてのアニメからアニメの研究メゾットを目指した。『アニメ研究入門』の続編。
アニメ研究入門 [応用編]					
アニメを究める 11 のコツ					
978-4-7684-5840-2	四六判 296 頁	2500 円＋税			

上原正三 著

上原正三シナリオ選集

(特製 DVD 付録)

978-4-7684-7667-3 A 5 判 744 頁 5200 円＋税

沖縄出身で常に虐げられた者、弱者の側に身を置き『ウルトラ Q』等特撮の創成期から常に第一線で活躍する斯界の巨人・上原正三。1000 本以上の作品から 50 本を選び収録。付録 DVD は 40 分のインタビューと未発表作品生原稿などを多数収録。

西田敬一 著

果てしなきサーカスの旅

国際サーカス村物語

978-4-7684-6999-6 四六判 224 頁 1900 円＋税

三十数年前にサーカスに魅せられ入団し、団長のカバン持ちから支配人へ。そして退団。海外のムーバーサーカスが主流の現在、群馬県旧東村にサーカス学校、資料館を創立し、5 週間のウクライナツアー等に至るまでの喜怒哀楽を綴る。♠

砂古口早苗 著

ブギの女王・笠置シヅ子

心ズキズキワクワクあしんど

978-4-7684-5640-8 四六判 272 頁 2000 円＋税

「東京ブギウギ」で占領下の日本を照らした歌姫・笠置シヅ子の、底抜けに明るい笑顔に隠された波乱の人生を活写する。服部良一との師弟関係の真実、美空ひばり母子との確執の真相等、ブギの女王の謎に迫る初の評伝。小沢昭一氏推薦 ♠

砂古口早苗 著

起て、飢えたる者よ〈インターナショナル〉を 訳詞した怪優・佐々木孝丸

978-4-7684-5792-4 四六判 248 頁 2200 円＋税

大正から昭和の時代、文芸・新劇・プロレタリア演劇の草分けとして活躍した名脇役は、実は国際革命歌「インターナショナル」を訳詞し、スタンダードの『赤と黒』を翻訳した異才の俳優だった。映画『人間の條件』等で共演の仲代達矢氏推薦。

橋本正樹 著

あっぱれ！ 旅役者列伝

978-4-7684-7663-5 A 5 判 232 頁 2200 円＋税

大衆演劇は映画、テレビの影響で衰退していたが、80 年代にスター・梅沢富美男の登場で活況を呈した。紅白に出演した 16 歳の早乙女太一という若いスターの誕生で女高生にまでファンが拡大。この大衆演劇、17 劇団の座長の聞き書き集。♠

橋本正樹 著

晴れ姿！ 旅役者街道

978-4-7684-7657-4 A 5 判 264 頁 2300 円＋税

大衆演劇は今「低料金で気楽に」から「最高の舞台で最高の芝居」を志向し始めている。次代を担う人気座長 19 人の生き様は、芝居以上の人生模様だ。大衆演劇の基礎知識・各地の劇場案内も付け、ファンならずとも引き込まれ観劇したくなる。♠

橋本正樹 著

風雪！ 旅役者水滸伝

978-4-7684-7650-5 A 5 判変型 264 頁 2300 円＋税

小さな常設劇場や地方のヘルスセンターで、熱狂的なファンに支えられてきた大衆演劇が、注目を浴びるようになってすでに久しい。座長達を紹介してきた旅役者本の第 3 弾。今回は話題の二世座長達 16 人と、今は亡き第 1 世代名優 3 人を紹介。

飯田昭夫 著

フルトヴェングラーの風景

孤高の大指揮者へのオマージュ

978-4-7684-7660-4 四六判 384 頁 2800 円＋税

20 世紀クラシック音楽界最大の巨匠・フルトヴェングラー。彼の生涯・業績を辿り、不朽の名演を生んだ孤高の魂の軌跡を類稀な名文で鮮かに描く。心震わす名演、同時代の音楽家との交流を詳述し、信念と矜持を貫いた芸術家の姿を活写する。♠

飯田昭夫 著

フルトヴェングラーの地平

行き交いの断片に垣間見るドラマを追って

978-4-7684-7653-6 四六判 328 頁 2700 円＋税

同時代人たちとの波乱に満ちた交流の中で名指揮者は何を希求したのか？ カラヤン、カイルベルト、トスカニーニ、トーマス・マン、チェリビダッケ、R・シュトラウス、ワルター等、理解と対立の彼岸に垣間見える芸術への情熱を活写する。♠♠

ラリー・タイ 著／久美 薫 訳

スーパーマン

真実と正義、そして星条旗と共に生きた 75 年

978-4-7684-5711-5

四六判 544 頁 4000 円＋税

なぜ、スーパーマンは 75 年もの長い間、愛され続けたか。大恐慌から第二次大戦、9・11 にいたるまで、アメリカ社会の時代背景と共にスーパーマンがどのような変遷を辿ったか、作者、出版社、脚本家、俳優など関係者の話も交え実体を明らかにする。 ♠

西田淑子 著

残念無念な男たちコレクション

978-4-7684-5774-0

四六判 176 頁 1000 円＋税

あまりにも自分を知らなすぎる男たち。残念無念な生態を描いたひとこま漫画集。「自尊心が強く、いつも威張っていたく、女は男の下だと思っている男はもう化石」と思ったら大間違い。いますよ、こんな男たちが、ほら、そこにもここにも。

文芸・エッセイ・文芸評論

金子光晴下駄ばき対談〈新装版〉

4-7684-6664-8 四六判 292 頁 1500 円＋税

堀木正路 著

金子光晴とすごした時間

4-7684-6869-1 四六判 264 頁 2200 円＋税

竹川弘太郎 著

狂骨の詩人 金子光晴

978-4-7684-5612-5 四六判 244 頁 1900 円＋税

戯画・貝原 浩 + 雑文・池田浩士

仮説縁起絵巻

4-7684-5540-9 A 5 判 120 頁 1300 円＋税

いもへゑ 著

先祖がサルでもいいけどイモでもいい

4-7684-5566-2 A 5 判 240 頁 2300 円＋税

斎藤文男 著

冷めた紅茶

「昭和」への別れ歌

4-7684-5569-7 四六判 232 頁 1550 円＋税

斎藤文男 著

ちびた鉛筆

同時代への相聞歌

4-7684-6603-6 四六判 208 頁 1680 円＋税

佐伯隆敏 著

時は過ぎゆく

ある家族の慟哭

4-7684-6600-1 四六判 240 頁 1515 円＋税

金子光晴唯一の対談集。詩、放浪、青春論、女性論、人生論等により彼の人間性が浮び上がる。対談者・野坂昭如、寺山修司、田中小実昌、稲垣足穂、吉行淳之介、桜井滋人、岸恵子、田辺聖子、富岡多恵子、田村隆一、深沢七郎等 17 人。

晩年の光晴に最期まで師事し、自称「野暮用の弟子」が至近距離から語る思い出の金子光晴。妻・森三千代のこと、息子・森乾のこと、愛人問題、食、酒、絵、旅、弟子、友など、知られざるエピソードから、いま新たな光晴像が見えてくる。

没後 35 年、なお現代の詩界にそびえ立つ巨人・金子光晴。二歳にして貰われっ子、幼少期の性体験、義母との相姦、妻森千代との凄惨な確執、多くの女体遍歴などの足跡を辿る中で、光晴の狂気の生涯と抵抗とエロスの名作の繋がりを解く。♠

イラスト界の寵児・貝原浩が敢然と挑む細密・濃密モノクロ絵画に、毒文学者池田浩士が果敢・浪漫的筆致をふるう希代の絵本。現実の事件や人物を基に、人の世の天国と地獄をもののみごとに切り結ぶ大絵巻。東のひろし、西のひろしの大競演。

芸大卒業後、転職につく転職を重ね、何となく山に住みたいと考え、菅平に山小屋を建て移り住む。生活は陶作を主な生業とし、畑を耕し、俳句を作り、酒を飲み、時には世の中に腹を立て、夫婦ゲンカをし、気取りなく率直に生き様が語られる。

「昭和」一ケタ世代の憲法学者、九大教授の著者が七年半にわたり新聞連載したエッセー集。男の自立や映画、広告の話、四季折々の話題から戦争責任、死刑廃止等、硬軟自在のテーマをユーモアとアイロニーあふれるタッチで軽妙につづる。♠

『冷めた紅茶』に続く第二目エッセイ集。四季の移ろい、街の流行、廃り、人情細やかな人々との出会いへの確かな観察眼、永田町での政治風景へのシビアな批評と激動の世界情勢へのグローバルな視点。硬軟自在に描く同時代批評。♠♣

脳内出血で妻は意識不明 2 年半、生きてくれの祈りも、時間の経過に伴い次第に憎しみに変わる人の業。ひとり息子も、高校 2 年で自ら命を断った。『罔々しい奴』の主人公も今や老熟し、経済的豊かさの裏の家庭崩壊。人間の幸・不幸とは何か。

佐伯隆敏 作／小林まさみ 絵

童話・ボンゴのミラクル作戦

4-7684-6615-X

A 5 判 120 頁 1000 円＋税

人間と動物が平和に暮らす山に開発という名の自然破壊の波が押し寄せてきた。さあ大変、山の狸ボンゴと動物たちが考えた奇想天外なミラクル作戦。素直な心の子どもたちと山の動物の心温まる物語り。総ルビ付き、斉藤由貴さん推薦。 ♠♣

武田秀夫 著

セイレーンの誘惑

漱石と賢治

4-7684-6651-6

四六判 264 頁 2300 円＋税

賢治の心の闇に差す漱石の翳。賢治が受けたであろう漱石の影響を初めて明らかにした。筆者自身の心象風景と、賢治、漱石両者の創作過程の心象を同一化し、両者の作品を論じた。読みごたえある新形式の文芸エッセー。両ファン必読の書。 ♠

武田秀夫 著

いつのまにか朝日が

癌という経験

4-7684-6684-2

四六判 240 頁 2000 円＋税

健康だった男性を不意に襲った癌の宣告。病院選びや身辺整理に忙殺される日々の中で、初めて体験するさまざまな出来事に直面した著者が手にしたのはまったく予期しなかった不思議な充足感であった。生が煮詰まる瞬間のきらめきを伝える。

武田秀夫 著

楢円幻想

初期ドストエフスキイ・漱石と賢治・初期古井由吉について

978-4-7684-5702-3

四六判 496 頁 3800 円＋税

ドストエフスキイ耽読の高校時代、そして漱石、賢治、三十代で古井由吉と出会った著者。批評でも評論でもなく“私的なエッセイ”と自ら語る本書だが、独特の感性と表現によって、四人の作家を通したひとりの人間の姿を色鮮やかに映す。 ♠

木村聖哉 著

竹中労・無頼の哀しみ

4-7684-6762-8

四六判 208 頁 2000 円＋税

過激で、アナキーで、大胆不敵で、細心で、大風呂敷な点もあった竹中労。死後 10 年、ファッションとしてのアナキズムも消えた世紀末、若者に竹中労が静かなブームになっている。著者との 25 年の付き合いの中で、竹中労を懐かしむ。

村田正夫・野口正義 編

戦争とは何か

[品切れ]

反戦詩集

4-7684-5497-6

B 6 判 322 頁 600 円＋税

ふたたび戦争をくりかえさせてはならないという願いをこめて、現代詩の中から、“戦争とは何か”を深く考えさせてくれる作品をアンソロジーにまとめる。与謝野晶子、萩原朔太郎、金子光晴、中野重治、井上靖、野間宏、谷川俊太郎等 130 人。

村田正夫 著

戦争・詩・批評

[品切れ]

4-7684-5498-4

B 6 判 210 頁 900 円＋税

週刊読売評・高村光太郎をはじめとする“戦争協力”の詩を詩人を取り上げる村田正夫の姿勢は、〈個々の戦争責任を問うつもりはない。ただ、ふたたびこのような時代がきたとき、詩人は如何に生きるべきかという課題〉だという……。

村田正夫 著

詩の社会性

[品切れ]

4-7684-7701-1

B 6 判 226 頁 1600 円＋税

本書は 1955 年に結成した「潮流詩派」の会への呼びかけ文〈詩は文学であり芸術であって、他のものの手段とはならない。そして高度の批評精神を持つものとする〉との視点に立ち、詩の社会性、批評性を一貫して追求した著者の詩論。 ♠

池田浩士 著

教養小説の崩壊

[品切れ]

4-7684-5557-3

四六判 264 頁 1600 円＋税

『マイスター』『ビビン・クリストフ』を初めドストエフスキイ、カフカ、島木健作、高橋和巳の諸作品に至るまで、個と社会の矛盾と断絶の中で生み出された文学を論じつつ、深化するファシズム状況の現在における〈社会と表現〉を問う。 ♠♣

池田浩士 著

大衆小説の世界と反世界 [品切れ]

4-7684-5522-0 四六判 288 頁 2000 円＋税

白井喬二や中里介山から『新青年』の諸作家、押川春浪・海野十三にいたる作家と作品をとりあげ、大衆小説が描き出す世界と、読者がそこに見出す反世界との緊張にみちた関係を、日本の近・現代史の流れの中で捉え返す、長編書下ろし評論。♠

中島 誠 著

時代小説の時代

4-7684-5597-2 四六判 232 頁 1515 円＋税

太平記的下剋上の時代と江戸の情景に憧れる現代人が貪り読む時代小説の世界を、筆者積年の愛を込めて熱く語る。隆慶一郎・藤沢周平・池波正太郎・杉本苑子・山田風太郎・笹沢左保を中心に、時代小説の楽しさ、面白さを解き明かす。

中島 誠 著

司馬遼太郎と丸山真男

4-7684-6726-1 四六判 240 頁 2000 円＋税

共に 96 年に亡くなり、終生国家について考えた二人の思想、歴史・民族・国家観を分析比較。明治という国家、幕末・維新の志士達の見方、江戸後期の学問について、戦後日本について、日本史の流れについて等。相違点の謎解きが面白い。♠

中島 誠 著

宮部みゆきが読まれる理由^{わけ}

4-7684-6840-3 四六判 224 頁 1800 円＋税

宮部みゆきは何故これほど読まれるのか。宮部の長編 7 編と、いくつかの短編を分析し、その秘密に迫る。子ども・ペット・家族など、彼女の小説に登場する背景の役割と、現代人の孤独な生き様と人情の機微。宮部の小説が百倍面白くなる。♠

中島 誠 著 (尾崎秀樹記念 大衆文学研究賞受賞)

松本清張の時代小説

4-7684-6859-4 四六判 218 頁 1800 円＋税

清張は生涯で約千篇の作品を残した。その中から、時代・短編小説を選び、平成不況下に生きる人々の悲哀は、正に戦国・江戸に生きた人々の生活と同じ哀愁に満ち、共振があることをえがく。そして、清張がこれらの作品を執筆した動機にまで迫る。

里中哲彦 著

「鬼平犯科帳」の真髄

4-7684-6740-7 四六判 272 頁 1800 円＋税

原作者が亡くなくても広く読まれている『鬼平犯科帳』。原作と中村吉右衛門が鬼平のテレビ版の役者・役柄の細部にわたる倦むことのない魅力と共感を熱く語る。全ての作品を精読・緻密な鑑賞をした筆者にして初めて書ける秀逸な鬼平論。♠

清水 正 著

つげ義春を読む〈増補版〉

978-4-7684-7668-0 A 5 判 320 頁 2800 円＋税

つげ漫画の『ねじ式』『峠の犬』『沼』『山椒魚』『チーコ』『やなぎや主人』『無能の人』他 6 本の漫画作品を 1 コマ 1 コマ解説しながら、全体を作品論、作家論にまで高め、つげ義春の全体像に迫る比類なき漫画論。「終章 つげ義春さんとお会いして」を追加。♠

清水 正 著

つげ義春を解く

4-7684-7695-3 A 5 判 328 頁 2800 円＋税

つげ義春ファンの間で話題を呼んだ『つげ義春を読む』の姉妹編。『四つの犯罪』『海辺の叙景』『紅い花』『おばけ煙突』『腹話術師』『やもり』『海へ』『別離』『大場電鍍金工業所』『少年』のコミ絵の解説と作品論。いつもつげ義春は色っぽい。♠

清水 正 著

阿部定を読む

4-7684-7693-7 四六判 228 頁 2000 円＋税

血文字で書いた「定吉二人キリ」。夢か真か幻か。極私のエロスを演じて生きた阿部定。その赤裸々な人生を第一回から第六回までの裁判の訊問調書を詳細に解説し、愛の極限を再現する。今も大衆の中に華々しく生き続ける阿部定とは？ ♠

森 珪 著 なつかしく思います 阿部定に愛された男	昭和 11 年の「猟奇事件」で死んだ男・吉蔵の実像を追う平成の女性ライター。阿部定と吉蔵の二人の愛欲のかぎり現代女性の日常生活をオーバーラップさせながら時代と男女関係を濃密に描いた渾身の書き下ろし。時代をこえた愛の形を問う。
4-7684-6679-6 四六判 240 頁 1500 円＋税	
吉田和明 著 文学の減び方	かつて文学が輝いていた時代があった。しかし文学は今、それが活字で表現され、小説の形態をとっているから、かろうじてそれが文学だと認知されるにすぎない。〈個〉を屹立したいという願望の不可能性を自覚した時、文学は減びた。文学滅亡の過程を考察する。
4-7684-6828-4 四六判 248 頁 2300 円＋税	
田中啓介 著 東京 千住・深川物語	東京千住・深川の人々の生活に密着した仕事・店を 50 話で紹介。東京下町人情曼陀羅。ここには、グローバリズムに対抗する真の「地力」があり、世界に比して一歩も引かない味・芸・製品・建物など、落ち込む日本人に勇気と力と夢を与える。
4-7684-6925-6 四六判 208 頁 1500 円＋税	
平井 玄 著 ぐにゃり東京 アンダークラスの漂流地図	派遣フリーターとして都内の出版社や印刷所で働きながら目にした 21 世紀の底辺社会、そこに生きる下層民たちの実態を浮き彫りにする。新宿で生まれ育った著者の軽妙な筆致で、経済成長によって生じた「歪み」を都市の記憶とともに描く。♠
978-4-7684-5734-4 四六判 256 頁 2200 円＋税	
後藤安彦 著 短歌でみる日本史群像	額田女王から和宮親子内親王まで、日本史上の主要百人の短歌を解説しながら、歴史上の役割を推理する。古の人は短歌を嗜み、人事・心情・万象に歌を詠んだ。その解釈は歴史の造詣の深さによって全く違う。筆者の博識による奥深い洞察に舌を巻く。♠
4-7684-6843-8 四六判 512 頁 3800 円＋税	
遠丸 立 著 野川物語	東京多摩川の一角、二千年寝そべて空を眺めている野川。川沿いを散歩する無師野氏。二人の間に飛び交う、妄想・幻想・奇想話。戦い・恋・殺傷……、人の動きに超越する自然の摂理。小さな野川は今日も流れる。(野川物語) 他 4 篇収録。♠
4-7684-6908-6 四六判 208 頁 1800 円＋税	
文・鈴木聖奈／絵・遠藤雪代 9月の金魚	18 歳、主人公の少女は来春大学受験を控えている。不安な日常の中にも高校生活がある。友人もいるし、家族もいる。少女は浮遊する心を抱えながらも現実の受験勉強はおろそかに出来ない。この時代の少女の揺れる気持ちをも的確に表現した短篇集。
4-7684-7679-1 A 5 判変型 128 頁 1200 円＋税	
小林康達 著 七花八裂 明治の青年 杉村広太郎伝	現代日本を代表するジャーナリストの前半生を最後の地で育った筆者が足跡を辿る。本名・廣太郎。号・楚人冠。朝日新聞社入社。ロンドン特派員。『アサヒグラフ』『朝日新聞縮刷版』を創刊。文人として独歩、漱石、啄木、四迷らとの交友なども綴る。♠
4-7684-6911-6 四六判 256 頁 2300 円＋税	
小林康達 著 楚人冠 百年先を見据えた名記者 杉村広太郎伝	かつて朝日新聞に名記者がいた。明治期ロシアから欧州を旅し、雪の凶作地東北の救援を訴え、熊楠・二葉亭・漱石・啄木と交わり、軽妙洒脱な随筆やコラムで読者を唸らせ、新聞の信頼確立に生涯を掛けた、名物記者を忘れるのは口惜しい。♠
978-4-7684-5687-3 四六判 400 頁 3200 円＋税	

澤宮 優 著

放浪と 土と 文学と

高木護／松永伍一／谷川雁

4-7684-6913-2

四六判 240 頁 2000 円＋税

詩人たちの昭和史に戦後日本人の可能性を読む。東京の詩壇から離れ、九州の炭鉱町で独自の文学を実現した詩人、谷川雁、松永伍一、高木護らの熱い生き様を描き、戦後、日本人は何を得て失ったのかを浮き彫りにする文芸ドキュメント。♠

砂古口早苗 著

外骨みたいに生きてみたい

反骨にして楽天なり

978-4-7684-6947-7

四六判 280 頁 2200 円＋税

雑誌を作ることににおいては天下無比の鬼才と称され、多くの新聞・雑誌を創刊。度々発禁差し止めの処分を受けながらも、過激にして愛嬌ある反骨のジャーナリスト、宮武外骨の生涯と事績を新資料で追う。『朝日新聞』長期連載記事を大幅加筆。♠

江刺昭子 著

『ミセス』の時代おしゃれと〈教養〉と今井田 勲^{いさお}

978-4-7684-5750-4

四六判 272 頁 2200 円＋税

高度経済成長期まっただなかの 60 年代初めに誕生した婦人誌『ミセス』。斬新なレイアウトや知的な特集で、世の女性たちから絶大な支持を得る。名編集長と謳われ、ファッション界をも牽引した今井田勲の生涯とともに、その実像を活写。♠

古川 敬 著

山頭火の恋

978-4-7684-6992-7

四六判 208 頁 1500 円＋税

行乞流転に身を置き自由律俳句を読み続けた漂泊の俳人種田山頭火。通説では離婚後「女嫌いで、女より酒を愛した」と言われているが、平成十六年熊本近代文学館に寄贈された遺品の中の一通の葉書がその通説を覆した。その葉書の意味は？ ♠

三橋 修 著

作家は何を嗅いできたか

におい、あるいは感性の歴史

978-4-7684-5605-7

四六判 232 頁 1900 円＋税

かつて世界はどんなにおいで満ちていたか？ その手がかりを探り、近代から現代までの文学作品・マンガ・アニメにわたって、ひたすら「におい」にまつわる記述を追いつけた。時代によって変化する感性が、においによって明かされる。♠

沼 正三 著／村田喜代子 跋文

異嗜食的作家論

978-4-7684-5606-4

四六判 328 頁 2600 円＋税

『家畜人ヤプー』で名を馳せ、2008 年末、亡くなった沼氏が天野哲夫名で世に問うた作家論に、村田さんの跋文を新しく付け加えた。マゾヒズムで社会批評をしたと言われる沼氏の作家論は、これまでの書評とは一味も二味も違う作家論だ。♠

小笠原和彦 著

帰ってきた かい人 21 面相

978-4-7684-5628-6

四六判 376 頁 1600 円＋税

経団連会長が誘拐された！この犯罪が泥沼の格差社会を正す最高の解決策!? 甦った「あの男」に率いられ、寄せ集め極貧メンバーが狙うは、某巨大自動車企業の内部留保 3 兆円! 懐かしのかい人 21 面相の面目躍如、「今こそ」の悪漢小説。♠

河内一郎 著

漱石のユートピア

978-4-7684-5654-5

四六判 200 頁 1600 円＋税

漱石もビックリ! 調べ尽くされた「漱石研究」に残された新たな発見があった。漱石の食卓、子孫、訪れた場所、出会った人々を『漱石、ジャムを舐める』の著者が徹底取材し「知られざる漱石」を大発掘。これぞ「こぼれ話」の金字塔! ♠

多胡吉郎 著

漱石とホームズのロンドン

文豪と名探偵 百年の物語

978-4-7684-5786-3

四六判 240 頁 2000 円＋税

没後 100 年目を迎え、新たなブームを迎えている漱石文学の魅力とは？ ロンドンに長期居住した元 NHK プロデューサーが現地取材を経て漱石の謎に迫る。同時期に大人気だった「ホームズ」ブームと比較し、意外な共通点を浮き彫りにする。

中島すい子 著

私の恋した雲蝶さま

いま蘇る越後のミケランジェロ

978-4-7684-5727-6

四六判 176 頁 1700 円＋税

石川流の幕府御用木彫師雲蝶は、天保の改革で仕事が減り、請われて江戸から越後へ。木彫・石彫・漆喰・障子など、千点近くの作品を残し「越後のミケランジェロ」（中島誠之助談）と呼ばれる。2014 年生誕二百年を迎えた。生涯と作品を紹介。

矢羽々 崇 著

「歓喜に寄せて」の物語

[品切れ]

シラーとベートーヴェンの『第九』

978-4-7684-6944-6

四六判 392 頁 3000 円＋税

「ベートーヴェンの第九」として誰もが知っている名曲「歓喜に寄せて」。シラーの詩と共に大正時代から日本でもおなじみのこの名曲には秘められた歴史があった。ドイツ文学史・近代史の流れの中で名曲の歴史に新たな光を当てる。 ♠

矢羽々 崇 著

第九 祝祭と追悼のドイツ 20 世紀史

978-4-7684-5847-1

四六判 272 頁 2300 円＋税

クラシックの名曲、ベートーヴェンの「第九」と現代ドイツ精神史の関係を解明する。友愛と平和を高らかに謳う「第九」がナチス・大戦・国家分断等の時代を経て不死鳥のように蘇り、人びとの希望に寄り添い続ける名曲の生命力に迫る！

ハンス・トラクスラー 著／矢羽々崇＋たかおまゆみ 共訳

本当にあった？ グリム童話「お菓子の家」発掘

メルヒェン考古学「ヘンゼルとグレーテルの真相」

978-4-7684-5674-3

四六判 232 頁 1900 円＋税

「ヘンゼルとグレーテル」が、実はおとぎ話ではなく実際にあった出来事だったことが学術的に判明した。おとぎ話に隠された史実とは？ ドイツを席卷した「メルヒェン考古学」の金字塔！——という趣向を凝らしたパロディ決定版の翻訳書。 ♠

アトランさやか 著

ジョルジュ・サンド 愛の食卓

19 世紀ロマン派作家の軌跡

978-4-7684-5845-7

A 5 判変 192 頁 2000 円＋税

ショパンの恋人は、食を愛する男装作家でした。現代のジェンダー、環境問題などに気づきを与えるサンドの言葉や思想を「食」という切り口で紹介する新しい文学評伝。サンド作品の食風景を楽しめる現代風レシピも収録。夏木マリさん推薦！

梅田十三 著

近所鉄道

978-4-7684-5753-5

四六判 272 頁 1800 円＋税

当社刊『戦艦ボチヨムキンの生涯』の作者が、筆名と作風をがらりと変え、関東一円に散らばる有名無名の鉄道路線に乗り回りながら、眺め、思い出し、考え、そして綴る鉄道紀行作品。車内風景を描く著者の一人語りが臨場感を高める。

古川佳子 著 （跋）田中伸尚

母の憶い、大待宵草

よき人々との出会い

978-4-7684-7970-4

四六判 256 頁 2600 円＋税

息子二人の戦死への悲憤を生涯抱き続けた母の憶いに導かれ、箕面忠魂碑訴訟の原告となった著者が知り合った松下竜一、神坂哲・玲子夫妻、伊藤ルイ、竹内浩三などのよき人々とともに過ごした時をつづった、涙と感動の交流記。 白澤社刊

小二田誠二 解題・解説／広坂朋信 注・大意

江戸怪談を読む 死霊解脱物語聞書

978-4-7684-7941-4

四六判 176 頁 1700 円＋税

近世初期、鬼怒川沿いの小さな村で起きた死霊憑依事件、「累ヶ淵」の名で知られる騒動の真相とは？ 江戸時代に最も有名だった怪談実録の原文に注・現代語訳あらずじと解説を付して、当時の雰囲気とともに怪談を楽しむ。 白澤社刊

横山泰子 序／広坂朋信 訳

江戸怪談を読む 実録四谷怪談

現代語訳『四ッ谷雑談集』

978-4-7684-7950-6

四六判 208 頁 2200 円＋税

お岩様の亡霊で知られる「四谷怪談」には、源流となった江戸時代の実録小説があった。本書は現代語による初的全訳、詳細な注付き。都市伝説に翻弄された武士と町人たちの生々しい人間ドラマがよみがえる。 白澤社刊

横山泰子・飯倉義之・今井秀和 ほか 著

江戸怪談を読む 皿屋敷

幽霊お菊と皿と井戸

978-4-7684-7954-4 四六判 208 頁 2000 円＋税

江戸三大怪談の一つ「皿屋敷怪談」。本書は、番町皿屋敷のスタンダード『皿屋敷辨疑録』に現代語訳を付けて抄録、また新発見の『播州皿屋敷細記』も紹介。さらに国文学、民俗学の専門家が伝承を読み解き、その謎と魅力に迫る。白澤社刊♠

横山泰子・早川由美・門脇大ほか 著

江戸怪談を読む 猫の怪

978-4-7684-7966-7 四六判 224 頁 2000 円＋税

鍋島化け猫伝説の原型『肥前佐賀二尾実記』、美女を救う猫の話「三浦遊女薄雲が伝」の原文と現代語訳を収録。そのほか江戸の随筆、民間伝承、歌舞伎などから猫にまつわる怪談を選びすぐって紹介。江戸怪談猫づくしの巻。 白澤社刊

横山泰子・今井秀和・斎藤喬 ほか 著

江戸怪談を読む 牡丹灯籠

978-4-7684-7972-8 四六判 208 頁 2000 円＋税

カランコロンカランコロン～牡丹灯籠に導かれて現われる美しい死霊お露。美男との夜毎の逢引き…。物語の起源である中国の原話「牡丹灯記」から、円朝の名作落語『怪談牡丹燈籠』まで、牡丹灯籠にまつわる特徴的な物語を紹介。 白澤社刊

篠原進＝監修／岡島由佳＝翻刻・注・現代語訳

新選百物語

吉文字屋怪談本 翻刻・現代語訳

978-4-7684-7974-2 四六判 208 頁 2000 円＋税

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）も参照したバラエティに富んだ江戸時代の百物語怪談集。その本文の翻刻に、語注・現代語訳・解説を加え、初めて本格的に紹介。これまであまり知られていなかった怪談本がここに甦る。 白澤社刊

スポーツ

下元信行 著
なみしろう
浪商物語

[品切れ]

4-7684-6685-0 四六判 224 頁 2000 円＋税

香川、牛島、住友、高田、尾崎、張本、坂崎、山本八…とプロ野球界に名選手を輩出し、高校野球界に名を轟かせたヤンチャな浪商野球部。その名が甲子園から絶えて久しい。そのOBたる著者が古豪・浪商復活にかける渾身のドキュメンタリー。

堀 治喜 著
ダメージ
復活に賭けたプロ野球トレーナーの闘い

4-7684-6821-7 四六判 248 頁 2000 円＋税

白球への夢が生還を可能にした。プロ野球選手の思いがけない病気や一瞬のケガ。選手生命を断たれる者、再起して記録を残す者。選手と共にダメージの克服に励むトレーナー。表舞台に上がることのないトレーナーと選手の復活の物語。

岡村正史 編著
日本プロレス学宣言

4-7684-5592-1 四六判 216 頁 1300 円＋税

現在、プロレスは力道山以来のブームに沸いている。スポーツかショーか、真剣勝負か八百長かと話題のつきないプロレスではあるが、朝毎読の三大紙のスポーツ欄には決して掲載されない不思議なプロレスを「学」にまで高める宣言の書。

高部雨市 著
異端の笑国
小人プロレスの世界

[品切れ]

4-7684-5581-6 四六判 224 頁 1800 円＋税

ブリティ・アトム、リトル・フランキー、角掛仁、コブッチャー、ミスター・ボーン、天草海坊主等々、絶妙の演技で我々に豊かな笑いを提供してくれた小人プロレスラーたち。今、その笑いが消えようとしている。彼らの生活や考えに肉迫する。

高部雨市 著
笑撃！これが小人プロレスだ
(特製 DVD 付録)

978-4-7684-6990-3 四六判 368 頁 2600 円＋税

80 年代以降、女子プロレスの興行とタイアップして、ブリティ・アトム、リトル・フランキー、角掛仁、天草海坊主など、絶妙な演技で豊かな笑いを提供したが、今は消え去った小人プロレス。彼らの全盛期の活躍とその後の人生を徹底取材。

高部雨市 著
走る生活

4-7684-6704-0 四六判 232 頁 2000 円＋税

人はなぜ走るのか。本来、人は生活の必要性に応じ本能的に走っていた。しかし現在は五輪をはじめスポーツとして企業のイベント、宣伝に利用され市民マラソンも例外ではない。そこには競争原理が貫かれ、現代社会の人間関係の縮図がある。♠

高部雨市 著
クレージー・ランニング
日本人ランナーは何を背負ってきたのか

978-4-7684-5812-9 四六判 232 頁 2000 円＋税

円谷幸吉、君原健二、中山竹通、そして豪州の伝説のコーチ、セラティ等、往年の名選手、名コーチ、スポーツ中継のテレビマンに長期取材し、それぞれの証言から〈人はなぜ走るのか?〉という永遠の問いを捉え直すスポーツドキュメンタリー。

日本相撲協会 監修／金指基 原著
相撲大事典（第四版）

978-4-7684-7054-1 A5判 美装函入 520 頁 5500 円＋税

公益財団法人日本相撲協会が全項目を検討した日本初の相撲事典の改訂第4版。項目数 3700 強。写真 500 余点。相撲に関するあらゆる項目を網羅した本格的相撲事典はこの本だけである。相撲ファンだけでなく、全スポーツ関係者の必携書。♠♣

山木秀男 著

呼出秀男の相撲ばなし

978-4-7684-5780-1 四六判変型 160 頁 1200 円＋税

「呼出」「行司」「床山」など裏方さんの仕事から、力士や親方、部屋や取組の話まで、伝統や歴史もふまえて幅広く語る。呼出のトップまで長年務めて見聞きした悲喜こごももの話もあり、観戦がより楽しくなる相撲の深い味わい方がわかる。♣

山木秀男 著／クライド・ニュートン 訳

Discover Sumo

Stories from Yobidashi Hideo

978-4-7684-5798-6 四六判変型 184 頁 1500 円＋税

元立呼出の秀男さんが「呼出」「行司」「床山」など裏方さんの仕事から、力士や親方、部屋や取組の話まで、伝統や歴史もふまえて幅広く語った『呼出秀男の相撲ばなし』の英語版。観戦がより楽しくなる相撲の味わい方がわかる。巻末に用語解説 90 項目。

坂本俊夫 著

大相撲の道具ばなし

978-4-7684-5791-7 四六判変型 160 頁 1200 円＋税

大相撲興行に欠かせない“道具”に注目！「廻し」「軍配」はもとより「明け荷」「相撲膏」など知られざるものにも焦点をあて、歴史的ないわれから現在の使われ方まで縦横無尽に語る。道具にまつわるエピソードを知れば“相撲愛”が増す。♣

横野レイコ 著

相撲茶屋のおかみさん

978-4-7684-5811-2 四六判変 160 頁 1200 円＋税

江戸風情あふれる“相撲茶屋”は、裁着袴姿の出方さんによる案内や飲食の注文対応、独自のお土産など多様なサービスがあり、ひとつひとつの仕事がきめ細かい。縁のある関取との逸話や、おかみさんの日々の奮闘ぶりも映し出す。似顔絵入り。♣

花筏 健 著

相撲甚句物語

[品切れ]

ルーツを求めて

4-7684-6856-X 四六判 200 頁 2000 円＋税

青森から鹿児島まで全国各地に伝承されている相撲甚句踊りを踏査し、これをもとに現在歌われている「相撲甚句」の起源と今日に至った経緯をまとめた、甚句の全国調査。あの華やかで、もの悲しく、少し猥雑な御当地ソングの伝承・起源の面白読本。♠

澤宮 優 著

打撃投手

4-7684-6852-7 四六判 264 頁 2000 円＋税

誇り高いプロの投手の一球にこんなにも熱い生き様がこもっていたのだ。けして表舞台に立つことのない裏方、打撃投手だけが知っている寡黙な男たちの必死の挑戦を探り、そこに秘められたもう一つのプロの魂を語る。日経・毎日書評絶賛。♠

澤宮 優 著

炭鉱町に咲いた原貢野球

三池工業高校・甲子園優勝までの軌跡

4-7684-6878-0 四六判 304 頁 2000 円＋税

1965 年、夏の甲子園大会で福岡県代表の三池工業高校が初出場・初優勝した。炭鉱閉山前の激しい労働争議の中で、町を甦らせた高校球児たちのひたむきな生き方とその後の人生を追った感動のドキュメンタリー。原辰徳氏絶賛推薦。

澤宮 優 著

プロ野球・燃烧の瞬間

宮田征典・大友工・藤尾茂

4-7684-6927-2 四六判 296 頁 2000 円＋税

日本が貧しかった戦後に人びとの夢と憧れを集めたプロ野球。巨人で活躍した名選手たちにインタビューし、自らの生きざまを込めた熱いプレーから人間性に迫る感動のスポーツノンフィクション。宮田征典、大友工、藤尾茂らの証言を収録。♠

澤宮 優 著

後楽園球場のサムライたち

沢村栄治から城之内邦雄まで

4-7684-6928-0 四六判 280 頁 2000 円＋税

戦前の伝説の大選手から V9 時代の名選手までを貴重なインタビュー証言をもとに描くスポーツノンフィクション。勝利のため己れを犠牲にまでして栄光をめざした男たちの熱い魂が蘇る。沢村栄治から千葉茂・城之内邦雄まで網羅した。♠

齊藤振一郎 著

全国野球場巡り

877 カ所訪問観戦記

978-4-7684-5800-6

A 5判 640 頁 4600 円＋税

全国の野球場、877 カ所を訪問し、プロ野球から中学生軟式野球まで観戦、そのスコアを書き留めた。球場の写真・所在地・訪問年月日・球場の規格とクラス・特徴・訪問日試合のスコア・最寄り駅や道順・感想などを綴る。 **春風亭昇平氏絶賛**

大月隆寛 著

うまやもん

変わりゆくニッポン競馬の現場

4-7684-6880-2

四六判 328 頁 2500 円＋税

うまやもんとは騎手をノリヤク、調教師をテキ、装蹄師をテツヤと呼び合う競馬関係者のことをいう。近年その競馬界が構造改革で揺れている。ハルウラに代表される地方競馬のうまやもんのフィールドワークは異色作。著者撮影の迫力の写真 107 点。 ♠

井口民樹 著

瀬戸際の勝負師

騎手たちはそのときをどう生きたか

4-7684-8883-8

四六判 190 頁 1600 円＋税

勝負の世界に生きる者にとって栄光と挫折はとなり合わせにある。けがや不調で馬に乗れないという危機に立ったとき、騎手たちは勝負師としてどう道を開いたか？ リストラと失業の世に問う勝負師たちの不屈の人生模様が勇氣と感動を呼ぶ。 **VIENT 刊**

梅田明宏 著

スポーツ中継

知られざるテレビマンたちの矜持

978-4-7684-6970-5

四六判 292 頁 2000 円＋税

スポーツ中継番組制作の裏話を草創期から活躍したディレクター、プロデューサーたちに取材。当時の苦労や想いを綴ったスポーツ番組史。日本テレビに的を絞り、プロ野球・サッカー、箱根駅伝、世界陸上の中継の舞台裏の人間ドラマを活写する。 ♠

梅田明宏 著

礎・清水FCと堀田哲爾が刻んだ 日本サッカー五〇年史

978-4-7684-5716-0

四六判 632 頁 4000 円＋税

日本サッカー史を振り返ると、間違いなく静岡県清水市（現静岡市清水区）を中心に回っていた時代があった。小学校の一教師が、清水にサッカー王国を築き上げた足跡を取材し、日本サッカー発展に尽くした男たちの情熱を伝える。 ♠

後藤太輔 著

フィギュアスケートとジェンダー

ぼくらに寄り添うスポーツの力

978-4-7684-5831-0

四六判 216 頁 1800 円＋税

朝日新聞社現役記者が書き下ろす「自国ファースト。とは無縁の新しいスポーツジャーナリズム。銀盤から球場まで、スポーツという鏡に映された課題に触れながら、未来のスポーツ文化と社会とのつながり方を提案。 **佐藤信夫コーチ推薦！**

木本玲一 著

こぶし 拳の近代

明治・大正・昭和のボクシング

978-4-7684-5835-8

四六判 360 頁 2600 円＋税

ボクシング史から日本人の近代精神史の足跡を浮き彫りにする、社会学の新地平。明治時代に到来したボクシングは文化の違いや戦争を超えて今も日本人を魅了し続けている。その歴史と魅力の本質を解き明かす画期的スポーツ社会学の集大成。

み すみ かん 三角 寛の世界

三角寛サンカ選集 第一巻

山窩物語

4-7684-7021-1 四六判 336 頁 2800 円＋税

サンカ研究の第一人者で小説家・三角寛はいつ、どこでサンカに出会ったのか。彼がこよなく愛し、山、川を独特の技術と慣習で定住することなく移動した集団・サンカ。三角寛のフィールドワークを通してサンカとは何かに迫る、幻の入門書。♠

三角寛サンカ選集 第二巻

裾野の山窩

4-7684-7022-X 四六判 344 頁 2800 円＋税

唯一の長編小説。徳川三百年に仕えた隠密のサンカたちが維新後、埋蔵金をめぐり富士の裾野で繰りひろげる愛憎まじえたサンカ社会の物語。スリルとエロチシズムの活劇大ロマン。三角寛サンカ文学の真骨頂が発揮されている。♠

三角寛サンカ選集 第三巻

丹波の大親分 おおよぞう

4-7684-7023-8 四六判 328 頁 2800 円＋税

頭領・丹波の大親分（おおよぞう）を頂点に、サンカ社会の掟がもたらす規律と自由の葛藤を描く人間ドラマ。丹波の大親分／復讐の山窩／大突破／火取蟲／おしゃかの女／元祖洋傘直し／蛇に憑かれた女、の中編小説7編を収録する。♠

三角寛サンカ選集 第四巻

犬娘お千代

4-7684-7024-6 四六判 334 頁 2800 円＋税

山、川、野をかけ巡り、そこを舞台に、一途に燃ゆる激しくも悲しいサンカの若者の愛の物語。犬娘お千代／宇津谷峠／真実の親分／犬神お光／歩哨の与一／伊佐沼の小僧／親分ごっこ、の中編小説7編を収録する。♠

三角寛サンカ選集 第五巻

揺れる山の灯

4-7684-7025-4 四六判 332 頁 2800 円＋税

サンカ社会の基を流れる人間の絆、愛と誠の人間賛歌の物語。揺れる山の灯／山窩娘おかよ／宿蟹飛天子／山窩の恋／燃ゆる親分火（やぞうび）／掟（はたむら）の罪／坂のお雪／直実と妙蓮、の中編小説8編を収録する。♠

三角寛サンカ選集 第六巻

サンカ社会の研究

4-7684-7026-2 A 5 判 388 頁 5000 円＋税

三角寛のサンカ研究を集大成し話題をよんだ研究論文。第一章 序論篇／第二章 生活篇／第三章 分布篇／第四章 社会構造篇／第五章 戦後におけるサンカ社会の変化とその動向／解題・沖浦和光（桃山学院大学名誉教授） ♠

三角寛サンカ選集 第七巻

サンカの社会資料編

4-7684-7027-0 A 5 判 304 頁 4500 円＋税

第六巻を補完する研究論文。三角寛撮影・サンカの生態記録写真集(95 頁)／附・サンカの炙り出し秘密分布表(写真)「サンカ社会の研究」概要／全国サンカ分布地図(折込み)／全国サンカ分布表／サンカ用語集／サンカ薬用・食用植物一覧。♠

三角寛サンカ選集 第八巻

山窩が世に出るまで

4-7684-7028-9 四六判 360 頁 2800 円＋税

三角寛はなぜサンカの理論とサンカ小説を書くに至ったのか？デビュー作「岩の坂貴い子殺し」をはじめ、初期の論文を中心に、貴重なフィールドノートと犯罪実話小説「山窩銘々伝」「山窩の話」「山窩について」などを収録。解題・今井照容 ♠

三角寛サンカ選集 第九巻 昭和妖婦伝	菊池寛も絶賛した三角寛の「犯罪実話」小説。昭和5年から『婦人サロン』と『オール読物』に連載された本書の「実話小説」で、三角寛は流行人気作家の地位を獲得する。この「犯罪実話」小説からサンカ小説家への道を歩み始める。 解題・朝倉喬司 ♠
4-7684-7029-7 四六判 352 頁 2800 円＋税	
三角寛サンカ選集 第十巻 山窩血笑記	三角寛の代表作「山窩血笑記」を中心に「峠の女親分」「牛飼の娘」「丹波戻りの馬鹿広」「梅林お花」「榛名の血煙」「たぎる湯川」「夕暮お谷」8篇。彼がサンカ小説家として絶頂期の昭和10年から14年までのサンカ小説を収録。 解題・佐伯修 ♠
4-7684-7030-0 四六判 340 頁 2800 円＋税	
三角寛サンカ選集 第十一巻 山窩の諜者	三角寛が放つ異彩の探偵捕物小説。サンカに通じる諜者・国八が語るサンカの実態。舞台は日露戦争の頃、犯人をサンカと見込み捜査する刑事に対し「サンカはそんなへまはやらねえ」と真犯人を割り出す国八の人情物捕物帳。 解題・千本健一郎 ♠
4-7684-7031-9 四六判 348 頁 2800 円＋税	
三角寛サンカ選集 第十二巻 帯解けお喜美	サンカ娘お喜美がとうしろう（普通人）になろうと造酒屋に奉公し、帯が解けるほどにひたむきに働き若旦那に恋をし裏切られ、再びサンカに戻り親分と結ばれる、という三角寛のサンカへの愛情が溢れる本格的なサンカ小説。 解題・田中勝也 ♠
4-7684-7032-7 四六判 360 頁 2800 円＋税	
三角寛サンカ選集 第十三巻 愛欲の女難	エロチシズムと純愛が織りなす三角寛本領発揮の妖艶なサンカ小説。決してグロではなく、あくまで一途な男と女の愛欲の物語。「乳房ルリ子」「マタギの女」「箕づくり娘」「愛欲の女難」他8篇を収録した絶好の読み物。 解題・中川六平 ♠
4-7684-7033-5 四六判 360 頁 2800 円＋税	
三角寛サンカ選集 第十四巻 青蠅のお蝶	浅草で青蠅の刺青を彫り「背虫」を装う正体不明の美女・青蠅のお蝶。その周辺にはスリ、詐欺師、恐喝者らが蠢き、名前も「不要（いらす）の長八」「片腕の初」等すざましい「異形」の人々が活躍する伝奇ロマン小説。 解題・紀和 鏡 ♠
4-7684-7034-3 四六判 348 頁 2800 円＋税	
三角寛サンカ選集 第十五巻（第二期完結） 人世坐大騒動顛末記	三角寛が戦後、焼け野原の池袋に映画館・人生坐を設営。「映画は娯楽の王様」の時流に乗って、文芸坐のほか2館を名画座として増館。1969年労働争議が発生しその攻防を三角寛自らが記した未発表のルポ。 解題・上野昂志 ♠
4-7684-7035-1 四六判 448 頁 3500 円＋税	
三角 寛 著 つけもの大学〈新装版〉	サンカ小説家・三角寛は漬け物の大家である。生前、雑司ヶ谷の自宅に漬け物専用小屋をつくり、そこで漬け物業に励んでいた。彼の漬け物数は1730余種類に及び、本書では25種類を収めている。「漬け物は芸術の真髄」との漬け物学論である。♠
4-7684-7019-X A 5 判 272 頁 2500 円＋税	
三角 寛 著 味噌大学〈新装版〉	サンカ小説家・三角寛は朝日新聞社記者時代の26歳から味噌づくりを始め、以来、約59種類の味噌を常備していたという。そのうち21種類の味噌づくりを取り上げている。味噌づくりを通して三角寛の自然観、人生観が浮かび上がってくる。♠
4-7684-7020-3 A 5 判 244 頁 2500 円＋税	

三浦寛子 著

父・三角寛

サンカ小説家の素顔

4-7684-6737-7

四六判 212 頁 2000 円＋税

戦前は『銭形平次』の野村胡堂と並ぶ流行作家としてサンカ小説を確立、戦後は池袋に人世坐、文芸坐を創設した三角寛。その一人娘が作家、実業家、そして父としての日常や交友関係、女性関係等、父・三角寛の赤裸々な波乱万丈の人生を語る。♠

サンカ研究会 編

いま、三角寛サンカ小説を読む

4-7684-6826-8

四六判 280 頁 2000 円＋税

大好評「三角寛サンカ選集」への熱き読者カードに感激し、その読者に三角寛とサンカについてのアンケートを出して集計した。そこに表れたものは従来の大衆文学論では全く語られなかった大衆文学・三角寛サンカ小説の魅力の生の声であった。♠

筒井 功 著

漂泊の民サンカを追って

4-7684-6902-7

四六判 280 頁 2300 円＋税

サンカの魅力に取り憑かれた元新聞記者が策作りの村々を訪ねサンカの人々に会おう。そこには三角寛の『サンカ社会の研究』に登場する人々もいた。策作り、ウメアイ等サンカの生活が具体的に語られ三角寛の虚々実々の世界が現実となる。♠

筒井 功 著

サンカ社会の深層をさぐる

4-7684-6939-6

四六判 272 頁 2300 円＋税

現在サンカは幻の民ごとく思われているが著者のフィールドワークの前著『漂泊の民サンカを追って』（重版）により、サンカの末裔たちの存在が明らかとなった。本書は関東、高知等のサンカの証言を集め、サンカの実態をより具体的に実証。♠

筒井 功 著

サンカと犯罪

978-4-7684-6981-1

四六判 248 頁 2200 円＋税

『漂泊の民サンカを追って』『サンカ社会の深層をさぐる』に続く第三部作。サンカを凶悪犯罪集団と見なす鷹野弥三郎に対して柳田國男は漂泊する職能民であると批判した経緯がある。筒井氏はサンカの調査から、それはコインの裏表であるという。

今井照容 著 (第 25 回尾崎秀樹記念 大衆文学研究賞受賞)

三角寛「サンカ小説」の誕生

978-4-7684-5658-3

四六判 424 頁 3200 円＋税

「三角寛サンカ選集」全 15 巻（小社刊）で平成のサンカブームを巻き起した三角寛は、昭和初めに朝日新聞の事件記者となり、その後『オール読物』等でサンカ小説家として一世を風靡する。彼の作品から、戦中の日本精神史を探る。荒俣宏氏絶賛！ ♠

底辺の民衆に寄り添い、差別を撃つ

おきうらかずてる

沖浦和光著作集

五木寛之氏・赤坂憲雄氏・なべおさみ氏推薦

“アジアの地下水脈”を通して、日本民衆文化の源流を壮大なスケールで探究しつづけた思想家・民俗学者の沖浦和光。

底辺に生きる人びとに寄り添いながら全力疾走した、青年期から最晩年までの60年におよぶ思索の跡を辿る論集。

第一巻

わが青春の時代

978-4-7684-7011-4 四六判 392 頁 4000 円＋税

I 思い出・ルポ 1945 年・8 月 15 日前後／全学連結成の心と力 II 近代主義とマルクス主義 激動の時代・作家の死—太宰治論ノート／戦後世代の思想と文学—戦後派ナショナリスト大江健三郎論／戦後マルクス主義思想の出発—荒正人と吉本隆明 III 天皇制 神聖天皇劇と民衆 解題・笠松明広

第二巻

近代日本の文化変動と社会運動

978-4-7684-7012-1 四六判 440 頁 4500 円＋税

I 『近代日本の思想と社会運動』(全録) 明治初期の社会主義と熊野・新宮グループ／日本近代化における国権派と民権派の対立／社会主義運動の前史段階／〈民友社〉と明治第二世代 II 日本マルクス主義の思想方法の一特質—福本イズムの思想的意義をめぐって III スターリニズムの成立過程 解題・笠松明広

第三巻

現代文明の危機と人類の未来

978-4-7684-7013-8 四六判 424 頁 4500 円＋税

I 『近代の崩壊と人類史の未来』(全録) 人類史において〈近代〉とは何であったか／〈自然—人間〉系と近代工業文明／人口・資源問題とマルクス主義の立場／人類史的にとらえたマルクス思想の意義 II 日本マルクス主義の一つの里程標—高橋貞樹の思想的軌跡(上、中、下) 解題・遠藤比呂通

第四巻

遊芸・漂泊に生きる人びと

978-4-7684-7014-5 四六判 372 頁 4000 円＋税

I 遊芸民・漂泊民・被差別民とその文化 日本文化の源流を探る II 「サンカ」の実像 漂泊民「サンカ」の実像 III ハンセン病—排除と隔離の歴史 戦国キリシタンの渡来と「救済」運動 IV アジアの遊芸民と芸能 アジアにおける賤民芸能の位置／文化としての観光—赤坂憲雄氏との対談 解題・寺木伸明

第五巻

瀬戸内の民俗と差別

978-4-7684-7015-2 四六判 416 頁 4500 円＋税

I 『瀬戸内の民俗誌』(全録) II 瀬戸内の海賊と被差別部落 天皇王権と瀬戸内の海賊／瀬戸内の被差別部落／村上水軍と瀬戸内の部落 III 『島に生きる』(抄録) 近世初頭における賤民制／芸予諸島における「かわた」集落の形成／島嶼部における差別の実態／瀬戸内をまわった芸人たち 解題・川上隆志

第六巻

天皇制と被差別民

両極のタブー

978-4-7684-7016-9 四六判 416 頁 4500 円＋税

I 部落差別の深層 天皇と賤民／ケガレとは何か／斃牛馬処理と触穢思想 II 部落史の論点 部落起源論争をめぐって／最近の部落史論争の問題点 III アジアの身分制と差別 アジアの身分制成立史の比較研究 IV 先住民差別の深層 日本列島の先住民・土蜘蛛 解題・寺木伸明

下層社会から現代を照射する

寄せ場

日本寄せ場学会 編

「寄せ場——それは日本の下層社会である。そこでは人間が無慈悲に奪われる。だからこそ人間の激しい希求がある。熾烈な闘いがある。いま——寄せ場研究は、寄せ場の現実に切り込み、これを再構成し、そして寄せ場に投げ返さなければならない」との理念で創立した学会年報。

A 5 判 平均 224 頁

1 号

流動する下層労働者・ その現状と未来

[品切れ]

4-7684-7751-8

1800 円＋税

文学と寄せ場——そのかわりについて 池田浩士／「寄せ場」研究の諸問題 青木秀男／西ヨーロッパにおける移民労働者の現在——フランスを中心として 加藤晴康／寄せ場学会の基本的視座について 松沢哲成／山岡（やま）さんの思い出。フィルム編集にあたって 赤松和子／下田平裕身／八木正／本間啓一郎／小倉利丸／小田原紀雄／西沢晃彦／牛草英晴／関曠野／中根光敏／布野修司

2 号

転換期の寄せ場—変貌の 諸相をどのように捉えるか

[品切れ]

4-7684-7752-6

2000 円＋税

寄せ場と〈労働〉概念の新たな視点 山崎カヲル＋小倉利丸／外国人出稼ぎ労働者の歴史と現状 田中宏／寄せ場と外国人出稼ぎ労働者 渡辺英俊／「南方労働問題」と「大東亜共栄圏」論批判 松沢哲成／〈問題〉としての日雇労働者とその意識 平川茂／青木秀男／山崎カヲル／柳在順／M・ファブリカント／M・ケリー／池田浩士／和田研三／飯村リカ／高井佳／中西昭雄／長倉洋海／小田原紀雄

3 号

寄せ場の医療問題 [品切れ] 寄せ場文献 100 選

4-7684-7753-4

2000 円＋税

天皇制と朝鮮人労働者 金賛汀／山谷における医療問題 影土優／笹島における医療問題 藤井克彦／釜ヶ崎における医療問題 小柳伸顕／“やま”と医療の周辺 山田真／ある日雇労働者の生と死。挽歌にかえて 池田浩士／寄せ場に関する文献の研究 松沢哲成／寄せ場文献 100 選／なんとも痛快な工事。完成間近！山谷労働者福祉会館 宮内康・水野松男／丹羽弘一／池内文平／砂守勝巳

4 号

釜ヶ崎 10 月暴動 [品切れ]

4-7684-7754-2

2000 円＋税

釜ヶ崎 90 年 10 月に何をみたか・何だったのか／概説・釜ヶ崎〈暴動〉90／釜ヶ崎〈暴動〉裁判レポート／資料・釜ヶ崎〈暴動〉に関する報道／労働者の国内国際的「対流」と寄せ場 筆宝康之／寄せ場のキリスト者たち。その歩みと課題 小柳伸顕／「大和中央病院の差別殺人医療糾弾実行委」からの呼びかけ 里健一／暴動の廢墟 柿上万蔵／関係性の問題としての「野宿者」 丹羽弘一／斎藤博之／溝口万子他

5 号

YOSEBA—世界に遍在する？

[品切れ]

4-7684-7755-0

1800 円＋税

寄せ場における外国人労働者 上山純二／西日本支部越冬実行委員会交流会／花岡事件——中国人強制連行の捉え方
新美隆／サハリンの残留韓国・朝鮮人問題を「読む」 趙喜珠・安井之彦／産油国クウェートの歴史——パレスチナ難民の体験を通して 藤田進／ニカラグア——都市における土地占拠民の状況 崎山政毅・土肥真人・宮園龍二／松沢哲成／斎藤博之／中西昭雄／パンフレット・ニュース案内

6 号

文学表現の寄せ場

4-7684-7756-9

2200 円＋税

石炭荷役と火野葦平——「文学表現の寄せ場」序章 池田浩士／忘却の共同体と戦場の記憶——「日本人」になるといふこと 富山一郎／有用な身体への配慮を巡って——1930 年代新生活運動を中心に 雑賀恵子／寄せ場研究は寄せ場に何をなすのか？ 丹羽弘一／労働者世界への途 池野高理／松代大本営跡からの視座 矢水由紀彦／追悼・宮内康 布野修司／〈写真〉笹島・春夏秋冬 高坂敏夫

7 号

ニッポン人と労働

4-7684-7757-7

2200 円＋税

「大東亜共栄圏」下における日本の労働政策 松沢哲成・富山一郎・池田浩士・丹羽弘一／ドイツと日本の外国人労働者政策 金子マーティン／明治期の都市「下層」における多就労世帯形成の意義／戦前期名古屋における日雇労働と労働行政に関するノート 田巻松雄／外国人労働者の医療ととりくむ 色平哲郎／寄せ場から生活保護行政を問う 藤井克彦／ヨーロッパ近代社会の形成と労働 加藤晴康

8 号

出稼ぎ・寄せ場・路上

4-7684-7758-5

2200 円＋税

いわゆる「ホームレス」問題とは——東京新宿からの発信／日系ブラジル・ペルー人の労働と生活／釜ヶ崎での医療・福祉の現状 中国地方の労働現場の変容／寄せ場研究に現場の感情を——研究と実践の対立を超えるために／日雇労働と労働行政に関するノート／仮託さるべき場所「郷土」——農民文芸会成立前後の評論から／ヨセバ・クリティーク／笠井和明／西澤晃彦／安田誠一郎／中山幸雄／水野阿修羅

ORGAN

オルガン

編集委員——小阪修平（代表）・笠井 潔・竹田青嗣

現在を思想の解体状況と規定し、自前の思想を組み立てようとする。アカデミズムや閉じた理論の内部での思考ではなく、現在に接近するための思考の回路を探ること、これが『ORGAN』の編集方針であり、そのための思想のオープンな場所、思考の器官（オルガン）を目指す。

A 5 判 平均 260 頁

創刊号

現代思想批判

[品切れ]

4-7684-6690-7

1200 円＋税

鼎談「ポスト・モダン以降」竹田青嗣・笠井 潔・小阪修平
権力について——ある孤独な反綱領…………… 吉本隆明
精神の場所——デカルトと外部性…………… 柄谷行人
インタビュー「ハイデッガーの意味」… 木田 元／聞き手＝小阪修平
飛沫の実存イメージ——レヴィナスの「イリヤ」について… 笠井 潔
〈シニフィアン連鎖〉をめぐる——ラカンへの疑問 丸山圭三郎
ニーチェあるいは生成の論理批判…………… 竹田青嗣

2 号

欲望の市民社会論

4-7684-6691-5

1200 円＋税

「ハイ・イメージ論」をめぐる……吉本隆明／聞き手＝笠井 潔
超絶する欲望…………… 栗本慎一郎
ボードリヤールの二分法論…………… 笠井 潔
ポスト・モダンとニヒリズム…………… 竹田青嗣
復習と放棄…………… 丹生谷貴志
鏡のなかの欲望…………… 佐々木孝次／聞き手＝小阪修平
充たされた生活、あるいは市民社会への通過儀礼 長崎 浩

3 号

日本・その不可視のシステム

4-7684-6692-3

1400 円＋税

共同体の起源についての註…………… 吉本隆明
言霊論序説…………… 川村 湊
幻想としてのアジア…………… 三上 治
日本史の遠近法…………… 鎌田東二
にっぽん＝制度なき権力多様体…………… 橋爪大三郎
天皇制というトートロジー…………… 小阪修平
ロマン主義からの脱出…………… [対談] 中沢新一 × 笠井 潔

4 号

性的存在とエロス

[品切れ]

4-7684-6693-1

1200 円＋税

プロメテウスの性…………… 栗本慎一郎
「性」はどこまで明るくなれるか…………… 小浜逸郎
性につかまれていること、あるいはフロイトの意味……小阪修平
春画——ビュシスか、テクネーか？…………… 中沢新一
エロティシズムと他者性に関する断想…………… 湯浅博雄
対幻想とエロス（百枚論文）…………… 笠井 潔
〈対談〉エロス・死・権力…………… 吉本隆明／竹田青嗣

5 号

旋回する権力

4-7684-6694-X

1200 円＋税

権力論への今日的問題設定…………… 湯浅赳男
日本の歌…………… 若森栄樹
古代権力の諸相…………… 橋爪大三郎
「理性と権力」か「理性の権力」か…………… 高橋順一
権力と人称（百枚論文）…………… 小阪修平
〈インタビュー〉権力をどう語るか…………… 山本哲士
〈対談〉資本主義と権力…………… 関 曠野／小阪修平

6 号

鉄腕アトムの涙

——テクノロジーの夢と臨界

4-7684-6695-8

1300 円＋税

人間は何故機械が嫌いになるか…………… 橋爪大三郎
バスカルと科学の文体…………… 長崎 浩
鉄腕アトムは涙を流すか（百枚論文）…………… 小阪修平
テクノロジーの変容と核兵器の意味…………… 内藤 酬
生命科学の臨界（お茶水博士の未発表手稿より）…………… 伊藤源石
ハイデッカーと感情…………… 竹田青嗣
〈対談〉テクノロジーの彼方…………… 栗本慎一郎／田中三彦

7 号

宗教の臨界点

4-7684-6696-6

1400 円＋税

蛇の変容—マンガとシャーマニズム[対談] 榎岡かずお × 鎌田東二
宗教の意味・思想の意味…………… 松山俊太郎
自己の死と自己の変容…………… 小阪修平
痛覚の現象学あるいはヴェイユ神学の起源…………… 笠井 潔
光に溺れてること…………… 大橋喜之
ガルダの哄笑…………… 永沢 哲
花祭・龍天・白山…………… 川村 湊

8 号

甦えるフェノメノロジー

4-7684-6697-4

1500 円＋税

現象学的方法の可能性をめぐる…〔対談〕 廣松渉 × 竹田青嗣
エロスの現象学…………… 竹田青嗣
現象学における〈意識〉をめぐる…………… 丸山圭三郎
忘却の忘却…………… 合田正人
美的距離の現象学…………… 谷川 渥
外部と実存論的還元…………… 笠井 潔
指示と意味の発生——フッサール現象学のアンビヴァランス…………… 森永和英

9 号

社会主義の解体

4-7684-6698-2

1500 円＋税

社会主義は何故解体したか（百枚論文）…………… 小阪修平
「党」と「国家」を眠りこませる…………… 長崎 浩
社会主義理念の崩壊…………… 笠井 潔
「資本論」ってここがヘン？…………… 橋爪大三郎
社会主義はどこへ行く？…………… 湯浅赳男
幻影としての社会主義…………… 丸山浩行
童話世界から出た中国青年の苦悩と思考…………… 李 衛東

10 号

現代思想批判パート 2

4-7684-6699-0

1500 円＋税

再考／大嘗祭の本義…………… 赤坂憲雄
三つの物語…………… 笠井 潔
「ぜ」は全共闘の「ぜ」…………… 小阪修平
南洋の「日本語教育」…………… 川村 湊
これであなたも、左翼がやめられる…………… 橋爪大三郎
自由主義とユートピア…………… 長崎 浩
欲望論の現在…………… 竹田青嗣

漂泊・闇・周辺をめぐる

マージナル

編集委員 朝倉喬司・紀和 鏡・中川六平・森田一朗

今までの歴史は定住民中心に述べられ、それ以外の非定住民の歴史は闇に閉ざされてきた。しかし、非定住民も重要な歴史の担い手であった。『マージナル』はサンカや芸能人、宗教人その他雑民といわれ漂流し続けてきた人たちの歴史や生活、そして縄文文化や土俗信仰に焦点をあてながら、現在定住させられ、管理されている我々の自由とロマンを語る。

A 5判 平均 240 頁

創刊号

サンカー[三角寛]Who?

[品切れ]

4-7684-9961-9

1300 円＋税

わが父・三角寛を語る 三浦大四郎・寛子／山窩の瀬降りを訪ねて [NHK ラジオ再録] 円井照容／「神武東征伝説」異聞・違聞 [もう一つの古代史・連載 1] 田中勝也／首塚をゆく [東国の首・連載 1] 紀和 鏡／さてもめずらし河内や紀州 中上健次 × 朝倉喬司／おんなの脚が開いてサーカスの幕が上がる 写真・森田一朗／文・村上玄一／五木寛之インタビュー——漂泊の幻野をめざして。

2 号

天皇をめぐる漂泊者の影

[品切れ]

4-7684-9962-7

1300 円＋税

大嘗祭と王位継承 山折哲雄／幻の「大嘗祭の本義」折口信夫／木地師と天皇、大蔵貢の場合 朝倉喬司＋円井照容／流離の貴人 [天皇伝説・後南朝の村 1] 紀和 鏡／「南天様」の里に生まれて [天皇伝説・後南朝の村 2] 中 徹／明治天皇は強かった 中川六平／ボナヘ大酋長制度の・断片 船戸与一／狂言にみるサンカの原像「祭化」松田 修／ヨーロッパ・異形の神々 高瀬千図。

3 号

天皇・神々・風土のエロティシズム

4-7684-9963-5

1300 円＋税

鼎談 神仏分離にはじまった日本近代 圭室文雄・佐治芳彦・呉智英／昭和末日のザシキワラシと天皇 朝倉喬司／武甲山地を駆けぬけた明治維新の嵐 上島敏昭／伊勢・志摩。「海上の道」資本主義の原郷 大月隆寛／皇學館大学の現在 原田信一／対馬の「天童伝説」にみる古俗宗教の構造 高澤秀次／文化の密航者としての〈少女〉本田和子／対談 夜明けの世界・黄昏の世界 荒俣 宏 × 鎌田東二。

4 号

都市が分泌する闇

[品切れ]

4-7684-9964-3

1500 円＋税

今田勇子の“肖像”と死の都市の中心点 朝倉喬司／「竹ヤブ」に拾う都市の貌 瀬戸山玄／霊峰・富士と金丸信のトボロジー 中川六平／イタリアカラブリアの誘拐マフィア 竹山博英／大阪を駆け抜けたキツネ憑き少年 中 徹／紅五類黒五類——中国文化大革命期の出身血統原理 草森紳一／海を歩く思想——漁業からみた日本と東南アジア 鶴見良行／半村良インタビュー——漂泊する妖しい星。

5 号

スケベの民俗学

[品切れ]

4-7684-9965-1

1500 円＋税

対談 夜這いに見る近代の豊かさ 赤松啓介 × 上野千鶴子 / 「ヨバイ」がまだ「ヨバイ」であったころ 岡村青 / 遊廓研究① 吉原の創設者は忍者だったのか 上島敏昭 / 対談 SM 文学におけるロマンチズム 団 鬼六 × 山口文憲 / 道ゆく芸能者たち 村崎修二 / 断想・隠され、隠れた人びとの記憶 / 首塚をゆく (最終回) 鎌倉の首 紀和鏡 / サンカのいる近代史 その① 朝倉喬司。

6 号

イスラームの未知へ

4-7684-9966-X

1500 円＋税

アラブ文化に見るイスラームの価値 関根謙司 / ソ連邦辺境のイスラーム風土と民族主義 佐藤信夫 / マレー・ムスリムとチャム族 富沢寿勇 / 大川周明とイスラーム 阿倍治夫 / 佐々波太夫・吉原花魁道中幻視行 聞き書き・紀和鏡 / 怪刀乱神の旅 (第1回) 世の災難、みなわが所業なり——受験神菅原道真 草森紳一 [対談] 混沌のソ連・東欧移動のエネルギー 島田雅彦 vs 沼野充義。

7 号

湿地帯ルネッサンス

4-7684-9967-8

1500 円＋税

「^{のぞき}覗け」ば見える都市の鏡像——及位の為五郎こと、桑田昭夫インタビュー 聞き手・朝倉喬司 / 《湿潤》を犯すものと求めるもの 野本寛一 / 湿原とドラゴン状無意識 田中 基 / 湿り気文化の誘引力の正体 百川敬仁 / 泥中、二千年。ついに咲かせる珍奇の「花」 牧野和春 / クボとしての新宿歌舞伎町ある川の肖像 佐伯 修 / 立川談志インタビュー——笑いの変容について / 生きつつけるマヤの聖典 上野清士。

8 号

怪しい平野

4-7684-9968-6

1500 円＋税

ポストバブル関東平野犯罪地図 朝倉喬司 / 幻の「越後共和国」未だ見果てぬ角栄の夢 斉藤隆景 / 平野に宿るもの 大月隆寛 / 上州野鍛冶の世紀末 佐伯 修 / オンマカシ考 西海賢二 / 遊女の歌う盆踊り口説き 上島敏昭 / 小人プロレス・天草海坊主、山へ登る 高部雨市 / 眼の高さで歌いたい——民俗学者、通天閣の歌姫に会う 橋本裕之 / 消された迷路——玉ノ井 紀和 鏡 / 花火師 亀井好恵。

9 号

ああ！不思議な資本主義

4-7684-9969-4

1500 円＋税

“顔”のみえる「資本論」 網野善彦 / 大阪・西成界隈重層地図 朝倉喬司 / 「映画界の黒幕」・アナキストやくざ笹井末三郎 柏木隆法 / マリアの仕事 高部雨市 / 秋葉原ハイテク街にみる資本主義の無気味な加速 目森一喜 / 「東欧」見聞録 千本健一郎 / 猪の牙に秘められた力 吉田敏浩 / 八字さだめに生きる女たち—韓国シャーマン— 香村かをり / 「東欧」見聞録 千本健一郎 / 女とオナニー 川村邦光。

10 号

漂泊の連鎖系

[品切れ]

4-7684-9970-8

1500 円＋税

父・三角寛の人生サンカ地誌 三浦大四郎・三浦寛子 / 異人論のふたり。岡正雄と折口信夫の邂逅 田中基 / 私の雪駄人生 木村輝夫 / 身分を越える雪路職人 畑中敏之 / 韓国サーカス紀行 阿奈井文彦 / 「満州国」と私 野々村一雄 / 霧社事件・棄民の里の皇軍兵士 柳本通彦 / 東京ラブソディ 写真・森田一朗、文・目森一喜 / 千住柳町に咲いた花 紀和鏡 / サンカのいる近代史 朝倉喬司。

反教育シリーズ

* V 通信簿と評価権と XIX 学校事務労働者は〈新装版〉の単行本になりましたのでシリーズの本としては絶版です。

I よみかきのしかた	II だ い が く か い た い 学生・単位・教師
●国際教育研究会 編 4-7684-1101-0 B 6 判 80 頁 250 円+税	●五十嵐良雄 編著 4-7684-1102-9 B 6 判 128 頁 350 円+税
III 反教育の地下水 地底の声を媒介にして	IV 肉声史 卒論とは何か
●紙弾の会 編 4-7684-1103-7 B 6 判 128 頁 350 円+税	●横浜国立大学現代教育研究所 編 4-7684-1104-5 B 6 判 132 頁 350 円+税
VI 教師として生きられるか生き られないかという問題として	VII 教育の虚妄を支える教科書
●高橋 勉 著 [品切れ] 4-7684-1105-3 B 6 判 192 頁 500 円+税	●五十嵐良雄 編著 4-7684-1106-1 B 6 判 192 頁 500 円+税
VIII 日比谷高校闘争と一教員・ 生徒の歩み [品切れ]	IX さまよえる高校生たちが撃つもの
●大河原礼三 編著 4-7684-1107-X B 6 判 196 頁 500 円+税	●浜中 洋 編著 4-7684-1108-8 B 6 判 192 頁 500 円+税
X 下級教員宣言	XI 知能公害 [品切れ]
●「異議あり！」編集部 編 4-7684-1109-6 B 6 判 360 頁 980 円+税	●渡部 淳 編著 4-7684-1110-X B 6 判 216 頁 600 円+税
XII だ い が く か い た い 続学生・単位・教師	XIII 六郷小学校通信簿 [品切れ]
●五十嵐良雄 編著 4-7684-1111-8 B 6 判 224 頁 600 円+税	●高橋 勉 著 4-7684-1112-6 B 6 判 212 頁 650 円+税

XIV

教育情況への発言

●五十嵐良雄 編著

4-7684-1113-4 B 6 判 224 頁 650 円＋税

XVI

行為としての教育現場

●塚越敏雄 著

4-7684-1115-0 B 6 判 272 頁 750 円＋税

XVIII

続 知能公害

[品切れ]

養護学校否定の理論と実践

●「がっこの会」編

4-7684-1117-7 B 6 判 240 頁 850 円＋税

XV

疎外された学習

●藤川 浩 著

4-7684-1114-2 B 6 判 224 頁 650 円＋税

XVII

自己史的教育労働運動

●伊丹幸弘 著

4-7684-1116-9 B 6 判 272 頁 750 円＋税

XX

英語教育解体

[品切れ]

●金井和正 著

4-7684-1118-5 B 6 判 222 頁 850 円＋税

知る知るシリーズ

毎日小学生新聞に長年にわたり連載され、好評を博しているもので、子どもから大人まで楽しく読める知識の宝庫です。人間と自然・社会・技術の結びつきと仕組みを知ることを通して、考える喜びと豊かな感性を身につけたいものです。総ルビ・本文2色刷・堅牢造本。

A 5判 72 頁 各 500 円＋税



ニホンザルの生活 [品切れ] ♣

日本人に昔からなじみ深い
ニホンザルの生態。

文・伊沢紘生
絵・内山安二 4-7684-7732-1



野鳥の生活 ♣

日本に渡ってくる野鳥、棲
んでる野鳥の生態。

文・写真・安部直哉 4-7684-7733-X



やまめ物語 [品切れ] ♣

やまめを通し、人間と自然
のつながりを考える。

文・内山 節
絵・有馬佳代子 4-7684-7734-8



原子力のはなし [品切れ] ♣

原子力の安全性と危険性。
科学的認識のために。

文・大萩原一
絵・下田信夫 4-7684-7735-6



マイナス50℃の世界 [品切れ] ♣

寒極の世界
寒極ヤクートの大自然に生
きる人間と動物。

文・米原万里
絵・関口たか広 4-7684-7736-4



ゴミと生活 [品切れ] ♣

人類が生き残るために廃棄
物をどうするか。

文・山本耕平
絵・山田えいし 4-7684-7737-2



お金のはなし ♣

お金の歴史と現代の金融事
情、円高もわかる。

文・玉置和宏
絵・たかはしのりひこ 4-7684-7738-0



夏のこん虫研究 ♣

夏に多いこん虫の生態と飼
い方、観察の仕方。

文・三枝博幸
絵・中西清美 4-7684-7740-2



楽しくやろう夏休み ♣

—自由研究ヒントとアイデア
思い出に残る夏休みの自由
研究のノウハウ。

文・毎日小学生新聞
絵・原田こういち 4-7684-7731-3



おばけと物語 [品切れ] ♣

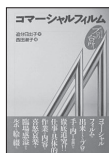
おばけのルーツは「製鉄」
とむすびついていた。

文・柴田弘武
絵・たかはしのりひこ 4-7684-7739-9

シリーズ プロの台所

仕事を「商品・情報・サービスを生産し消費者に渡るまでの労働」と捉え、商品の流れを立体的に追跡した仕事の場の気配と身体のからみあい
を活写するシリーズ 特色 商品・情報が出来るまでがわかり、仕事
に関わっている人々の具体的な作業の内容から喜怒哀楽までがわかる。

A 5 判変型 208 頁 各 1340 円+税



コマーシャルフィルム



[品切れ]

文●追分日出子

絵●西田淑子

4-7684-1161-4



コンピュータソフト

文●藤井久子

絵●長谷川京平

4-7684-1162-2



テレビドラマ



文●土本亜理子

絵●猫柳あけみ

4-7684-1163-0



マガジン

文●原田信一

絵●にのみや あお 4-7684-1164-9

書名索引

【ア 行】

A Study on Deinstitutionalization and Community

Living of Persons with Intellectual Disabilities 42

アート オブ ヴォイス 132

アーネスト・サトウと倒幕の時代 83

愛知の障害者運動 43

会津藩 13

愛と誠の人生相談 133

アイドルはどこから 96

アイヌ・母のうた 94

愛の労働あるいは依存とケアの正義論 50

愛欲の女難 158

I Love BUTOH! 140

アイルランドの漂泊民 91

アインシュタイン 3

青蝇のお蝶 158

《青鷺》ジル・ド・レの生涯 87

赤い鳥を見たか 58

赤門塾通信 きのふ・けふ・あす 25

秋月藩 16

あきらめないで、働きながらの介護術 40

芥川龍之介 6

アジア主義の光芒 115

アジア大道曼陀羅 105

アジアの障害者 39

アジアの森と村人の権利 109

足利藩 14

芦浜原発はいま 77

足文字は叫ぶ! 48

アショカとの旅 104

明日はわが身、ボケるが勝ち 61

明日また釜ヶ崎・沖繩 140

「新しい働き方」の経済学 18

アダルト・チルドレンからの出発 65

「当たり前」をひっくり返す 50

あっぱれ! 旅役者列伝 145

アナキズム 6

あなたがストーリーに狙われたとき 66

あなたは、わが子の死を願ったことがありますか? 43

アニマル・ファクトリー 130

アニメ研究入門【応用編】 144

アニメへの変容 144

アニメ研究入門【増補改訂版】 144

暴かれた真実 NHK 番組改ざん事件 71

阿武隈共和国独立宣言 79

危ない箱ブランコはかたづけて 69

アフリカーンス語への招待 122

阿部定を読む 149

アホウドリの韓国ノート 104

アホウドリの仕事大全 59

アマゾン文明の研究 92

アマチュア実践福祉録・こちら“ちくま” 39

奄美だより 58

奄美・テゲテゲで行こう! 112

雨がホワホワ 119

雨にうたれてみたくて 45

アメリカ障害者法 38

アメリカ神話の解体 113

あやしいチベット交遊記 112

アララト山 方舟伝説と僕 112

蟻の歩みよりも遅くして 25

ある一族の愛と性 55

修道院（アルカンタラ）のウズラ料理 135

歩く四国遍路千二百キロ 111

アル中予備軍の子供たち 28

α（アルファ）崩壊 78

あるロマ家族の遍歴 107

アレルギーと楽しく生きる 12

あわき夢の街 トーキョー 93

哀れみはいらない 41

アンデス・シャーマンとの対話 126

「慰安婦」問題の本質 71

飯館を掘る 79

イヴ・内なる女性を求めて 54

いかなる手段をとうととも 57

活き逝き術のススメ 47

いきいきと生き抜くために 26

生きざま政治のネットワーク 39

生きる 96

いくさ世・沖繩 66

池上彰・森達也のこれだけは知っておきたいマス

コミの大問題 81

意識はフェミニズム、行動は地域 53

-
- 異嗜食的作家論 151
礎・清水FCと堀田哲爾が刻んだ日本サッカー
五〇年史 156
石原慎太郎猛語録 100
イスラム教 5
伊勢崎藩 16
磯笛のむらから 59
依存からの脱出 35
イタリア南部・傷ついた風土 107
イタリア・パルティザン群像 90
異端の笑国 154
一関藩 13
一緒がいいならなぜ分けた 28
いつのまにか朝日が 148
遣伝子組み換え イネ編 11
遣伝子組み換え（食物編） 11
遣伝子組み換え動物 11
犬の現代史 92
犬娘お千代 157
いのちの女たちへ（新版） 54
いのちの革命 114
いのちの旅 125
命の旅人 32
いのちを未来へ 129
いのりの旅 125
異邦人のまなざし 115
いま語らねばならない戦前史の真相 82
いま宗教にできること、できないこと 127
いま、三角寛サンカ小説を読む 159
今なぜ、学校カウンセリングか（新装版） 27
今のお寺に仏教はない 125
伊予吉田藩 15
医療現場で働く聞こえない人々 46
医療ソーシャルワーカーの心得 41
《色事師》カザノヴァの青春 88
「色里」物語めぐり 92
インクルーシブ教育の源流 34
インスタントアート 5
〈インターナショナル〉を訳詞した怪優・佐々木孝丸 145
インド・スイート紀行 109
WE MADE IT! ハワイ親子プチ留学 109
ウーマン・ラヴィング 54
上田藩 15
上野英信・萬人一人坑 106
上野駅の幕間 139
上原正三シナリオ選集 145
宇宙樹の森 105
宇都宮藩・高德藩 15
うまやもん 156
海と鳥の思想 111
海の狩人 沖繩漁民 94
海の見える言葉 ボルトガル語の世界 121
海を越え、地に熟し 長沢 鼎 ブドウ王になっ
たラスト・サムライ 97
海を渡った白山信仰 96
右翼 6
裏歌舞伎町まりあ横丁 67
宇和島藩 15
英会話どうする? 121
映画素志 137
映画に憑かれて 浦山桐郎 138
映画に魅せられて 136
映画の現場に逢いたくて 138
映画はアクチュアル 137
英語教育解体 168
英国「隔離に反対する身体障害者連盟
（UPIAS）」の軌跡 46
「A」撮影日誌 138
エイズ 6
エイズ患者のための栄養療法 41
映像の視覚 136
A 2 138
A 4または麻原・オウムへの新たな視点 75
エコロジー 4
越境する環境倫理学 131
江戸怪談を読む 皿屋敷 153
江戸怪談を読む 実録四谷怪談 152
江戸怪談を読む 死霊解脱物語聞書 152
江戸怪談を読む 猫の怪 153
〈江戸怪談を読む〉牡丹灯籠 153
江戸から見た原発事故 79
江戸期おんな表現者事典 99
江戸商人の知恵囊 114
江戸の金山奉行 大久保長安の謎 96
NHKと政治支配 80
ME 革命と女性労働者 52
エロスで撃つ 136
冤罪・狭山事件 5
冤罪追跡日記 58
エンジョイ自立生活 40
エントロピー 5
老いを生きる人びと 61
老いを戦略するとき 41
オウム「教祖」法廷全記録 1～8, 74～75
大阪「鶴橋」物語 71
大杉栄 5
-

-
- オーストリア日記 107
 大洲藩・新谷藩 16
 大相撲の道具ばなし 155
 おかしいよ！ 改正介護保険 47
 岡田啓介 83
 お金のはなし 169
 岡藩 15
 沖浦和光著作集 第一巻～第六巻 160
 沖縄・戦後子ども生活史 32
 沖縄を彫る 60
 奥武蔵 日々の移ろい 111
 お産はっけよい 133
 お産はたからもの 133
 教える思想 29
 小田原藩 16
 男の育児書〈新装改訂版〉 133
 踊る帝国主義 92
 「鬼平犯科帳」の真髄 149
 オハイオ・元気のなぞ 107
 おばけと物語 169
 帯解けお喜美 158
 お坊さんはなぜ夜お寺を抜け出すのか？ 127
 おまえらばかか〈新版〉 45
 おもしろ学校家外授業 27
 おもちゃと遊び 26
 おもちゃ箱ひっくり返した 52
 オモロイ坊主のアジア托鉢行 126
 親ばなれ留学メール日記 32
 生実藩 16
 オランダからの白い依頼状 94
 オランダ語誌 122
 おるが水俣 58
 ORGAN 1～10号 163～164
 俺たち、人間！ 39
 お笑い公安調査庁 68
 終わりのない医療 66
 音楽共有の場づくりとしての音楽活動 49
 恩讐の師弟対決 74
 おんなたちの町工場 59
 女たちのリズム 52

【カ 行】
 母さん、だいじょうぶだよ 52
 母ちゃんの脱出 85
 悔 70
 ガイア 7
 快感進化論 129
 海峡をへだてて 100
 外国語の水曜日 119
 外国体験のパッチワーク 108
 外骨みたいに生きてみたい 151
 介護漂流 47
 介護労働を生きる 47
 解説・組織犯罪対策法 62
 解説・暴力団新法 61
 カウンセリング・幻想と現実（上・下） 36
 帰ってきた かい人 21 面相 151
 加害と赦し 84
 科学・技術・社会をみる眼 128
 下級教員宣言 167
 「格差の時代」の労働論 17
 学生・単位・教師 167
 核なき未来へ 78
 核燃料サイクルの闇 78
 革命・情報・認識 114
 「かぐや姫」誕生の謎 86
 家事・育児を分担する男たち 52
 仮説縁起絵巻 147
 風と歩いた二年間 111
 風のアナキスト 竹中労 65
 風の狭間で 44
 家族 5
 〈家族〉ってなんだろう 60
 片想いのシャッター 139
 片隅の組合の型破りな戦闘史 57
 刀を秘めた中国人 108
 学校から「教育」を追放しよう 25
 学校給食を自由選択に 26
 学校事務労働者 26
 学校と子ども〈新装版〉 27
 学校のない社会への招待 33
 学校は雑木林 34
 学校はパラダイス 32
 学校礼記 29
 学校をしっかりとつかむ 26
 葛藤するシティズンシップ 103
 悲しみは生きる力となりて 35
 カナダ・デジタル不思議大国の秘密 109
 金子光晴下駄ばき対談〈新装版〉 147
 金子光晴とすごした時間 147
 金が人と街を駆け抜けた 71
 カネッティを読む 90
 神の御業の物語 88
 カムイの言霊 94
 からだとの対話 132
 身体にやさしい買い物事典 135
-

刈谷藩 16	教師として生きられるか生きられないかという問 題として 167
川越藩 15	凝視録 64
還我祖霊 97	共生・共学か発達保障か 29
「歓喜に寄せて」の物語 152	共生社会へのリーガルベース 74
関係の原像を描く 29	共生社会論 39
観光立国論 65	「共生」とは何か 128
韓国の希望 盧武鉉の夢 101	「教祖」に死刑判決下る 75
患者が書いた歯医者の本 66	京都の染め職人たち 60
简单便利の現代史 70	教養小説の崩壊 148
カント 9	協力隊員物語 109
関東大震災朝鮮人虐殺の記録 84	義理回状の研究 75
カントの政治哲学入門 117	キリシタン武将 黒田官兵衛 99
環日本海新時代 63	近所鉄道 152
管野スガ再考 98	禁じられた江戸風俗 97
観音経 6	近代女性史 5
観音経の現代的入門 124	近代日本公娼制の政治過程 98
季刊 福祉労働 19～23	近代日本の文化変動と社会運動 160
記号論 9	近代のまなざし 36
聞こえない親をもつ聞こえる子どもたち 44	近代をどう超えるか 114
偽史と奇書の日本史 86	9月の金魚 150
キジムナー kids 85	靴づくりの文化史 92
鬼神論〈新版〉115	ぐにゃり東京 150
犠牲になる少女たち 66	首塚巡礼花魁道中 93
キセンバルの火 57	熊野・被差別ブルース 73
偽善への自由 136	暮らしの型再耕 64
北一輝の革命 10	暮らしのなかのボイコット 63
〈期待という病〉はいかにして不幸を招くのか 18	クルド、イラク、窮屈な日々 110
北のあけぼの 94	車いすでめぐる日本の世界自然遺産 48
記念祭／記念日カルト 64	久留米藩 14
希望について 117	クレージー・ランニング 154
希望への陰謀 101	黒木和雄とその時代 138
「客観報道」の裏側 80	黒澤明 8
キャバ嬢なめんな。 56	桑名藩 14
「教育改革」と労働のいま 37	軍が警察に勝った日 83
教育格差 33	ケアの倫理からはじめる正義論 50
教育／家族をジェンダーで語れば 33	敬虔者たちと〈自意識〉の覚醒 88
教育カルトの時代 30	経験の解釈学 114
教育関係法規概論（解説） 30	経済学入門 8
教育コンピュータ工場 26	刑法 7
教育情況への発言 168	刑務官 佐伯茂男の苦悩 64
教育・その混乱と崩壊 25	劇画・霧社事件 105
教育勅語の戦後 97	けっこう面白い授業をつくるための本 34
教育の虚妄を支える教科書 167	訣婚パスポート 60
教育への逆光線 28	ゲルマン語学への招待 122
俠客の条件 75	検察側立証すべて終了 75
教科書 4	原子爆弾テロ概言 82
狂骨の詩人 金子光晴 147	検証・石原政権待望論 101
教師・その日常と生存感 25	

-
- 検証・占いの真相 144
 原子力事業に正義はあるか 78
 原子力推進の現代史 78
 原子力船「むつ」 78
 原子力の政治学 77
 原子力のはなし 169
 現代親分論 75
 現代子育て考 そのⅠ～Ⅴ 24
 現代資本主義 8
 現代の古典物理 128
 現代福祉論批判 37
 現代文明の危機と人類の未来 160
 原発ジブシー 77
 原発ジブシー [増補改訂版] 77
 原発を止めた町 77
 原発を止めた町 [新装版] 77
 現場で磨くケースワークの技 41
 憲法 4
 憲法調査会証言集 国のゆくえ 101
 憲法のポリティカ 103
 権利擁護が支援を変える 50
 公安調査庁の暴走 68
 行為としての教育現場 168
 考証・切支丹が来た島 57
 行動派の整理学 65
 更年期の真実 55
 後樂園球場のサムライたち 155
 声なき犠牲者たち 58
 誤解だらけの個人情報保護法 10
 語学の西北 121
 古河藩 14
 呼吸器の子 45
 古教会への誘い 141
 国際協力とキャパシティ・ディベロップメント 49
 国際コンテンポラリー・ダンス 140
 国際養子たちの彷徨うアイデンティティ 17
 古九谷の暗号 86
 極秘 駐蒙軍冬季衛生研究成績 84
 国民が本当の主権者になるための5つの方法 62
 極楽の人数 126
 ここがヘンだよ石原都政 100
 ここまでやったぞ! ナトセン授業 31
 ココム・WMD・そして中国 102
 心の宇宙へ 129
 「心のケア」を再考する 36
 ころの旅 125
 心を遠隔管理する社会 37
 50年代ジャズ青春譜〈新装版〉 143
 50年代新宿シネマ・グラフィティ 137
 50のケースで考える医療ソーシャルワーカーの心得 41
 戸籍 3
 戸籍がつくる差別〈新装版〉 60
 戸籍が見張る暮らし 60
 国家と情報 69
 国家と石綿 130
 国境の鳥・対馬のいま 91
 ことばの探索 113
 寿ぐ 96
 子ども親の戦後史〈増補改訂版〉 32
 子ども虐待 33
 子ども・その「自閉」の構図 25
 子どもたちは平和をつくれるか 31
 子どもという不安 30
 子どもの権利条約と障害児 30
 子どもの性的虐待サバイバー 40
 子どもは…… 141
 子どもは…… [Kids Are……] [新訂] 141
 子ども兵を知っていますか? 110
 子ども漫画の世界 27
 この国のミライ図を描こう 62
 誤判 69
 拳の近代 156
 コマーシャルフィルム 170
 ゴミと生活 169
 小諸藩 13
 これが「帝国日本」の戦争だ 82
 これなら買っても大丈夫!! 134
 転びの時代をいかに生きるか 113
 コロンブス 7
 コンゴ共和国 マルミゾウとホテルの行き交う森から 131
 コンピュータソフト 170
 コンピュータの中の子供たち 28
 コメントール・暴力団新法 62
 【サ行】
 サーカスが来る日 142
 再考・ノーマライゼーションの原理 40
 祭祀と異界 96
 最新 危ない化粧品 11
 最新 危ないコンビニ食 12
 最新 危ない水 11
 裁判員制度と知る権利 72
 裁判官・学者の哲学と意見 72
-

サイパン・グアム 光と影の博物誌	109	J. J. ルソーの教育論	30
裁判と心理学	36	ジェンダーからみた新聞のうら・おもて	81
裁判と歴史学	86	ジェンダーで読む〈韓流〉文化の現在	55
裁判をみる眼	80	ジェンダーの語られ方、メディアのつくられ方	81
在野の精神	113	ジェンダー・フリー・トラブル	55
佐伯藩	14	支援の障害学に向けて	47
佐賀藩	14	支援費風雲録	45
相良藩	15	自家採種ハンドブック	134
咲き織順子の世界	141	ジグソーパズル・アジア	104
サクラは何色ですか？	116	死刑	7
作家は何を嗅いできたか	151	死刑囚の一日	63
サツマイモの世界 世界のサツマイモ	134	死刑囚のうた	63
佐藤敬夫流	100	死刑囚の妻	63
佐渡の風土と被差別民	95	死刑と宗教	63
「真田丸」を歩く	98	資源化する人体	11
裁かれた戦時性暴力	71	思考・表現・コンピュータ	129
裁かれる大学	25	自己史的教育労働運動	168
差別	5	仕事と就活の教養講座	74
差別されてる自覚はあるか	49	死者とともに生きる	17
差別の心的世界	36	思春期心理学入門	35
さまよえる高校生たちが撃つもの	167	自然食	4
彷徨えるジェンダー	54	自然観の革命	114
サムライ使節団欧羅巴を食す	94	思想は武器に勝る	108
冷めた紅茶	147	時代小説の時代	149
さらば！ 検索サイト	117	時代の刻印	113
皿屋敷	153	七花八裂	150
サラワクの風	108	自治と当事者主体の社会サービス [増補改訂版]	37
されど我、処刑を望まず	68	実録四谷怪談	152
早蕨のうた	61	シティズンシップの教育思想	32
山窩が世に出るまで	157	シティズンシップの政治学 [増補版]	102
山窩血笑記	158	シニアが活かすアメリカのNPO	70
サンカ社会の研究	157	死神裁判	88
サンカ社会の深層をさぐる	159	死にぎわのわがまま	125
山河慟哭	140	シネマの子どもに誘われて	137
サンカと犯罪	159	シネマの魔	137
山窩の謀者	158	詩の社会性	148
サンカの社会資料編	157	死の秘密	125
山窩物語	157	死の淵をみつめて	64
燦々オキナワ	112	新発田藩	14
三竈島事件（さんそうとうじけん）	85	司馬遼太郎と「坂の上の雲」	9
〈3・11 後〉忘却に抗して	74	司馬遼太郎と丸山真男	149
山頭火の恋	151	私風俗	67
残念無念な男たちコレクション	146	自閉症・環境・発症論	45
「三分間の詐欺師」が語る銀幕の裏側	139	自閉症の意識構造	45
CIA スパイ研修	69	資本主義	3
幸せな、お産	141	資本論	4
自衛隊のジレンマ	102	市民的自由の危機と宗教	126
自衛隊よ、夫を返せ！	57		

-
- 自民党改憲で生活はこう変わる 101
 社会的入院から地域へ 48
 社会の障害をみつつけよう 50
 社会福祉から地域社会づくりへ 37
 写真報告・素顔の北朝鮮 106
 ジャズ・ヴォーカル哀愁旅行 143
 ジャズ・ヴォーカル感傷旅行 143
 ジャズ・ヴォーカル追憶旅行 143
 ジャズ・ヴォーカル抱擁旅行 143
 ジャンヌ・ダルクとその時代 87
 住基ネットと人権 10
 十九歳・テロルの季節 61
 宗教者が語る死刑廃止 63
 宗教の行方 125
 「修辞」という思想 116
 修道院のウズラ料理 135
 十二歳の戊辰戦争 99
 十四歳の死刑囚 76
 出路 105
 殉教と殉国と信仰と 126
 シュンペーター再考 65
 生涯学習の展開 29
 生涯学習論 29
 「障害」児教育から教育をみる 31
 「障害児」教育と人種問題 29
 「障害児の教育権」思想批判 29
 障害児の高校進学・ガイド 30
 障害者 8
 障害者運動と価値形成 46
 しょうがい者・親・介助者 43
 障害者解放運動の現在 35
 障害者が街を歩けば差別に当たる?! 43
 障害者殺しの思想【増補新装版】 44
 障害者の介護保障訴訟とは何か! 50
 障害者はどう生きてきたか【増補改訂版】 47
 障害と文学 49
 笑撃! これが小人プロレスだ 154
 証言・ハンセン病 70
 少数言語の視点から 121
 小説 外務省 83
 小説 外務省Ⅱ 83
 松竹大船大島組 138
 聖徳太子と斑鳩京の謎 87
 聖徳太子はシルクロード合成人間 87
 庄内藩 14
 少年Aの犯罪プラス a 67
 少年「犯罪」シンドローム 61
 娼婦ノック 104
 縄文のメドゥーサ 97
 浄瑠璃坂の仇討ち 99
 昭和維新史との対話 82
 昭和精神の透視図 115
 昭和天皇下の事件簿 83
 昭和妖婦伝 158
 食糧 4
 女性・怒りが開く未来 53
 女性の怒りと憂うつ 53
 女性の権利を擁護する 117
 ジョルジュ・サンド 愛の食卓 152
 白神山地と共に歩む道〜V 130
 知られざる映画を求めて 136
 自立生活運動史 43
 自立生活運動と障害文化 43
 自立と福祉 49
 死霊解脱物語聞書 152
 史料で読む部落史 95
 シルクロードと世界の楽器 87
 シルクロード渡来人が建国した日本 86
 シルバー・シネマ・パラダイス 137
 白い大陸への挑戦 131
 死を超えるということ 118
 審議会革命 102
 シングルマザーに乾杯! 53
 シングルマザーのあなたに 53
 震災後の日本で戦争を引き受ける 18
 新宗教 6
 真珠湾攻撃・全記録 84
 新庄藩 13
 心身健康事典 135
 人生が見張られている! 73
 人世坐大騒動顛末記 158
 「申請主義」の壁! 46
 新選組 10
 新選百物語 153
 腎臓病患者、痛恨の記録 39
 新築病 11
 神道 10
 「新法」成立で揺れる教団 74
 「新優生学」時代の生老病死 37
 心理主義化する社会 37
 心理治療を問う 36
 心理テスト・その虚構と現実 36
 進路の壁をのりこえて 27
 スウェーデンにおける施設解体 42
 スウェーデンにおける施設解体と地域生活支援
 41
-

スウェーデンにおける自立生活とパーソナル・アシスタンス 38
スウェーデンの障害児教育改革 30
スウェーデンの障害者政策〔法律・報告書〕 40
スウェーデンの知的しょうがい者とノーマライゼーション 38
スウェーデン・ノーマライゼーションへの道 40
数学 9
スーパーマン 146
すきな映画を仕事にして 139
スクールソーシャルワークとは何か 32
頭上は海の村 63
裾野の山窩 157
ストリート・ウーマン 91
ストレンジャーズ・ミート 136
スビルバーク 9
スペイン語の贈り物 121
スペインの竈から 135
すべての権力を人民へ 57
すべての人にベーシック・インカムを 116
スポーツ中継 156
相撲甚句物語 155
相撲大事典（第四版） 154
相撲茶屋のおかみさん 155
SSSの文化戦略 60
性 6
政治がつむぎだす日常 89
《聖者》カザノヴァの肖像 88
聖書との対話 114
聖書の平和思想を現代にどう生かすか 127
精神医療 7
精神科医療 治療・生活・社会 37
精神障害のある人々の自立生活 48
精神病院はいらない！ 48
腥態 142
性同一性障害の社会学 55
性同一性障害はオモシロイ 55
生と死をめぐる旅へ 69
性の革命 114
性の女性史 53
性犯罪 65
性別と天才 53
性別役割分業は暴力である 56
生命操作 4
西洋靴事始め 92
セイレーンの誘惑 148
生を治める術としての近代医療 17
生を肯定する倫理へ 50

世界と交信する子どもたち 31
世界の障害者 われら自身の声 44
世界の小さな旅路より 112
世界客家大会に行く 106
世界を変える知的障害者：ロバート・マーティンの軌跡 38
世界を変える非暴力 10
石炭火力が日本を救う 129
石油と戦争 101
石油文明の破綻と終焉 129
セクシュアリティ〈新装版〉 52
絶対、許さねえってば 47
説得 60
絶望と歓喜（上・下） 124
「絶倫」で読む日本史 86
瀬戸内の民俗と差別 160
瀬戸際の勝負師 156
迫る危機 139
善意の仮面 44
全学連 4
戦艦ボチヨムキンの生涯 1900-1925 93
戦艦 大和・武蔵 84
1981年の黒船 45
1000キロの海を渡った「大王の棺」 97
戦国大名と賤民 95
全国野球場巡り 156
「戦後時代」の夕焼けの中で 71
戦後「日本マンガ」論争史 144
戦後仁俠史の研究 75
全生園の森〈創立90周年記念写真集〉 141
占星術 8
先生、ほくら、しょうがいじなん？ 34
戦争・詩・批評 148
戦争とは何か 148
戦争の日々（上・下） 85
戦争は教室から始まる 31
先祖がサルでもいいけどイモでもいい 147
潜入 閉鎖病棟 73
千年後には・東京 140
前夜〔増補改訂版〕 101
「早期発見・治療」はなぜ問題か 36
増殖するコンピュータ 128
漱石とホームズのロンドン 151
漱石のユートピア 151
総覧・地球環境 7
疎外された学習 168
蘇我氏はシルクロードから渡来した 87
続・学生・単位・教師 167

-
- 続 知能公害 168
 狙撃兵ローザ・シャニーナ 84
 そしてはくもいる 28
 楚人冠 150
 育ち合いの保育 31
 その他の外国語 119
 祖父の戦争 70
 素朴だけでない田舎暮らしの馴染み方 71
 それぞれの戊辰戦争 16
 ソ連邦解体と民族問題 100
- 【タ 行】**
- ダーウィン 4
 ターゲテッド・キリング 103
 体あたり介護保険 41
 タイ・うごめく「人」景 104
 タイ・演歌の王国 108
 大英帝国の女教師 55
 大学紛争の社会学 30
 大学を解体せよ 33
 大逆事件と大石誠之助 98
 体験 91
 第九 祝祭と追悼のドイツ 20世紀史 152
 大工の明良、憲法を読む 62
 第三帝国の歴史 90
 大衆小説の世界と反世界 149
 タイ娼館・イサーンの女たち 104
 だいじょうぶ！依存症 46
 タイでオモロイ坊主になってもうた 125
 大統領をつくった男はゲイだった 107
 タイの象は生き延びられるか 110
 退廃への自由 136
 大量リストラ時代 68
 台湾先住民・山の女たちの「聖戦」 105
 台湾・タロコ峡谷の閃光 105
 台湾・霧社に生きる 105
 橢円幻想 148
 高田藩 14
 高遠藩 13
 宝塚 8
 打撃投手 155
 竹中労・無頼の哀しみ 148
 竹の民俗誌〔新装版〕 96
 多元的共生社会の構想 50
 太宰治 6
 たたかう野菜たち 58
 忠敬と伊能図 82
 ただ念仏して 126
- ただの主婦にできたこと〔増補改訂版〕 134
 脱施設化と個別化給付 49
 脱施設化と地域生活支援：スウェーデンと日本 42
 たったひとりのメディアが走った 81
 起て、飢えたる者よ〈インターナショナル〉を訳詞した
 怪優・佐々木孝丸 145
 種と遊んで 134
 楽しくやろう夏休み 169
 たのしみを解剖する 72
 楽しむ 96
 旅の民俗シリーズ第一巻～第三巻 96
 黙って働き 笑って納税 83
 玉と砕けず 84
 ダメージ 154
 誰もががかる化学物質過敏症 11
 団塊の〈青い鳥〉 72
 短歌でみる日本史群像 150
 炭鉱（やま） 139
 炭鉱町に咲いた原野野球 155
 男性ヘルパーという仕事 46
 旦那場 近世被差別民の活動領域 95
 歎異抄 7
 歎異抄の近代 116
 丹波の大親分 157
 地域と障害 48
 地域の学校で共に学ぶ 31
 地域福祉・介護福祉の実践知 47
 地域福祉と生涯学習 49
 チェコ語の隙間 119
 ちくわを食う女 120
 地図 7
 父 83歳、ボケからの生還 44
 父・三角寛 159
 知的しょうがい者がボスになる日 43
 知的障害者の地域移行と地域生活 49
 知的障害のある人のライフストーリーの語りから
 みた障害の自己認識 42
 知的・発達障害児者の人権 50
 地デジ利権 68
 知能公害 167
 ちびた鉛筆 147
 地方自治 6
 チャップリン 5
 中学生は猿からいちばん遠い 33
 中国語ひらめき塾 120
 中国コメ紀行 すしの故郷と稲の道 94
 中国語 未知との遭遇 120
-

中国人強制連行資料〈復刻＋解題〉 84	テロリズムと報道 80
中国人は言葉で遊ぶ 120	電子・少女・犯罪 67
聴覚障害者が見たアメリカ社会 44	電磁波 11
調査と人権 59	伝説となった国・東ドイツ 107
長寿社会と生きる〈健康麻將〉 135	天皇制 4
朝鮮民主主義人民共和国映画史 139	天皇制と被差別民 160
「朝敵」と呼ばれようとも 98	天皇制と靖国 113
チョムスキー 10	電話通訳 121
治療という幻想 37	伝、悪ガキ教師の二十八年 28
通信簿と評価権〈新装版〉 27	ドイツ革命 89
通天閣の歌姫伝説・叶麗子物語 143	ドイツ・右翼の系譜 107
月のしずくが輝く夜に 94	ドイツ語学への誘い 122
つげもの大学〈新装版〉 159	ドイツ語学を学ぶ人のための言語学講義 122
つげ義春を解く 149	ドイツ語〈語史・語誌〉閑話 122
つげ義春を読む〔増補版〕 149	ドイツ語で読む『聖書』 122
土と人間の記録 57	ドイツ精神病理学の戦後史 89
〈繋がる力〉の手渡し方 32	ドイツにおけるナチスへの抵抗 89
つながる喜び 135	ドイツ方言学 122
つまり、「合理的配慮」って、こういうこと?! 34	投機は経済を安定させるのか? 18
津山藩 16	東急・五島慶太の生涯 66
出会いが生む言葉 クレオール語に恋して 121	東京千住・深川物語 150
ディア アメリカ 104	東京都セレブ区福祉部 67
Deinstitutionalization and Community Living in Australia, Norway, Holland and Japan 42	東京発信州行き鈍考列車 30年 71
Deinstitutionalization and Community Living in Sweden and Japan 42	道元「禪」とは何か 第一巻～第六巻 124
DVD 付 アート オブ ヴォイス 132	統合教育へ一歩踏み出す 30
DVD 付 マタニティ・ヨーガ 安産 BOOK 132	統合失調症は回復します 48
DVD 付 みんなのお産 133	働きの民 106
DV・被害者のなかの殺意 55	当事者がつくる障害者差別禁止法 43
帝銀事件裁判の謎〈新装版〉 61	東芝の祖 からくり儀右衛門 73
帝銀事件の全貌と平沢貞通 61	同性愛のカルチャー研究 54
帝国ニッポン標語集 82	当世教師廃業事情 27
帝国ニッポン標語集〈増補普及版〉 82	東方のドイツ人たち 107
帝国ホテル物語 66	東北・蝦夷の魂 99
ディスアビリティ現象の教育学 32	東洋思想 8
Discover Sumo 155	童話・ボンゴのミラクル作戦 148
ティマイオス／クリティアス 117	時は過ぎゆく 147
溺愛酷愛現代親子事情 28	ドキュメンタリー映画の現場 137
出口のない家 64	ドキュメンタリーとは何か 137
哲学の味わい方 115	ドキュメンタリーの海へ 137
徹底討論 犯罪報道と人権 80	ドキュメント精神鑑定〈新版〉 64
鉄道と生物・運命の出会い 135	ドキュメント「みなさまのNHK」 80
テレビゲーム解釈論序説／アッサンブラージュ 144	「毒殺」で読む日本史 86
テレビジャーナリズムの現在 80	特殊謀報員 84
テレビドラマ 170	特別支援教育を超えて 33
テレビに映らない世界を知る方法 117	「特別の教科 道徳」ってなんだ? 34
テロリスト・ワールド 118	土佐藩 14
	都市住民への挑戦状 58
	都市伝説と犯罪 67

図書館利用の達人 135
 土地と水と人びと 130
 どっこい大田の工匠たち 60
 「富」なき時代の資本主義 18
 「共に学ぶ」教育のいくさ場 31
 渡来原郷 96
 渡来の民と日本文化 95
 《ドラキュラ公》ヴラド・ツェベシュ 87
 ドラッグ 8
 トロツキー 3
 トロツキーは無罪だ! 102

【ナ 行】

中江藤樹・異形の聖人 115
 長岡藩 13
 長沢 鼎 ブドウ王になったラスト・サムライ 97
 中津藩 15
 なして、原発?! 78
 ナチスからの「回心」 90
 ナチス第三帝国とサッカー 90
 ナチス第三帝国を知るための101の質問 90
 ナチスドイツ支配民族創出計画 89
 ナチスドイツと障害者「安楽死」計画【新装版】 89
 ナチス・ドイツの外国人 88
 なつかしく思います 150
 夏のこん虫研究 169
 七大経済学 4
 浪商物語 154
 難民と市民の間で 17
 ニーチェ 6
 肉声史 167
 肉体の時代 115
 逃げたい やめたい 自衛隊 65
 西田幾多郎 9
 21世紀ヨーロッパの技術戦略 128
 日中は異文化だから面白い 120
 にっぽん 8
 『ニッポン国 vs 泉南石綿村』製作ノート 139
 ニッポン人、元気ですか! 64
 にっぽん たねとりハンドブック 134
 にっぽんフクシマ原発劇場 79
 日本映画史の研究 136
 日本から文化力 101
 日本鬼（ヤンブングワイ） 83
 日本再共同体論 115
 ニホンザルの生活 169

日本人「慰安婦」 71
 日本人の「心」と心理学の問題 36
 日本人のわすれもの 17
 日本とイスラームが会おうとき 127
 日本ナショナリズムの解説 116
 日本の教育 1974～日本の教育 1993 24
 日本の軍隊 上巻・皇軍編 7
 日本の軍隊 下巻・自衛隊編 8
 日本の警察 5
 日本の権力 6
 日本のなかの朝鮮問題 100
 日本の仏教 4
 日本発 共生・共働の社会的企業 39
 日本プロレス学宣言 154
 二本松藩 14
 ニュー・アクティブ・バース 122
 ニューギニアの贈りもの 108
 ニューメディアの幻想 58
 ニューヨーク事件簿 107
 ニューヨーク坊主、インドを歩く 126
 入所施設だからこそ起きてしまった 相模原障害者
 殺傷事件 42
 人間性の解釈学 113
 認知症ケアは地域革命! 49
 沼津藩 16
 猫・大通り 140
 猫・陽のあたる場所 140
 猫の怪 153
 熱帯アメリカ地峡通信 106
 農業に正義あり 69
 脳死・臓器移植、何が問題か 72
 脳電気ショックの恐怖再び 67
 農本主義が未来を耕す 69
 能力主義と教育基本法「改正」 31
 ノーマライゼーション原理とは何か 40
 ノーマライゼーションの現在 38
 ノーマライゼーションの原理【新訂版】 40
 野川物語 150

【ハ 行】

バース・リボン 133
 廢墟で歌う天使 17
 拝啓 病院の皆様 46
 バイセクシュアルという生き方 54
 ハイデガー 9
 How to 介護保障 38
 How to 生活保護【生活保護法改定対応版】 38
 覇権なきスーパーパワー・アメリカの黄昏 102

バクバクっ子の在宅記 46
幕末の女医 楠本イネ 99
幕末の農兵 98
初めて台湾語をパソコンに喋らせた男 110
はじめての障害者問題 39
走る生活 154
走れ国定忠治 92
バス車掌の時代 63
裸の昭和史 85
パチカンの国際陰謀 100
八戸藩 16
客家見聞録 106
果てしなきサーカスの旅 145
歯で守る健康家族 12
パトスから大学へ 25
バトルセックス 54
花岡事件 8
羽田浦地図〈新装版〉 59
母になるための〈知りたくもなかった〉教訓につ
いて 56
母の憶い、大待宵草 152
原敬と新渡戸稲造 99
パリア・フル・ニッポン 39
婆力(ばりき) 53
パリ・メトロ物語〈増補改訂版〉 112
晴れ姿! 旅役者街道 145
バレリーナヨガ 132
反教育の地下水 167
反原発 3
反原発事典Ⅰ 77
反原発事典Ⅱ 77
反骨の棋譜 坂田三吉 73
犯罪の中の子ども 62
阪神タイガース 松木一等兵の沖縄捕虜記 85
ハンセン病講義 70
パンツは一生の友だち 135
パンツを脱いだサル 116
パンツをはいたサル【増補版】 116
ハンディキャップ・レポート 35
反・哲学入門 117
ハンナ・アーレント 10
般若心経 4
反発達論〈新装版〉 35
反ユダヤ主義とは何か 90
ピア・ボランティア 世界へ 49
ピーチの社会学 91
日出づる国の古代史 98
ピープル・ファースト: 支援者のための手引き 38

ピープル・ファースト: 当事者活動のてびき 38
比較「優生学」史 65
東ティモールに生まれて 108
東日本の部落史Ⅰ～Ⅲ 95
東の太陽、西の新月 93
干渴の民主主義 130
被差別部落の形成伝承 95
びっくり 100
否定されるいのちからの問い 44
人・資源化への危険な坂道 129
人を「資源」と呼んでいいのか 70
ひねもすのたり中国語 120
ビバ! インクルージョン 33
ヒバクシャ・シネマ 78
ひびきあう子どもたち 27
日比谷高校闘争と一教員・生徒の歩み 167
日々わくわく 141
非暴力 6
100歳時代の新しい介護哲学 47
ヒューマン・エラー学の視点 131
ひょいと四国のお遍路へ 111
漂流民バジャウの物語 91
氷晶のマンチュリア 106
漂泊の民サンカを追って 159
弘前藩 14
ピンクの三角形 54
FAR WEST 141
フィールドワークの物語 91
フィリピン・スーローの海洋民 91
フーコー 9
風刺画とアネクドットが描いたロシア革命 93
風雪! 旅役者水滸伝 145
風俗夢譚 67
フェヒナーと心理学 36
フェミニジア 52
フィギュアスケートとジェンダー 156
ブギの女王・笠置シズ子 145
福井藩 14
福岡藩 15
復元 白沢 86
複雑系は、いつも複雑 129
複雑な、あまりに複雑な 128
福祉先進国における脱施設化と地域生活支援 42
福祉先進国に学ぶしょうがい者政策と当事者参画 42
福島原発人災記 79
フクシマ発 79
福祉労働 19～23
再び住んでみた中国 105

-
- 舞踏 140
 舞踏 (BUTOH) 大全 140
 府内藩 15
 冬の雑草 57
 部落差別と宗教 9
 部落差別と人権 7
 部落差別と人権Ⅱ 9
 「ブラジルの発見」とその時代 88
 プラスチック 11
 ブラハの異端者たち 88
 フランス革命 5
 プリヂストン 石橋正二郎伝 73
 ふりむけば中国語 120
 フルトヴェングラーの地平 145
 フルトヴェングラーの風景 145
 ブレイクスルー (突破) 73
 フレネ教育の誕生 27
 プレヒト 9
 フロイト 3
 プロケースワーカー 100 の心得 [増補版] 41
 プロ野球・燃焼の瞬間 155
 文学の減び方 150
 文化としての学校 28
 ヘーゲル 8
 ペーシック・インカム 116
 ペーシックインカムとジェンダー 73
 北京で二刀流 108
 北京のスターバックスで怒られた話 119
 ペットへの感謝状 133
 ペットへの感謝状 第二信 134
 海南の空へ 105
 ベネズエラ革命 108
 辺界の異俗 91
 弁護士と仏教と革命 125
 ベンチレーター (人工呼吸器) は自立の翼 45
 変容するシティズンシップ 102
 保育園死亡事故 58
 包囲されたメディア 81
 亡国記 79
 「暴対法」下のヤクザ 75
 報道の中の名誉・プライバシー 80
 法隆寺の中のギリシャ・シルクロード文化 87
 法隆寺ミステリーの封印を解く 87
 放浪と土と文学と 151
 ホームヘルパー最前線 41
 ポーランド孤児・「桜咲く国」がつかないだ 765 人の命 94
 ポーランド語の風景 121
 ボクが警官をやめた理由 65
 ぼく高校へ行くんだ 29
 「僕のお父さんは東電の社員です」 79
 僕の親になってくれる? 43
 ぼくの村は壁で囲まれた 102
 ボコ・ア・ボコ 106
 母子家庭にカンパイ! 53
 星の眠る町から 70
 補助犬というベストパートナー 44
 ポストナショナリズムの精神 115
 牡丹灯籠 153
 ホテル・ガンジスビュー 109
 ポルトガル語の色彩 121
 ポルトガル 震災と独裁、そして近代へ 88
 ホロコーストを知らなかったという嘘 90
 ほろ苦い勝利 106
 本気で巨大メディアを変えようとした男 81
 本当にあった? グリム童話「お菓子の家」発掘 152
 ボンヘッフアーを読む 122
 翻訳がつくる日本語 123
 【マ 行】
 まあ、空気でも吸って 45
 マージナル 1 ~ 10 号 165 ~ 166
 マイコン 4
 マイナス 50℃の世界 169
 魔界と妖界の日本史 86
 マカオの回遊魚 120
 マガジン 170
 政宗が殺 (け) せなかった男 98
 まだ名付けられていないものへまたは、すでに忘れられた名前のために 142
 マタニティ・ウォーキング 安産 BOOK 132
 マタニティヨーガ 132
 マタニティ・ヨーガ 安産 BOOK 132
 町工場巡礼の旅 59
 町工場で、本を読む 59
 町工場の磁界 (増補新装版) 59
 町工場の人間地図 59
 街に生きる 35
 松江藩 15
 マッカーサーへの 100 通の手紙 85
 松代藩 15
 松前藩 16
 松本清張の時代小説 149
 松本藩 13
 〈まなび〉と〈教え〉 33
-

-
- マフィア 8
マヤ文明 92
マルクス 3
マルコム X 7
まるで原発などないかのように 78
マンゴウの実る村から 104
卍とハーケンクロイツ 126
満洲国 (Manchuria Studies) 10
マンハッタン坊主 つれづれ日記 126
満蒙幻影傳説 82
三池藩 (下手渡藩) 16
見えない世界の物語 46
三木清遺稿「親鸞」 116
三木清『人生論ノート』を読む 117
三島由紀夫 5
水が消えた大河で 131
三角寛「サンカ小説」の誕生 159
『ミセス』の時代 151
味噌大学 (新装版) 158
美空ひばりと日本人 (増補版) 143
〈三越〉をつくったサムライ 日比翁助 73
水戸藩 15
緑の地球へ 129
水保巡礼 111
南太平洋の剛腕投手 85
身代金 72
ミミズの博物誌 128
宮崎駿マンガ論 144
宮沢賢治 7
宮部みゆきが読まれる理由 149
魅惑の魔都マカオでバカラ浸け 111
民衆宗教の世界 113
民衆の結晶 114
民主主義とホロコースト 89
民主主義は最高の政治制度である 62
民主主義はやっぱり最高の政治制度である 62
民俗学の愉楽 10
みんな一緒に学校へ行くんや 25
みんなのお産 133
民法 5
無縁介護 47
霧社事件 105
村上藩 14
ムラの欲望 69
名言なんか蹴つとばせ 144
明治三文オペラ 93
明治の快男児 トルコへ跳ぶ 93
明治の建築家・妻木頼黄の生涯 66
明治人のお葬式 93
名称変更で存続を図る 74
メディア仕掛けの政治 81
メディアリテラシーとジェンダー 81
メノポーズからのからだ・心・性 133
メヒコの自由学校 26
毛沢東 3
もうひとつの科学・もうひとつの技術 128
「もう一つの日本」を求めて 18
モーヴェ色の肖像 54
モスクワ地下鉄の空気 109
モスクワの孤独 110
本居宣長 8
元信者への死刑判決 74
元愛弟子への無期判決 74
盛岡藩 13
森達也・青木理の反メディア論 81
森達也の夜の映画学校 138
森田必勝・楯の会事件への軌跡 61
守山藩 15
- 【ヤ 行】
- ヤクザ 7
ヤクザと日本人 75
ヤクザ・風俗・都市 67
野鳥の生活 169
柳田国男 6
柳田国男を歩く 97
柳宗悦を支えて 97
炭鉱 (やま) 139
山形映画祭を味わう 138
山形藩 13
山田さんのひとり NGO 134
山田わか 生と愛の条件 56
ヤマトタケル 10
やまめ物語 169
日本鬼 (ヤンピングワイ) 83
遊歌遊俠 143
有機農業による社会デザイン 134
遊芸・漂泊に生きる人びと 160
郵政一何が問われたのか 68
優生保護法が犯した罪 (増補新装版) 72
郵政民営化 68
郵便屋さんが泣いている 68
ユーモアとしての教育論 34
ユダヤ教 10
ユダヤ・リテラシーの視界 89
揺れる山の灯 157
-

ユング 7

- よい教育とはなにか 34
 溶解する公安調査庁 69
 羊皮紙に眠る文字たち 119
 妖怪の棲む杜 国立市 一橋大学 141
 ヨーロッパにおける施設解体 42
 ヨコスカどぶ板物語 62
 横浜コトブキ・フィリピーノ 72
 吉田松陰 3
 吉田松陰【増補新装版】 10
 吉本隆明 5
 吉本隆明と中上健次 118
 吉原という異界 97
 寄せ場1～8号 161～162
 よど号、朝鮮・タイそして日本へ 70
 淀藩 16
 「世直し歌」の力 99
 米沢藩 13
 呼出秀男の相撲ばなし 155
 予防接種のえらび方と病気にならない育児法【新訂版】 66
 よみかきのしかた 167
 読む中国語文法 120
 寄る辺なき自我の時代 18

【ラ 行】

- ライヒ 6
 ラカン 9
 「拉致」異論【増補決定版】 117
 ラブホテルの文化誌 144
 離婚しなくても大丈夫 133
 留学生が愛した国・日本 101
 リングイストを知っていますか？ 123
 ルーマニア・マンホール生活者たちの記録 109
 ルポ 刑期なき収容 48
 霊園はワンダーランド 64
 冷戦の闇を生きたナチス 90
 レヴィー・ストロース 9
 レーニン 3
 歴史はマージナル 93
 労働移民の社会史 89
 労働者の味方マルクス 10
 六市と安子の“小児園” 85
 六郷小学校通信簿 167
 六大学野球 9
 ロシア語だけの青春 119
 ロシア語の余白 119

【ワ 行】

- ワーカーズ 110
 ワーキングマザーになる本 52
 猥談 92
 わいわい学級 28
 わが子よ 72
 わが青春の時代 160
 わが鐵路、長大なり 東急・五島慶太の生涯 66
 若松孝二 性と暴力の革命 138
 わが家の思春記 26
 輪切りはごめんだ 26
 分けられた場での事件 68
 倭国の都は火国・熊本 98
 私たち、愛し合わなければ 35
 私たち、遅れているの？【増補改訂版】 40
 私の伊能ウオーク 574 日 111
 私の恋した雲蝶さま 152
 私は銀幕のアリス 139
 私は、死なない 55
 私はマイノリティ あなたは？ 48
 私は無罪だ!! 74
 ワラン・ヒヤ 83

著者・編者・訳者索引

【ア 行】

アールストレーム, K. G 30

逢沢 明 128, 129

相原 茂 119, 120

相原なおみ 104

青木 理 69, 81

青木歳幸 15

青木三陽 88

青柳純一 101

青山貞一 102

赤尾光史 81

赤城智美 12

赤間 剛 100, 125

赤松啓介 92

秋岡 史 66

阿木幸男 6, 7, 10

秋元健治 78, 84, 102

秋山愛子 40, 41

秋山 孝 4, 5

明良佐藤 62

芥川正武 42

朝倉喬司 7, 64, 67, 85, 92, 143, 165, 166

朝倉輝一 9

浅野詠子 48

アジアプレス・インターナショナル 105

梓澤和幸 69, 72, 101

梓澤 登 102

東史郎さんの南京裁判を支える会 84

麻生直子 94

アダムズ, M. B 65

アッピングナネッセイ, R 3

アトランさやか 152

阿奈井文彦 59, 104, 132

安部直哉 169

安倍治夫 5

阿部靖子 27

あべゆっけ 7

あべゆきえ 11

天笠啓祐 11, 62, 129

網谷壮介 117

荒井富雄 138

荒井裕樹 49

荒川健一 142

アリ, T 3

有馬佳代子 169

アンダーソン, R. W 91

あんばい こう 63

飯田昭夫 145

飯田博久・飯田裁判を考える会 58

李 清 美 48

飯倉義之 153

飯室勝彦 80, 81, 101

伊賀ふで 94

五十嵐良雄 25, 30, 113, 167, 168

「異議あり！」編集部 167

井口民樹 156

池上 彰 81

池上千寿子 6

池田賢市 33, 34

池田知隆 72

池田浩士 89, 147~149

池田 実 68

伊沢紘生 169

石井絵里子 40

石井小夜子 33

石井 悠 15

石川憲彦 37

石川博久 129

石川光庸 88, 122

石毛鏝子 31

石毛えい子 41

石坂健治 137

石田甚太郎 83

石堂徹生 69

石飛 仁 8

石原慎太郎研究会 100~101

伊勢史郎 129

伊高浩昭 108

伊丹幸弘 168

-
- 市川定夫 7
 一の門ヨーコ 5, 7
 市之瀬 敦 88, 121
 伊藤龍也 141
 伊藤宣広 18
 稲川明雄 13
 稲川 實 92
 乾 達 48
 井上朝日 44
 井上憲一 3
 井上隆史 18
 井上 保 54
 井上義朗 18
 井上芳保 36, 66
 伊能忠敬研究会 82
 猪野健治 6, 75
 今井照容 159
 今井秀和 153
 今川 勲 92
 今村善子・直 35
 いもへゑ 147
 入倉ひろし 8
 岩上安身 101
 岩下哲典 16
 岩瀬政夫 111
 岩田重則 17
 インクルーシブ教育データバンク 34
 ヴァクス, A 65
 ヴァレンティス, M 53
 ヴェスターマン, F 112
 植垣一彦 25
 上野清士 4, 7, 106
 上野昂志 115
 上野千鶴子 92
 上野英雄 11
 上原正三 85, 145
 植村佳弘 94
 ヴェルナー, G. W 116
 ウォーレル, B 38
 ウォント, C 9
 宇神幸男 15, 99
 内田道雄 108
 内山 節 169
 内山安二 169
 内海 朗 7
 内海愛子 104
 宇根 豊 69
 ウノ・カマキリ 6
 梅垣千尋 117
 梅田明宏 156
 梅田十三 152
 梅原正紀 4, 6, 113
 梅原理子 8
 浦島悦子 58, 85
 エヴァンズ, S 3
 江口 司 97
 江刺昭子 151
 エジャートン, R. B 91
 江尻彰良 45
 エステバ, G 33
 NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 53
 エバンス, P 4
 海老原けえ子 45
 海老原宏美 45
 エリオット, D 77
 エリクソン, K 41
 遠藤 薫 17
 遠藤 教之 15
 遠藤 誠 4, 6, 7, 61, 62, 65, 124, 125, 133, 140
 遠藤美貴 42
 遠藤由紀子 15
 遠藤雪代 150
 エンビィ, G 35
 追分日出子 170
 王 真亮 105
 櫻坂英子 56
 扇田孝之 71
 大泉実成 60
 大内 治 108
 おおえまきのり 7
 大萩原一 169
 大河原礼三 127, 167
 大熊一夫 48
 大熊哲雄 95
 大倉 直 32, 85
 大倉信子 25
 大阪・15教職員組合連絡会 25, 26
 大澤正人 9, 116
 大島晃一 13
 大住 誠 7
 太田昌国 117
 太田 竜 4, 58, 114
 大夢賀政昭 135
 太田垣幾也 25
-

大谷恭子 74
大谷 強 37
大塚三恵子 28
大月隆寛 92, 156
大友義助 13
大友りお 56
大野哲夫 70
大野雅之 15
大場喜代司 14
大橋健二 115
大山勝男 73
小笠原和彦 32, 61, 64, 151
岡島由佳 153
緒方 修 106, 112
岡田全弘 90
岡野八代 50, 102, 103
岡村 青 15, 61, 86
岡村 浩 128
岡村正史 154
岡本 博 136
岡本 操 31
岡本亮子 90
小川 淳 106
沖浦和光 95, 96, 160
沖 公祐 18
沖藤典子 94
小熊 均 28, 61
長田健次郎 109
長田幸康 112
長田佳久 72
小沢修司 116
オズボーン, R 8
オダン, M 133
オット, K 131
男の子育てを考える会 24, 133
乙原 愛 8
鬼塚 巖 58
小野 榮 13
小野善邦 81
小野沢あかね 71
小幡照雄 8
オブライエン, J 132
小俣和一郎 89
オマツ・マリカ 106
『おもしろ学校の一日』上映実行委員会 27
オレンスタイン, P 56
女たちのリズム編集グループ 52

【カ 行】

『海峡をへだてて』刊行委員会 100
貝原 浩 3~10, 141, 147
科学史科学教育研究所 128
寛 次郎 118
笠井 潔 163, 164
笠谷和司 134, 135
梶原しげる 133
カストロ, F 108
加瀬亮志 3
片岡律子 90
堅田香緒里 73
学校給食を考える連絡会 26
学校事務労働者編集委員会 26
「がっこの会」 168
勝又 進 11
桂文庫 99
加藤久子 94
加藤真規子 48
加藤雅毅 59
河東田 博 38, 40~43, 49, 50, 72
門野晴子 26
門脇 大 153
金井和正 168
カナヴァン, B 4
金指 基 8, 65, 154
要倉大三 27
金子マーティン 107
金子光晴 147
蒲 豊彦 85
鎌田 慧 57
上島敏昭 86
神沼克伊 131
神山貞次郎 140
亀井好恵 91
ガメット, P 128
亀山俊朗 102, 103
粥川準二 11
カリフォルニア・ピープルファースト 40
河合信晴 89
川内俊彦 7, 9
川内美彦 39
川上隆志 95, 96
河崎健一郎 69
河崎昌子 128
河崎 靖 119, 122

-
- 川副義敦 14
 川田あきひこ 8
 河東 仁 135
 河野貴代美 54
 川原崎淑雄 15
 川村 湊 10, 79
 川本三郎 136, 137
 川本敏郎 70
 河原井純子 34
 菅 孝行 4~6
 「環日本海社会党フォーラム」中央実行委員会 63
 ギイ, A 139
 ギーフアー, R&T 90
 きくちさかえ 132, 133
 菊地 卓 14
 岸見一郎 117
 北沢杏子 55
 北野 慶 79
 北原遼三郎 66
 北村公一 57, 137, 143
 北村小夜 28, 30, 31, 105
 北村小夜が語り、北村小夜と語る集い実行委員会 52
 北村朋子 55
 北村 元 104
 北村博司 77
 北山秋雄 40, 53
 キテイ・エヴァ, F 50
 紀野一義 124
 ギボンズ, M 128
 木前利秋 102, 103
 キム・ユンシム 105
 木村 朗 101
 木村聖哉 148
 木村涼子 33, 55
 木本協司 129
 木本玲一 156
 キャラウェイ, C 41
 ギャラフアー, H. G 89
 キュウティ, T 4
 教育コンピュータ研究会 28
 共同作業所ピアセンターあかり 46
 共同通信社社会部 72
 清重伸之 8~10, 12, 83
 ギルバート, H 53
 ギルマン, S. P 52
 紀和 鏡 93, 165, 166
 金 文学 108
 金 明学 108
 金城 実 60
 久遠智彦 110
 空閑厚樹 135
 久慈 力 86, 87, 135
 国永史子 6
 久野研二 49, 50
 久保英之 109
 熊谷さとし 11, 12
 熊野新聞社 98
 久美 薫 146
 グメルク, J 91
 クライン, F 54
 クラウゼ, A 8
 倉沢治雄 78
 倉田 剛 138
 グラニガー, G 40
 グリア, J 55
 栗原佳子 4
 栗原 佳 16
 栗原 彬 111
 クリモウスキィ, A 9
 栗本慎一郎 116
 グリーン, J 144
 グリーンカルチャーセンター 129
 ぐるーぶ・アミ 40
 グループ草の根 114
 クレイ, C 89
 グレイバー, D. A 81
 グロープス, J 9
 クロール, S 3, 4
 黒田龍之助 119
 黒豹党支援日本委員会 57
 黒部信一 66
 黒柳俊恭 54
 桑迫昭夫 64
 桑名敦子 43
 桑野 隆 93
 郡司和夫 11
 ケアンズ, K. A 55
 刑法被告人を支える市民の会 57
 元 省鎮 100
 「現代子育て考」編集委員会 24
 現代ジャーナリズムを考える会 80
 現代書館編集部 83, 133, 134
 原発老朽化問題研究会 78
 小池和子 53, 64
-

-
- 小池静子 97
河内一郎 151
河内美穂 106
河野哲也 49, 50
ゴードン, P 10
郡山吉江 57
郡 義武 14
古賀林 幸 84
虚空山彼岸寺 127
国際教育研究会 167
コグズウェル, D 10
小阪修平 3, 4, 163, 164
小坂井敏晶 115
小関俊一 5
古関・ダール 瑞穂 38, 41
小関智弘 59, 60
小園弥生 74
小玉重夫 17, 32
児玉房子 140
児玉勇二 50
小玉亮子 33
後藤太輔 156
五藤孝人 99
後藤 護 58
後藤安彦 8, 150
後藤雄介 121
子どもの権利条約の趣旨を徹底する研究会 30
子どもの健康を考える会 27
小二田誠二 152
小林賢司 5, 7
小林 繁 49
小林誠一 107
小林孝信 112
小林敏也 4~7
小林まさみ 7, 148
コバヤシ・マサミ・ウィーズナー 70, 123
小林康達 150
コブリー, P 9
小村明子 127
子安 潤 34
子安宣邦 115, 116
小山顕治 98
小山スーザン 121
小山昌宏 144
コリンズ, J 9
ゴルケ, M 131
此経啓助 93, 104
ゴンザレス, G 6
近藤節夫 85
コンピュータと女性労働者を考える会 52
- 【サ 行】
- サーダー, Z 9
埼玉教育塾 26, 28
埼玉社会福祉研究会 35
斎藤明子 38, 40
斎藤次郎 27
斉藤振一郎 156
斎藤貴男 34
齋藤 喬 153
斉藤寿雄 90
斎藤文男 31, 147
斎藤正治 136
斎藤洋一 95
佐伯 修 86
佐伯隆敏 39, 147, 148
佐伯 守 113, 114
三枝博幸 169
坂井康人 95
坂口順一 81
坂倉裕治 18
坂本俊夫 15, 93, 99, 155
咲き織順子 141
桜井智恵子 101
佐倉智美 55
砂古口早苗 145, 151
佐々木 聡 86
佐々木徹雄 139
佐々百合子 43
薩摩秀登 88
佐藤きみよ 45
佐藤敬夫 100
佐藤忠男 136, 138
佐藤貞子 55, 65
佐藤友之 63, 64, 83
佐藤直樹 7
佐藤信夫 100
佐藤 太 135
佐藤文明 3, 9, 10, 60
佐藤昌明 79
佐藤雅彦 10, 41, 65, 81
佐藤由美子 132, 133
さとうよしこ 133
佐藤竜一 13, 16, 99
-

-
- 里中哲彦 83, 121, 141, 144, 149
 里深文彦 128
 実松克義 92, 126
 佐野さよ子 29
 沢野ひとし 108
 澤藤統一郎 101
 澤宮 優 97, 151, 155
 サンカ研究会 159
 三里塚微生物農法の会・ワンバックグループ 58
 椎野信雄 53
 ジェイコブソン, D. S 43
 ジェヴティック, Z 9
 塩川友衛 13
 塩野美奈 54
 塩見鮮一郎 79, 97
 シカゴ大学出版局 54
 自家採種ハンドブック出版委員会 134
 シグロ 137
 「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク 63
 重田正夫 15
 重信幸彦 81
 志澤佐夜 31
 穴戸節太郎 90
 下元信行 143, 154
 紙弾の会 167
 疾走プロダクション 139
 篠木 眞 141
 篠田正浩 96
 東雲西明 66
 篠原 進 153
 篠原睦治 29, 72
 柴 桂子 99
 柴崎昭則 78, 89
 柴田耕太郎 9
 柴田純一 41
 柴谷篤弘 114
 柴田弘武 169
 柴田靖子 33
 澁谷智子 44
 島野涼子 49
 清水 正 149
 清水正晴 87, 88
 しみずよりお 44
 市民福祉情報オフィス・ハスカップ 47
 下重 清 16
 下田信夫 169
 下村由一 112
 シャピロ, J. P 41
 ジャンス, L 9
 シュタインバッハ, P 89
 シュテーク, E 53
 シュワアルツ, J 3
 障害学研究会中部部会 43
 「障害者差別禁止法制定」作業チーム 43
 城西国際大学ジェンダー・女性学研究所 55
 庄司丈太郎 140
 庄司洋子 49
 正村邦之 73
 ジョージ, S 4
 ショーム, M 66
 ジョンストン, W. M 64
 ジョン・デューイ調査委員会 102
 シライナ, H 9
 白崎朝子 47, 73
 白仁高志 9
 白野降雨 108
 自立生活情報センター 38
 シンガー, P 130
 しんぐるまざあず・ふぉーらむ 53
 新藤宗幸 6
 シンプソン, W. B 84
 菅田正昭 10
 菅沼 隆 49, 50
 須川亜紀子 144
 杉浦敏子 10
 杉田穂子 42
 杉谷綾子 88
 杉本 章 47
 杉本 宏 103
 鈴木邦男 10, 65, 82
 鈴木志郎康 137
 鈴木聖奈 150
 鈴木常浩 109
 鈴木みち子 6, 28, 109
 鈴木 康 14
 鈴木義昭 65, 138
 鈴木 良 49
 スズラックマン, C 10
 須之内玲子 47
 スペンサー, R 8
 須磨友男 68
 スミス, D 4
 せがわ きり 109
 世川行介 68
-

関口すみ子	98	竹内久普	9, 11
関口たか広	169	武内理央	11
関口義人	89	竹川弘太郎	147
瀬木比呂志	72	武田三省	5
瀬下敦子	4	竹田信平	78
全国学校事務労働組合連絡会	26	竹田青嗣	6, 115, 163, 164
全国障害者解放運動連絡会議	35	武田 花	140
全国自立生活センター協議会	43	武田秀夫	27, 137, 148
「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクション・		武田庸太郎	144
センター	71	竹中 労	5
センブラー, K	3	竹信三恵子	101
全米ソーシャルワーカー協会	32	竹端 寛	50
ソーン, D	6	多胡吉郎	97, 151
ソマーズ, S	65	田嶋智裕	135
孫 良	42	田島董美	6~9
【タ 行】		田島泰彦	72
ダールデル, H	30	田代幹康	40
田井亮子	6	ダスウェル, B	8
代島治彦	138	立花弘志	115
ダイヤモンド, M	6	立川健二	115
タイ, L	146	立岩真也	44
たかおまゆみ	152	田中 薫	13
高木規矩郎	107	田中和生	18
高木晴美	91	田中和子	81
高沢皓司	106	田中啓介	150
高澤秀次	91, 115	田中耕一郎	46
高野 孟	6	田中茂彦	4, 5
高橋克彦	99	田中デアドリ	106
高橋敬一	135	田中伸尚	57, 152
高橋卓志	125	田仲のよ	59
高橋哲哉	103, 117, 126	田中 宏	84
たかはしのりひこ	169	田中博文	15
高橋 勉	25, 29, 167	田中美津	54
高橋真樹	102	田中三彦	3
高部雨市	67, 154	田中 基	97
高部知子	46	田中裕介	106
高松 修	130	田中義三	70
高山俊雄	41	田中良紹	101
高山久子	44	谷川健一	10, 93
高城修三	98	旅の文化研究所	96
滝口清栄	131	玉川信明	6
田窪雅文	3, 77	玉置和宏	169
宅間一之	14	玉木博章	34
武井 優	94	多磨全生園創立90周年記念事業実行委員会	141
竹内オサム	144	玉村和子	4
武内孝夫	66	田村志津枝	110
		田村光彰	53, 89

-
- 田村光昭 111
 チカッブ美恵子 94
 筑摩工芸研究所 39
 千葉学校労働者の会 28
 チャベス, H 108
 中堂幸政 101
 聴覚障害をもつ医療従事者の会 46
 江 淑秀 105
 邱 若龍 105
 チルカの母たち・父たち 133
 塚越敏雄 28, 168
 司 ひろし 65
 塚田悦子・塚田裁判を支援する会 58
 塚田嘉信 136
 辻下浩二 10
 津田三郎 57
 津田正夫 80
 槌田 敦 5
 土本亜理子 170
 土本典昭 137
 土本典昭フィルムグラフィ展2004実行委員会 137
 筒井 功 159
 筒井信隆 5
 常松隆嗣 16
 坪内栄夫 87
 津山恵子 109
 DPI日本会議 43
 DPI日本会議+札幌組織委員会 44
 ディヴェイン, A 53
 出口 顯 17
 テブラ, J 88
 寺 畔彦 93
 寺澤美恵子 55
 暉峻淑子 59
 冬季衛生研究班 84
 東京ソーシャルワーク 38
 藤堂憶斗 91
 遠丸 立 62, 150
 土岐隆一郎 91
 時安邦治 102, 103
 徳田 茂 33
 ドクター, B. A 7
 特定非営利活動法人 共同連 39
 徳永 旻 128
 登坂倫子 132
 戸崎 肇 65
 トス, M 9
 戸田 徹 3
 ドナルドソン, B. C 122
 富岡悠時 104
 富嶋克子 69
 富山洋子 63
 豊田雅人 109
 トラクスラー, H 152
 ドラッカー, C. B 40
 【ナ 行】
 永尾俊彦 130
 長岡健太郎 50
 中垣顕實 126
 中川六平 108, 165, 166
 中川智子 100
 仲里三津治 85
 中嶋茂雄 121
 中島すい子 152
 中島久純 10
 中島浩壽 37
 中 嶋 洋 47
 中 島 洋 109
 中 島 誠 8, 9, 60, 114, 115, 149
 中島光孝 97
 長瀬 修 38, 44, 89
 中園秀喜 46
 長田 衛 57
 中西恭子 91
 中西清美 169
 中西純子 91
 中西正司 43
 中西新太郎 74
 中西由起子 39
 中野憲志 33
 中野理恵 65, 104, 139
 長野英子 7
 中道久純 10
 中村浩平 90
 中村 仁 90
 中村 肇 15
 中村浩子 107
 中村桃子 123
 中山美香 53
 名取弘文 24, 27, 31, 137
 成沢真介 34
 名和道子 27
 南坊義道 114
-

新潟県平和運動センター	78	野島孝一	138
ニイリエ, B	40	能代山本広域市町村圏組合	130
ニコリッチ, M	107	野添憲治	64
西 研	115	野田敬生	69
西 重人	91	盧 武鉉	101
西尾 漠	5	野村史子	73
西垣内堅佑	4	野本三吉	32, 111
西川阿羅漢	111		
西川 塾	8	【ハ 行】	
西崎雅夫	84	バーグランド, J	101
西田敬一	145	ハート, G	54
西田淑子	146, 170	VAWW-NET ジャパン	71
西野瑠美子	71	芳我明彦	16
西浜優子	43	朴 和美	53
西原智昭	131	箱プランコ裁判を考える会	69
西村かおる	135	橋爪大三郎	10, 62
西村慎太郎	16	橋本正樹	145
西村仁美	70, 112	橋本 勝	4~10
西本美彦	122	橋本真美	7
西山華耶	8	長谷川京平	4, 5, 7, 170
にちゃんた, J. A. T. D.	101	長谷川健三郎	3
21世紀を織る女たちの会	52	長谷川 孝	25, 33
ニッカーソン, B	53	長谷川正次	13
新田 勲	48	長谷川直之	102
にのみや あお	170	長谷川 宏	25, 113
日本社会臨床学会	36, 37	長谷川亮一	97
日本消費者連盟	11	バタースピー, C	53
日本相撲協会	154	畠山民次郎	39
日本寄せ場学会	161, 162	畑中一一	111
日本臨床心理学会	36	畑中吉彦	105
ニモ, H. A	91	蜂須賀光彦	108
二文字理明	30, 40	花筏 健	155
ニュートン, C	155	羽永光利	140
糠澤章雄	14	花田一彦	144
沼 正三	151	花田春兆	45
猫柳あけみ	170	花田昌宣	70
根津進司	65	花柳幻舟	76
根本悦子	41	馬場 清	48
根本正一	89	浜岡 究	88, 121
根本理恵	105	濱口裕介	16
ノーマライゼーションの現在シンポ実行委員会		浜中 洋	167
38		浜 矩子	101
能智正博	56	早川和見	14
野上 暁	26	早川由美	153
野口信一	13	早坂 隆	70, 109
野口正義	148	早坂武禮	75
野崎泰伸	50	林 香里	49

-
- 林 延哉 128
 林 洋海 15, 16, 73, 99
 林 道郎 17
 林 淑美 43
 バヨール, F 90
 原 一男 138, 139
 バラスカス, J 132
 原田こういち 169
 原田信一 170
 原田隆史 65
 原田広美 140
 バリッシュ, K 66
 ハワード, N 4
 反原発事典編集委員会 77
 パンジーさわやかチーム 43
 ハンソン友子 40
 半田雄一郎 69
 バンドラ 54
 判野 宏 70
 伴野昭人 85
 バンルーン, B 3, 4
 パン・ルーン, B 8
 ビースタ, G 34
 東岡 耐 113
 東日本部落解放研究所 95
 樋口恵子 40, 44
 樋口雄彦 16, 98
 久 靖男 133
 久田邦明 29
 久田恵+花げし舎 47
 菱木政晴 126
 日隅一雄 62, 102
 日高眞澄 11
 日永千映子 33
 雛元昌弘 5
 「日の丸・君が代」強制に反対する神奈川の会
 31
 平井 玄 150
 平口広美 5
 平田剛士 73
 平田晴敏 108
 平野拓朗 34
 平野 洋 107
 平本 歩 46
 広坂朋信 152
 広田伊蘇夫 59
 広野 広 58
 ファーヴァ, C 107
 ファントン, J 134
 ファントン, M 134
 フィッシャー, G 90
 福岡女性学研究会 56
 福岡・女性と職業研究会 52
 福島菊次郎 139
 フクシマトヨヒコ 5
 福島豊彦 4
 福嶋教隆 121
 フクシマ未来戦略研究所 79
 福祉労働編集委員会 19~23
 福田定良 114
 福田ますみ 68
 福岡 聡 17
 福本英子 4, 129
 藤井恵美 35
 藤井久子 170
 藤井啓之 34
 藤井雅人 90
 藤岡 毅 50
 藤川チンナワンソ清弘 125, 126
 藤川 浩 168
 藤崎千代子 30
 藤沢靖介 95
 藤田綾子 60, 71
 藤田 悟 10
 藤田妙子 107
 藤田祐幸 5
 プシニャック, D 9
 不二牧 駿 110
 藤目ゆき 71
 藤森洵子 47
 藤原 晃 62
 布施えり子 56
 二葉憲香 113
 二見妙子 34
 舟久保 藍 16
 舟澤茂樹 14
 ふなびきかずこ 10, 12
 ブラカシュ, M. S 33
 プラトン 117
 フランケル, L. P 53
 降旗節雄 8
 古内泰生 98
 古川 敬 151
 古川佳子 152
-

古畑正孝 38
ブレイトマン, G 57
プレストン, P 44
フレネ, E 27
プロジェクト「たねとり物語」 134
プロデリック, M 78
ページ, N 4
ベンチレーター使用者ネットワーク 45
ペンツ, W 90
ペントウーラ, R 72
保育労働者交流会 24
ホイットニー, C 41
ポール, D 90
保阪正康 82
星 亮一 91, 98
細谷 実 74
堀 淳一 7
堀 千恵子 92
堀 利和 39
堀 治喜 154
堀 正嗣 32
堀内真由美 55
堀江邦夫 77
堀木正路 147
ボリン, A 54
ホロックス, C 9
本田 伸 14, 16
本田真智子 44
本田 豊 95
本間勝喜 14

【マ 行】

『マージナル』編集委員会 93, 165
マーネン, J. V 91
毎日学生新聞 28
毎日小学生新聞 79, 169
毎日新聞社会部 74, 75
毎日新聞夕刊編集部 74
マイロヴィツ, D. Z 6
前坂俊之 7
前田憲二 96
前田哲男 7, 8, 102
前田速夫 96
牧坂秀敏 49
牧野和春 111
マクギネス, M 3
マクレイ, J 38

マクロイ, M 5
孫崎 享 82, 83
孫崎紀子 86
正木鞆彦 63
真下俊樹 3
ますのきよし 5, 60
松岡克尚 47
松岡葉子 139
松本謙治郎 85
松崎有子 41
松沢哲成 84
松田裕之 128
松田政男 137
松永正訓 45
松村久美 139
松村高夫 86
松村美與子 112
松本榮一 109
松本健一 10, 113
松本健一 32
松本伸夫 35
松本広樹 8
松本紘宇 94
松森俊尚 34
真鍋 厚 118
馬里呂れい 72, 73
丸橋 賢 12
丸山 尚 58
三浦英之 131
三浦寛子 159
三浦 実 3, 10
三上 治 118
三木 清 116
三島佳子 11
水野昭夫 67
三角 寛 157, 158
ミズ・プロジェクト・チーム 52
三田 栄 59
三谷紘平 15
三土修平 127
水戸事件のたたかいを支える会 47
ミニッチ, J 128
海音融香 53
嶺井正也 33
三橋 修 151
美馬達哉 17
宮 淑子 52, 133

宮明邦夫 14
 宮岡 悠 68
 宮城道子 5
 宮坂朝子 66
 宮崎 勇 130
 宮澤弘道 34
 深山織枝 75
 宮本成美 111, 142
 宮谷一彦 6
 妙木浩之 18
 三好正彦 34
 ミラー, E. M. 91
 ミラー, J. 4
 三輪妙子 52
 棕田直子 8, 9
 牟田和恵 50
 村上和夫 72
 村上貞徳 15
 村上寛人 5
 村木幸一 3
 村雲 司 79
 村田厚生 131
 村田喜代子 151
 村田正夫 148
 村山和夫 14
 無量真見 45
 室井忠道 71
 メイソン, J. 130
 メディアと人権を考える会 80
 モウルダー, R. 5
 望月雅和 56
 元木鶏二 64
 本野一郎 134
 本橋成一 139, 142
 ももココロ 112
 森 一弘 126
 森 珪 150
 森 達也 75, 79, 81, 138
 森 幹郎 70
 森 涼子 88
 森川聖詩 78
 森川方達 82
 森川 渉 88, 91
 森下計二 25
 森田一郎 93, 165, 166
 森田六朗 108
 森本清彦 10

森本麻衣子 72
 森脇健介 56
 諸橋泰樹 71, 81
 門間貴志 135

【ヤ 行】

屋嘉比ふみ子 73
 八木澤高明 79
 八木下浩一 35
 安岡卓治 138
 安田 武 64
 安田雅企 8
 柳田勝英 73
 柳 淑子 26, 31
 柳本通彦 105
 矢野 久 86, 88, 89
 矢羽々 崇 152
 八尋茂樹 144
 山折哲雄 125, 143
 山川 理 134
 山木秀男 155
 山口二郎 101
 山口道宏 41, 46, 47
 山口幸夫 78
 山崎満喜子 26
 山下英三郎 32, 33
 山下恵美子 9
 山下恒男 30, 35, 36, 137
 山田えいし 169
 山田邦紀 83, 93, 94
 山田 征 134
 山田博士 12
 山谷哲夫 67
 山根成人 134
 山本耕平 169
 山本尚友 70, 95
 山本博子 55
 やまもとよしこ 132
 山本芳美 92
 優生手術に対する謝罪を求める会 72
 弓削尚子 56
 横島公司 16
 横須賀俊司 47
 横田 弘 44
 横田幸典 108
 横野レイコ 155
 横浜国立大学現代教育研究所 167

横山昭男 13
横山泰子 152, 153
吉岡 攻 66
吉岡隆幸 48
吉田和明 5~7, 150
吉田さとみ 132
吉田敏浩 69, 70, 105
吉田成行 9
吉田正孝 111
吉弘香苗 68
吉見太郎とその仲間 68
吉村 正 141
米倉史隆 110
米田綱路 110
米原万里 169

【ラ 行】

レーション, J 42
ラヴェッツ, J 9
ラツカ, A 38
ランキン, W 4
リーダー, D 9
リーブマン, M 107
リーブマン, M 89
リウス, E 3
林 少陽 116
ルーン, B. V 3, 4, 8, 9
レイン, H 44
レカッチマン, R 3
歴史塾 98
レゲヴィー, C 90
レディース・ホーム・ジャーナル 133
ロバートソン, J 92
ロビーン, J 40
ロボス, C 40
ロンリー, J. M 45

【ワ 行】

ワイズマン, B 9
和賀正樹 73, 82
わかきゆっけ 5
若木 亮 5
若林 悠 93
若山 滋 96
渡辺鋭氣 35
渡辺一男 107, 116
渡辺克義 121

渡辺 悟 110
渡辺万里 135
渡辺みえ子 54
渡辺雄二 11
渡部 淳 167
和波弘樹 91
和波雅子 53, 56, 78, 91
和仁廉夫 85
わらじの会 48

全国常備店一覧

(2019 年 3 月現在)

下記の書店には小社の刊行図書を取り揃えてございます。ご入用の本が書店の店頭にはない場合は、その書店にご注文下さい。

【北海道】

札幌市	紀伊國屋書店札幌本店	011-231-2131
〃	くまざわ書店アリオ札幌店	011-750-9225
〃	MARUZEN & ジュンク堂書店札幌店	011-223-1911
〃	宮脇書店平岡店	011-887-1350
〃	三省堂書店札幌店	011-209-5600
〃	コーチャンフォー美しが丘店	011-889-2000
〃	コーチャンフォーミュンヘン大橋店	011-817-4000
〃	コーチャンフォー新川通り店	011-769-4000
〃	文教堂宮の森店	011-618-3980
〃	文教堂北野店	011-883-8036
〃	北海道大学生協クラーク店	011-736-0916
〃	北星学園大学生協	011-891-2313
〃	札幌大学生協	011-852-7244
〃	文教堂札幌ルーシー店	011-858-6271
〃	文教堂西野 3 条店	011-671-3488
旭川市	旭川富貴堂末広店	0166-59-2800
〃	旭川富貴堂南 6 条通店	0166-33-7722
〃	宮脇書店旭川豊岡店	0166-37-5115
〃	くまざわ書店旭川店	0166-25-2601
〃	コーチャンフォー旭川店	0166-76-4000
〃	ジュンク堂書店旭川店	0166-26-1120
函館市	文教堂湯ノ川店	0138-36-2271
〃	文教堂函館テオー店	0138-35-5181
〃	文教堂函館昭和店	0138-44-7800
〃	くまざわ書店函館ポールスター店	0138-44-1333
〃	くまざわ書店函館店	0138-24-5721
北見市	コーチャンフォー北見店	0157-26-1122

稚内市	クラーク書店中央店	0162-22-3365
帯広市	帯広畜産大学生協	0155-48-2284
〃	帯広喜久屋書店	0155-21-7782
〃	ザ・本屋さん WOW 店	0155-28-2111
〃	ザ・本屋さんコロニー店	0155-33-5020
〃	宮脇書店帯広店	0155-20-6211
釧路市	リライアブルブックス運動公園店	0154-37-6112
〃	コーチャンフォー釧路店	0154-46-7777
小樽市	紀伊國屋書小樽店	0134-33-1381
〃	喜久屋書店小樽店	0134-31-7077
千歳市	文教堂千歳店	0123-27-4600
苫小牧市	くまざわ書店苫小牧店	0144-35-6807

【青森県】

青森市	成田本店しんまち店	0177-23-2431
〃	成田本店つくだ店	0177-42-3011
〃	宮脇書店青森店	0177-44-1951
〃	戸田書店青森店	017-762-1815
〃	さわや書店ラビナ店	017-718-8272
八戸市	カネイリ番町店	0178-46-1811
〃	伊吉書院八戸西店	0178-28-8211
〃	伊吉書院八戸類家店	0178-47-0222
〃	八戸ブックセンター	0178-20-8368
〃	文教堂八戸駅店	0178-70-2830
〃	くまざわ書店八戸店	0178-22-7211
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	0172-36-4511
〃	ジュンク堂書店弘前中三店	0172-34-3131
〃	くまざわ書店弘前店	0172-31-1195
〃	未来屋書店ヒロロ店	0172-31-3930
〃	弘前大学生協	0172-33-3742
五所川原市	くまざわ書店五所川原店	0173-33-6757

【秋田県】

秋田市	ジュンク堂書店秋田店	018-884-1370
-----	------------	--------------

秋田市	高桑書店仁井田店	018-839-4646
南秋田郡	宮脇書店五城目店	018-855-1566

【岩手県】

盛岡市	東山堂	019-623-7121
〃	さわや書店	019-653-4411
〃	さわやフェザン店	019-625-6311
〃	岩手大学生協	019-652-2028
〃	東山堂都南店	019-637-3831
〃	エムズエクスポ盛岡店	019-648-7100
〃	ジュンク堂書店盛岡店	019-601-6161
〃	東山堂イオン盛岡南店	019-656-8330
一関市	書林北上書房	0191-23-4088
〃	宮脇書店一関店	0191-31-3377
北上市	東山堂北上店	0197-61-0666

【山形県】

山形市	八文字屋本店	0236-22-2150
〃	八文字屋新北店	023-682-3388
〃	こまつ書店寿町本店	0236-41-0641
〃	こまつ書店西田店	0236-47-4188
〃	戸田書店山形店	023-682-3111
〃	くまざわ書店山形店	023-615-3266
〃	山形大学生協	0236-41-4365
米沢市	こまつ書店堀川町店	0238-26-1077
鶴岡市	八文字屋エビスヤ店	0235-24-3022
〃	ブックスパル	0235-29-7530
〃	くまざわ書店鶴岡店	0235-26-2710
酒田市	八文字屋みずほ店	0234-22-3144
新庄市	丸井八文字屋	0233-23-8533
天童市	宮脇書店天童店	023-652-3322
〃	八文字屋天童店	023-658-8811
東田川郡	戸田書店三川店	0235-68-0015

【宮城県】

仙台市	紀伊國屋書店仙台店	022-308-9211
〃	ジュンク堂書店仙台 TR 店	022-265-5656
〃	丸善仙台アエル店	022-264-0151
〃	あゆみ Books 仙台一番町店	022-211-6961
〃	八文字屋仙台東店	022-371-1988
〃	蔦屋書店仙台東店	022-772-2011
仙台市	東北大学川内文系生協	022-262-7463
〃	東北学院大学生協	022-264-6325
〃	宮城教育大学生協	022-262-0897
〃	ヤマト屋東仙台店	022-297-1291
石巻市	金港堂石巻店	0225-94-0088

石巻市	ヤマト屋書店中里店	0225-93-3323
多賀城市	ブックスなにわ多賀城店	022-393-7227
登米市	宮脇書店佐沼店	0220-21-6656

【福島県】

福島市	岩瀬書店鎌田店	0245-54-5566
〃	西沢書店北店	024-557-5101
〃	福島大学生協	024-548-5141
郡山市	ジュンク堂書店郡山店	024-927-0440
〃	くまざわ書店郡山店	024-991-5554
〃	くまざわ書店郡山エキナカ店	024-991-5554
〃	岩瀬書店富久山店	0249-36-2220
〃	みどり書房桑野店	024-939-0047
〃	みどり書房イオンタウン店	024-941-2235
会津若松市	会津ブックセンター	0242-28-7575
〃	ブックスなにわ会津若松本店	0242-38-2626
いわき市	鹿島ブックセンター	0246-28-2222
〃	ヤマニ書房本店	0246-23-3481
須賀川市	くまざわ書店須賀川店	0248-63-7940

【茨城県】

水戸市	川又書店エクセル店	029-231-1073
〃	川又書店県庁店	029-301-1811
〃	宮脇書店水戸南店	029-219-0065
〃	文教堂水戸店	029-291-3666
つくば市	丸善筑波大学会館店	0298-58-0409
〃	リプロつくばキュート店	029-855-2345
〃	ACADEMIA イーアスつくば店	029-868-7407
ひたちなか市	リプロひたちなか店	029-265-2655
〃	蔦屋書店ひたちなか店	029-265-2300
下館市	ブックエース下館店	0296-24-3865
石岡市	Wonder Goo 石岡店	0299-28-0212
守谷市	Wonder Goo 守谷店	0297-21-1081
〃	フタバ図書 TERA 守谷店	0297-47-1601
日立市	Wonder Goo 日立中央店	0294-28-5130
古川市	かもじや本店駅ビル店	0280-30-3270
取手市	くまざわ書店取手店	0297-77-1125
〃	宮脇書店取手本店	0297-71-5101

【群馬県】

前橋市	戸田書店前橋本店	027-223-9011
〃	ブックマンズアカデミー前橋店	027-280-3322
〃	煥乎堂	027-235-8111

前橋市	紀伊國屋書店前橋店	027-220-1830
高崎市	くまざわ書店 JR 高崎店	027-310-3021
〃	戸田書店高崎店	027-363-5110
〃	ブックマンズアカデミー 高崎店	027-370-6166
〃	戸田書店篠名店	0273-74-3377
太田市	ブックマンズアカデミー 太田店	0276-40-1900
〃	喜久屋書店太田店	0276-47-8723
藤岡市	戸田書店藤岡店	0274-22-2469
伊勢崎市	くまざわ書店伊勢崎店	0270-70-5510
〃	蔦谷書店伊勢崎宮子店	0270-20-7400
〃	三光堂書店	0270-25-2347

【栃木県】

宇都宮市	紀伊國屋書店宇都宮店	028-611-2050
〃	八重洲ブックセンター	028-627-8588
〃	くまざわ書店宇都宮店	028-623-4471
〃	くまざわ書店宇都宮インターパーク店	028-657-6320
〃	落合書店宝木店	028-650-2211
〃	落合書店ベルモール店	028-613-1313
〃	喜久屋書店宇都宮店	028-614-5222
〃	落合書店ララスクエア店	028-600-2751
〃	亀田書店	028-633-3441
〃	宇都宮大学生協	028-636-1515
小山市	進髪堂イトーヨーカドー店	0285-25-3871
〃	宮脇書店小山店	028-528-6555
佐野市	宮脇書店イオンタウン佐野店	0283-24-9007
大田原市	ハートブックスなすの店	0287-20-3060
下野市	うさぎや自治医大店	0285-44-7637

【埼玉県】

さいたま市	須原屋	048-822-5321
〃	須原屋コルソ店	048-824-5321
〃	須原屋武蔵浦和店	048-872-0550
〃	埼玉大学生協	048-854-9344
〃	ジュンク堂書店大宮高島屋店	048-640-3111
〃	三省堂書店大宮店	048-646-2600
〃	ブックデポ書楽	048-859-4946
〃	紀伊國屋書店さいたま新都心店	048-600-0830
さいたま市	紀伊國屋書店浦和パルコ店	048-871-2760

さいたま市	ブックファーストルミネ大宮店	048-650-7821
〃	くまざわ書店宮原店	048-661-8931
〃	旭屋書店イオン浦和美園店	048-812-2123
〃	文教堂岩槻店	048-749-0171
川口市	文教堂東川口店	048-294-5860
〃	文教堂川口朝日町店	048-228-1646
〃	文教堂川口駅店	048-227-4821
〃	紀伊國屋書店そごう川口店	048-241-2131
〃	明文堂書店川口末広店	048-227-3172
蓮田市	文教堂蓮田店	048-765-1271
新座市	旭屋書店志木店	048-487-6165
上尾市	マルヒロ BC	048-777-1227
川越市	くまざわ書店川越店	0492-26-7345
〃	紀伊國屋書店川越店	049-224-2573
〃	ブックファーストルミネ川越店	049-240-6212
〃	リプロ川越店	049-228-7246
富士見市	東武ブックス新ふじみ野店	049-269-4644
所沢市	バルコブックセンター 新所沢店	042-998-8175
〃	早稲田大学所沢生協	042-949-8613
狭山市	文教堂狭山店	042-959-9500
桶川市	丸善桶川店	048-789-0011
熊谷市	くまざわ書店アズセカンド店	0485-25-6204
〃	文教堂熊谷ニッターモール店	048-520-2031
〃	戸田書店熊谷店	048-599-3232
春日部市	ブックガーデン春日部	048-735-4243
〃	ブックエース TSUTAYA 春日部	048-752-8970
鴻巣市	宮脇書店鴻巣店	048-547-3700
〃	リプロ鴻巣店	048-540-7124
越谷市	博文堂千間台店	0489-79-2571
〃	旭屋書店新越谷店	0489-85-5501
〃	明文堂書店イオンレイクタウン越谷店	048-990-3380
児玉郡	文教堂本庄店	0495-35-1373
久喜市	ACADEMIA 菖蒲店	0480-87-1781

【千葉県】

千葉県	三省堂そごう千葉店	043-245-8331
〃	千葉大学生協	047-287-5591
〃	文教堂小倉台店	043-232-7330

千葉市	くまざわ書店ベリエ千葉本店	043-202-2900	横浜市	ブックファースト青葉台店	045-989-1781
〃	くまざわ書店蘇我店	043-209-2020	〃	リプロ港北店	045-944-5005
〃	宮脇書店稲毛長沼原店	043-304-7281	〃	芳林堂書店関内店	045-681-0065
船橋市	旭屋書店船橋店	0474-24-7331	〃	天一書房日吉店	045-565-0211
〃	くまざわ書店津田沼パルコ店	047-403-3101	〃	文教堂栄上郷店	045-895-3220
〃	くまざわ書店ららぽーと船橋店	047-435-8381	〃	有隣堂たまプラーザテラス店	045-903-2191
〃	ときわ書房船橋芝山店	047-490-1961	〃	くまざわ書店ランドマーク店	045-683-1021
〃	ジュンク堂書店南船橋店	047-401-0330	〃	三省堂書店新横浜店	045-478-5520
習志野市	丸善津田沼店	0474-70-8311	〃	神奈川大学生協	045-481-4012
〃	くまざわ書店津田沼店	0474-75-8311	〃	くまざわ書店新横浜店	045-474-6691
市川市	ときわ書房本八幡店	047-336-3354	〃	ブックファースト横浜西口店	045-349-8377
〃	文教堂行徳店	047-307-4081	〃	紀伊國屋ららぽーと横浜店	045-938-4481
〃	福家書店市川店	047-379-0298	〃	KaBoS あざみ野店	045-905-1223
〃	くまざわ書店シャポー本八幡店	047-336-3514	〃	リプロ東戸塚店	045-828-2444
松戸市	堀江良文堂書店	0473-65-5121	〃	関東学院大学購買部	045-701-2257
〃	くまざわ書店松戸店	047-360-0501	〃	慶応義塾日吉生協	045-563-8487
柏市	ジュンク堂書店柏モディ店	04-7168-0215	〃	横浜市立大生協	045-783-6649
〃	くまざわ書店柏高島屋ステーションモール店	04-7148-2382	〃	横浜国大生協	045-331-5217
〃	紀伊國屋書店セブンパークアリオ柏店	04-7160-8015	〃	あおい書店上大岡店	045-846-1836
〃	KaBoS ららぽーと柏の葉店	04-7168-1760	〃	紀伊國屋書店横浜みなとみらい店	045-640-3081
流山市	紀伊國屋書店流山おおたかの森店	04-7156-6111	〃	ACADEMIA 港北店	045-914-3320
茂原市	文教堂茂原店	0475-20-4721	〃	ブックファーストモザイクモール港北店	045-914-2012
八千代市	ときわ書房八千代台店	047-481-5580	厚木市	くまざわ書店本厚木店	0462-30-7077
佐倉市	文教堂ユーカリが丘店	043-460-5181	〃	有隣堂書店厚木店	0462-23-4111
印西市	喜久屋書店千葉ニュータウン店	0476-40-7732	川崎市	有隣堂アトレ川崎店	044-200-6831
市原市	ACADEMIA ちはら台店	0436-76-0270	〃	文教堂溝ノ口本店	044-812-0063
鎌ヶ谷市	くまざわ書店新鎌ヶ谷店	047-498-6521	〃	文教堂溝ノ口駅前店	044-811-0105
【神奈川県】			〃	紀伊國屋書店武蔵小杉店	044-331-9990
横浜市	紀伊國屋書店横浜店	045-450-5901	〃	中原ブックランド	044-711-8058
〃	有隣堂横浜駅西口ジョイナス店	045-311-6265	〃	丸善ラゾーナ川崎店	044-520-1869
横浜市	有隣堂東口ルミネ店	045-453-0811	〃	Super KaBoS 宮前平店	044-870-1221
〃	有隣堂伊勢佐木町本店	045-261-1231	藤沢市	有隣堂藤沢店	0466-26-1411
〃	有隣堂戸塚モディ店	045-881-2661	〃	KaBoS 藤沢店	0466-30-5744
〃	八重洲 BC 京急上大岡店	045-848-7383	〃	ジュンク堂書店藤沢店	0466-52-1211
〃	文教堂すすき野とうきゅう店	045-905-5351	〃	有隣堂テラスモール湘南店	0455-38-2121
			藤沢市	くまざわ書店辻堂湘南モール店	0466-31-6345
			平塚市	サクラ書店高村店	0463-42-5565
			〃	有隣堂ららぽーと湘南平塚店	0463-74-6511
			伊勢原市	伊勢原書店	0463-95-2204
			秦野市	伊勢原書店秦野店	0463-83-0841

小田原市	文教堂小田原店	0465-36-3677	〃	ブッククラブ回	03-3403-1926
〃	有隣堂小田原店	0465-24-7739	〃	あゆみ Books 田町店	03-5730-1342
〃	三省堂書店小田原店	0465-20-0190	〃	慶応義塾生協三田店	03-3455-6631
〃	伊勢治書店ダイナシティ店	0465-49-8167	〃	明治学院大学生協	03-3447-1631
〃	平井書店	0465-22-5370	〃	ブックファースト六本木店	03-3403-0327
横須賀市	くまざわ書店横須賀店	0468-21-2403	文京区	東京大学生協本郷書籍部	03-3811-5407
鎌倉市	たらば書房	0467-22-2492	〃	拓殖大学茗荷谷購買部	03-3941-2903
大和市	有隣堂大和店	0426-60-1231	〃	文教堂グリーンコート店	03-5977-1151
相模原市	中村書店本店	0427-50-2285	渋谷区	あおい書店春日店	03-3814-2461
〃	ACADEMIA くまざわ書店橋本店	042-700-7020	〃	紀伊國屋書店西武渋谷店	03-5784-3561
〃	くまざわ書店相模大野店	042-767-1285	〃	紀伊國屋書店笹塚店	03-3485-0131
〃	ブックファーストボーノ相模大野店	042-702-3555	〃	Book plus NHK 店	03-3481-1678
津久井郡	文教堂城山店	0427-82-9278	〃	MARUZEN& ジュンク 堂書店渋谷店	03-5456-2111
三浦郡	文教堂葉山店	0468-76-0795	〃	啓文堂書店渋谷店	03-5784-3800
【東京都】			〃	HMV & Books TOKYO	03-5784-3270
千代田区	三省堂書店神保町本店	03-3233-3315	〃	有隣堂アトレ恵比寿店	03-5475-8384
〃	三省堂書店有楽町店	03-5222-1200	〃	国学院大学生協	03-5466-0165
〃	三省堂書店明大駿河台店	03-5282-3480	〃	青山学院大学購買部	03-3409-4401
〃	書泉グランデ	03-3295-0011	台東区	リプロ浅草店	03-3836-7800
〃	東京堂書店	03-3291-5181	〃	くまざわ書店浅草店	03-3845-7241
〃	丸善お茶の水店	03-3295-5581	江東区	有隣堂アトレ亀戸店	03-5628-1231
〃	三省堂書店法政大店	03-3262-2464	〃	紀伊國屋書店ららぽーと豊洲店	03-3533-4361
〃	アジア文庫	03-3237-9577	〃	フタバ TERA 南砂店	03-5677-0800
〃	書泉ブックタワー店	03-5296-0051	品川区	TSUTAYA BOOK STORE 五反田店	03-5436-7031
〃	紀伊國屋書店大手町ビル店	03-3201-5084	〃	ブックファーストレミイ五反田店	03-6408-1811
〃	ジュンク堂書店プレスセンター店	03-3502-2600	大田区	有隣堂グランデュオ蒲田店	03-5703-1921
〃	丸善丸の内本店	03-5288-8881	〃	くまざわ書店グランデュオ蒲田店	03-3737-5351
〃	紀伊國屋書店上智大学店	03-3238-3092	〃	ACADEMIA くまざわ書店東急プラザ蒲田店	03-5480-7771
〃	くまざわ書店大手町店	03-6213-0440	〃	ブックファーストアトレ大森店	03-5767-6831
〃	三省堂書店東京駅一番街店	03-3211-3825	目黒区	不二屋書店	03-3718-5311
〃	有隣堂ヨドバシ AKIBA 店	03-5298-7474	〃	恭文堂書店	03-3712-4049
中央区	八重洲 BC 本店	03-3281-1811	〃	東京大学生協駒場書籍部	03-3469-7145
〃	八重洲 BC 日本橋三越店	03-3241-0881	世田谷区	千歳書店	03-3425-1177
〃	丸善日本橋店	03-6214-2001	〃	文教堂経堂店	03-5451-7601
中央区	書原リバーシティ店	03-3536-9052	〃	紀伊國屋書店玉川高島屋店	03-3709-2091
港区	くまざわ書店品川店	03-3472-0481	〃	三省堂書店下北沢店	03-5738-0881
〃	くまざわ書店田町店	03-5476-0510	〃	三省堂書店成城店	03-5429-2401
〃	文教堂浜松町店	03-3437-5540	〃	啓文堂書店明大前店	03-5355-3391
〃	ミズ・クレヨンハウス	03-3406-6492			
港区	青山 BC 本店	03-5485-5511			

新宿区	紀伊國屋書店新宿本店	03-3354-0131	小金井市	くまざわ書店武蔵小金井北口店	
〃	くまざわ書店都庁店	03-5320-7537			042-385-2351
〃	芳林堂書店高田馬場店	03-3208-0241	府中市	啓文堂書店府中店	042-366-3151
〃	博文堂書店本店	03-3359-5301	稲城市	コーチャンフォー若葉台店	042-350-2800
〃	文禄堂早稲田店	03-3203-7123	調布市	書原つつじヶ丘店	042-481-6421
〃	BC 芳進堂ラムラ店	03-3235-5111	〃	くまざわ書店調布店	042-490-2052
〃	模索舎	03-3352-3557	〃	バルコブックセンター調布店	
〃	ブックファースト新宿店	03-5339-7611			042-489-5351
〃	早稲田大学生協文学部店	03-3202-4204	〃	啓文堂書店仙川店	03-5315-7755
〃	早稲田大学生協コーププラザ店	03-3202-3236	国分寺市	紀伊國屋書店国分寺店	042-325-3991
中野区	明屋書店中野ブロードウェイ店		三鷹市	啓文堂書店三鷹店	0422-79-5840
〃		03-3387-8451	国立市	増田書店	042-572-0262
〃	ブックファースト中野店	03-3319-5161	〃	増田書店北口店	042-580-4871
杉並区	書楽	03-3393-5625	〃	一橋大学生協	042-575-4184
〃	書原高井戸店	03-3334-8431	西東京市	宮脇書店東京田無店	042-461-4060
〃	あゆみ Books 杉並店	03-3318-3771	清瀬市	日本社会事業大学生協	042-492-5506
〃	文禄堂高円寺店	03-5373-3371	立川市	オリオン書房ルミネ店	042-527-2311
〃	文禄堂荻窪店	03-3392-2271	〃	オリオン書房ノルテ店	042-522-1231
〃	三省堂書店明大和泉店	03-5301-2560	〃	ジュンク堂書店立川高島屋店	042-512-9910
豊島区	三省堂書店池袋本店	03-6864-8900	日野市	啓文堂書店高幡店	042-592-2711
〃	旭屋書店池袋店	03-3986-0311	〃	くまざわ書店日野店	042-589-7015
〃	ジュンク堂書店池袋本店	03-5956-6111	八王子市	くまざわ書店八王子店	042-625-1201
〃	くまざわ書店池袋店	03-5951-4780	〃	くまざわ書店八王子南口店	
〃	くまざわ書店サンシャインシティアルパ店				042-655-7560
〃		03-5957-2440	〃	有隣堂八王子店	042-655-2311
〃	丸善立教大学売店	03-3985-2771	〃	中央大学生協	042-674-3031
〃	芳林堂書店東長崎店	03-3950-1276	〃	東京都立大生協	042-677-1413
練馬区	あゆみ Books 平和台店	03-5920-7961	〃	創価大学生協	042-691-3551
〃	くまざわ書店大泉学園店	03-5933-0216	多摩市	くまざわ書店桜ヶ丘店	042-337-2531
〃	ジュンク堂書店大泉学園店		〃	啓文堂多摩センター店	042-372-2288
		03-5947-3955	〃	丸善多摩センター店	042-355-3220
板橋区	文教堂成増店	03-3963-4001	〃	紀伊國屋書店多摩大学店	042-337-7121
〃	文教堂西台店	03-5392-3003	町田市	久美堂本店	042-725-1330
北区	文教堂赤羽店	03-5249-2601	〃	久美堂小田急店	042-727-1111
足立区	ブックファーストルミネ北千住店	03-5284-2311	〃	有隣堂町田モディ店	042-739-5231
墨田区	くまざわ書店錦糸町店	03-5610-3034	〃	ブックファーストルミネ町田店	
葛飾区	ブックスキディランド亀有店				042-739-5516
		03-3601-7201	町田市	法政大学生協多摩店	042-783-2236
江戸川区	くまざわ書店船堀店	03-5605-9881	武蔵村山市	オリオン書房イオンモールミュー店	
〃	あゆみ Books 瑞江店	03-3698-5281			042-567-6911
【山梨県】					
武蔵野市	ブックファースト吉祥寺店		甲府市	朗月堂本店	055-228-7356
〃		0422-23-7671	〃	ジュンク堂書店岡島甲府店	055-231-0606
〃	ジュンク堂書店吉祥寺店	0422-28-5333	〃	よむよむフレスポ甲府東店	
〃	Books ルーエ	0422-22-5677			055-223-4646
小金井市	東京学芸大学生協	042-324-6225			

甲府市	山梨学院大学書籍センター		上越市	鳶屋上越インター店	025-526-1800
〃	天真堂甲府国母店	055-232-1870	〃	知遊堂上越国府店	025-545-5668
〃	天眞堂甲府国母店	055-244-2266	妙高市	文教堂新井店	0255-70-1151
中央市	戸田書店山梨中央店	055-278-6811	柏崎市	コメリ書房柏崎店	025-720-1230
【長野県】			新発田市	コメリ書房新発田店	0254-20-1011
〃	〃	〃	〃	高木書店	0254-22-3241
長野市	平安堂書店長野店	026-224-4550	村上市	益田書店	0254-53-3050
〃	平安堂書店川中島店	026-286-4545	【富山県】		
〃	鳶屋書店長野川中島店	026-284-8700	富山市	清明堂書店	076-424-4166
〃	信州大学生協教育学部店	026-235-2021	〃	Books なかだ本店	076-492-1192
松本市	丸善松本店	0263-31-8171	〃	文苑堂書店藤の木店	076-422-0155
〃	改造社書店	0263-36-3777	〃	文苑堂書店本郷店	076-422-0552
〃	官脇書店松本店	0263-24-2435	〃	明文堂新庄経堂店	076-494-3530
岡谷市	笠原書店	0266-23-5070	〃	明文堂富山有沢橋店	076-495-8680
飯田市	平安堂書店飯田店	0265-24-4545	〃	紀伊國屋書店富山店	076-491-7031
伊那市	ニシザワいなっせ店	0265-77-2255	〃	富山大学生協	076-433-3080
〃	平安堂書店伊那店	0265-96-7755	高岡市	文苑堂書店駅前店	0766-21-0333
諏訪市	平安堂書店諏訪店	0266-53-4545	〃	文苑堂書店新野村店	0766-25-1500
〃	鳶屋書店諏訪中州店	0256-57-5100	〃	文苑堂書店清水町店	0766-26-2245
上田市	鳶屋書店上田大屋店	0268-36-1700	〃	文苑堂書店福田本店	0766-27-7800
〃	鳶屋書店上田しおだ店	0268-21-5000	〃	文苑堂書店戸出店	0766-63-0118
〃	平林堂書店	0268-22-1561	〃	喜久屋書店高岡店	0766-27-2455
〃	平安堂書店上田店	0268-22-4545	魚津市	文苑堂書店魚津サンブラザ店	
〃	平安堂書店上田しおだ野店	0268-29-5254			0785-23-0910
〃	くまざわ書店上田店	0268-71-2002	射水市	文苑堂書店新湊店	0766-82-1770
小諸市	鳶屋書店佐久小諸店	0267-24-1500	〃	文苑堂書店小杉店	0766-56-8400
佐久市	平安堂書店佐久インターウエーブ店	0267-77-7744	【石川県】		
安曇野市	平安堂あづみ野店	0263-72-8877	金沢市	うつのみや金沢香林坊店	076-234-8111
【新潟県】			〃	勝木書店金沢泉野店	076-244-3555
新潟市	紀伊國屋書店新潟店	025-241-5281	〃	文苑堂書店示野本店	076-267-7007
〃	萬松堂	025-229-2221	〃	金沢ピーンズ・明文堂書店	
〃	鳶屋書店南万代店	025-249-0066	〃		076-239-4400
〃	戸田書店新潟南店	025-257-1911	〃	文苑堂書店入江店	076-292-0087
〃	ジュンク堂書店新潟店	025-374-4411	〃	KaBoS 金沢大桑店	076-226-1170
新潟市	新潟大学生協	025-262-6095	金沢市	金沢大学生協角間店	076-224-0905
〃	北書店	025-201-7466	野々市町	明文堂金沢野々市店	076-294-0930
〃	新津英進堂	0250-24-1187	七尾市	書店きくざわ本府中店	0767-52-0350
長岡市	文信堂書店長岡店	0258-36-1360	かほく市	books なかだかほく店	076-289-0671
〃	戸田書店長岡店	0258-22-5911	【福井県】		
〃	宮脇書店長岡店	0258-31-3700	福井市	紀伊國屋書店福井店	0776-28-9851
〃	鳶屋書店長岡古正寺店	0258-29-5030	〃	勝木書店本店	0776-24-0428
〃	くまざわ書店長岡店	0258-20-5760	〃	勝木書店新二の宮店	0776-27-4678
南魚沼市	鳶屋書店六日町店	0257-70-2070	〃	福井大学生協	0776-21-2956
上越市	春陽館書店	0255-25-2530	福井市	SuperKaBoS 大和田店	0776-57-2188
〃	文美堂書店	025-523-2593	勝山市	KaBoS 勝山店	0779-89-2113

坂井市	勝木書店春江店	0776-51-8565
〃	宮脇書店春江店	0776-51-4517
鯖江市	SuperKaBoS 鯖江店	0778-53-1755
越前市	SuperKaBoS 武生店	0778-21-1555

【静岡県】

静岡市	谷島屋パルシェ店	054-204-5505
〃	谷島屋新流通店	054-262-2321
〃	谷島屋マークイズ静岡店	054-267-2233
〃	戸田書店静岡本店	054-205-6111
〃	MARUZEN & ジュンク堂新静岡店	054-275-2777
〃	静岡大学生協	054-237-1427
〃	太陽堂書店静岡県立大学店	054-262-7617
〃	戸田書店江尻台店	054-361-3511
沼津市	マルサン書店仲見世本店	055-963-0350
〃	マルサン書店駅北店	055-922-7772
〃	くまざわ書店沼津店	055-954-6980
〃	戸田書店沼津店	055-968-0880
浜松市	谷島屋連尺店	053-453-9121
〃	谷島屋浜松本店	053-457-4165
〃	谷島屋三方原店	053-438-2141
〃	谷島屋イオン浜松店	053-415-1341
〃	谷島屋サンストリート浜北店	053-584-3025
浜北市	戸田書店浜北店	053-585-5221
富士市	戸田書店富士店	0545-55-0021
〃	あおい富士店	0545-60-3260
掛川市	戸田書店掛川店	0537-23-3077
三島市	くまざわ書店三島店	055-981-6940
伊東市	文教堂伊東店	0557-33-3100
磐田市	谷島屋磐田店	0538-35-5778
藤枝市	戸田書店藤枝東店	054-647-5611

【愛知県】

名古屋市	三省堂書店名古屋本店	052-566-6801
〃	三省堂書店名古屋高島屋店	052-566-8877
〃	MARUZEN 名古屋本店	052-238-0320
〃	ジュンク堂書店名古屋店	052-589-6321
〃	丸善セントラルパーク店	052-971-1231
〃	ちくさ正文館書店	052-741-1137
〃	ウニタ書店	052-731-1380
〃	三洋堂書店本店	052-832-8202
名古屋市	谷口正文館書店	052-931-9321
〃	星野書店近鉄名古屋店	052-581-4796
〃	らくだ書店	052-731-7161

名古屋市	未来屋名古屋みなと店	052-659-2564
〃	名古屋大学生協南部店	052-781-5031
〃	名古屋大学生協北部店	052-781-1111
〃	名古屋市立大学生協	052-881-5906
〃	中京大学書籍部	052-831-1191
〃	愛知県立大学生協	052-852-3811
〃	ジュンク堂書店名古屋栄店	052-212-5360
〃	ジュンク堂書店ロフト名古屋店	052-249-5592
豊橋市	精文館書店	0532-54-2345
豊田市	中京大学豊田生協	0565-45-6363
〃	三洋堂梅坪店	0565-35-2334
豊川市	三洋堂書店豊川店	05338-3-0334
〃	あおい書店豊川店	05338-5-7811
春日井市	三洋堂書店鳥居松店	0568-82-1934
刈谷市	くまざわ書店刈谷店	0566-29-5221
〃	本の王国刈谷店	0566-28-0833
〃	ブックセンター名豊	0566-21-7121
〃	愛知教育大学生協	0566-36-2404
西尾市	あおい書店西尾店	0563-57-1151
〃	精文館書店西尾店	0563-54-9195
津島市	精文館書店新津島店	0567-22-4001
半田市	三洋堂書店半田店	0569-26-3334
〃	あおい書店半田店	0569-24-5750
知立市	正文館知立ハツ田店	0566-85-2341
〃	三洋堂知立店	0566-82-8234
日進市	紀伊國屋書店ブライムツリー赤池店	052-800-0125
一宮市	宮脇書店尾西店	0586-47-7111
知多郡	日本福祉大学生協	0569-87-2304
葉栗郡	ザ・リブレット DC キリオ木曽川店	0586-84-1317
西春日井郡	紀伊國屋書店名古屋空港店	0568-39-3851

【岐阜県】

岐阜市	自由書房サギ山 BC	058-294-6191
〃	自由書房 EX 高島屋店	058-262-5661
岐阜市	カルコス本店	058-294-7500
〃	丸善岐阜店	058-297-7008
〃	三省堂書店岐阜店	058-212-0690
〃	岐阜大学生協中央店	058-230-1166
大垣市	喜久屋書店大垣店	0584-77-1717
〃	ACADEMIA 大垣店	0584-77-6450
美濃加茂市	三洋堂書店美濃加茂店	0574-26-5134
高山市	三洋堂書店高山店	0577-33-2834
各務原市	カルコス各務原店	0583-89-7533

全国常備店一覧

恵那市	三洋堂書店恵那店	0573-25-8934
土岐市	三洋堂書店土岐店	0572-55-8433
本巣市	カルコス穂積店	058-329-2336
〃	ザ・リブレットモレラ岐阜店	058-320-5167
羽島郡	くまざわ書店柳津店	058-388-5477

【三重県】

津市	別所書店津駅店	059-226-0200
〃	別所書店修成店	059-246-8822
〃	本の王国文化センター前店	059-232-8866
〃	三重大学生協	059-232-5007
〃	宮脇書店津店	059-227-1185
四日市市	シェトワ白揚	059-354-0171
〃	宮脇書店四日市本店	059-359-5910
四日市市	三洋堂書店富田店	059-364-1634
〃	MARUZEN 四日市店	059-359-2340
桑名市	シェトワ白揚クワナ店	0594-23-7488
〃	新光堂アピタ桑名店	0594-23-1898
伊勢市	ブックスクウェアラパーク店	0596-36-6361
鈴鹿市	未来屋書店鈴鹿店	059-375-0617

【滋賀県】

大津市	大垣書店フォレオ大津一里山店	077-547-1020
彦根市	サンミュージック彦根店	0749-23-8047
長浜市	サンミュージックハイパーブックス長浜店	0749-65-0001
草津市	立命館大学生協	077-561-2828
〃	アバンティ南草津店	077-561-0155
〃	喜久屋書店草津店	077-516-1118
〃	サンミュージックハイパーブックス草津店	077-564-0004
〃	ジュンク堂書店滋賀草津店	077-569-5553
近江八幡市	宮脇書店近江八幡店	0748-38-8008

【京都府】

京都市	大垣書店	075-414-0770
〃	ジュンク堂書店京都店	075-252-0101
〃	丸善京都本店	075-253-1599
〃	アバンティ BC	075-682-5031
〃	大垣書店ビブレ店	075-491-5500
〃	大垣書店イオンモール KYOTO 店	075-692-3331
〃	大垣書店京都ヨドバシ店	075-371-1700

京都市	大垣書店烏丸三条店	075-212-5050
〃	大垣書店四条店	075-253-0111
〃	大垣書店イオンモール京都桂川店	075-925-1717
〃	大垣書店高野店	075-706-6678
〃	丸山書店北白川店	075-722-8421
〃	TSUTAYA 松ヶ崎店	075-706-2950
〃	恵文社一乗寺店	075-711-5919
〃	ふたば書房京都駅八条口店	075-681-0880
〃	ふたば書房御池ゼスト店	075-253-3151
〃	アミーゴ北山店	075-705-2555
〃	ブックファースト桂店	075-382-1260
〃	三月書房	075-231-3036
〃	法蔵館書店	075-343-0458
〃	京都大学生協ルネ	075-771-7336
〃	同志社大学生協今出川店	075-256-1633
〃	立命館大学生協	075-465-8288
〃	龍谷大学生協	075-642-0213
〃	京都教育大学生協	075-643-3313
〃	仏教大学書籍部	075-491-2141
〃	京都府立大生協	075-701-0899
亀岡市	大垣書店亀岡店	0771-23-8038
相楽郡	ACADEMIA けいはんな店	0774-98-4053

【和歌山県】

和歌山市	宮脇書店ロイネット和歌山店	073-402-1472
〃	WAY ガーデンパーク和歌山店	073-480-5900
〃	くまざわ書店和歌山 MIO 店	073-421-388 0
〃	未来屋書店和歌山店	073-480-5333
田辺市	多屋孫書店	0739-24-1313

【奈良県】

奈良市	ジュンク堂書店奈良店	0742-36-0801
〃	新風堂書店	0742-71-4646
〃	啓林堂書店奈良店	0742-20-8001
〃	宮脇書店奈良店	0742-81-8026
〃	奈良教育大学生協	0742-26-1406
橿原市	三洋堂書店橿原神宮店	0744-27-5734
〃	喜久屋書店橿原店	0744-20-3151
大和郡山市	喜久屋書店大和郡山店	0743-55-2200

【大阪府】

大阪市	紀伊國屋書店梅田本店	06-6372-5821
-----	------------	--------------

大阪市	紀伊國屋書店グランフロント大阪店	06-7730-8451	八尾市	経法大学書籍部	072-941-9129
〃	紀伊國屋書店本町店	06-4705-4556	大阪狭山市	バルネット狭山店	0723-65-5660
〃	紀伊國屋書店京橋店	06-4801-9255	堺市	紀伊國屋書店堺北花田店	072-246-5566
〃	ジュンク堂書店上本町店	06-6771-1005	〃	紀伊國屋書店泉北店	072-292-1631
〃	ジュンク堂書店難波店	06-4396-4771	泉南市	未来屋書店りんくう泉南店	072-482-0517
〃	ジュンク堂書店近鉄あべのハルカス店	06-6626-2151	守口市	未来屋イオン大日店	06-6900-6030
〃	ジュンク堂書店天満橋店	06-6920-3730	箕面市	大阪外語大生協	072-728-4527
〃	ジュンク堂書店大阪本店	06-4799-1090	南河内郡	丸善芸大店	0721-93-6897
〃	MARUZEN & ジュンク堂梅田店	06-6292-7383	【兵庫県】		
〃	旭屋書店なんばCITY店	06-6644-2551	神戸市	ジュンク堂書店三宮店	078-392-1001
〃	ブックファーストクリスタ長堀店	06-6282-2210	〃	ジュンク堂書店三宮駅前店	078-252-0777
〃	ブックファースト野田アプラ店	06-4796-8010	〃	ジュンク堂書店神戸さんちか店	078-335-2877
〃	リブロイオンモール鶴見店	06-6915-6455	〃	紀伊國屋書店神戸店	078-265-1607
〃	リブロなんばウォーク店	06-6484-0910	〃	紀伊國屋書店西神店	078-990-3573
〃	リブロ新大阪店	06-4805-7380	〃	喜久屋書店西神中央店	078-992-0020
〃	文教堂淀屋橋店	06-4707-3355	〃	喜久屋書店北神戸店	078-983-3755
〃	喜久屋書店阿倍野店	06-6634-8606	〃	喜久屋書店神戸南店	078-599-7345
〃	大阪市立大学生協	06-6605-3014	〃	神戸大学生協学館店	078-881-8847
〃	大阪経済大学生協	06-6379-2231	〃	大垣書店神戸ハーバーランドumie店	078-382-7112
〃	大阪工業大学生協	06-6953-7361	〃	福家書店神戸店	078-351-2986
〃	くまざわ書店阿倍野店	06-6644-3910	〃	メトロ書店神戸御影店	078-858-7337
〃	くまざわ書店天王寺店	06-6772-6460	西宮市	関西学院大学生協	0798-53-7001
〃	くまざわ書店なんばパークス店	06-6644-1005	〃	ブックファースト阪急西宮ガーデンズ店	0798-62-6103
吹田市	クレヨンハウス大阪店	06-6330-8071	〃	ジュンク堂書店西宮店	0798-68-6300
〃	リブロ江坂店	06-6378-2071	〃	ブックファーストエビスタ西宮店	0798-37-1661
〃	ブックファースト大阪阪急山田駅店	06-6836-4500	明石市	ジュンク堂書店明石店	078-918-6670
〃	関西大学生協	06-6388-7641	〃	喜久屋書店明石店	078-915-2622
豊中市	田村書店千里中央店	06-6831-5657	姫路市	ジュンク堂書店姫路店	0792-21-8280
枚方市	水嶋書房くずはモール店	072-857-2528	川西市	紀伊國屋書店川西店	072-740-2622
〃	枚方蔦屋書店	072-844-9000	加古川市	紀伊國屋書店加古川店	079-427-3311
高槻市	紀伊國屋書店高槻店	072-686-1195	宝塚市	ブックファースト宝塚店	079-783-1991
〃	ジュンク堂書店高槻店	072-686-5300	〃	ブックランドサンクス宝塚ソリオ店	0797-83-0311
〃	大垣書店高槻店	072-684-8700	〃	キャップ書店逆瀬川店	0797-76-4611
〃	関西大学生協高槻店	072-699-0275	尼崎市	くまざわ書店あまがさき店	06-6470-3441
大東市	ACADEMIA くまざわ書店すみのどう店	072-873-1241	【鳥取県】		
東大阪市	ヒバリヤ書店本社	06-6722-1121	鳥取市	鳥取大学生協	0857-28-2565
東大阪市	近畿大学生協	06-6725-3311	〃	定有堂書店	0857-27-6035
八尾市	水嶋書房八尾店	072-955-1180			
〃	丸善八尾アリオ店	072-990-0291			

鳥取市	今井書店湖山店	0857-28-7007
〃	今井書店吉成店	0857-51-7020
米子市	本の学校今井 BC	0859-31-5000
〃	今井書店錦町店	0859-37-6700
〃	杉島書店	0859-22-2768
倉吉市	今井書店倉吉パープルタウン店	0858-47-4321

【島根県】

松江市	今井書店グループセンター店	0852-20-8811
〃	今井書店学園通り店	0852-31-8099
〃	文化の友黒田店	0852-60-5290
出雲市	今井書店出雲店	0853-22-8181

【岡山県】

岡山市	紀伊國屋書店岡山クレド店	086-212-2551
〃	丸善岡山シンフォニービル店	086-233-4640
〃	本の森セルバ	086-234-6006
〃	宮脇書店岡山本店	086-242-2188
〃	フタバ図書 MEGA 岡山青江店	086-803-6011
〃	三省堂書店岡山駅店	086-801-1881
〃	未来屋書店岡山店	086-803-5571
〃	岡山大学生協	086-251-7207
〃	啓文社岡山本店	086-805-1123
倉敷市	喜久屋書店倉敷店	086-430-5450
〃	マイブックシエルフヤマナ	086-445-1111
津山市	津山ブックセンター本店	0868-26-4047
〃	津山ブックセンターアルネ店	0868-31-2068
〃	津山ブックセンターイオン店	0868-21-0051
〃	ブックセンターコスモ津山店	0868-26-8500
〃	喜久屋書店津山店	0868-35-3700
〃	柿木書店本店	0868-23-2168
〃	照文堂書店	0868-22-2240

【広島県】

広島市	紀伊國屋書店広島店	082-225-3232
〃	紀伊國屋書店ゆめタウン広島店	082-250-6100
〃	ジュンク堂書店広島駅前店	082-568-3000
〃	丸善広島店	082-504-6210
〃	ニシヤ書店	082-294-5590

広島市	フタバ MEGA 店	082-830-0601
〃	フタバ図書八丁堀店	082-248-3888
〃	フタバアルパーク店	082-270-5730
〃	廣文館広島駅ビル店	082-506-1002
〃	廣文館アルパーク BC	082-501-1065
呉市	呉そごうブックセンター	0823-27-2715
東広島市	広島大学生協北 1	082-423-8285
〃	啓文社神辺店	0849-62-3939
〃	フタバ図書八本松店	082-420-1128
〃	森書店	082-422-7200
三原市	みどり書店	0848-62-3053
福山市	サントーク広文館	084-923-9434
〃	啓文社ポートプラザ店	084-971-1211
〃	啓文社コア神辺店	084-962-3939
〃	フタバ図書アルティ 福山本店	084-973-8780
〃	宮脇書店福山多治米店	084-957-0382
三次市	廣文館三次店	0824-62-1158
安芸郡	フタバ図書 TERA 広島府中店	082-561-0770

【山口県】

山口市	文栄堂書店	083-922-5611
〃	文栄堂山口大学前店	083-923-2319
〃	宮脇書店湯田店	083-922-0118
〃	明屋 MEGA 大内店	083-933-0707
周南市	宮脇書店徳山店	0834-39-2009
岩国市	明屋書店南岩国店	0827-34-1155
宇部市	宮脇書店宇部店	0836-37-0011
光市	明屋書店光店	0833-74-0700
萩市	明屋書店萩店	0838-24-1212
下松市	明屋書店下松店	0833-45-1414
下関市	くまざわ書店下関店	0832-28-0401
〃	明屋 MEGA 新下関店	083-250-2525
防府市	明林堂コスパ防府店	0835-26-5828

【香川県】

高松市	宮脇書店本店	087-851-3733
〃	宮脇書店南本店	087-869-9361
〃	宮脇書店総本店	087-823-3152
〃	くまざわ書店高松店	087-869-2683
〃	ジュンク堂書店高松店	087-832-0170
〃	香川大学生協	087-833-5755
坂出市	宮脇書店坂出白金店	0877-45-7968
丸亀市	宮脇書店丸亀店	0877-22-5533
〃	宮脇書店フジ丸亀店	0877-58-7363
〃	紀伊國屋書店丸亀店	0877-58-2511
善通寺市	塩田書店	0877-62-0105

善通寺市	四国学院大生協	0877-63-0882
綾歌郡	宮脇書店宇多津店	0877-49-7078

【高知県】

高知市	金高堂書店	088-822-0161
〃	金高堂書店朝倉 BC	088-840-1363
〃	高知大学生協	088-844-1501

【徳島県】

徳島市	小山助学館	088-654-2135
〃	宮脇書店徳島本店	088-663-6621
〃	紀伊國屋書店徳島店	088-602-1611
〃	紀伊國屋書店ゆめタウン徳島店	088-692-0513
〃	附家書店松茂店	088-683-4721
〃	附家書店国府店	088-643-3233

【愛媛県】

松山市	ジュンク堂書店松山店	089-915-0075
〃	紀伊國屋書店いよてつ高島屋店	089-932-0005
〃	明屋書店本店	089-941-4141
〃	明屋書店空港通り店	089-973-4844
〃	明屋書店 MEGA 平田店	089-978-0600
〃	宮脇書店松山店	089-924-8731
〃	愛媛大学生協	089-924-2503
〃	松山大学生協	089-924-9262
新居浜市	明屋書店新居浜松木店	0897-41-3535
〃	明屋書店メガ西土居店	0897-36-4455
西条市	明屋書店西条本店	0897-53-1717
四国中央市	明屋書店川之江店	0896-58-8787
大洲市	明屋書店大洲店	0893-25-1313
〃	宮脇書店大洲店	0893-25-6020
宇和島市	宮脇書店宇和島店	0895-20-0353
〃	明屋書店宇和島本店	0895-23-1118
〃	岩崎書店	0895-22-0528

【福岡県】

福岡市	紀伊國屋書店福岡本店	092-434-3100
〃	金文堂福大店	092-871-1611
〃	ジュンク堂書店福岡店	092-738-3322
〃	丸善九州産業大学書籍部	092-673-5145
〃	九州大学生協法文系店	092-651-1529
〃	西南学院大学生協	092-841-2400
〃	蔦屋コマーシャルモール博多店	092-418-3900
〃	丸善博多店	092-413-5401
〃	リブロ福岡天神店	092-717-5180

福岡市	紀伊國屋書店ゆめタウン博多店	092-643-1111
北九州市	BC クエスト黒崎店	093-643-5511
〃	くまざわ書店小倉店	093-512-1214
〃	BC クエスト小倉店	093-522-3912
〃	喜久屋書店小倉店	093-514-1400
〃	ACADEMIA サンリブ小倉店	093-932-7711
〃	明屋書店小倉沼新町店	093-474-8080
宗像市	金文堂教育大店	0940-32-2544
久留米市	リブロ久留米店	0942-36-9860
〃	BC クエストエマックス久留米店	0942-38-3301
〃	紀伊國屋書店久留米店	0942-45-7170
〃	Books あんとくみずま店	0942-64-5656
行橋市	明屋書店新田原店	0930-26-1144
太宰府市	丸善第一経済大書籍部	092-928-3853
直方市	未来屋書店イオン直方店	0949-29-2280
糟屋郡	フタバ図書TERA福岡東店	092-939-7200

【佐賀県】

佐賀市	積文館書店佐賀駅店	0952-23-7155
〃	紀伊國屋書店佐賀店	0952-36-8171
〃	宮脇書店佐賀本店	0952-41-5810
〃	くまざわ書店佐賀店	0952-62-7325
〃	佐賀大学生協	0952-25-4451
唐津市	まつら書店	0955-77-2928

【長崎県】

長崎市	好文堂書店	095-823-7171
長崎市	メトロ書店本店	095-821-5400
〃	長崎大学生協	095-845-5887
〃	紀伊國屋書店長崎店	095-811-4919
佐世保市	くまざわ書店佐世保店	0956-37-2895

【熊本県】

熊本市	長崎書店	096-353-0555
〃	Books まるぶん	096-356-4733
〃	蔦屋書店熊本三年坂店	096-212-9101
〃	紀伊國屋書店熊本はません店	096-377-1330
〃	くまざわ書店くまなん店	096-377-5045
〃	熊本大学生協	096-343-6515
〃	丸善熊本学園大学書店部	096-364-1026
荒尾市	明林堂書店ロックタウン荒尾店	0966-64-2307
菊池郡	紀伊國屋書店熊本光の森店	096-233-1700

【大分県】

大分市	晃星堂書店本町店	097-533-0231
〃	ジュンク堂書店大分店	097-536-8181
〃	明林堂書店大分本店	097-573-3400
〃	リプロ大分わさだ店	097-588-8859
〃	紀伊國屋書店大分店	097-552-6100
〃	紀伊國屋書店アミュプラザおおいた店	097-515-5050
〃	明屋書店高城店	097-551-1100
〃	大分大学生協	097-569-0016
中津市	明屋書店中津店	0979-24-1221
別府市	リプロ別府店	0977-73-8090
〃	明林堂書店青山店	0977-27-0500
佐伯市	二海堂書店	0972-22-0308
〃	都堂書店	0972-22-0604
〃	根本青紅堂書店	0972-22-0146
〃	明林堂書店佐伯店	0972-22-7030
〃	明林堂書店トキハ佐伯店	0972-25-0281
〃	明屋書店コスモタウン佐伯店	0972-20-5959

【宮崎県】

宮崎市	田中書店住吉店	0985-39-8011
〃	蔦屋書店高千穂通り店	0985-61-6711
〃	宮崎大学生協	0985-58-0692

【鹿児島県】

鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店	099-216-8838
〃	丸善天文館店	099-239-1221
鹿児島市	紀伊國屋書店鹿児島店	099-812-7000
〃	鹿児島大学生協中央店	099-255-0131
〃	鹿児島経済大学 BC	099-261-4235
〃	ブックスミスミオブシア店	099-813-7012

【沖縄県】

那覇市	球陽堂書房メインプレイス店	098-951-3456
〃	ジュンク堂書店那覇店	098-860-7175
〃	リプロリウボウブックセンター店	098-867-1725
〃	くまざわ書店那覇店	098-852-1312
〃	沖縄国際大学生協	098-855-9806
沖縄市	宮脇書店美里店	098-934-1712
宜野湾市	宮脇書店宜野湾店	098-893-2012
〃	沖縄国際大学生協	098-892-8218
〃	宮脇書店大山店	098-942-8267
豊見城市	戸田書店豊見城店	098-852-2511

柴桂子 監修 桂文庫 編・著

江戸期 おんな 表現者 事典

ご推薦

作家 エッセイスト 小説家 尼僧
落合恵子 瀬戸内寂聴
小説家
高橋克彦 竹内誠
法政大学総長
江戸文化研究者
田中優子
九州大学名誉教授
日本文学研究者
中野三敏
関西大学教授
平岩弓枝 戴田貫
小説家 劇作家
兵庫県立歴史博物館館長

五〇音順・敬称略

本書の特色

都道府県別・五〇音順に配列、
表現作品なども掲載。

各人の行動や人生とともに、日記、和歌、漢詩、
俳諧、随筆、紀行文や書画工芸などの作品も紹介。

固有名詞が判明している
女たちを主に約12000人を紹介！

身分に関係なく、あらゆるジャンルで活動した女たちの
生没年、姓名、号、墓所などを判明できる限り列記。

きれいなカラー口絵、参考文献も充実。

口絵には多彩なジャンルから選んだ70点の作品を
収録。引用史料や参考文献も一項目ごとに併載。



好評
発売中!

A5判・上製・函入・1408頁(カラー口絵16頁)

定価26000円+税 ISBN978-4-7684-7050-3

*ご希望の方にはカタログを贈呈いたします。

「藩」を読み、日本人の原風景を想う



A5判変型・並製・208頁 各巻 定価1600円+税

シリーズ既刊 50 巻!!

長岡藩 高田藩 福井藩 中津藩 津山藩
会津藩 弘前藩 古河藩 府内藩 伊勢崎藩
高遠藩 新田藩 岡藩 相良藩 八戸藩
米沢藩 足利藩 上田藩 福岡藩 淀藩
新庄藩 庄内藩 宇都宮藩 川越藩 三池藩
一関藩 桑名藩 宇都宮藩 高橋藩 小田原藩
盛岡藩 久留米藩 水戸藩 大洲藩 小田原藩
松本藩 佐伯藩 松江藩 秋月藩 壬生藩
小諸藩 二本松藩 松代藩 沼津藩 行幸定
村上藩 佐賀藩 守山藩 生実藩 戊辰戦争
山形藩 土佐藩 望月藩 松前藩 別冊
村松藩 山形藩 佐賀藩 守山藩 生実藩